

1 総 則

1.1 適用範囲

- 1) 本規準は設計図(建築図、構造図)のコンクリート部分に適用する。
- 2) 現場説明事項、資材の品質、荷重仕様および本規準に記載のない事項はこの規準による。
- 3) 本規準と他の設計図との間に矛盾が生じた場合は設計図による。
- 4) 本規準を含む設計図の書き入れは特記のない限りmm単位とする。
- 5) 本規準は下記に示す材料を対象とする。
コンクリート: 設計基準強度 150 N/mm²以上 360 N/mm²以下
鉄 筋: SR235 SD295A SD295B SD345 SD390 溶接金鋼
- 6) 本規準および設計図などで配筋方法が不明の場合は日本建築学会「JASS5」または「鉄筋コンクリート構造設計・図解」に準じ、協議の上、配筋方法を定める。
- 7) 前項6)によって生じた変更は共通仕様書という経緯な変更とする。

2 一般事項

2.1 鉄筋の表示記号

この規準を含む設計図に用いる鉄筋の表示記号は下記による。
ただし、書き入れ表示がある場合は書き入れによる。

鉄筋記号	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32
記号	○	×	◇	△	□	◇	◇	◇

d : 丸鋼の公称直径、または異形鉄筋の呼び名の数値
D : 鉄筋の折曲げ内径 (鉄筋の折曲げ寸法を示す場合)
L1 : 鉄筋の継手長さ
L2 : 一般の鉄筋の定着長さ
L3 : 小梁およびスラブの下端筋の定着長さ
L2': L2 + 5d

2.2 鉄筋のかぶり厚さ

鉄筋のかぶり厚さは特記、または設計図による。これらに示さない場合は下表による。

部 位	種 類	かぶり厚さ
土に接しない部分	屋上スラブ	30
	床スラブ	40
	柱	40
	梁	40
土に接する部分	柱	50
	梁	50
	土中スラブ・耐力壁	50
	基礎・地盤	70

1. 耐久性上必要な仕上がりのある場合は、鉄筋の断面を30とすることがある。
2. 耐久性上必要な仕上がりのある場合は、鉄筋の断面を40とすることがある。
3. コンクリートの品質および施工方法に依り、鉄筋の断面を40とすることがある。
4. 鉄筋の最小かぶり厚さは上表の値から10を差し引いた値とする。
5. 基礎底面のかぶり厚さは設計図による。
6. 基礎底面のかぶり厚さは設計図による。
7. 主筋にD40以上の異形鉄筋を使用する場合はかぶり厚さは設計図による。
8. 高耐久コンクリートを用いる場合は、土に接しない部分では上表の値に10を加えた値とする。
9. 水中コンクリートのかぶり厚さは、共通仕様書または設計図による。
10. 上記以外で鉄筋の耐久性を必要とする箇所のかぶり厚さは設計図による。

2.3 鉄筋相互のあき

- 1) 鉄筋相互のあきは下記のうち大きいほうの数値以上とする。
・コンクリート標準配合比1.25倍
・25mm
・1.5d
- 2) SRC造の鉄筋と鉄骨の相互のあきは31mm以上とする。
ただし、鉄骨の板厚方向の部分と鉄筋は接触していてもよい。

2.4 鉄筋の折曲げ形状・寸法

折曲げ角度	種 類	折曲げ内径(D)
180°	SR235	3d以上
135°	SD295A SD295B SD345	D16以下 : 34d以上 D19~D32 : 4d以上
90°	SD390	5d以上

- 注) 1. 折曲げ角度90°は、スラブ・壁・柱・梁の端部またはスラブと梁の接合部に用いるU字形折曲げと、梁の端部に用いるU字形折曲げとに用いる。2. 片持スラブの上端筋の先端、壁の自由端に用いる先端の余長は4dである。
- 2) 鉄筋の端部にフックをつける箇所
・丸鋼
・あばら筋および帯筋
・柱および梁(基礎梁を除く)の出隅部の鉄筋
・耐力壁
・基礎梁・フックのベース筋

3) 中継部の折曲げ

折曲げ角度	種 類	鉄筋の折曲げ内径(D)
90°	あばら筋 スライラブル	SR235 SD295A SD295B SD345
90°	上記以外の鉄筋	SR235 SD295A SD295B SD345 SD390

2.5 鉄筋の定着および重ね継手長さ

1) 鉄筋の定着および重ね継手長さ

種 類	コンクリートの設計基準強度 (N/mm ²)	定着長さ (L1)	定着長さ (L2)	定着長さ (L3)
SR235	150	45d	45d	25d
	180	45d	45d	150
	210	35d	35d	フック付
	225	35d	35d	フック付
SD295B	150	45d	40d	25d
	180	35d	30d	150
	210	40d	35d	フック付
	225	30d	25d	フック付
SD390	150	45d	40d	25d
	180	35d	30d	150
	210	45d	40d	フック付
	225	35d	30d	フック付

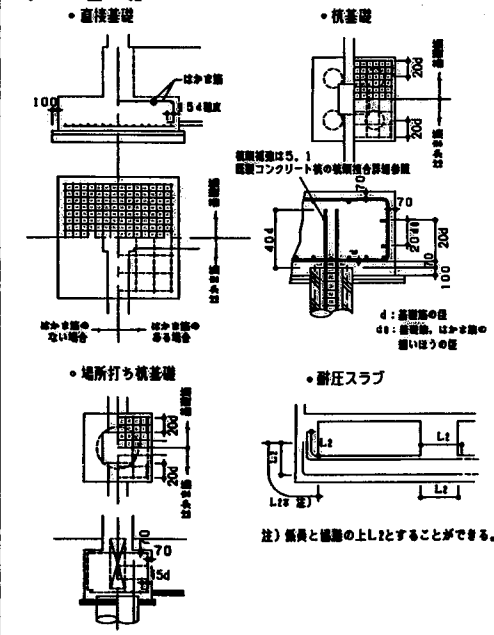
- 注) 1. 本規準のフックは定着長さに含まない。
2. 耐力スラブおよび柱を受ける小梁は、一般定着(L2)とする。
3. 柱の異なる断面の継手は、同じ断面のL2とする。
4. 鉄骨のフラット面に鉄筋の定着が保たれる場合は、その長さの1/2程度を定着長さに加える。

2) 継手相互のずらし方

種 類	継手相互のずらし方
・フックのある場合	a = 0.5L
・フックのない場合	a = 0.5L
・ガス圧接の場合	a ≥ 0.5L
・特殊継手の場合	a = 特殊継手の長さ

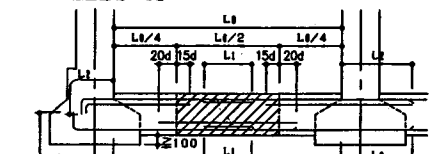
3 各部の規準配筋図

3.1 基礎

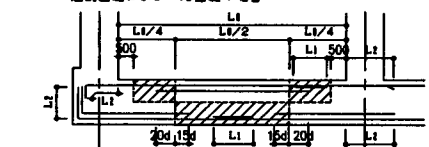


3.2 基礎梁

- 1) 基礎梁の主筋および定着
主筋の継手の中心は下の図のL1内に設ける。
・独立基礎の場合

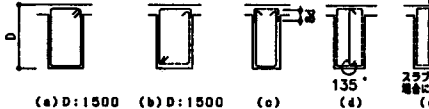


・連続基礎およびべた基礎の場合



- 注) 1. 基礎梁が抵抗を受ける場合も上層による。
2. 定着長さL1>L2とする。

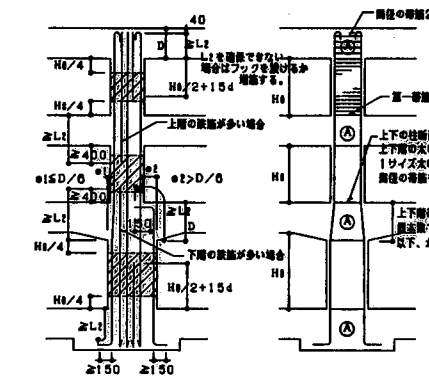
2) あばら筋、耐あばら筋の形状



- 注) 1. (b)でL1を使用する場合はL2は使用してはならない。
2. 断面、幅止め筋など3.4.3)に準じる。

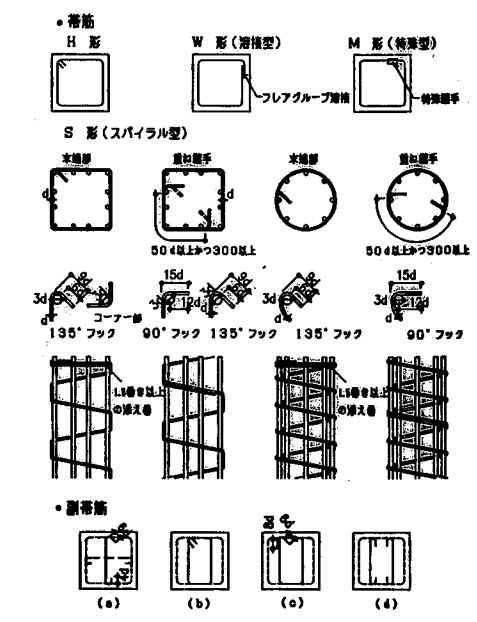
3.3 柱

- 1) 柱主筋の継手および定着
主筋の継手の中心は下の図のL1内に設ける。



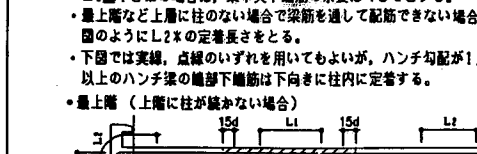
3) 帯筋・スライラブル筋・耐帯筋の形状

- 1) 設計図に特記のない場合はS形とする。
・H形で135°フックを設けることができない場合はW形またはM形とする。
・W形の溶接長さは両面溶接で5d、片面溶接で10d以上とする。

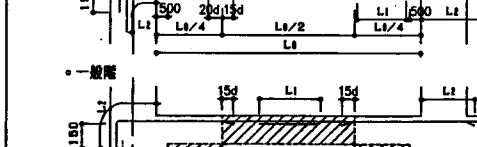


3.4 大 梁

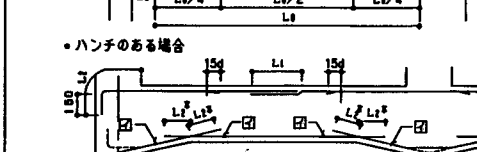
- 1) 大梁主筋の継手および定着
主筋の継手の中心は下の図のL1内に設ける。
・L1≧10mの場合は、梁中央下層筋の余長は40dとする。
・最上層など上層に柱のない場合で梁筋を通して配筋できない場合は図のようにL2%の定着長さをとる。
・下層では実線、点線のいずれを用いてもよいが、ハンチ勾配が1/6以上のハンチ梁の端部下層筋は下向きに柱内に定着する。
・最上層(上層に柱がない場合)



・一般梁



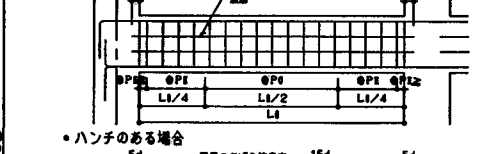
・ハンチのある場合



- 注) 1. ハンチの勾配は、1/6以下とする。
2. 主筋のうち外側主筋のみ折曲げて配筋することができる。

2) あばら筋の標準的割付

- 1) ハンチのない場合

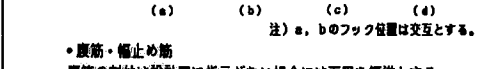


・ハンチのある場合

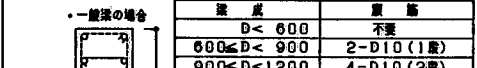


3) あばら筋・耐あばら筋・帯筋・幅止め筋の形状

- 1) あばら筋・耐あばら筋



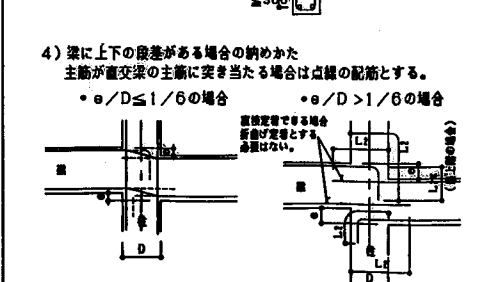
- 2) 帯筋・幅止め筋
・帯筋の割付は設計図に指示がない場合は下図を標準とする。
・帯筋の重ね継手は15d程度とする。



- 3) 一般梁の場合

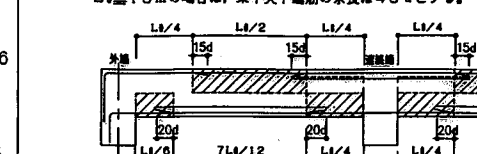
梁 長	帯 筋
D < 600	不要
600 ≤ D < 900	2-D10 (1層)
900 ≤ D < 1200	4-D10 (2層)
1200 ≤ D < 1500	6-D10 (3層)
1500 ≤ D < 1950	8-D13 (3層)
1950 ≤ D < 2400	2-D13 @ 450以下

- 4) 梁に上下の段差がある場合の納めかた
主筋が直交梁の主筋に突き当たる場合は点線の配筋とする。
・e/D ≤ 1/6の場合
・e/D > 1/6の場合



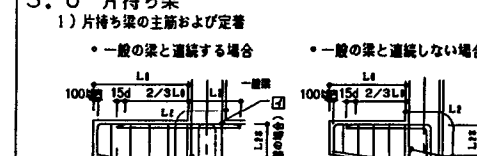
3.5 小 梁

- 1) 小梁主筋の継手および定着
主筋の継手の中心は下の図のL1内に設ける。
・L1≧10mの場合は、梁中央下層筋の余長は40dとする。



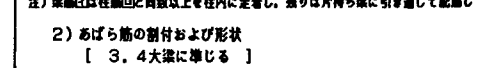
2) あばら筋の割付および形状

- 1) 一般の梁と連続しない場合



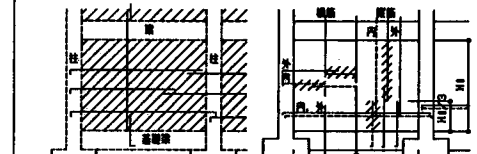
2) あばら筋の割付および形状

- 1) 一般の梁と連続する場合



3.6 片持ち梁

- 1) 片持ち梁の主筋および定着
主筋の継手の中心は下の図のL1内に設ける。
・一般の梁と連続する場合



2) あばら筋の割付および形状

- 1) 一般の梁と連続する場合

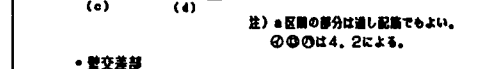


3) 壁筋の定着

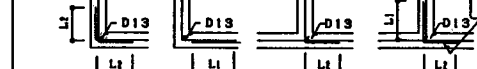
- 1) 柱への定着



・梁への定着

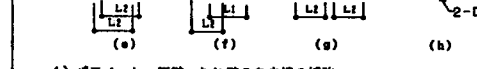


・壁交差部



4) バラベットの配筋

- 1) バラベットの配筋
壁の厚さおよび配筋は壁リストによる。
・外部に面する壁、たれ壁の配筋

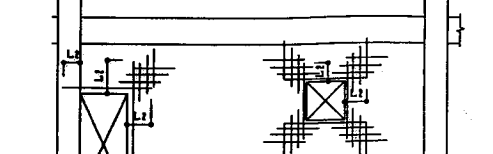


3) 床スラブ筋の定着



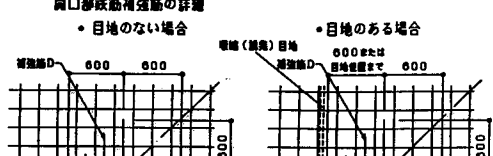
5) 開口部補強

- 1) 開口部の最大寸法が300以下で、鉄筋をゆるやかに曲げるにより開口部を設けて配筋できる場合は、補強を省略することができる。

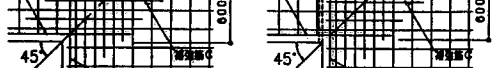


開口部鉄筋補強の詳図

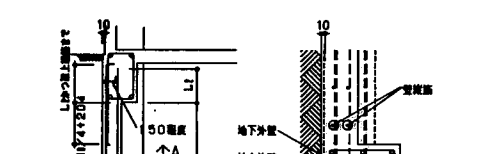
- 1) 目地のない場合



・目地のある場合



6) 地下外壁の配筋



7) 外壁隅部の補強筋

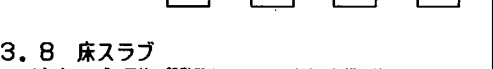
- 1) 外壁隅部の補強筋
外壁隅部の鉄筋の内側に下記の補強筋を入れる。



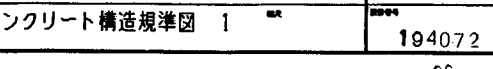
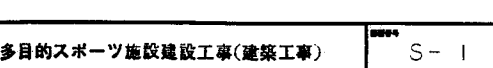
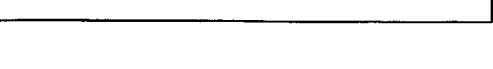
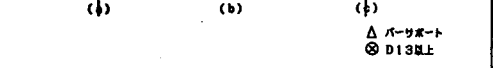
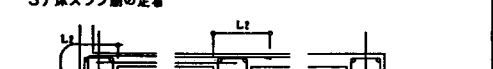
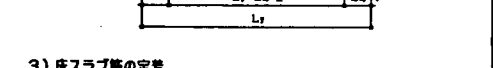
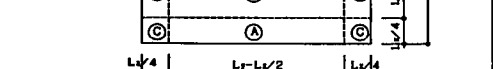
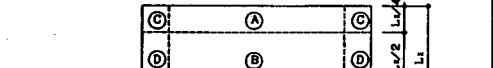
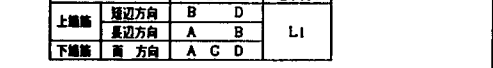
3.8 床スラブ

- 1) 床スラブの配筋は設計図または4.10床の標準配筋リストによる。
- 2) 床スラブ筋の継手位置

位置	標準継手位置	継手長さ
上層筋	短辺方向 B	D
下層筋	長辺方向 A	B
	短辺方向 A	C
	長辺方向 A	D



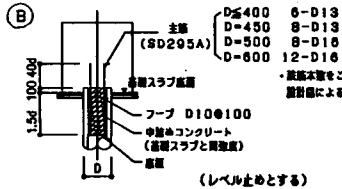
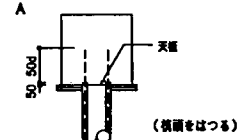
3) 床スラブ筋の定着



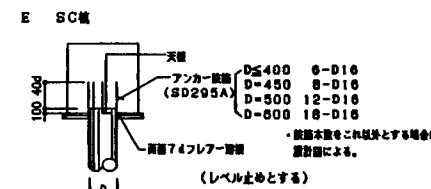
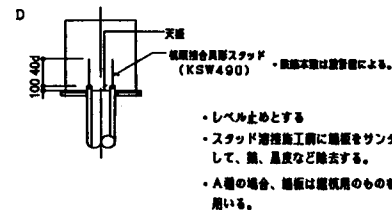
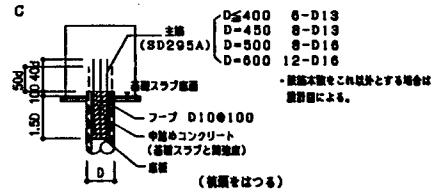
5 既製コンクリート杭の杭頭接合部

5.1 既製コンクリート杭の杭頭接合部詳細 (採用はO印とする)

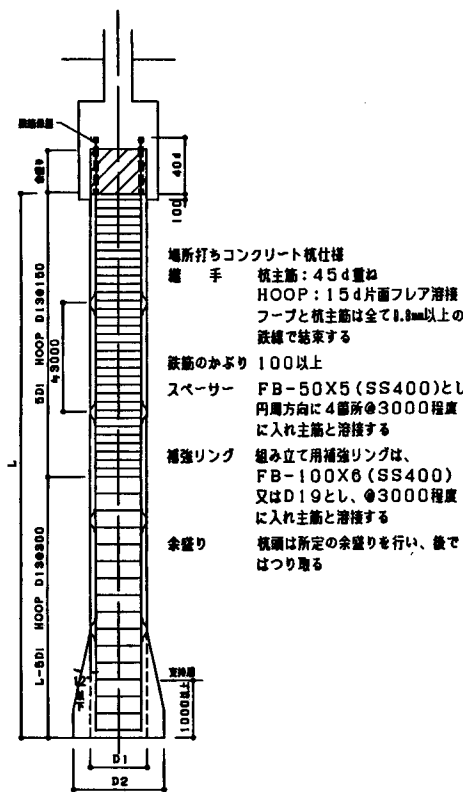
1) 建物高さが15m以下かつ階数が4以下の場合



2) 建物高さが15mを超える場合



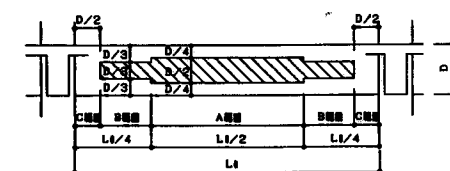
5.2 場所打ちコンクリート杭仕様



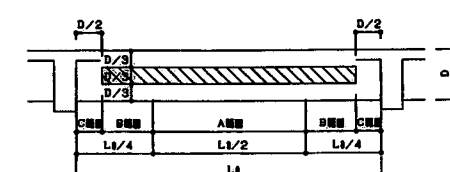
6 梁貫通孔の補強規準

6.1 RC梁

1) 貫通孔の径および配置 ・大梁の場合



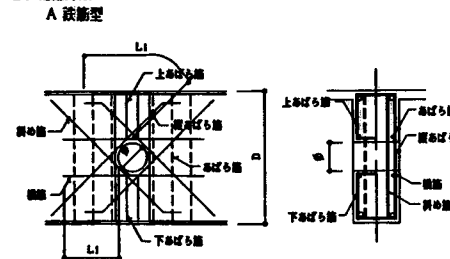
・小梁の場合
原則としてRC小梁には梁貫通を行わない。但し集合住宅の場合は下記による事ができる。



注) 1. 貫通孔は上図の範囲内に設けるものとする。
2. 貫通孔の径及び間隔は下表による。

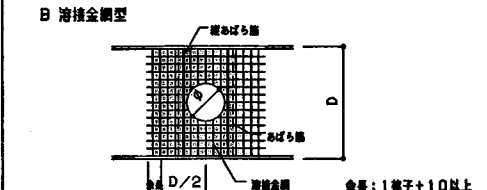
範囲	最大孔径 (φ)	間隔
A	D/4かつ250 (D/4)	4φ以上
B	D/8かつ100 (D/8)	

2) 補強方法 A 鉄筋型



貫通孔径	縦筋	横筋	斜筋	上、下あばら筋
100φ	2-φ-D13 (2-φ-D16)	2-2-D13	4-2-D13	2-φ-D13
150φ	2-φ-D13 (2-φ-D16)	2-2-D13	4-2-D13	2-φ-D13
200φ	2-φ-D13 (2-φ-D16)	2-2-D13	4-2-D13	2-φ-D13
250φ	2-φ-D16 (4-φ-D16)	2-2-D16	4-2-D19	4-φ-D13
300φ	2-φ-D16 (4-φ-D16)	2-2-D16	4-2-D19	4-φ-D13
350φ	4-φ-D16 (4-φ-D16)	2-2-D16	4-2-D19	4-φ-D13
500φ	4-2-D19 (4-2-D19)	2-2-D16	4-2-D19	6-φ-D13
600φ	4-2-D19 (4-2-D19)	2-2-D16	4-2-D22	6-φ-D16

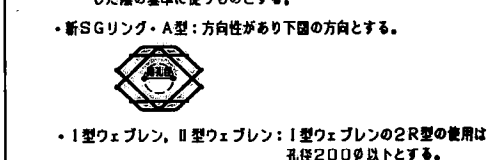
注) 1. 上表はφD/4であばら筋がD10φ200~100、またはD13φ200~125を示し、()内はD13φ100の場合の配筋を示す。あばら筋がD13φ100を超える場合は配筋は図示による。
2. 上表は各項における補強筋の総本数を示す。
3. 1印は縦筋(フックなしの直筋)とする。
4. 貫通孔の径がD/8以下かつ100未満の場合は、補強を省略してよい。
B 溶接金網型



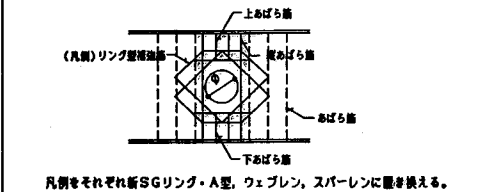
貫通孔径	縦筋	横筋
100φ	2-φ-D13 (4-φ-D13)	2-φ-75
150φ	2-φ-D13 (4-φ-D13)	2-φ-75
200φ	2-φ-D13 (4-φ-D13)	2-φ-75
250φ	4-φ-D13 (6-φ-D13)	2-φ-75
300φ	2-φ-D13 (4-φ-D13)	2-φ-75
350φ	4-φ-D13 (6-φ-D13)	2-φ-75

注) 1. 上表はφD/4であばら筋がD10φ200~100、またはD13φ200~125を示し、()内はD13φ100の場合の配筋を示す。あばら筋がD13φ100を超える場合は配筋は図示による。
2. 上表は各項における補強筋の総本数を示す。
3. 貫通孔の径がD/8以下かつ100未満の場合は、補強を省略してよい。
C リング型

1) 下記の3社製品を使用できるものとする。但し同一建物内での併用は認めない。
2) 有孔梁のせん断耐力強度が無孔梁のせん断耐力強度と同等以上となるような補強筋量とする。なお、有孔梁のせん断耐力強度には下記の低減係数を乗じるものとする。
低減係数 (α) 製品名
α=0.90 : 新SGリング・A型、II型ウェブレン
α=0.80 : I型ウェブレン、スパーレン
3) 本規準に定める事項のほか(財)日本建築センターの評価等を取引した際の基準に従うものとする。
・新SGリング・A型: 方向性があり下図の方向とする。



・I型ウェブレン、II型ウェブレン: I型ウェブレンの2R型の使用は孔径200φ以上とする。
I型ウェブレン II型ウェブレン
・スパーレン: 3.5A型、3.5B型、3.5C型、3.5D型のみ使用可とする。

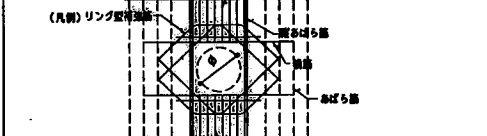
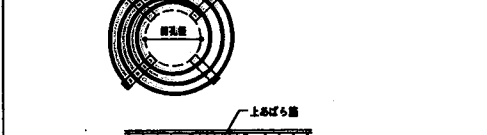
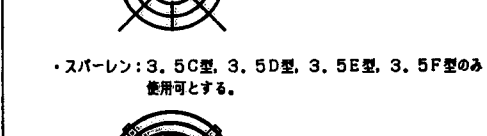
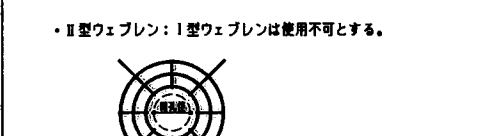
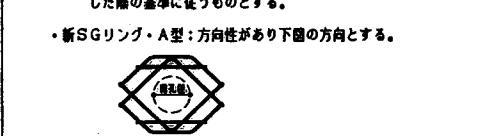


凡例をそれぞれ新SGリング・A型、ウェブレン、スパーレンに置き換える。

貫通孔径	縦筋	横筋	上、下あばら筋
100φ	2-φ-D13 (4-φ-D13)	2-φ-D13	2-φ-D13
150φ	2-φ-D13 (4-φ-D13)	2-φ-D13	2-φ-D13
200φ	2-φ-D13 (4-φ-D13)	2-φ-D13	2-φ-D13
250φ	4-φ-D13 (6-φ-D13)	4-φ-D13	4-φ-D13
300φ	4-φ-D13 (6-φ-D13)	4-φ-D13	4-φ-D13
350φ	4-φ-D13 (6-φ-D13)	4-φ-D13	4-φ-D13

注) 1. 上表はφD/4であばら筋がD10φ200~100、またはD13φ200~125を示し、()内はD13φ100の場合の配筋を示す。あばら筋がD13φ100を超える場合は配筋は図示による。
2. 上表は各項における補強筋の総本数を示す。
3. 貫通孔の径がD/8以下かつ100未満の場合は、補強を省略してよい。
D リング型 500φ~600φ (大径基礎梁用)

1) 下記の3社製品を使用できるものとする。但し同一建物内での併用は認めない。
2) 有孔梁のせん断耐力強度が無孔梁のせん断耐力強度と同等以上となるような補強筋量とする。なお、有孔梁のせん断耐力強度には下記の低減係数を乗じるものとする。
低減係数 (α) 製品名
α=0.90 : 新SGリング・A型、II型ウェブレン
α=0.80 : I型ウェブレン、スパーレン
3) 本規準に定める事項のほか(財)日本建築センターの評価等を取引した際の基準に従うものとする。

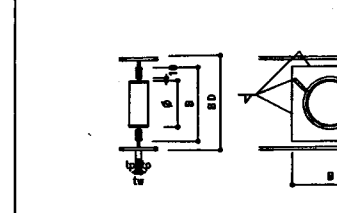
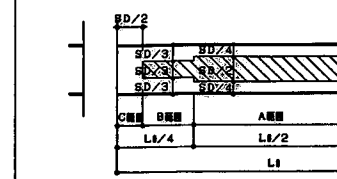


貫通孔径	縦筋	横筋	上、下あばら筋
500φ	4-φ-D13 (6-φ-D13)	2-2-D13	6-φ-D13
600φ	4-φ-D13 (6-φ-D13)	2-2-D13	6-φ-D13

注) 1. 上表はφD/3であばら筋がD10φ200~100、またはD13φ200~125を示し、()内はD13φ100の場合の配筋を示す。あばら筋がD13φ100を超える場合は配筋は図示による。
2. 上表は各項における補強筋の総本数を示す。
例) m-n-dの場合
m: 梁の断面における貫通孔左右または上下補強筋の総本数を示す。
n: 口は閉鎖型スタラップ、2は梁の両面であることを示す。
d: 補強筋の径

6.2 S梁 (小梁は大梁に準じる)

1) 貫通孔の径および配置



注) 1. 貫通孔は上図の範囲内に設けるものとする。
2. 貫通孔の径及び間隔は下表による。

範囲	最大孔径 (φ)	間隔
A	D/2	3φ以上
B	SD/4かつ150以下	

3. 貫通孔の径がSD/8以下かつ100未満の場合は補強を省略してよい。
4. 貫通孔の径がSD/12以下かつ100未満の場合は補強プレートおよび補強スリートを省略してよい。
5. S梁の補強スリートの長さはフランジ幅の1/2かつ100以上とする。

2) 補強方法

注) 1. 補強材の材質 プレート: 母材と同質
スリート: STK400
2. 表中、*印の補強方法は構造設計担当者で相談して決定する。

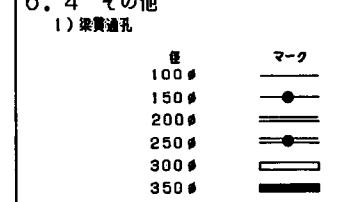
補強筋を確保する場合	250φ		500
		φ-267.4X6.0	600
			700
	300φ		600
		φ-318.5X6.0	700
			800
	350φ		700
		φ-355.6X6.0	800
			900

その他の場合				

その他の場合

6.4 その他

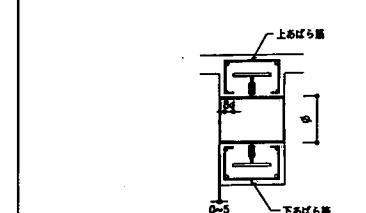
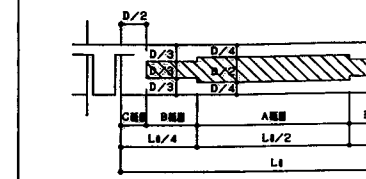
1) 梁貫通孔



注) 1. 上表はφD/3であばら筋がD10φ200~100、またはD13φ200~125を示し、()内はD13φ100の場合の配筋を示す。あばら筋がD13φ100を超える場合は配筋は図示による。
2. 上表は各項における補強筋の総本数を示す。
例) m-n-dの場合
m: 梁の断面における貫通孔左右または上下補強筋の総本数を示す。
n: 口は閉鎖型スタラップ、2は梁の両面であることを示す。
d: 補強筋の径

6.3 SRC梁 (小梁は大梁に準じる)

1) 梁貫通孔の径および配置



注) 1. 貫通孔は上図の範囲内に設けるものとする。
2. 貫通孔の径及び間隔は下表による。

範囲	最大孔径 (φ)	間隔
A	D/3かつSD/2	3φ以上
B	D/6, SD/4かつ150以下	

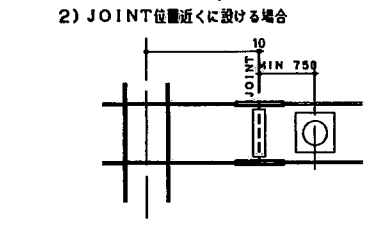
3. 補強スリートの長さは梁幅-0~100程度とする。
2) 補強方法
注) 1. 補強材の材質 プレート: 母材と同質
スリート: STK400
2. 貫通孔上、下のおおむねの形状は「」、「」とすることができ、SRC梁の貫通孔の補強は上記記事項以外にRC梁と、S梁の補強の組み合わせとする。

9X200	2R-16X200	2R-16X200
6X300	2R-6X300	2R-9X300
9X300	2R-12X300	2R-16X300
6X350	2R-9X350	2R-9X350
6X400	2R-6X400	2R-9X400
9X350	2R-16X350	2R-16X350
6X450	2R-6X450	2R-9X450
6X500	2R-6X500	2R-9X500
9X450	2R-12X450	2R-16X450
6X550	2R-6X550	2R-9X550
6X600	2R-6X600	2R-9X600
6X550	2R-9X550	2R-12X550
6X650	2R-6X650	2R-9X650
6X700	2R-6X700	2R-9X700

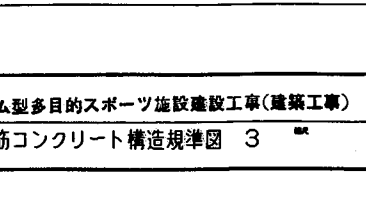
補強筋	貫通孔径	補強スリート	梁径 (SD)	補強プレート t p (プレート枚数-板厚X幅B)
2φ	100φ	φ-114, 3X4.5	300φSD<400	2R-6X200
			400φSD	2R-6X200
			500φSD<400	2R-6X250
			600φSD	2R-6X250
	150φ	φ-165, 2X5.0	300φSD<400	2R-6X200
			400φSD	2R-6X200
			500φSD<400	2R-6X250
			600φSD	2R-6X250
	200φ	φ-216, 3X6.0	500φSD<600	2R-6X350
			600φSD	2R-6X400
			700φSD<600	2R-6X350
			800φSD	2R-6X400
250φ	φ-267, 4X6.0	600φSD 700	2R-6X450	
		700φSD	2R-6X500	
		800φSD<700	2R-6X450	
		900φSD	2R-6X500	
300φ	φ-318, 5X6.0	700φSD<800	2R-6X550	
		800φSD	2R-6X600	
		900φSD<800	2R-6X550	
		1000φSD	2R-6X600	
350φ	φ-355, 6X6.0	800φSD<900	2R-6X650	
		900φSD	2R-6X700	
		1000φSD<900	2R-6X650	
		1100φSD	2R-6X700	

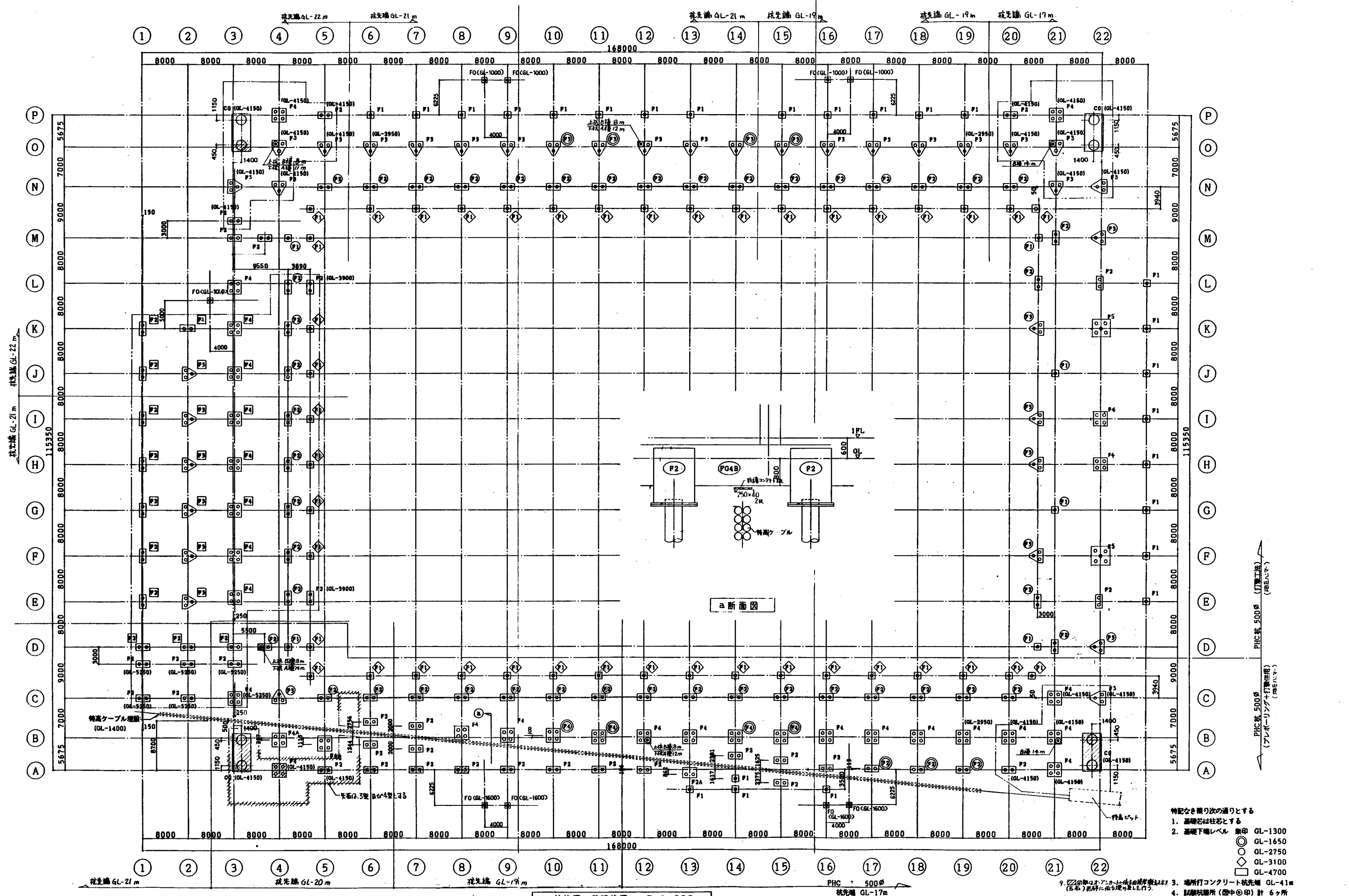
その他の場合

2) JOINT位置近くに設ける場合



3) 小梁の近くに設ける場合





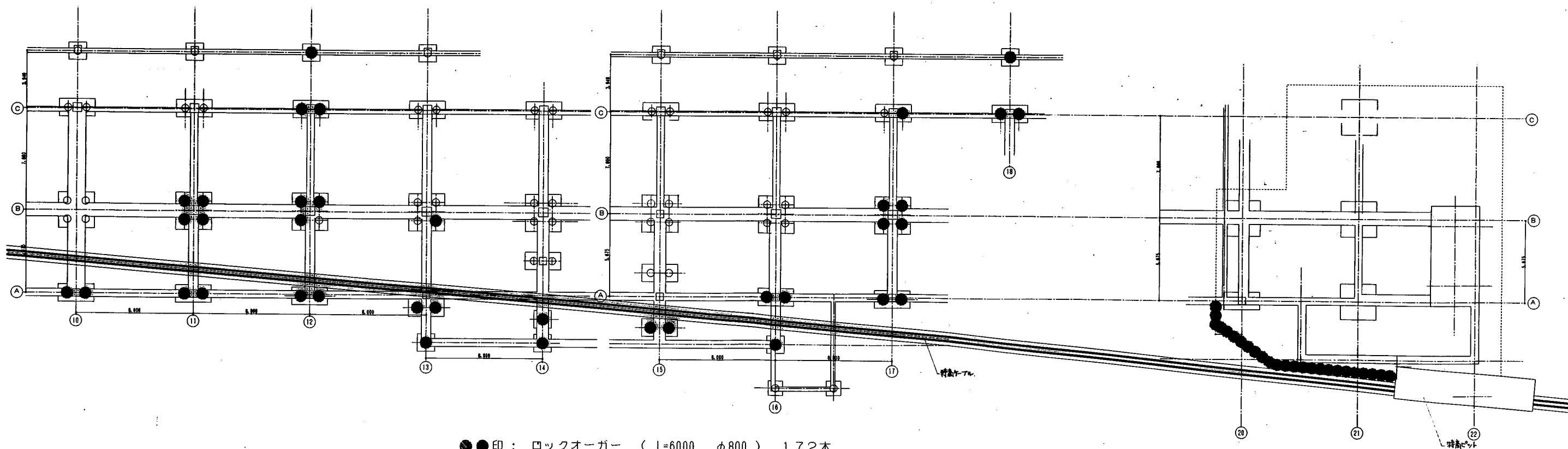
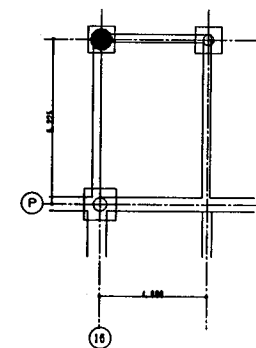
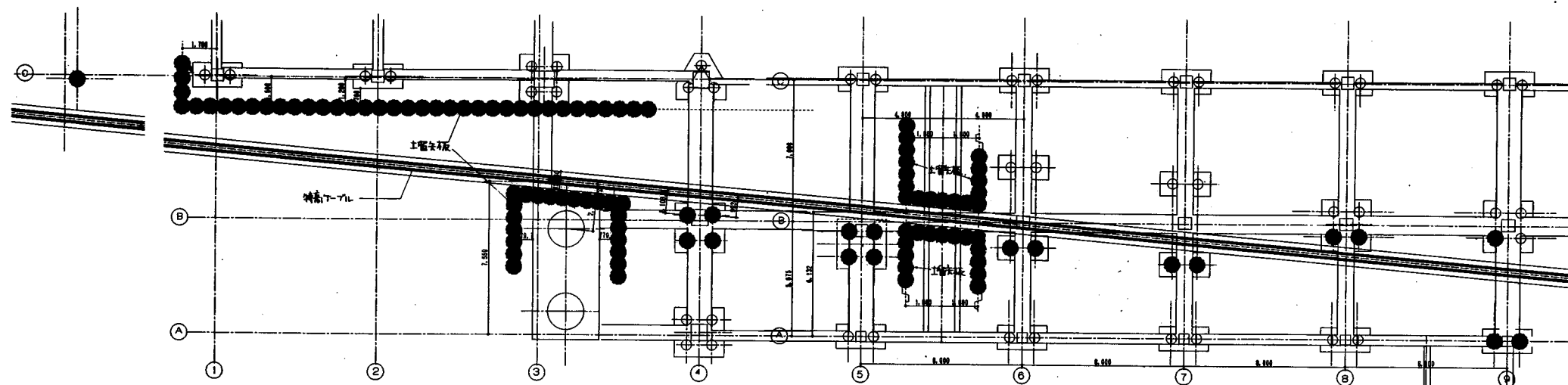
- 特記なき限り次の通りとする
1. 基礎下層レベル 無印 GL-1300
 2. 基礎下層レベル 無印 GL-1650
 3. 基礎下層レベル 無印 GL-2750
 4. 基礎下層レベル 無印 GL-3100
 5. 基礎下層レベル 無印 GL-4700
 6. 基礎下層レベル 無印 GL-4110
 7. 基礎下層レベル 無印 GL-4110
 8. 基礎下層レベル 無印 GL-4110
 9. 基礎下層レベル 無印 GL-4110
 10. 基礎下層レベル 無印 GL-4110
 11. 基礎下層レベル 無印 GL-4110
 12. 基礎下層レベル 無印 GL-4110
 13. 基礎下層レベル 無印 GL-4110
 14. 基礎下層レベル 無印 GL-4110
 15. 基礎下層レベル 無印 GL-4110
 16. 基礎下層レベル 無印 GL-4110
 17. 基礎下層レベル 無印 GL-4110
 18. 基礎下層レベル 無印 GL-4110
 19. 基礎下層レベル 無印 GL-4110
 20. 基礎下層レベル 無印 GL-4110
 21. 基礎下層レベル 無印 GL-4110
 22. 基礎下層レベル 無印 GL-4110

杭伏図・基礎伏図 S=1:300

TS-8.1	杭伏図・基礎伏図
TS-8.2	杭伏図・基礎伏図
TS-8.3	杭伏図・基礎伏図
TS-8.4	杭伏図・基礎伏図
TS-8.5	杭伏図・基礎伏図
TS-8.6	杭伏図・基礎伏図
TS-8.7	杭伏図・基礎伏図
TS-8.8	杭伏図・基礎伏図
TS-8.9	杭伏図・基礎伏図
TS-8.10	杭伏図・基礎伏図
TS-8.11	杭伏図・基礎伏図
TS-8.12	杭伏図・基礎伏図
TS-8.13	杭伏図・基礎伏図
TS-8.14	杭伏図・基礎伏図
TS-8.15	杭伏図・基礎伏図
TS-8.16	杭伏図・基礎伏図
TS-8.17	杭伏図・基礎伏図
TS-8.18	杭伏図・基礎伏図
TS-8.19	杭伏図・基礎伏図
TS-8.20	杭伏図・基礎伏図
TS-8.21	杭伏図・基礎伏図
TS-8.22	杭伏図・基礎伏図
TS-8.23	杭伏図・基礎伏図
TS-8.24	杭伏図・基礎伏図
TS-8.25	杭伏図・基礎伏図
TS-8.26	杭伏図・基礎伏図
TS-8.27	杭伏図・基礎伏図
TS-8.28	杭伏図・基礎伏図
TS-8.29	杭伏図・基礎伏図
TS-8.30	杭伏図・基礎伏図
TS-8.31	杭伏図・基礎伏図
TS-8.32	杭伏図・基礎伏図
TS-8.33	杭伏図・基礎伏図
TS-8.34	杭伏図・基礎伏図
TS-8.35	杭伏図・基礎伏図
TS-8.36	杭伏図・基礎伏図
TS-8.37	杭伏図・基礎伏図
TS-8.38	杭伏図・基礎伏図
TS-8.39	杭伏図・基礎伏図
TS-8.40	杭伏図・基礎伏図
TS-8.41	杭伏図・基礎伏図
TS-8.42	杭伏図・基礎伏図
TS-8.43	杭伏図・基礎伏図
TS-8.44	杭伏図・基礎伏図
TS-8.45	杭伏図・基礎伏図
TS-8.46	杭伏図・基礎伏図
TS-8.47	杭伏図・基礎伏図
TS-8.48	杭伏図・基礎伏図
TS-8.49	杭伏図・基礎伏図
TS-8.50	杭伏図・基礎伏図
TS-8.51	杭伏図・基礎伏図
TS-8.52	杭伏図・基礎伏図
TS-8.53	杭伏図・基礎伏図
TS-8.54	杭伏図・基礎伏図
TS-8.55	杭伏図・基礎伏図
TS-8.56	杭伏図・基礎伏図
TS-8.57	杭伏図・基礎伏図
TS-8.58	杭伏図・基礎伏図
TS-8.59	杭伏図・基礎伏図
TS-8.60	杭伏図・基礎伏図
TS-8.61	杭伏図・基礎伏図
TS-8.62	杭伏図・基礎伏図
TS-8.63	杭伏図・基礎伏図
TS-8.64	杭伏図・基礎伏図
TS-8.65	杭伏図・基礎伏図
TS-8.66	杭伏図・基礎伏図
TS-8.67	杭伏図・基礎伏図
TS-8.68	杭伏図・基礎伏図
TS-8.69	杭伏図・基礎伏図
TS-8.70	杭伏図・基礎伏図
TS-8.71	杭伏図・基礎伏図
TS-8.72	杭伏図・基礎伏図
TS-8.73	杭伏図・基礎伏図
TS-8.74	杭伏図・基礎伏図
TS-8.75	杭伏図・基礎伏図
TS-8.76	杭伏図・基礎伏図
TS-8.77	杭伏図・基礎伏図
TS-8.78	杭伏図・基礎伏図
TS-8.79	杭伏図・基礎伏図
TS-8.80	杭伏図・基礎伏図
TS-8.81	杭伏図・基礎伏図
TS-8.82	杭伏図・基礎伏図
TS-8.83	杭伏図・基礎伏図
TS-8.84	杭伏図・基礎伏図
TS-8.85	杭伏図・基礎伏図
TS-8.86	杭伏図・基礎伏図
TS-8.87	杭伏図・基礎伏図
TS-8.88	杭伏図・基礎伏図
TS-8.89	杭伏図・基礎伏図
TS-8.90	杭伏図・基礎伏図
TS-8.91	杭伏図・基礎伏図
TS-8.92	杭伏図・基礎伏図
TS-8.93	杭伏図・基礎伏図
TS-8.94	杭伏図・基礎伏図
TS-8.95	杭伏図・基礎伏図
TS-8.96	杭伏図・基礎伏図
TS-8.97	杭伏図・基礎伏図
TS-8.98	杭伏図・基礎伏図
TS-8.99	杭伏図・基礎伏図
TS-8.100	杭伏図・基礎伏図

久米設計・梓設計 設計共同企業体

94.12	ドーム型多目的スポーツ施設建設工事(建築工事)	S-5-1
杭伏図・基礎伏図	S=1:300	194072



●●印：ロックオーガー（L=6000、φ800）172本

●●印：0.7本/m²にて埋め込み、必要時に撤去する。
(注)

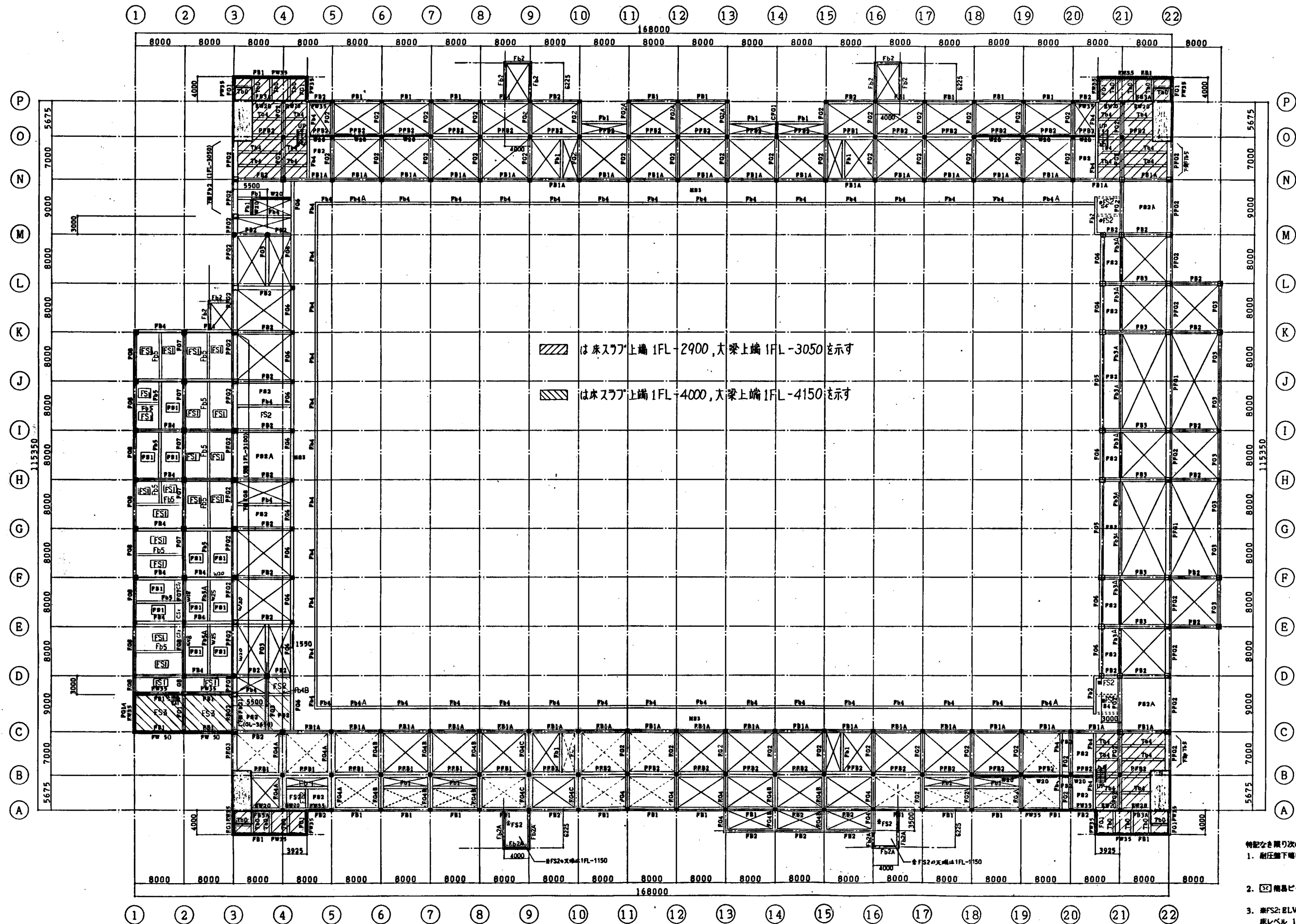
久米設計・梓設計 設計共同企業体

ドーム型多目的スポーツ施設建設工事（建築工事）

地中層客席撤去図

新 変1

S-5-2



- 特記なき限り次の通りとする
1. 耐圧部下端レベル 無印 GL-2550
GL-4500
GL-1450
 2. [FS] 簡易ビットを示す
 3. 床スラブ: ELV ビット及びF70の部材の部材を示す
床レベル 1FL-1400
小梁はフカンとする
床スラブは S5 とする
 4. 床スラブは S5 とする

表2'

久米設計・梓設計 設計共同企業体

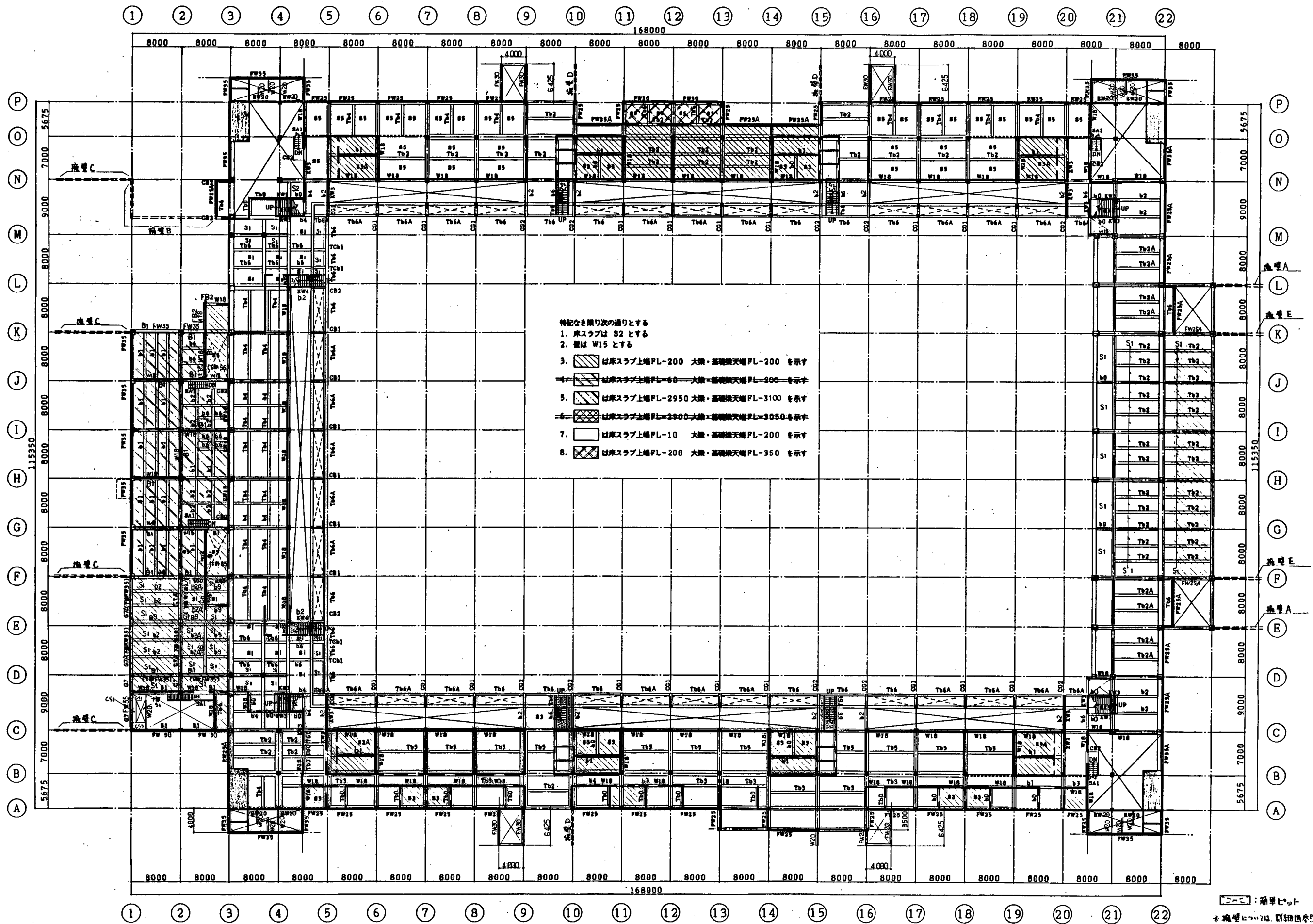
ドーム型多目的スポーツ施設建設工事(建築工事)

基礎伏図

S-1:300

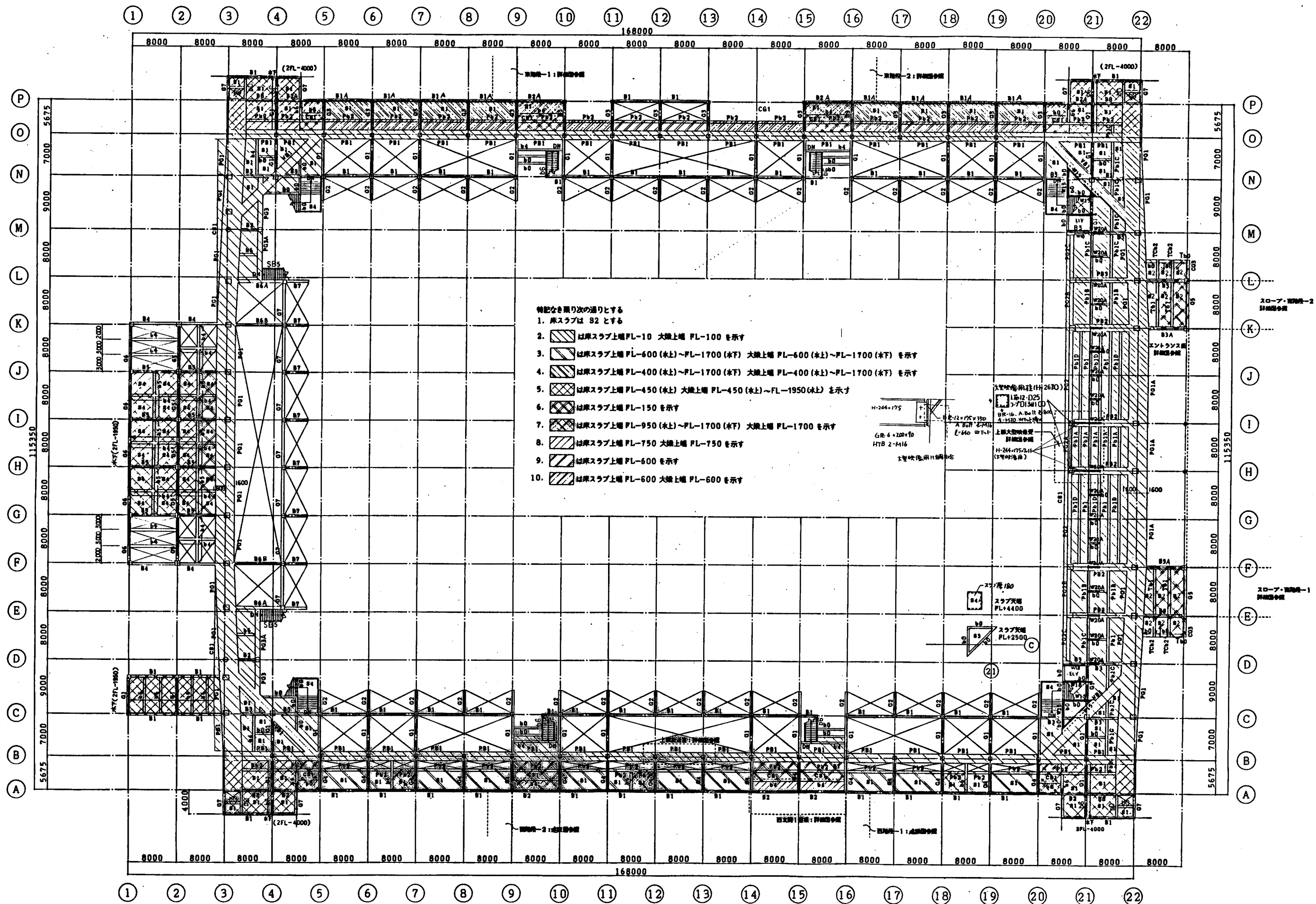
S-6

194072

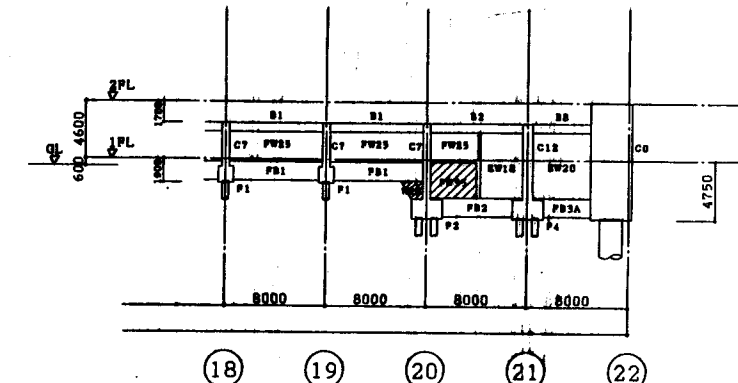
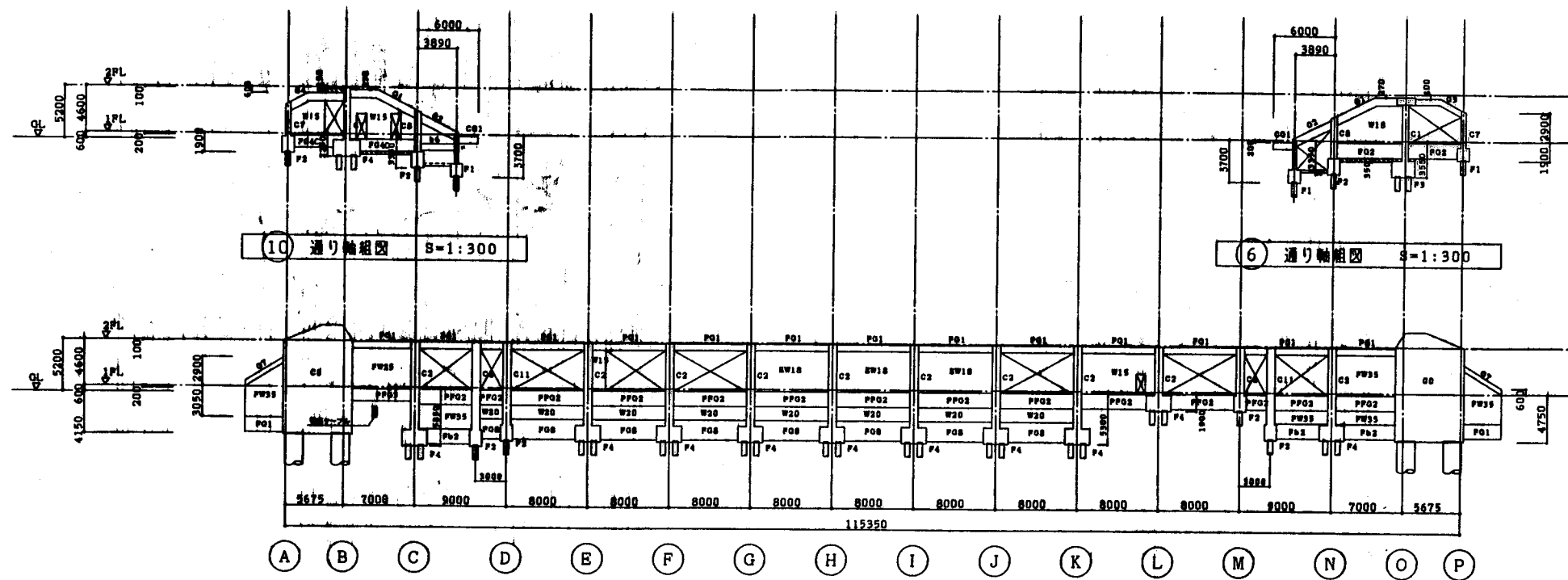


1階床・床伏図 S=1:300

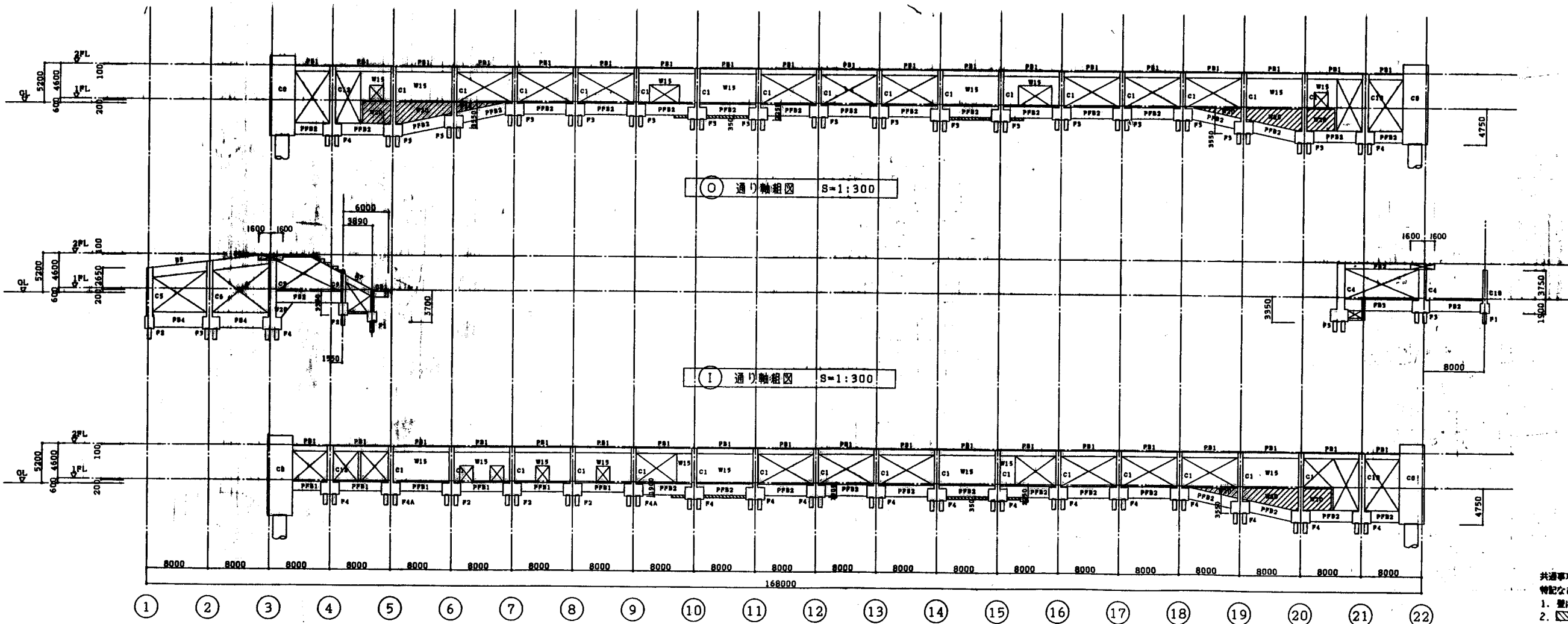
コンクリート
※施作については、詳細図参照



2階床・床伏図 S=1:300



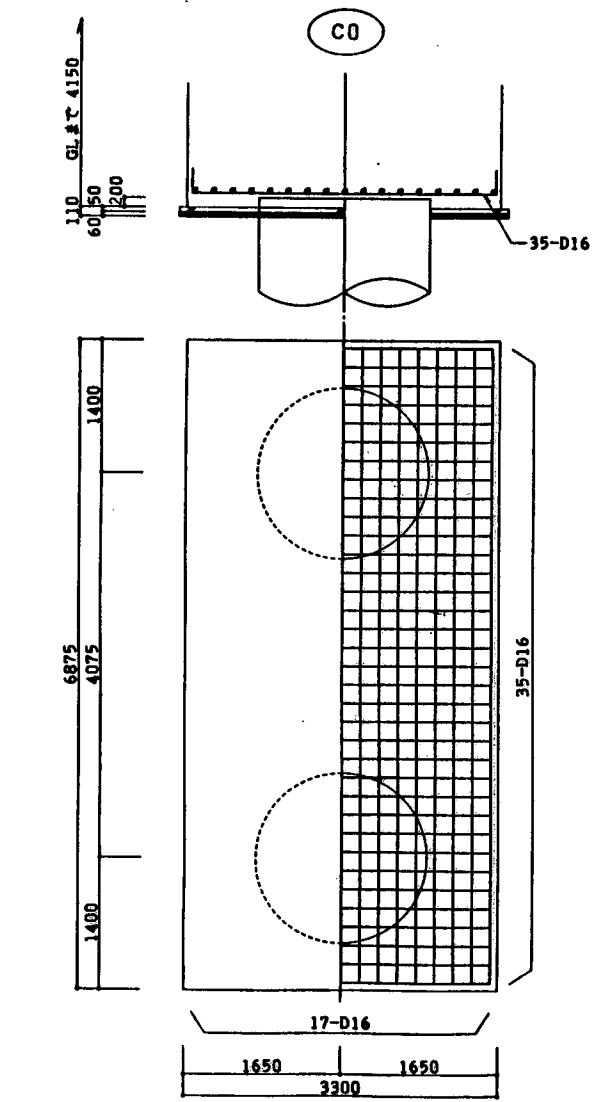
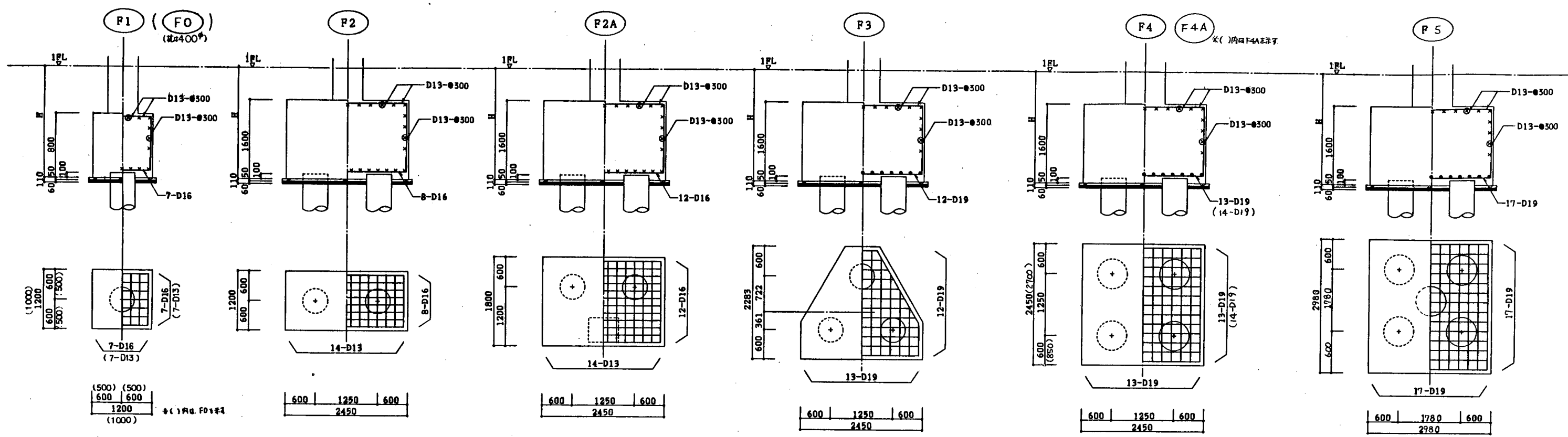
3 通り軸組図 S=1:300



I 通り軸組図 S=1:300

B 通り軸組図 S=1:300

- 共通事項
 特記なき限り次の通りとする
 1. 壁は W15 とする
 2. 斜線は 増打コンクリートを示す
 3. 点線は 床下立上り壁を示す



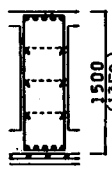
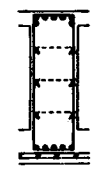
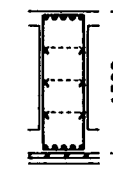
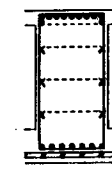
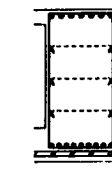
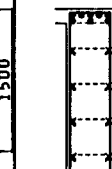
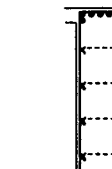
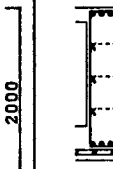
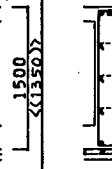
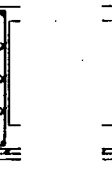
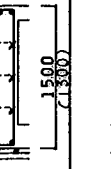
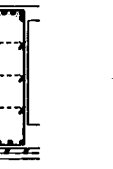
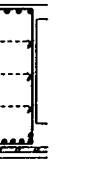
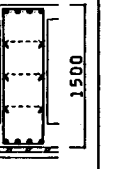
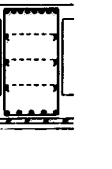
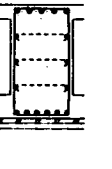
PHC杭リスト

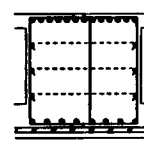
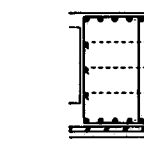
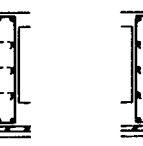
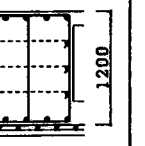
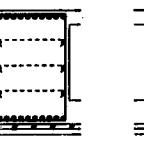
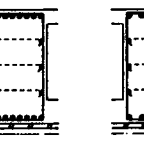
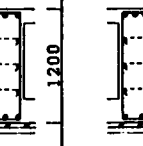
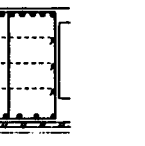
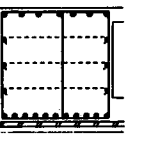
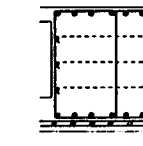
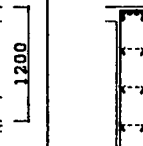
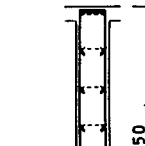
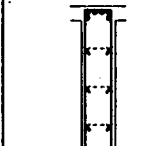
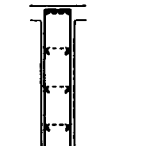
工 法	上 杭			下 杭			杭長さ	杭間レベル (GL±0)	本数 (本)	長期耐圧 支持力	工 法	上 杭			下 杭			杭長さ	杭間レベル (GL±0)	本数 (本)	長期耐圧 支持力
	種別	径	長さ	種別	径	長さ						種別	径	長さ	種別	径	長さ				
プレボーリング +打撃工法	PHC B型	500φ	15.0m 7.0m	PHC A型	500φ	9.0m 16.0m	15.0m	-5150	6	82t	打撃工法	PHC B型	500φ	7.0m	PHC A型	500φ	11.0m 10.0m 17.0m	18.0m 17.0m	-4600	17 45	110t
	PHC B型	500φ	7.0m		PHC A型	500φ	9.0m 10.0m 17.0m	-4600	2 4	82t		PHC B型	500φ	7.0m	PHC A型	500φ	11.0m	18.0m	-4050	20	110t
	PHC B型	500φ	7.0m	PHC A型	500φ	9.0m	16.0m	-4050	6	82t		PHC B型	500φ	13.0m	――	――	――	13.0m	-4050	18	110t
	PHC B型	500φ	13.0m	――	――	――	13.0m	-4050	21	82t		PHC B型	500φ	7.0m	PHC A型	500φ	12.0m 11.0m 18.0m	19.0m 18.0m	-3800	2 2	110t
	PHC B型	500φ	7.0m	PHC A型	500φ	9.0m	16.0m	-3000	5	82t		PHC B型	500φ	7.0m	PHC A型	500φ	12.0m	19.0m	-3000	4	110t
	PHC B型	500φ	7.0m	PHC A型	500φ	10.0m	17.0m	-3000	3	82t		PHC B型	500φ	7.0m	PHC A型	500φ	11.0m 9.0m 16.0m	18.0m 16.0m	-3000	13 5	110t
	PHC B型	500φ	14.0m	――	――	――	14.0m	-3000	10	82t		PHC B型	500φ	14.0m	――	――	――	14.0m	-3000	2	110t
	PHC B型	500φ	7.0m	PHC A型	500φ	11.0m	18.0m	-2650	8	82t		PHC B型	500φ	7.0m	PHC A型	500φ	12.0m	19.0m	-2850	3	110t
	PHC B型	500φ	7.0m	PHC A型	500φ	10.0m	17.0m	-2650	10	82t		PHC B型	500φ	7.0m	PHC A型	500φ	10.0m	17.0m	-2850	3	110t
	PHC B型	500φ	15.0m	――	――	――	15.0m	-2650	18	82t		PHC B型	500φ	7.0m	PHC A型	500φ	13.0m	20.0m	-2650	9	110t
	PHC B型	500φ	15.0m	――	――	――	13.0m	-2850	4	82t		PHC B型	500φ	7.0m	PHC A型	500φ	12.0m 10.0m 17.0m	19.0m 17.0m	-2650	26 12	110t
	PHC B型	500φ	7.0m	PHC A型	500φ	11.0m	18.0m	-1950	8	82t		PHC B型	500φ	15.0m	――	――	――	15.0m	-2650	32	110t
	PHC B型	500φ	7.0m	PHC A型	500φ	9.0m	16.0m	-1950	14	82t		PHC B型	500φ	7.0m	PHC A型	500φ	13.0m 11.0m 18.0m	20.0m 18.0m	-1550	9 3	110t
	PHC B型	500φ	7.0m	PHC A型	500φ	12.0m	19.0m	-1200	14	82t		PHC B型	500φ	7.0m	PHC A型	500φ	14.0m	21.0m	-1200	8	110t
	PHC B型	500φ	7.0m	PHC A型	500φ	11.0m	18.0m	-1200	24	82t		PHC B型	500φ	7.0m	PHC A型	500φ	13.0m 11.0m 18.0m	20.0m 18.0m	-1200	23 14	110t
	PHC B型	500φ	7.0m	PHC A型	500φ	9.0m	16.0m	-1200	36	82t		PHC B型	500φ	7.0m	PHC A型	500φ	9.0m	16.0m	-1200	30	110t
	PHC A型	400φ	7.0m	PHC A型	400φ	11.0m	18.0m	-1500	2	63t		PHC A型	400φ	7.0m	PHC A型	400φ	14.0m	21.0m	-900	2	77t
	PHC A型	400φ	7.0m	PHC A型	400φ	9.0m	16.0m	-1500	2	63t		PHC A型	400φ	7.0m	PHC A型	400φ	11.0m	18.0m	-900	2	77t
	PHC A型	400φ	7.0m	PHC A型	400φ	15.0m	22.0m	-660	3	63t		PHC A型	400φ	7.0m	PHC A型	400φ	15.0m	22.0m	-660	19	77t
												PHC A型	400φ	7.0m	PHC A型	400φ	10.0m	17.0m	-660	28	77t
												PHC A型	400φ	7.0m	PHC A型	400φ	15.0m	22.0m	-900	1	77t

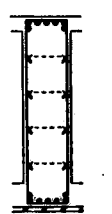
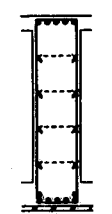
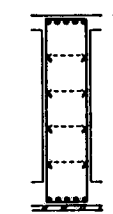
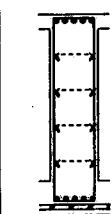
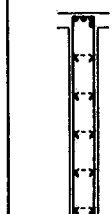
※杭間の実長は図面に依る。 TOTAL 560本

基礎梁リスト 8=1:40

特記なき限り次の通りとする
巾止筋は D10-@1000

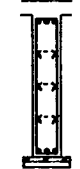
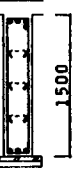
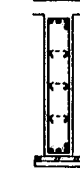
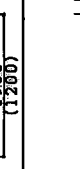
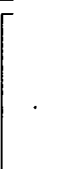
特 号	FB1(B)	FB2		FB3 (FB3A)		FB4		FG1 (FG1A) (FG1B)	FG2 (FG2A)			FG3			FG4		
位 置	全断面	両端	中央	両端 (全断面)	中央	両端	中央	全断面	⑧⑨通り端	中央	他端	内端	中央	外端	内端	中央	外端
断面																	
上端筋	5 - D25	7 - D25	5 - D25	11 - D25 (14-D25)	7 - D25	8 - D25	7 - D25	(6)5 - D25	(7)6 - D25	(4)3 - D25	(5)4 - D25	7 - D25	4 - D25	4 - D25	8 - D25	5 - D25	5 - D25
下端筋	5 - D25	5 - D25	5 - D25	7 - D25 (14-D25)	9 - D25	8 - D25	7 - D25	(6)5 - D25	(4)3 - D25	(5)4 - D25	(4)3 - D25	4 - D25	7 - D25	4 - D25	5 - D25	6 - D25	4 - D25
スターラップ	2-D13 @200	2-D13 @200		2-D13 @150		2-D13 @200		2-D13 @200	2-D13 @200			2-D13 @200			2-D13 @150		
腰筋	6-D13	6-D13		6-D13		8-D13		6-D13	6-D13			6-D13			6-D10		
備考				()内はFB3Aを示す				()内はFG1Aを示す ()内はFG1Bを示す	()内はFG2Aを示す								

特 号	FG4A			FG4B			FG4C			FG5		FG6		
位 置	⑧通り端	中央	他端	内端	中央	外端	内端	中央	外端	両端	中央	FG5付端	中央	他端
断面														
上端筋	13 - D25	8 - D25	6 - D25	10 - D25	10 - D25	6 - D25	11 - D25	7 - D25	7 - D25	6 - D25	4 - D25	6 - D25	4 - D25	4 - D25
下端筋	8 - D25	8 - D25	6 - D25	10 - D25	10 - D25	6 - D25	7 - D25	11 - D25	7 - D25	4 - D25	5 - D25	4 - D25	4 - D25	4 - D25
スターラップ	3-D13 @150			2-D13 @150			3-D13 @200			2-D13 @200		2-D13 @200		
腰筋	6-D10			6-D10			6-D10			10-D13		12-D13		
備考														

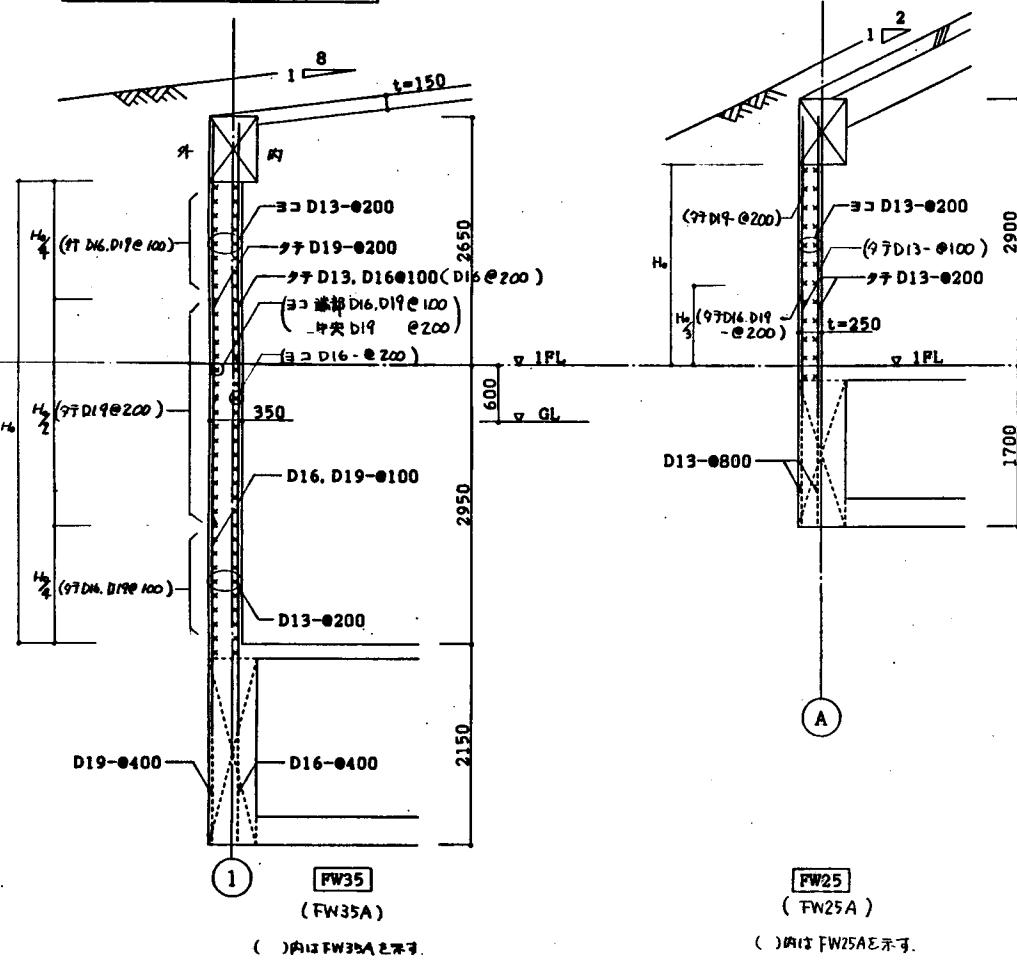
特 号	FG7			FG8	FB1A
位 置	内端	中央	外端	全断面	全断面
断面					
上端筋	7 - D25	5 - D25	5 - D25	5 - D25	4 - D25
下端筋	7 - D25	7 - D25	5 - D25	5 - D25	4 - D25
スターラップ	2-D13 @200			2-D13 @200	2-D13 @200
腰筋	8-D13			8-D13	12-D13
備考					

基礎小梁リスト 8=1:40

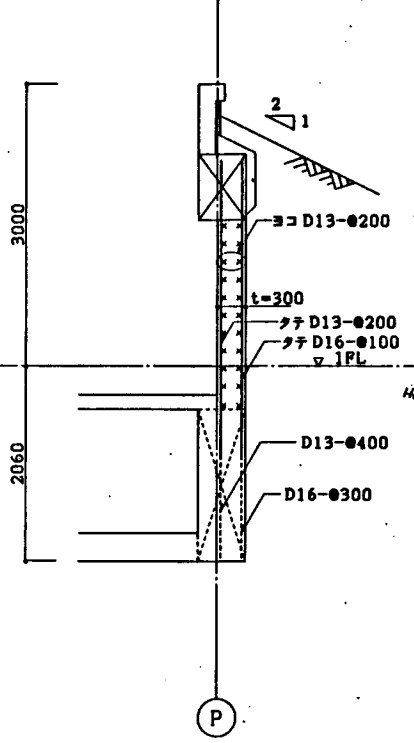
特記なき限り次の通りとする
巾止筋は D10-@1000

特 号	Fb1			Fb2 (Fb2A) (Fb2B)	Fb3 (Fb3A)		Fb4 (Fb4A)	Fb5 (Fb5A)		
位 置	外端	中央	内端	全断面	両端	中央	全断面	外端	中央	内端
断面										
上端筋	3 - D25	3 - D25	4 - D25	4 - D25	(4)5 - D25	(3)4 - D25	4 - D25	3 - D25	3 - D25	5 - D25
下端筋	3 - D25	4 - D25	3 - D25	4 - D25	(3)4 - D25	4 - D25	4 - D25	3 - D25	5 - D25	3 - D25
スターラップ	2-D13 @200			2-D13 @100	2-D13 @200		2-D13 @100	2-D13 @200 (@100)		
腰筋	6-D13			6-D13	(10)12-D13		12-D13	8-D13		
備考				()内はFb2Aを示す ()内はFb2Bを示す	()内はFb3Aを示す		()内はFb4Aを示す	()内はFb5Aを示す		

地下外壁リスト 1:40



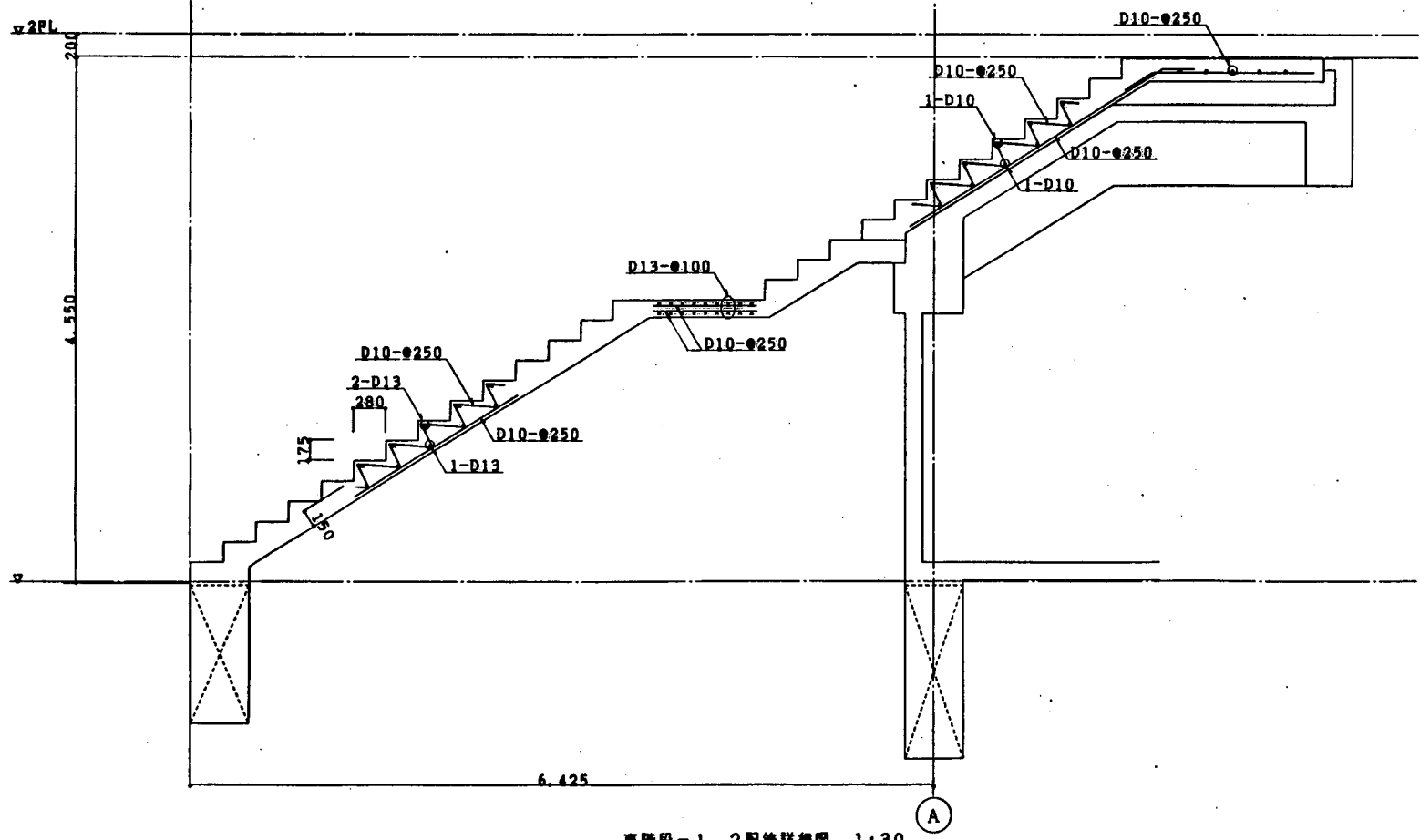
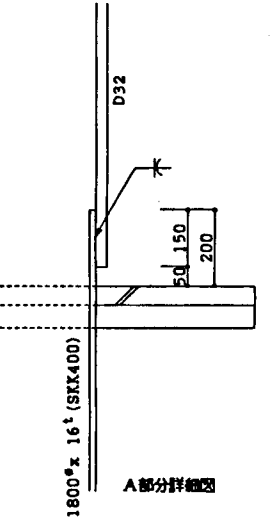
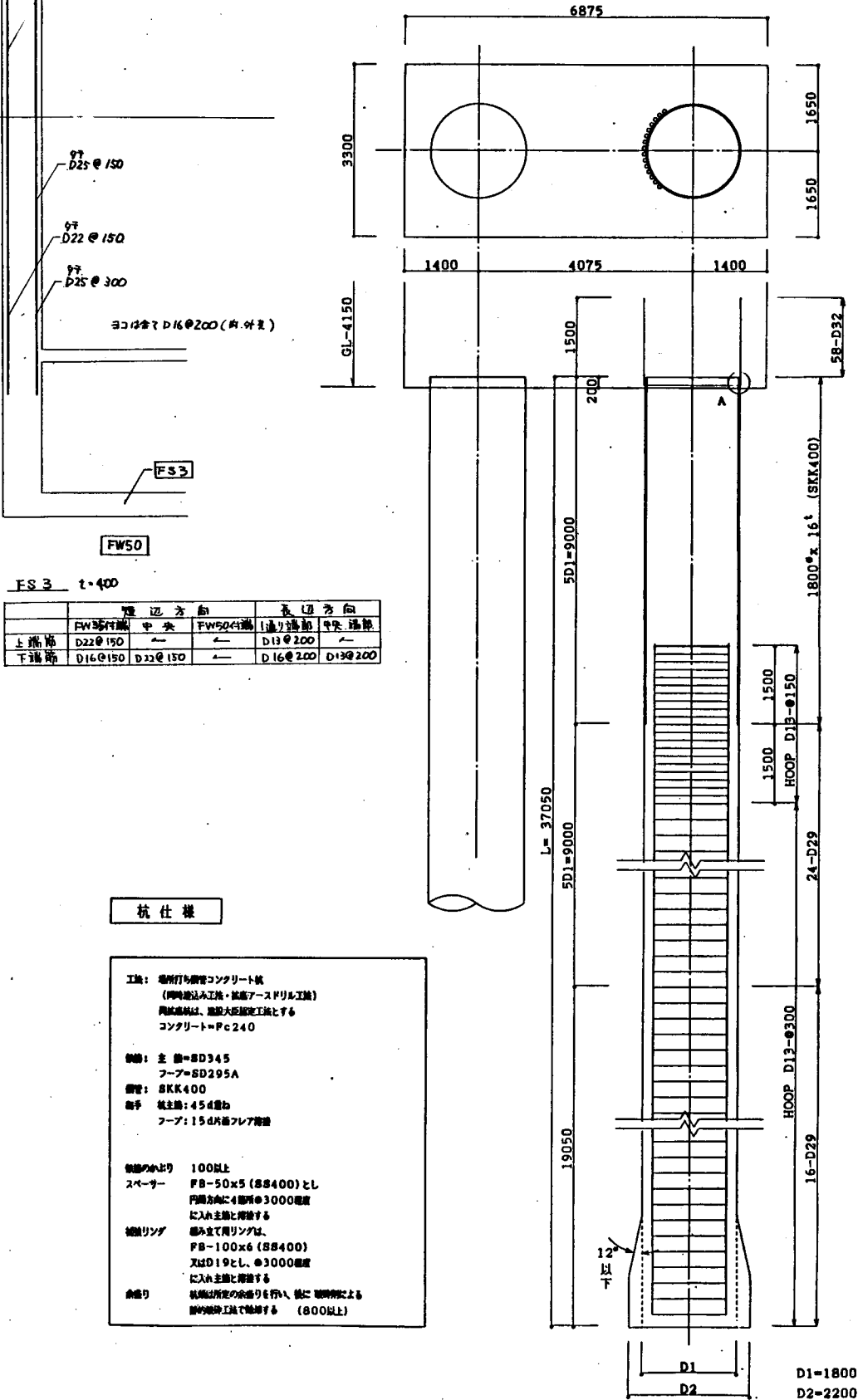
ドライエリア地下外壁 FW30



場所打鋼管コンクリート杭リスト

※杭底部標高は、設計値を示す。 施工値=設計値+100とする。

杭 種	杭 径		杭 耐力 (t)	本 数 (本)
	軸 部	杭 底 部		
C0	1800	2200	945	8



杭 仕 様

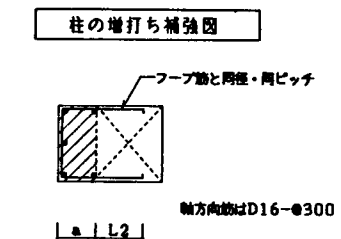
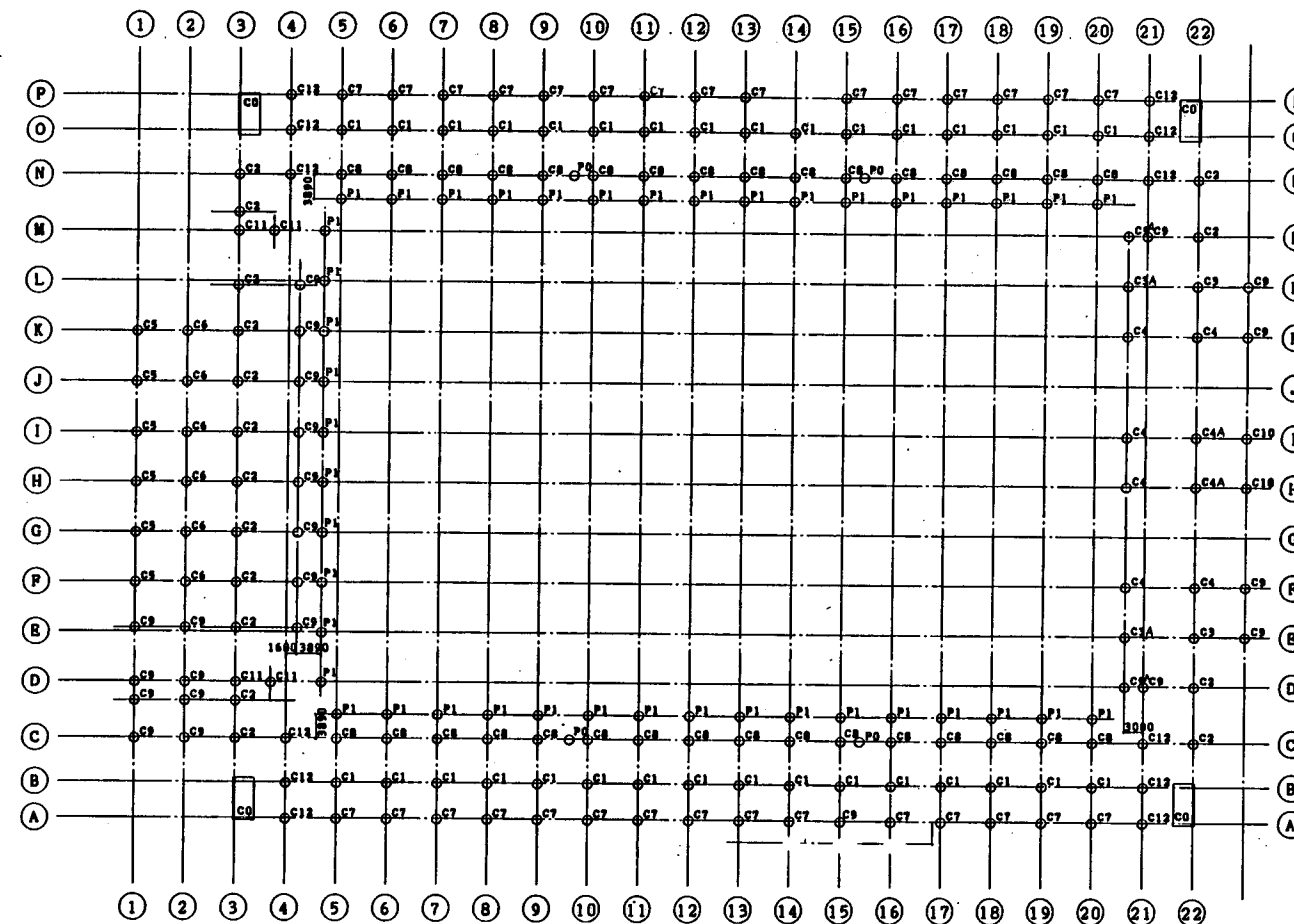
工法：場所打ち鋼管コンクリート杭
(同時並進法・低圧アースドリル工法)
内装部は、地盤大断面工法とする
コンクリート=Fc240

仕様：主 筋=SD345
アープ=SD295A
鋼管：SKK400
鋼管 杭主筋：454番
アープ：15d片筋フレア溶接

鋼管のめり 100以上
スベーク FB-50x5 (SKK400) とし
内装部は、地盤大断面工法とする
に入れ主筋と溶接する

鋼管リング 鋼管リングは、
FB-100x6 (SKK400)
又はD19とし、@3000程度
に入れ主筋と溶接する

めり 杭管は所定のめりを行い、後に現場検査による
めり検査工法で検査する (800以上)



柱キープラン

柱リスト S=1:40

共通事項：特記なきHOOPはスパイラルフープとする
(△は、要ね筋を示す)

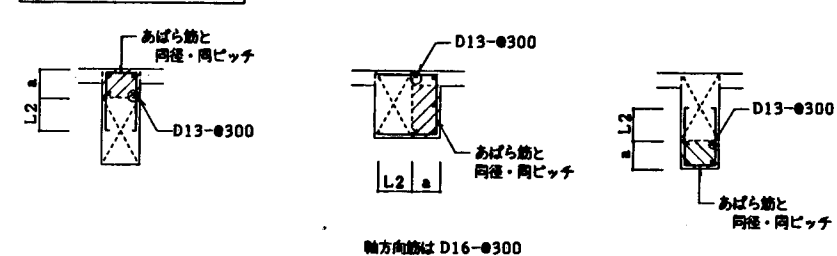
符号	C1	C2	C3 (C3A)	C4 (C4A)	C5	C6	C7	C8	C9 (C9A)	C10
1F 階										
主筋	16 - D25	16 - D25	20 - D25	22 - D25	16 - D25	20 - D25	12 - D22	10 - D22	12 - D25	8 - D25
フープ	□ - D13 @100	□ - D13 @100	□ - D13 @100	□ - D13 @100	□ - D13 @100	□ - D13 @100	□ - D13 @100	□ - D13 @100	□ - D13 @100	○ - D13 @100
備考			△◇はそれぞれC3Aの柱筋、柱ね筋を示す。	△◇はそれぞれC4Aの柱筋、柱ね筋を示す。					△◇はそれぞれC9Aの柱筋、柱ね筋を示す。	
符号	C11	C12				P0	P1			
1F 階										
主筋	12 - D25	24 - D25				4 - D22	10 - D22			
フープ	○ - D13 @100	□ - D13 @100				□ - D13 @200	□ - D13 @200			
備考										

大梁リスト S=1:40

特記なき限り次の通りとする
巾止筋は D10-@1000

符 号	B1(B1A)	B2(B2A)	B3(B3A)	B4	B5	B6A, (B6B)	B7	B8
位 置	全断面	両端 中央	両端 中央	内端 中央 外端	内端 中央 外端	③通り端 中央 他端	B6梁付端(片持梁付端) 中央 他端	全断面
2F 階	 [700] [400] (500)	 [700] [400] (500)	 [950] [450]	 [1100] [500]	 [1100] [600]	 [800] [500] 600	 [800] [400]	 [700] [600]
上 端 筋	(4)3 - D22	5 - D22 (4)3 - D22	7(3) - D25 (4)3 - D25	7 - D25 5 - D25 6 - D25	9 - D25 7 - D25 8 - D25	9(7) - D25 7(4) - D25 9(7) - D25	()内は片持梁付端を示す 4 - D25 (5-D25) 3 - D25 3 - D25	14 - D25
下 端 筋	(4)3 - D22	(4)3 - D22 (4)3 - D22	4(3) - D25 5(3) - D25	5 - D25 6 - D25 4 - D25	7 - D25 7 - D25 6 - D25	9(7) - D25 7(5) - D25 9(7) - D25	3 - D25 3 - D25 3 - D25	14 - D25
スタールアップ	2-D13 @200	2-D13 @200	2-D13 @200	2-D13 @150	2-D13 @150	2-D13 @150	2-D13 @200	2-D13 @150
腰 筋	2-D10	2-D10	4-D10	4-D10	4-D10	4-D10	2-D10	2-D10
備 考	()内はB1Aを示す	()内はB2Aを示す	()内はB3Aを示す			()内はB6Bを示す		
符 号	G1	G2	G3	G4	G5	G6	G7(G7A)	
位 置	両端 中央	G1梁付端(片持梁付端) 中央 他端	③通り端 中央 他端	③通り端 中央 他端	内端 中央 外端	全断面	全断面	
2F 階	 [800] [400]	 [800] [400]	 [700] [400]	 [700] [400]	 [800] [450]	 [800] [450]	 [700] [400]	
上 端 筋	4 - D25 3 - D25	4 - D25 (5-D25) 3 - D25 3 - D25	4 - D25 3 - D25 4 - D25	4 - D25 3 - D25 4 - D25	5 - D25 3 - D25 3 - D25	3 - D25 3 - D25	3 - D25	
下 端 筋	3 - D25 3 - D25	3 - D25 3 - D25 3 - D25	3 - D25 4 - D25 3 - D25	3 - D25 4 - D25 3 - D25	3 - D25 4 - D25 3 - D25	3 - D25 3 - D25	3 - D25	
スタールアップ	2-D13 @200	2-D13 @200	2-D13 @200	2-D13 @200	2-D13 @200	2-D13 @200	2-D13 @200	
腰 筋	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	
備 考							()内はG7Aを示す	
符 号	VB1	B9						
位 置	両端 中央	端部 中央						
2F 階	 [700] [1500]	 [750] [400]						
上 端 筋	11 - D25 8 - D25	6 - D25 3 - D25						
下 端 筋	8 - D25 8 - D25	4 - D25 4 - D25						
スタールアップ	5-D13@150	2 - D13@200						
腰 筋	2-D10	2 - D10						
備 考								

梁の増打ち補強図



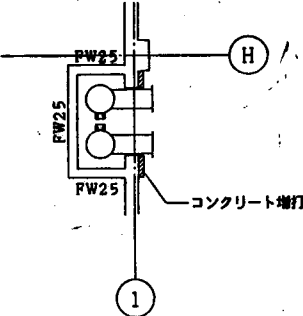
軸方向筋は D16-@300

片持ち梁リスト S=1:40

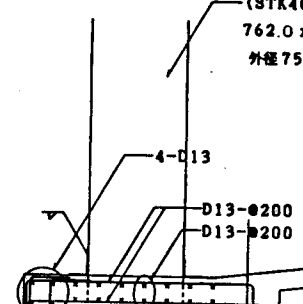
特記なき限り次の通りとする
巾止筋は D10-@1000

符 号	CB1	CB2	CG1	CG2	CG3	CFG1	
位 置	基端 先端	基端 先端	基端 先端	基端 先端	基端 先端	基端 先端	
断面	 [750] [400]	 [800] [400]	 [750] [400]	 [800] [400]	 [800] [450]	 [1500] [500]	
上 端 筋	5 - D25 3 - D25	5 - D25 3 - D25	5 - D25 3 - D25	5 - D25 3 - D25	5 - D25 3 - D25	5 - D25 3 - D25	
下 端 筋	3 - D25 3 - D25	3 - D25 3 - D25	3 - D25 3 - D25	3 - D25 3 - D25	3 - D25 3 - D25	3 - D25 3 - D25	
スタールアップ	2-D13 @200	2-D13 @200	2-D13 @200	2-D13 @200	2-D13 @200	2-D13 @200	
腰 筋	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	6-D13	
備 考							

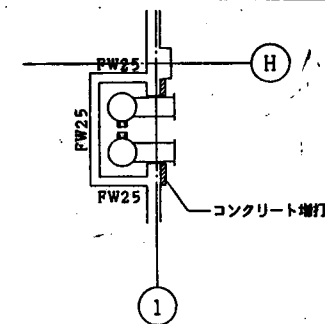
符 号	b0	b1			b2 (b2A)			b3		b4 (b4A)			b5			b6			
位 置	全断面	外端	中央	内端	外端 (他筋)	中央	内端 (b2筋)	両端	中央	外端	中央	内端	b4付端	中央	他端	外端	中央	内端	
断 面																			
	b0d			400			400		400			350			350			350	
	上 端 筋	3 - D19	4 - D22	4 - D22	6 - D22	(3)4 - D22	4 - D22	6 - D22	6 - D22	4 - D22	3 - D22	3 - D22	5 - D22	5 - D22	3 - D22	4 - D22	3 - D22	3 - D22	4 - D22
	下 端 筋	3 - D19	4 - D22	6 - D22	4 - D22	3 - D22	(4)6 - D22	4 - D22	4 - D22	4 - D22	3 - D22	(4)3 - D22	3 - D22	3 - D22	3 - D22	3 - D22	3 - D22	4 - D22	3 - D22
スチールアップ	2-D10 @200		2-D10 @150			2-D10 @150		2-D10 @150		2-D10 @200		2-D10 @200		2-D10 @200		2-D10 @200		2-D10 @200	
腰 筋			2-D10			2-D10		2-D10		2-D10		2-D10		2-D10		2-D10		2-D10	
備 考					()内は b2Aと示す					()内は b4Aと示す									
符 号	Tb0	Tb1			Tb2 (Tb2A)			Tb3		Tb4			Tb5		Tb6				
位 置	全断面	外端	中央	内端	外端	中央	内端	外端	中央	外端	中央	内端	両端	中央	外端	中央	内端		
断 面																			
	b0d			400			400		400			350		350			350		
	上 端 筋	3 - D19	4 - D22	4 - D22	6 - D22	3 - D22	3 - D22	6 - D22	3 - D22	3 - D22	3 - D22	3 - D22	5 - D22	4 - D22	3 - D22	3 - D22	3 - D22	4 - D22	
	下 端 筋	3 - D19	4 - D22	6 - D22	4 - D22	3 - D22	(6)4 - D22	3 - D22	3 - D22	4 - D22	3 - D22	4 - D22	3 - D22	3 - D22	4 - D22	3 - D22	4 - D22	3 - D22	
スチールアップ	2-D10 @200		2-D10 @150			2-D10 @150		2-D10 @150		2-D10 @200		2-D10 @200		2-D10 @200		2-D10 @200			
腰 筋			2-D10			2-D10		2-D10		2-D10		2-D10		2-D10		2-D10			
備 考					()内は Tb2Aと示す														
符 号	Tb6A	b8		b9															
位 置	全断面	全断面		全断面															
断 面																			
	350	300		300															
	上 端 筋	2 - D19	3 - D22	3 - D22															
	下 端 筋	2 - D19	3 - D22	3 - D22															
スチールアップ	2-D10 @200	2 - D13 @150	2 - D10 @200																
腰 筋	2-D10	2 - D10	2 - D10																
備 考																			



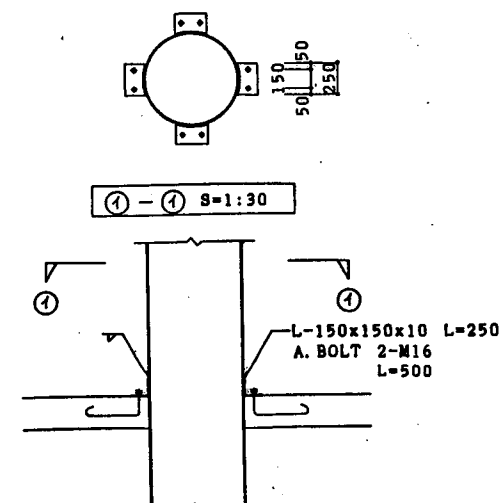
排気筒平面図 1/100



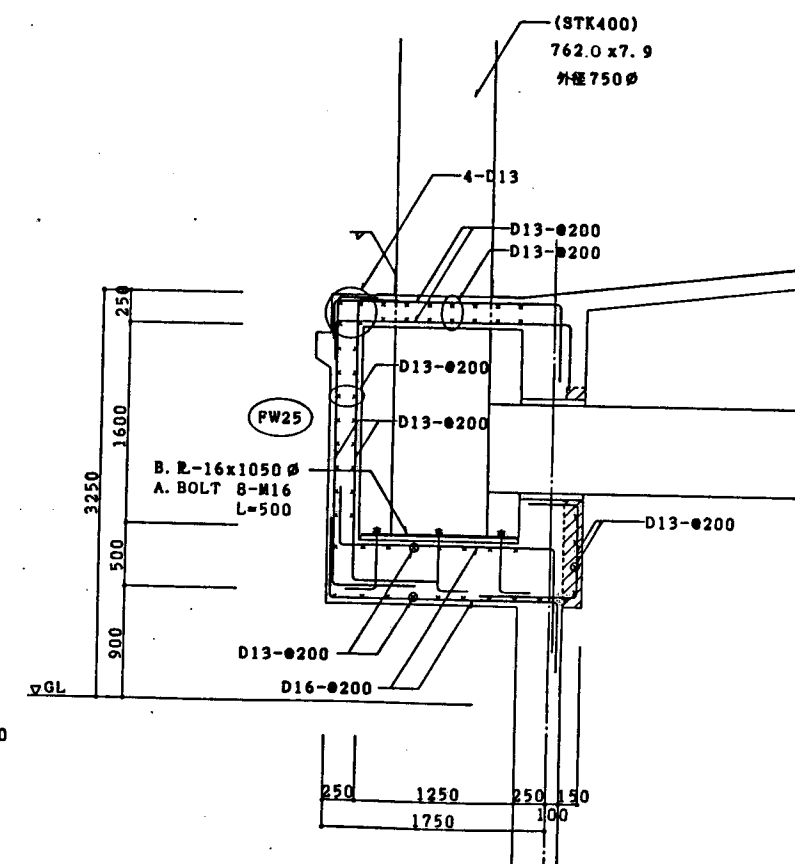
(STK400)
762.0 x 7.9
外径 750φ



排気筒平面図 S=1:100

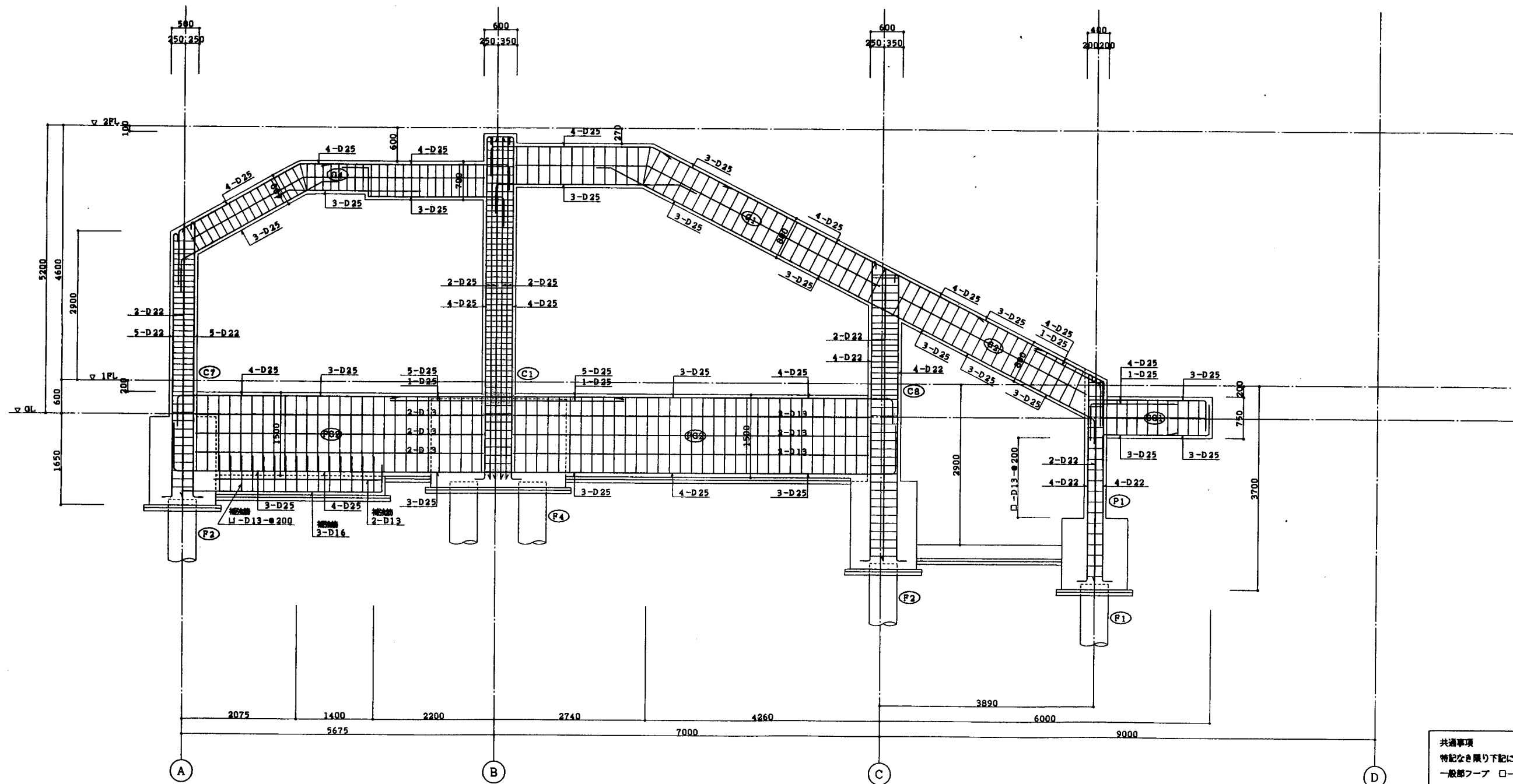


①-① S=1:30



排気筒配筋詳細図 S=1:30

符 号	TCb1		TCb2		
位 置	基端	先端	基端	先端	
断面					
		350		400	
上 端 筋	4 - D22	3 - D22	6 - D22	4 - D22	
下 端 筋	3 - D22	3 - D22	4 - D22	4 - D22	
スチールアップ	2-D10 @200		2-D10 @150		
腰 筋	2-D10		2-D10		
備 考					



18通りラーメン配筋詳細図 S=1:40

共通事項
 特記なき限り下記による
 一般部フープ □-D13-φ100
 仕口内フープ □-D13-φ150
 スターラップ □-D13-φ200
 腹筋 2-D10
 巾止め筋 D10-φ1000

プレストレストコンクリート工事仕様書

1 総則

1-1 適用の範囲

本工事は、設計図書並びに下記特記仕様書のほか、日本建築学会『建築工事標準仕様書鉄筋コンクリート工事（JASS5）』及び、同学会『プレストレストコンクリート設計施工標準・同解説』の規定による。また、これらに示されていない事項については、監理者の指示による。

1-2 構造方式

本構造の方式は、鉄筋コンクリート造（RC造）とプレストレストコンクリート造（PC造）とを組み合わせた「現場打ち一体式プレストレスト鉄筋コンクリート造」である。

1-3 プレストレス導入方式及び定着工法

プレストレス導入は、ポストテンション方式とする。

定着工法はKTB工法、KCL工法、VSL工法のいずれかとする。

1-4 PC工事施工業者

PC工事の施工については、PC専業者責任施工とする。

1-5 施工計画

施工の順序・方法・工程などの施工計画は工事着手前によく検討し、その計画書を管理者に提出して承認を受ける。

2 材料

2-1 鉄筋

JIS G3112熱間圧延棒鋼1種（SR235）及びJIS G3112熱間圧延異形棒鋼2種（SD295A）、同3種（SD345）の規格品とする。

2-2 PC鋼材

JIS G3536PC鋼より線（SWPR7B）の規格品とする。

(SWPR7B 7本より12.7φストランド)						
タイプ	より線本数 n (本)	鋼材断面 A (cm ²)	単位重量 w (kg/m)	引張強度 P ₀ (ton)	引張変位 P _y (ton)	備考
1	1	0.987	0.774	18.7	15.9	
	5	4.936	3.870	93.5	79.5	
	7	6.910	5.418	130.9	111.3	
012	8	7.897	6.192	149.4	127.2	
	9	8.884	6.966	168.3	143.1	
	10	9.871	7.740	187.0	159.0	
	11	10.858	8.514	205.7	174.9	
	12	11.845	9.288	224.4	190.8	

①P₀は、使用鋼材を示す。

2-3 セメント

JIS G5210普通ポルトランドセメントとする。

2-4 混和材料

コンクリート中に表面活性剤などの混和材料を用いる場合、その品質・使用量については、監理者の指示を受ける。

3 型枠

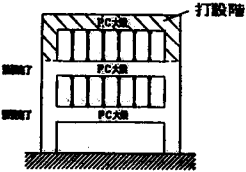
3-1 組立取り外し

1) 型枠は、プレストレス導入時のコンクリートのひずみを、拘束しないような構造とし、かつプレストレス導入に伴う反力分布の変化を、考慮して充分なる耐力となるよう留意する。

2) 型枠の存置期間は、PC部分ではプレストレスの導入完了までとする。

3) プレストレスを与える梁、スラブの型枠の支柱はプレストレスの導入が完了するまで取り外し及び重り換えを行わない。

4) コンクリート打設時の荷重は、その際のプレストレス導入まで直下階2層を受ける。



5) PC大梁のスリーブ貫通は、監理者の指示による。

6) 打ち込みの際セメントペーストが漏れることのないようにする。

7) PC造部分の型枠組み立て順序についてはPC鋼材の配置に影響され決定することが多いため充分注意する。

4 配筋及び配線

4-1 鉄筋

鉄筋は正確な配置をし、コンクリート打ちの際にくずれないように強固に組み立てを行なう。

4-2 PC鋼材

1) 緊張の定着具はコンクリート打ち込み前に型枠の内側に正確強固に取り付けることを原則とする。

2) グラウト用孔及び排気管にペーストがつかまらないよう充分に養生をしておく。

3) PC鋼材を露天に放置して錆を出さないようにする。

4) PC鋼材の加工組み立てを行なう場合、加熱又は溶接を行わない。

5) PC鋼材定着部の露出部はプレストレス導入後、すみやかに無収縮モルタル等で保護をする。

6) PC鋼材の配置後、コンクリート打ちに先だち監理者の検査を受ける。

5 コンクリート

5-1 品質

使用箇所	PC部分
設計基準強度	350 (240) kg/cm ²
プレストレス導入時圧縮強度	300 (210) kg/cm ² ※ 20℃以下の品質は別途要す。
スランプ	15cm以下とする。但し、流動化コンクリートの場合は、18cm以下とする。 (流動化剤使用時のベースコンクリートは、12cm以下とする。)

5-2 適用範囲

PC大梁及びそれに接続する梁、スラブ、柱とする。但し原則として柱部分は、PC大梁下端より300mm以上下がった所までとする。



5-3 テストヒース

コンクリート強度試験用供試体の採取、及び養生は次にによる。

	7日	プレストレス導入直前	28日	予備	合計
現場養生	3本	3本	3本	3本	12本
標準養生	-	-	3本	-	3本

5-4 コンクリート打設

- 1) PC鋼材・鉄筋・型枠及び定着具が移動したり損傷したりしないようにする。
- 2) PC鋼材のケーブルシース内にセメントペーストが入らないようにする。
- 3) ケーブルシースにはパイプブレーカーが直接触れないようにする。
- 4) コンクリート打ち込みは、打設箇所に来る限り近づけて垂直に打ち込み「片押し打ち」はさける。
- 5) 原則としてPC部におけるコンクリートの打ち継ぎは行わない。

6 緊張

6-1 準備

緊張装置は前もってキャリブレーションを行なっておき、コンクリートが所定の強度に達したことを確認の上で監理者の指示によりプレストレス導入作業を行なう。

6-2 順序

プレストレス導入順序は、局部的に完了してしまうことなく、構造全体にわたって進める。

6-3 緊張力

現場におけるPC鋼材の施工時緊張力は別途参照のこと。

6-4 導入力の監理

- 1) PC鋼材は、特記及び設計図書による緊張力が導入されるように緊張する。
- 2) 緊張管理・引き止め線の決定方法は、日本建築学会『プレストレストコンクリート設計施工標準・同解説』の31条に規定される方法によるものとする。

7 グラウティング

7-1 調合

グラウトの調合は重量比で次を標準とする。

ポルトランドセメント	100
水	45%以下
ボノリス	0.25
アルミニウム粉末	0.005

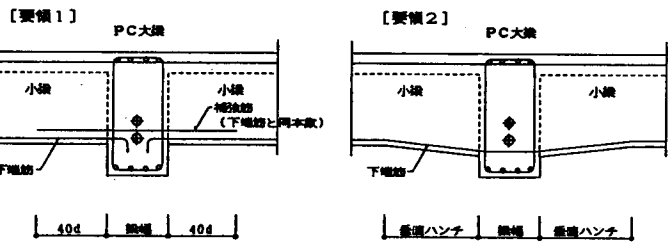
7-2 作業

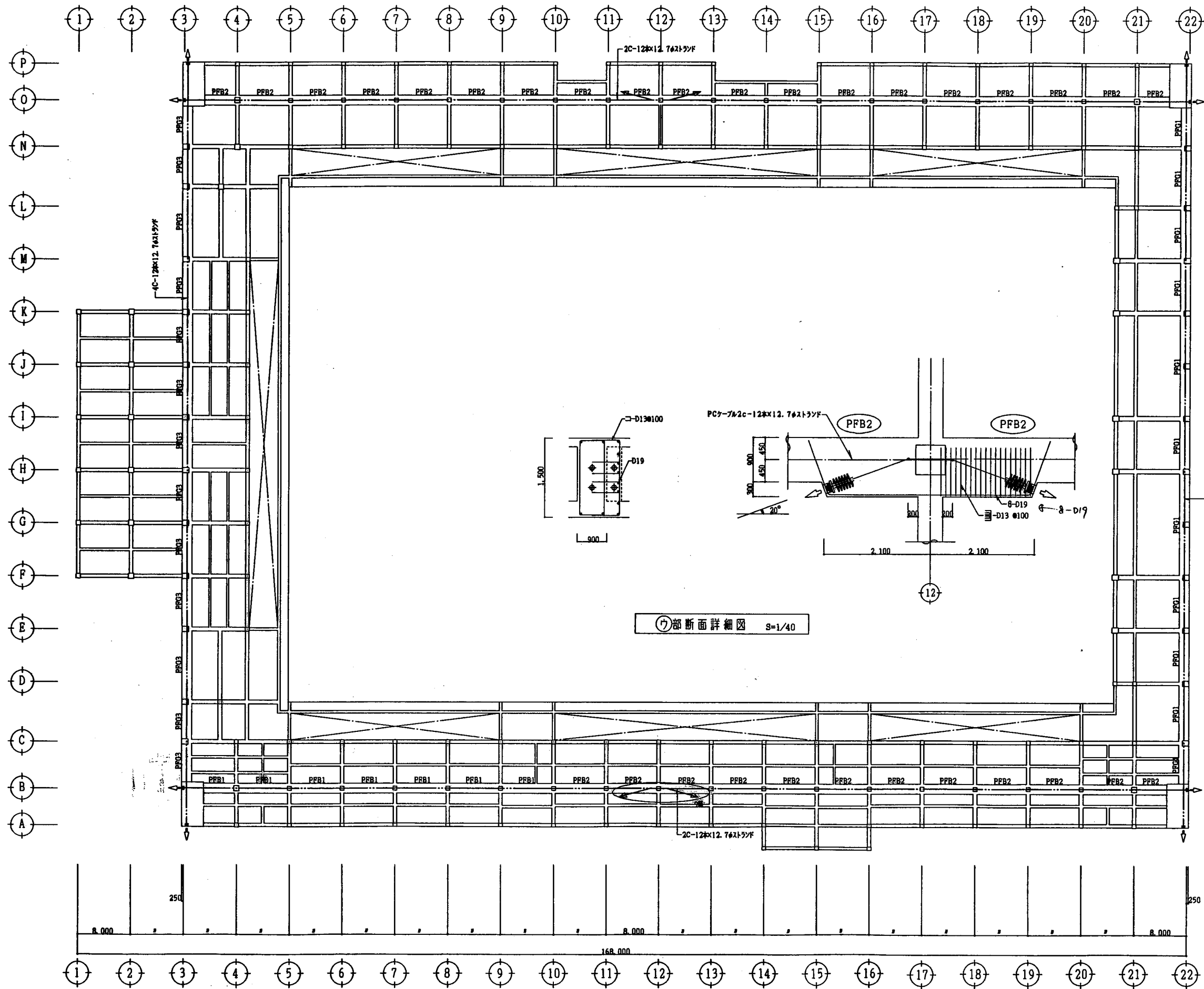
- 1) シース内の閉塞の有無を確認する。
- 2) グラウトの注入は、緊張作業終了後なるべく早期に行ない、PC鋼材を完全に包み、かつ排出口から一様なコンシステンシーのグラウトが十分流出するまで行なう。

プレストレストコンクリート試験結果			
コンクリート		PC鋼材 (SWPR7B-12.7φ)	
設計基準圧縮強度	350.0 (240.0) kg/cm ²	使用鋼材	10本タイプ 12本タイプ
プレストレス導入時圧縮強度	300.0 (210.0) kg/cm ²	新設値	9.87 kg/cm ² 11.845 kg/cm ²
許容引張応力	197.5 kg/cm ²	引張強度	187.0 kg/cm ² 224.4 kg/cm ²
設計値	116.7 kg/cm ²	引張変位	159.0 kg/cm ² 190.8 kg/cm ²
引張強度	24.5 kg/cm ²	破断伸び	3.5 % 以上
許容引張応力	18.0 kg/cm ²	レラクゼーション	3.0 % 以下
設計値	11.6 kg/cm ²	断面積	1.95×10 ⁴ kg/cm ²
断面積	2.95×10 ⁴ kg/cm ²		

8-1 小梁の配筋が、PCケーブルにあたる場合

下図のいずれかの要領で対処する。





1階 KEY PLAN S=1/300

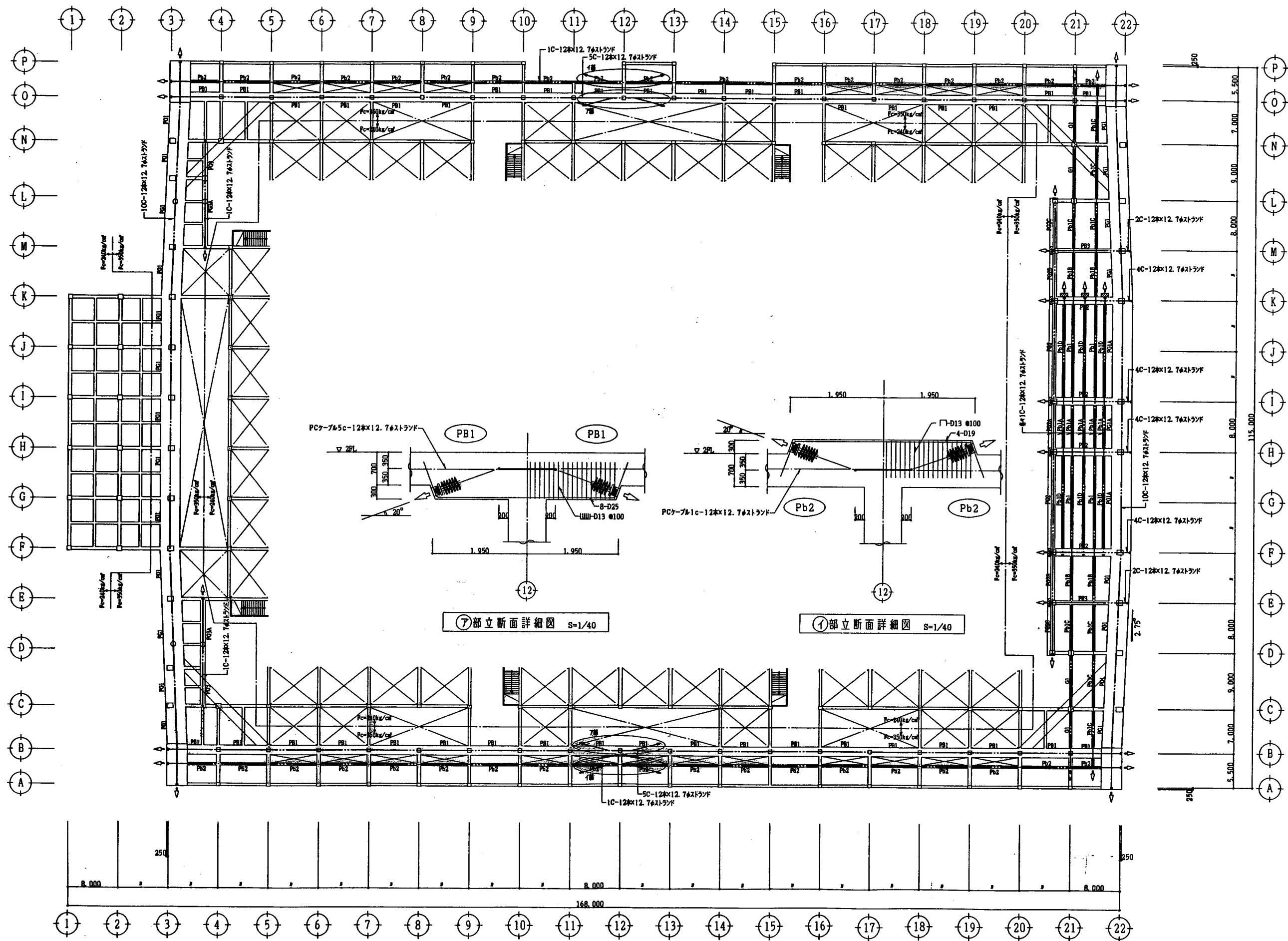
補記を要する 1. ①はPCケーブル位置を示す。
2. コンクリート強度は、 $f_c=240\text{kg/cm}^2$ とする。

久米設計・梓設計 設計共同企業体

94.12
194072

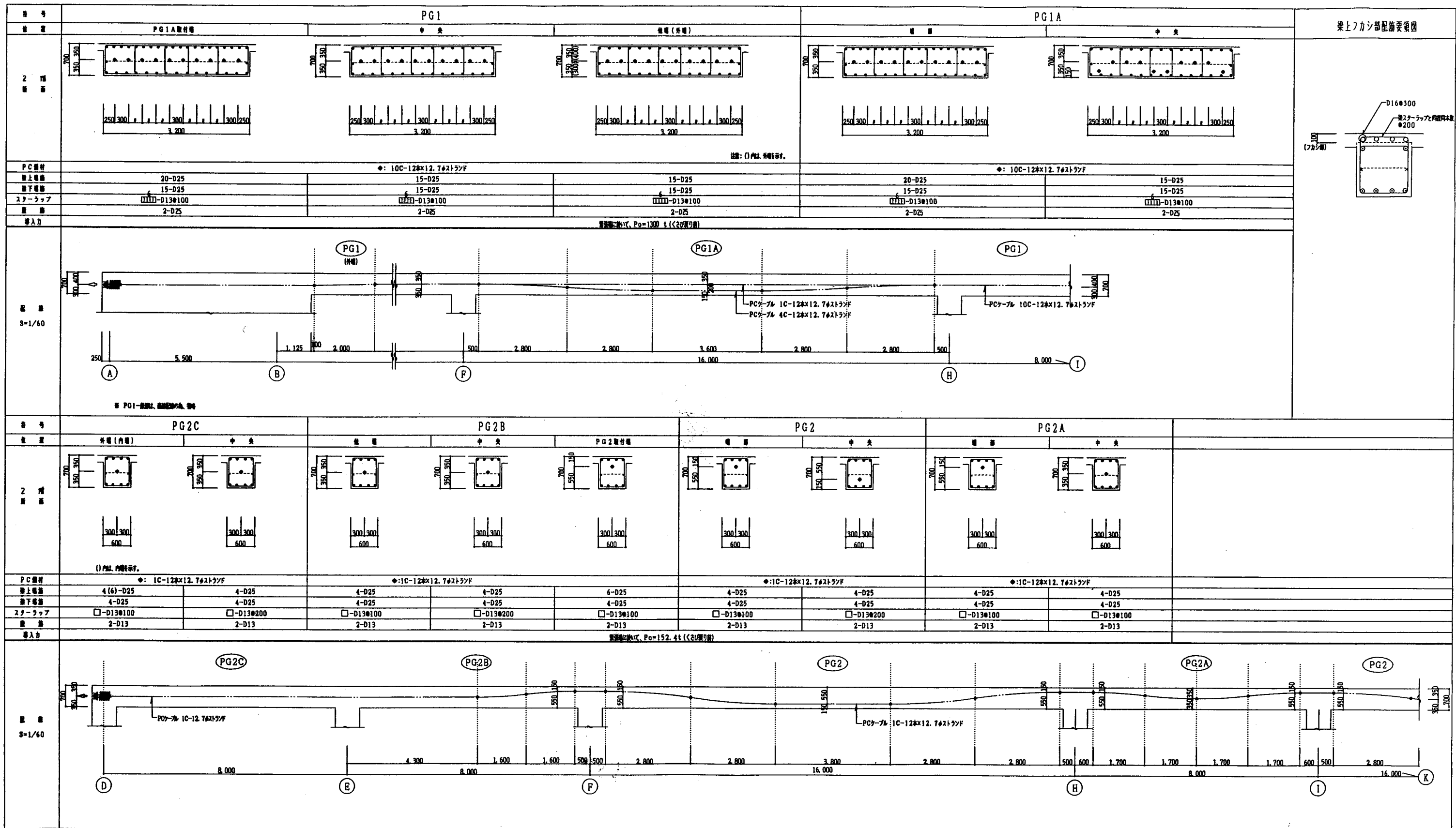
ドーム型多目的スポーツ施設建設工事(建築工事)
基礎PS梁キープラン

S-18
194072

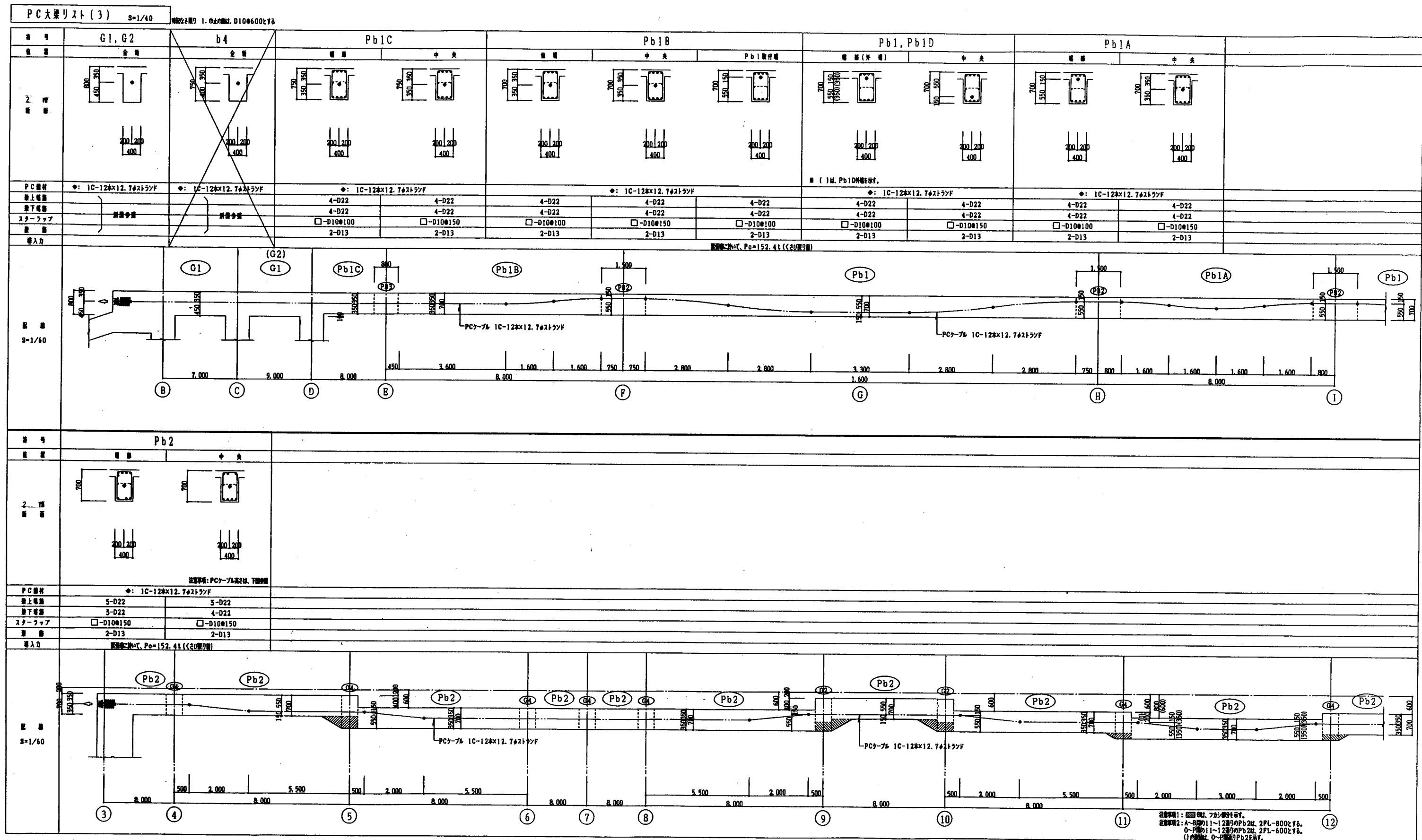


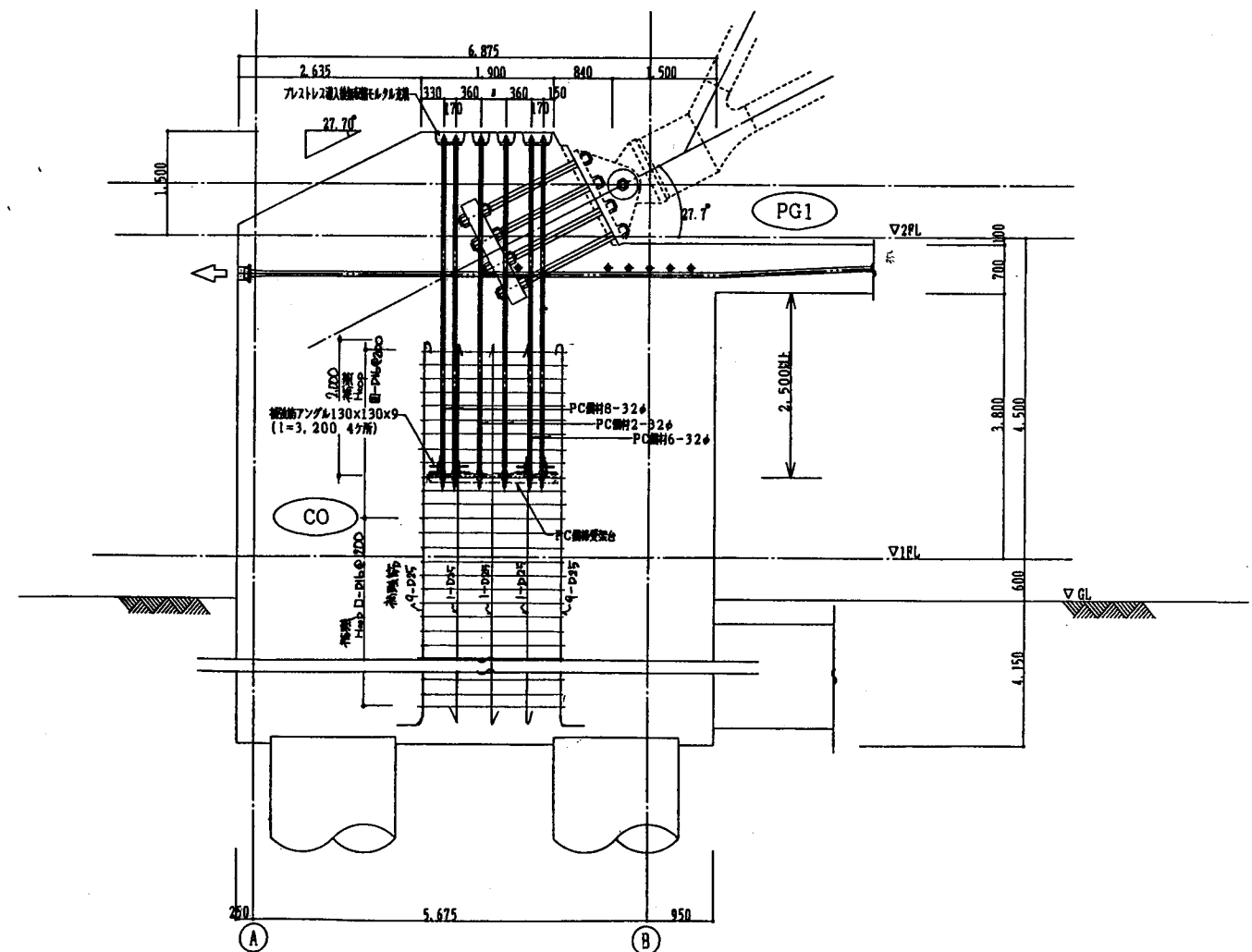
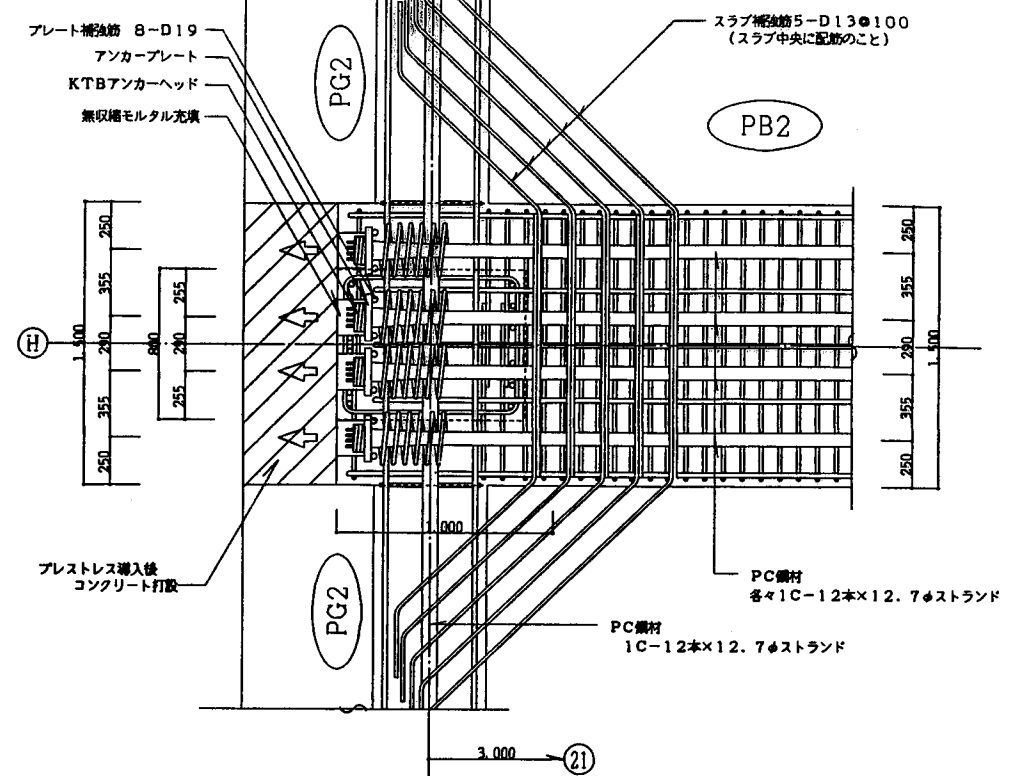
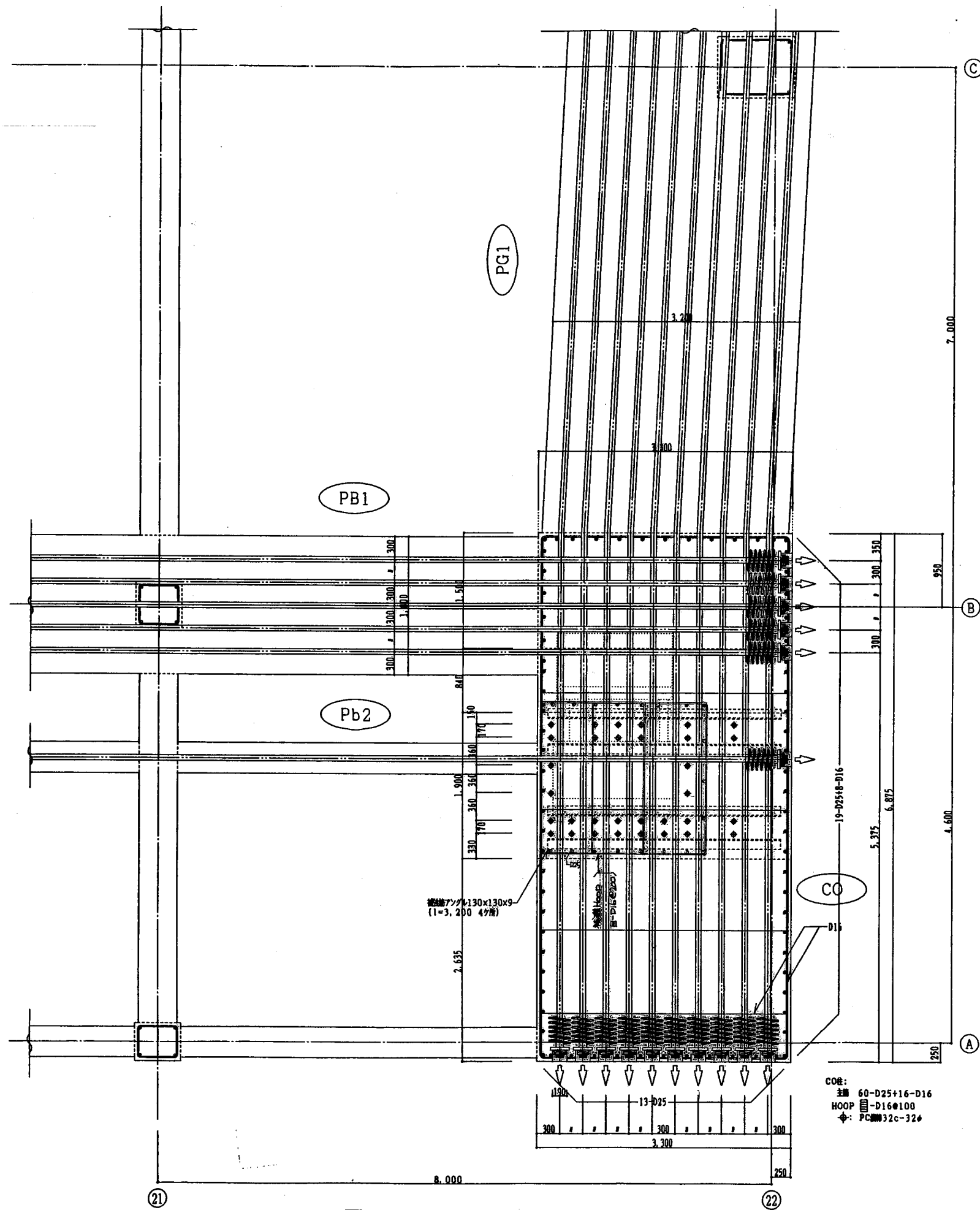
符 号	PFG1			PFG2			PFG3						
断 面	端 部		中 央	PFG1 取付端		中 央	他 端		端 部 (CO柱取付端)	中 央			
■ ■													
	◆: 4C-12本×12.7φストランド			◆: 4C-12本×12.7φストランド			◆: 4C-12本×12.7φストランド						
	筋上端筋		18-D25	9-D25	筋上端筋		15-D25	5-D25 (8-D25)	6-D25	筋上端筋		9-D25	7-D25
	筋下端筋		9-D25	15-D25	筋下端筋		8-D25	6-D25	5-D25	筋下端筋		(9) 6-D25	6-D25
スターアップ		□-D13 φ100	□-D13 φ100	スターアップ		□-D13 φ100	□-D13 φ100	□-D13 φ100	スターアップ		□-D13 φ100	□-D13 φ100	
筋 数		6-D13	6-D13	筋 数		6-D13	6-D13	6-D13	筋 数		6-D13	6-D13	
荷入力		Po=609.6t (施工時標準値にて)		荷入力		Po=609.6t (施工時標準値にて)		荷入力		Po=609.6t (施工時標準値にて)			
■ ■ S=1/60													

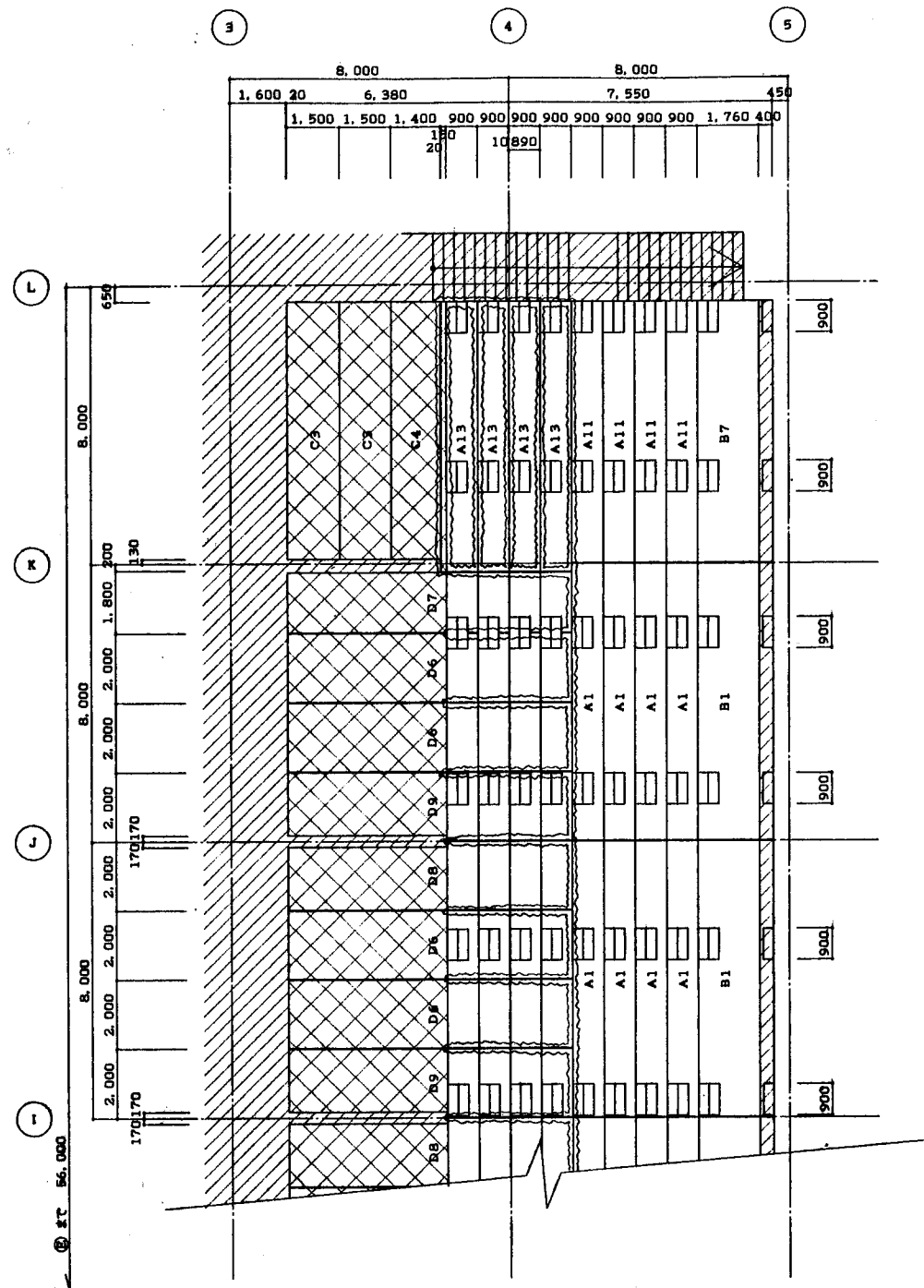
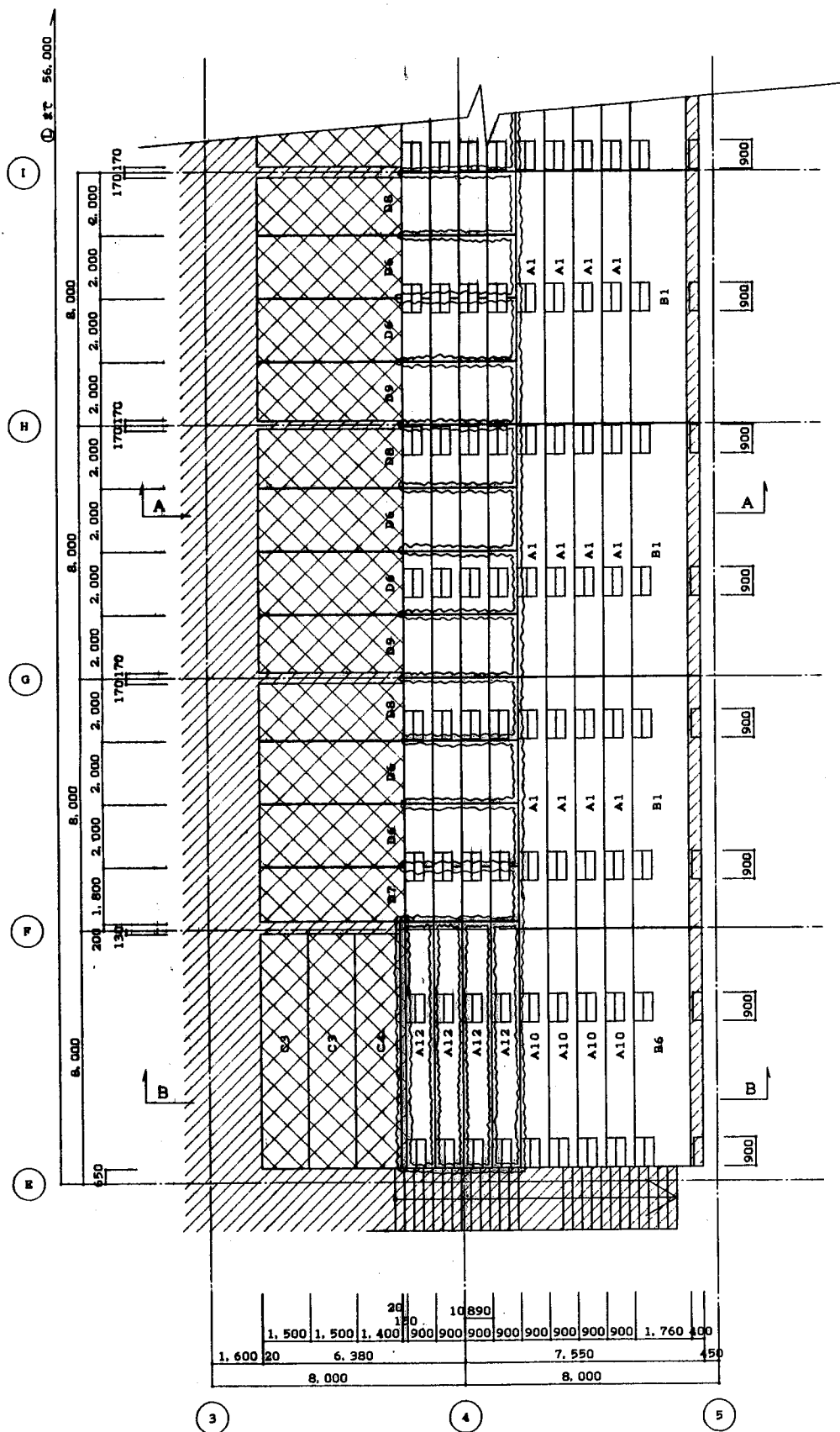
符 号	PFB1			PFB2						
断 面	CO柱 取付端		中 央	CO柱 取付端		中 央	他 端			
■ ■										
	◆: 2C-12本×12.7φストランド			◆: 2C-12本×12.7φストランド						
	筋上端筋		11-D25	6-D25	筋上端筋		9-D25	9-D25	5-D25	7-D25
	筋下端筋		11-D25	7-D25	筋下端筋		6-D25	9-D25	6-D25	5-D25
スターアップ		□-D13 φ100	□-D13 φ100	スターアップ		□-D13 φ100	□-D13 φ100	□-D13 φ100	□-D13 φ100	
筋 数		6-D13	6-D13	筋 数		6-D13	6-D13	6-D13	6-D13	
荷入力		Po=304.8t (施工時標準値にて)		荷入力		Po=304.8t (施工時標準値にて)				
■ ■ S=1/60										



PC梁リスト(2)						
S=1/40		断面図 1. 中央部は、D10φ600とす				
番号	PG3			PG3A		
位置	左端	中央	右端	左端	中央	右端
2. 断面図						
PC部材	◆: 1C-12本x12.7φストランド			◆: 1C-12本x12.7φストランド		
上端筋	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25
下端筋	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25
スタースラップ	□-D13φ100	□-D13φ200	□-D13φ100	□-D13φ100	□-D13φ200	□-D13φ100
継手	2-D13	2-D13	2-D13	2-D13	2-D13	2-D13
導入力	断面図に於いて、Po=152.4t(20t弱り部)					
3. 断面図						
番号	PB1		PB2		PB3	
位置	左端(外端)	中央	左端	中央	左端	中央
2. 断面図						
PC部材	◆: 5C-12本x12.7φストランド		◆: 4C-12本x12.7φストランド		◆: 2C-12本x12.7φストランド	
上端筋	15(17)-D25	8(10)-D25	8-D25	8-D25	6-D25	6-D25
下端筋	11(12)-D25	8(10)-D25	8-D25	8-D25	6-D25	6-D25
スタースラップ	□-D13 φ100	□-D13 φ150	□-D13 φ100	□-D13 φ150	□-D13 φ100	□-D13 φ150
継手	2-D25	2-D25	2-D25	2-D25	2-D19	2-D19
導入力	断面図に於いて、Po=762.0t(22t弱り部)		断面図に於いて、Po=609.6t(22t弱り部)		断面図に於いて、Po=304.8t(22t弱り部)	
3. 断面図						

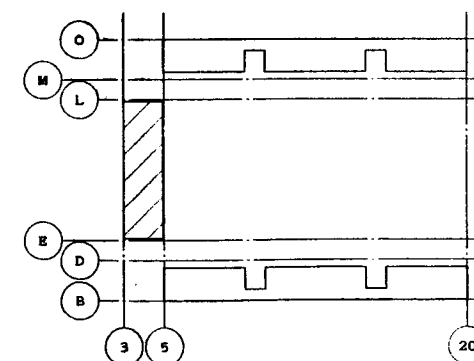






PC段床版配置図(1) 1/100

- ・ 斜線は現況打ちを示す。
- ・ 斜線は金網床版のトップコンクリートを示す。
- ・ 断面はK1とする。
- ・ 破線は、スヤ開にロックケーブルを添。



KEY PLAN

久米設計・梓設計 設計共同企業体

94.12

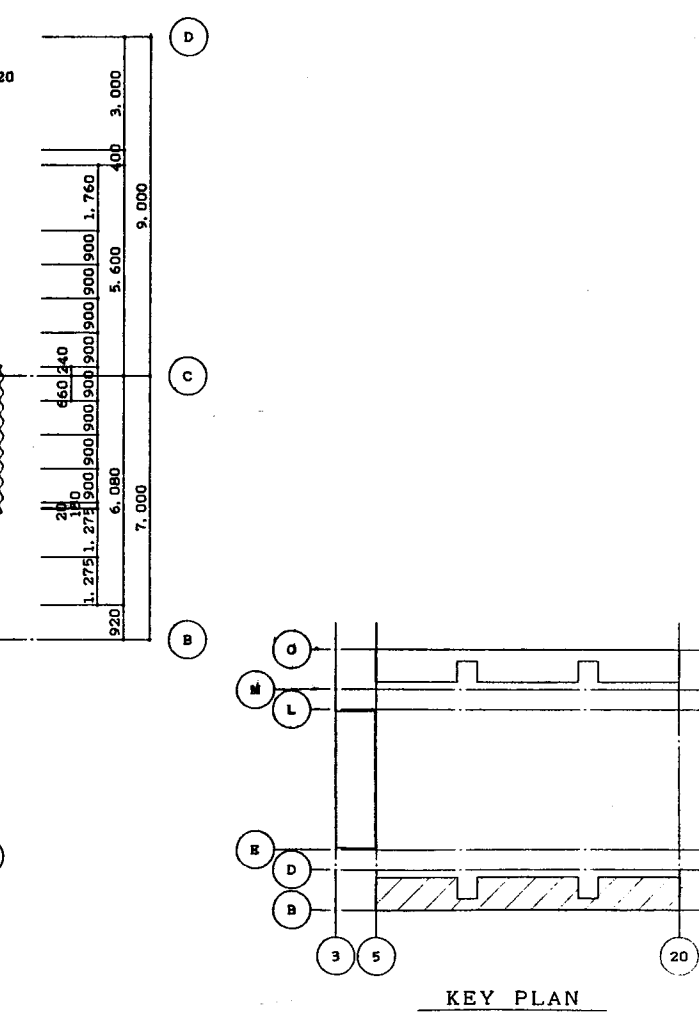
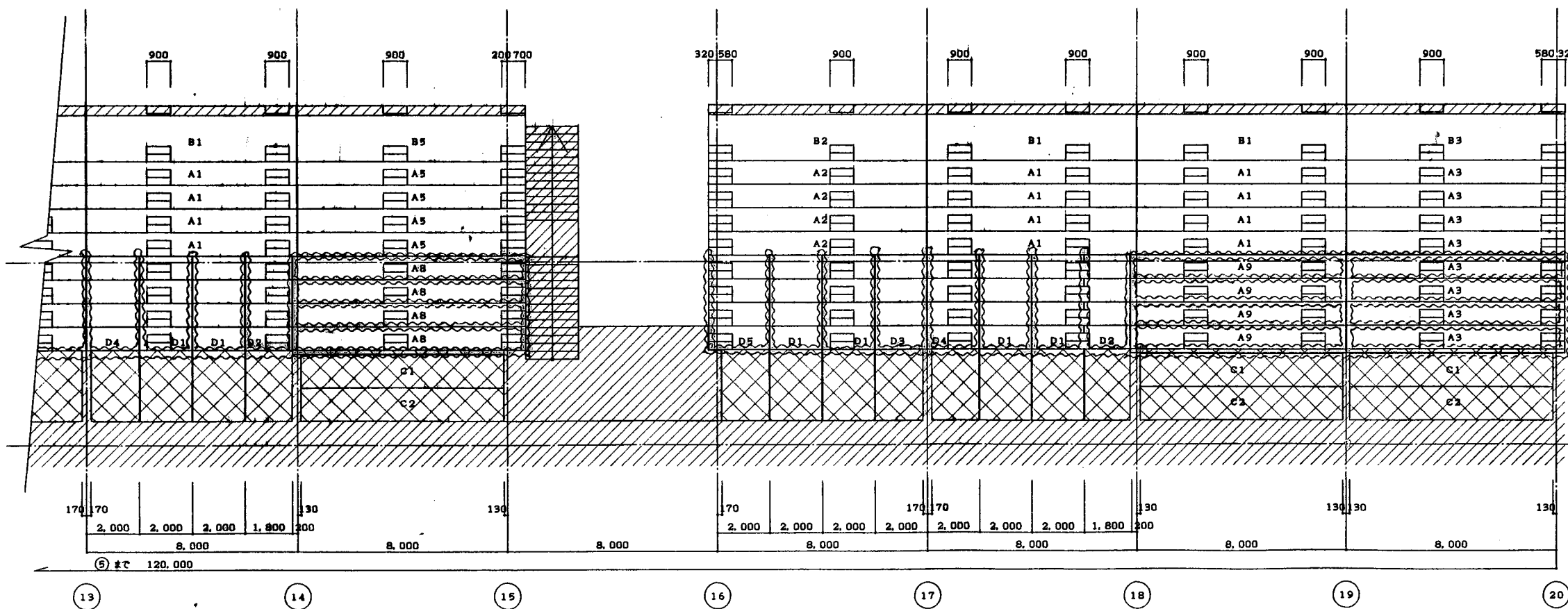
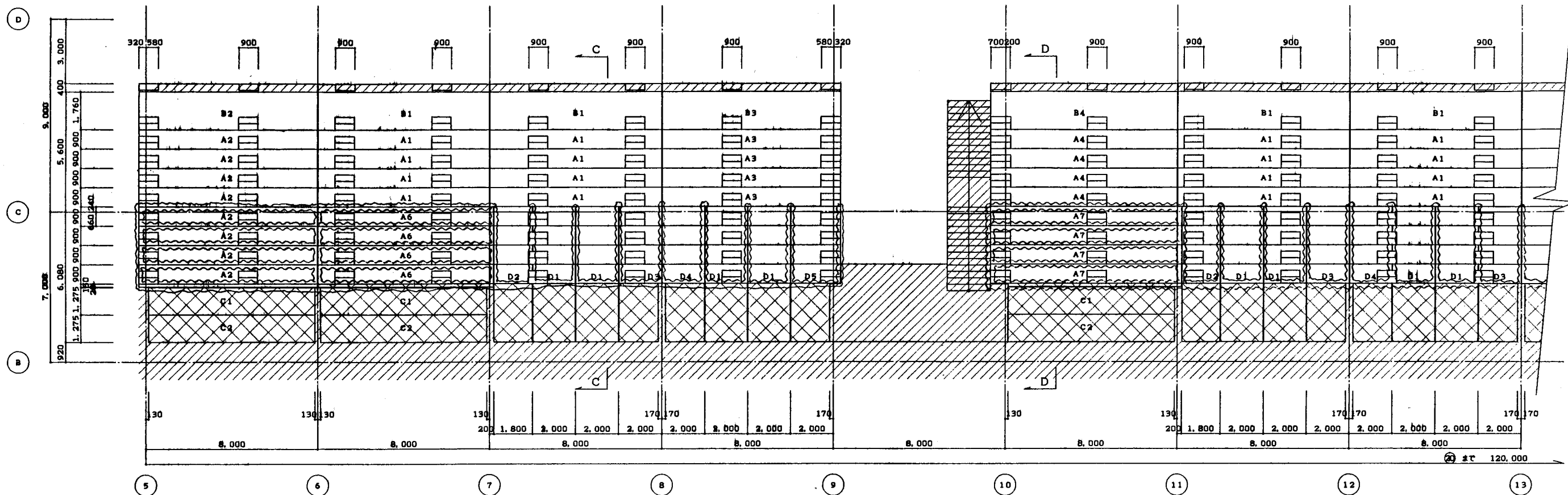
ドーム型多目的スポーツ施設建設工事(建築工事)

PC段床版配置図(1)

S=1:100

S-25

194072



PC段床版配置図(2) 1/100

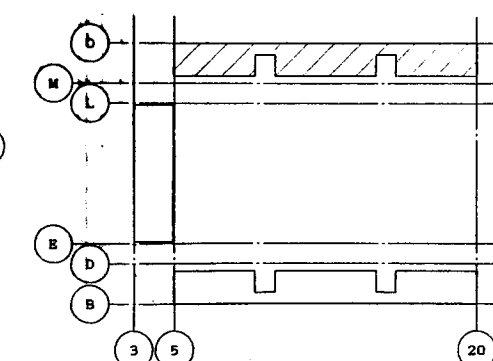
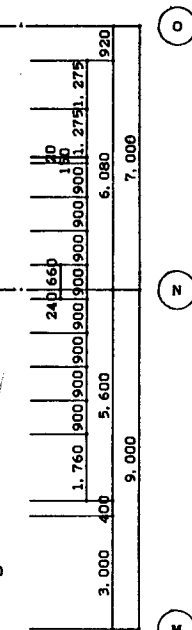
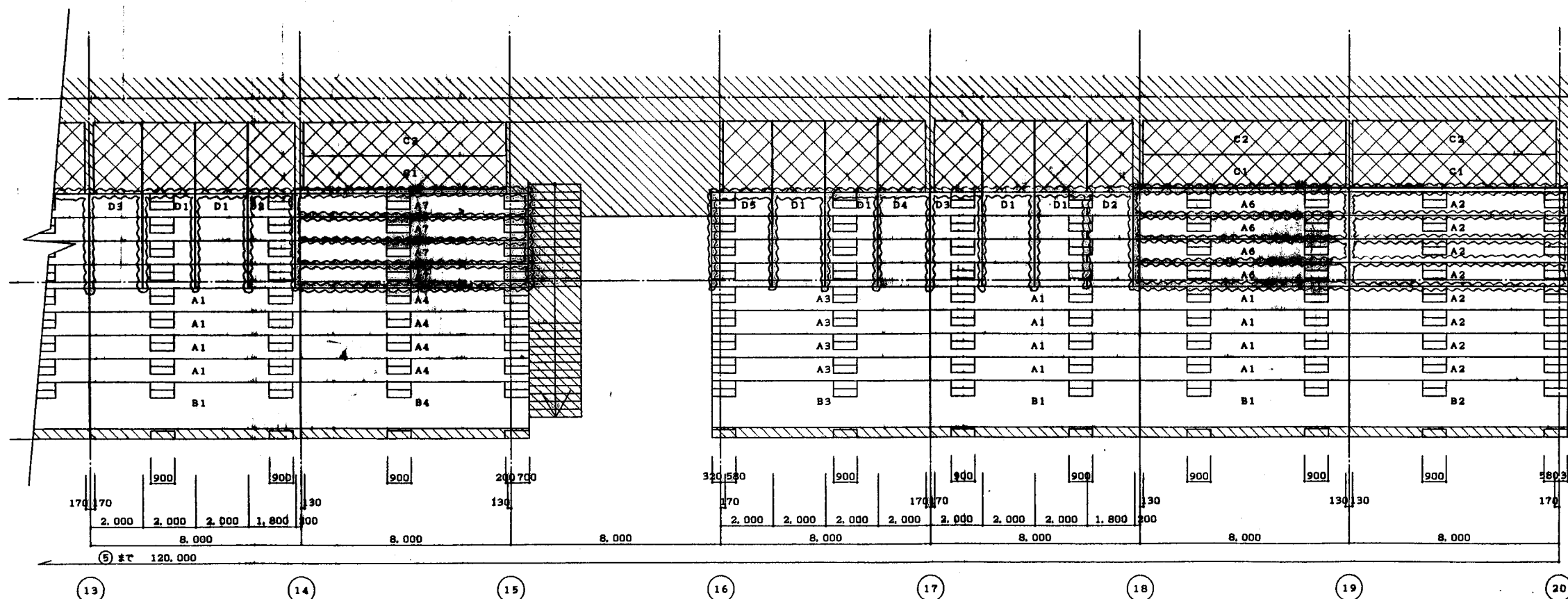
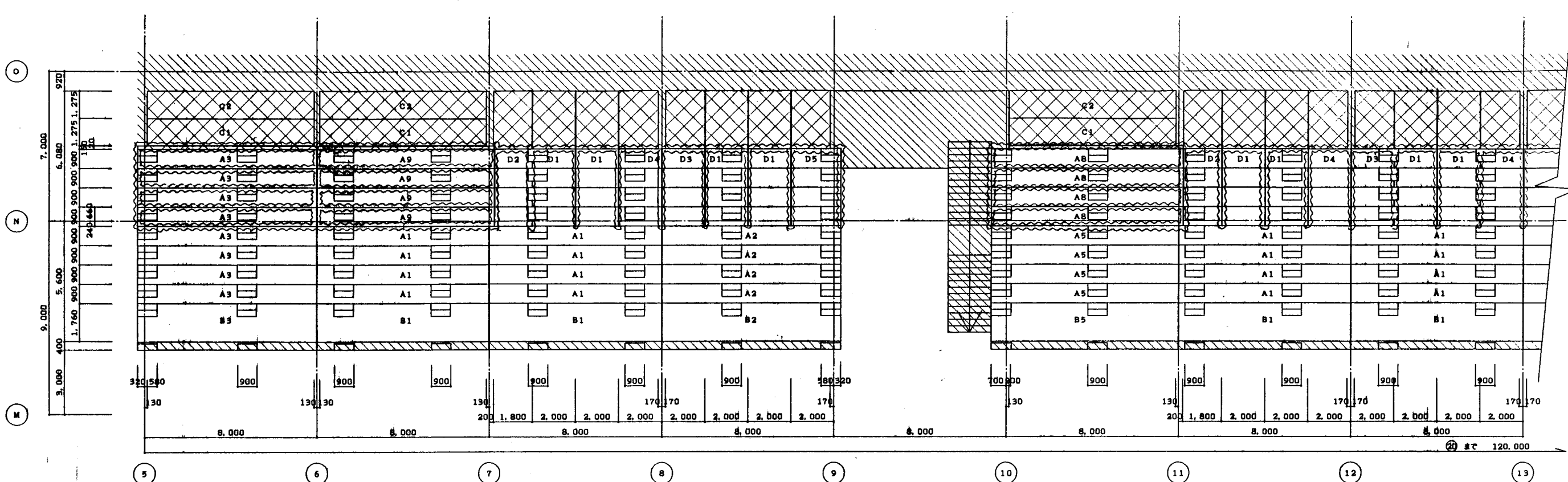
- ・ は現場打ちを示す。
- ・ は完成床版のトップコンクリートを示す。
- ・ 断面はK1とする。
- ・ は、スヤ面にロックウェルを施す。

久米設計・梓設計 設計共同企業体

94.12
PA
194072

ドーム型多目的スポーツ施設建設工事(建築工事)
PC段床版配置図(2) S=1:100

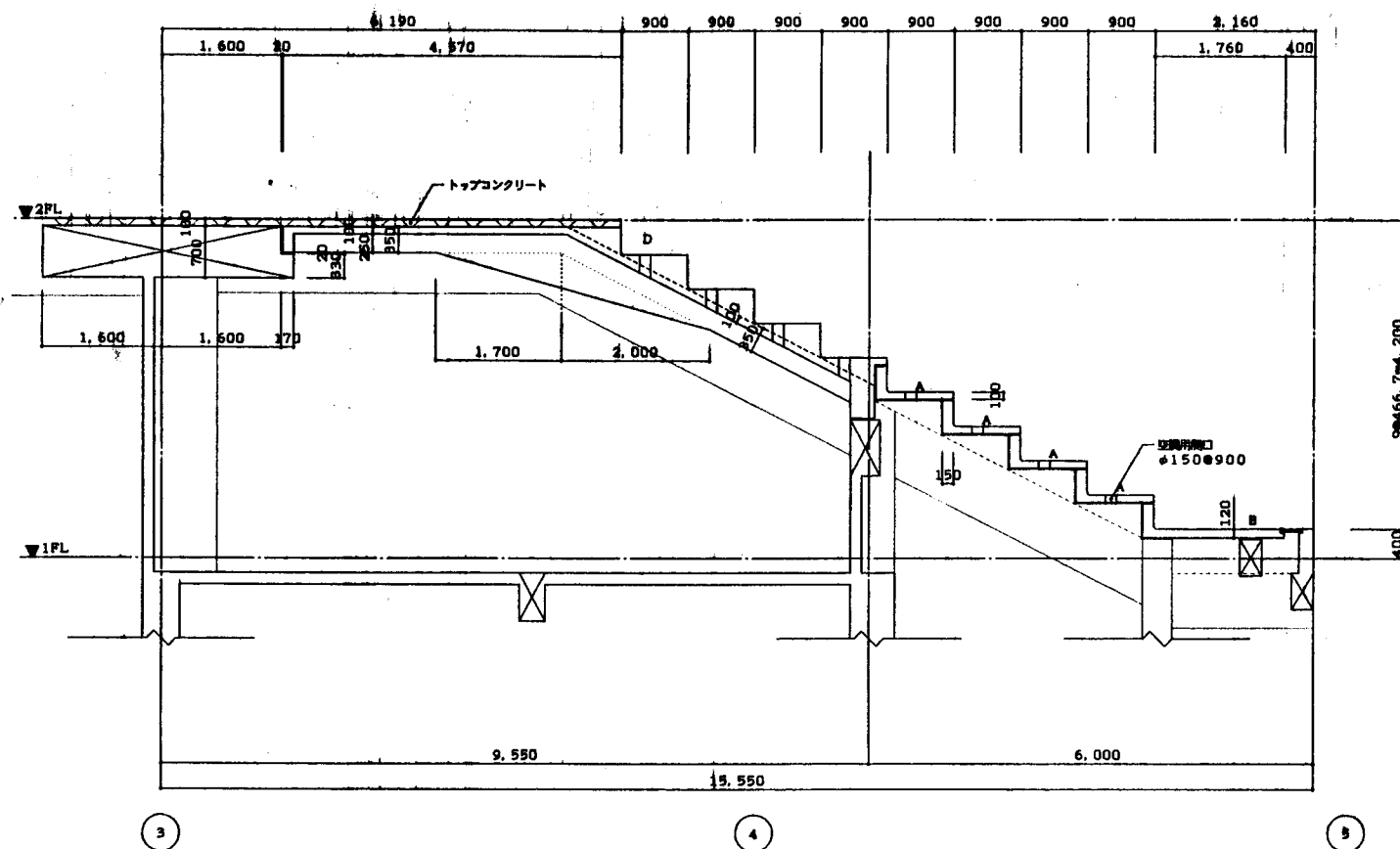
S-26
194072



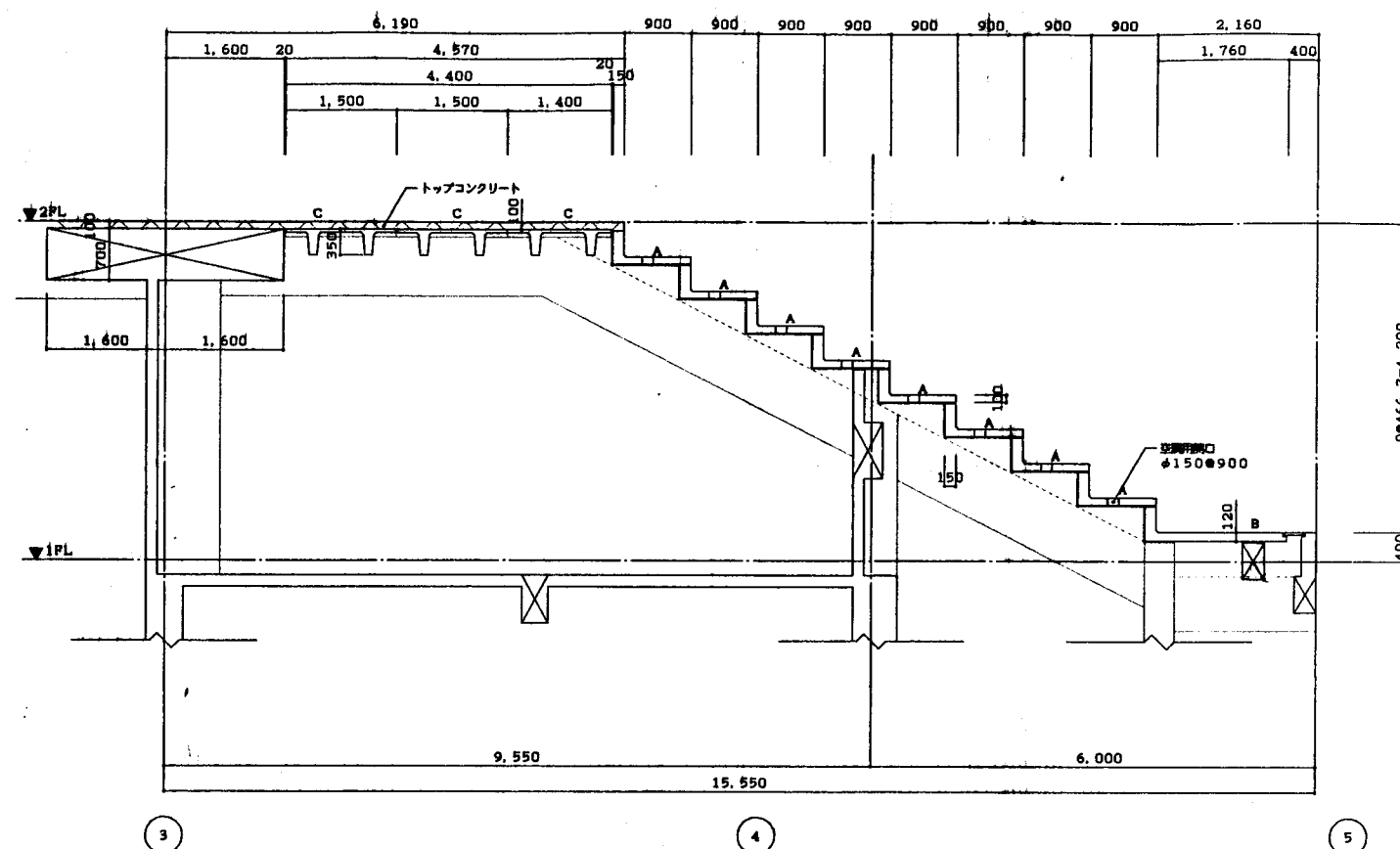
PC段床版配置図(3) 1/100

- ・ は掘削打ちを示す。
- ・ は完成床版のトップコンクリートを示す。
- ・ 断面はK1とする。
- ・ は 可変ロッキングエレメント。

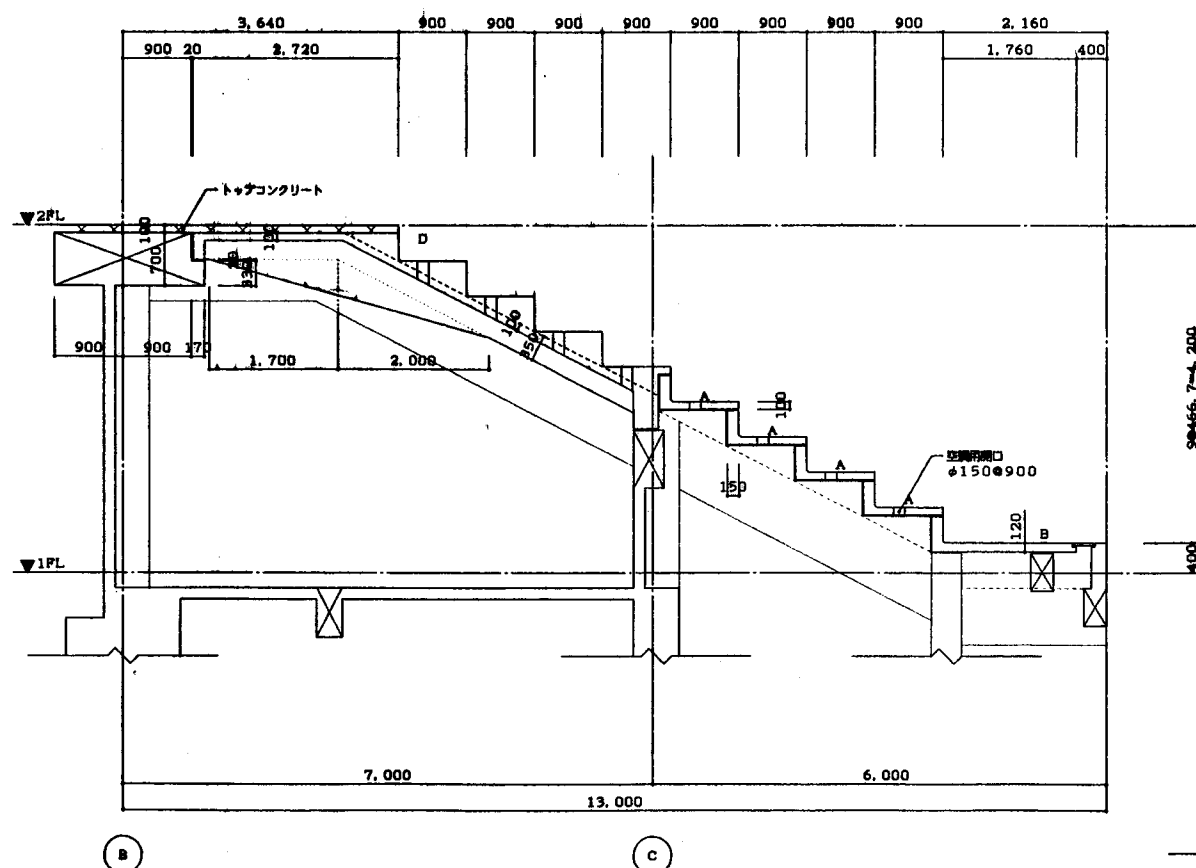
A-A断面



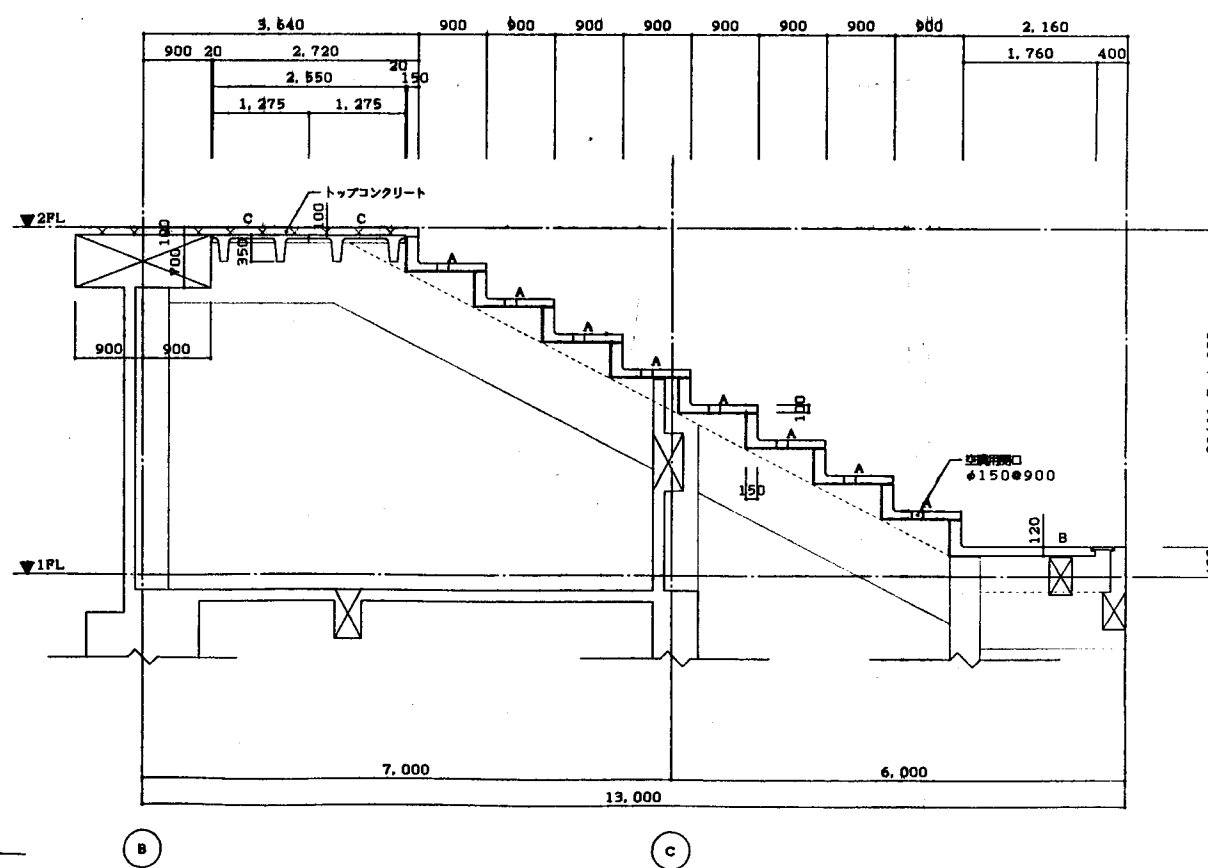
B-B断面



C-C断面



D-D断面



PC段床断面図 1/50

・鉄筋用開口位置については、荷子、階段の取り合いにおいて決定する。

訂正

久米設計・梓設計 設計共同企業体

日付 '94.12

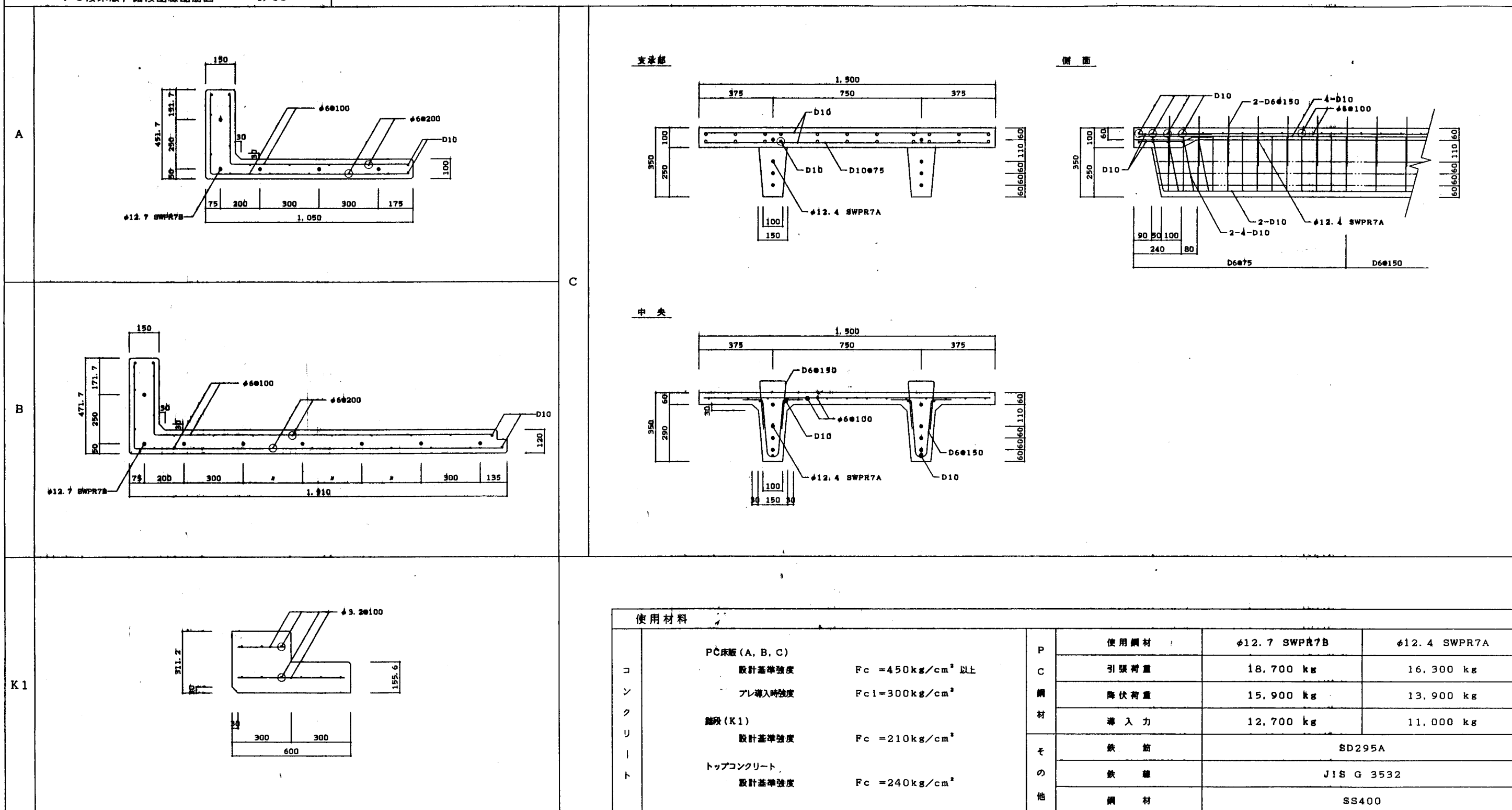
ドーム型多目的スポーツ施設建設工事(建築工事)

図号 S-28

PC段床断面図

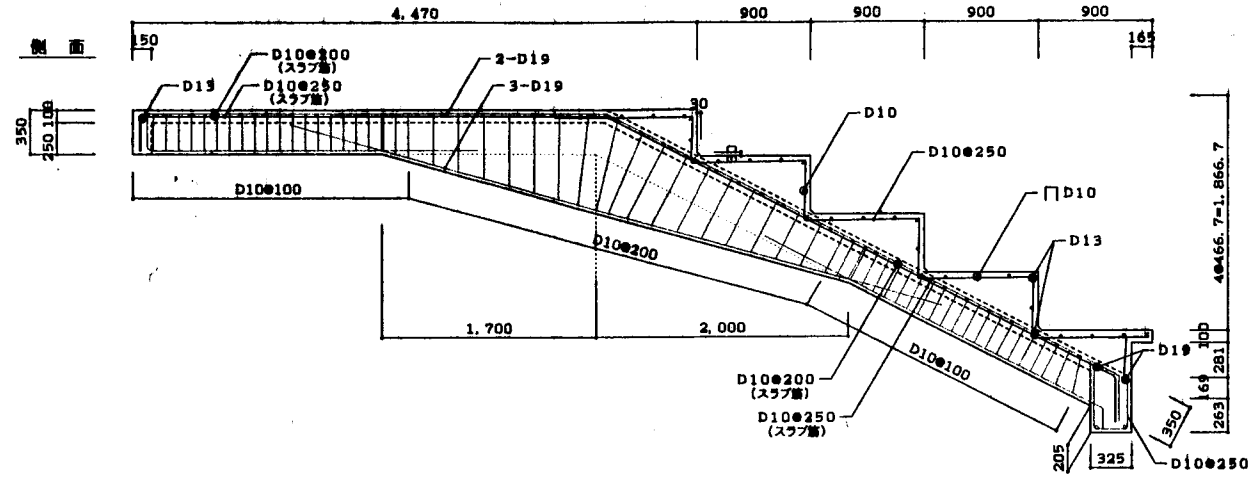
縮尺 S=1:50

図番 194072

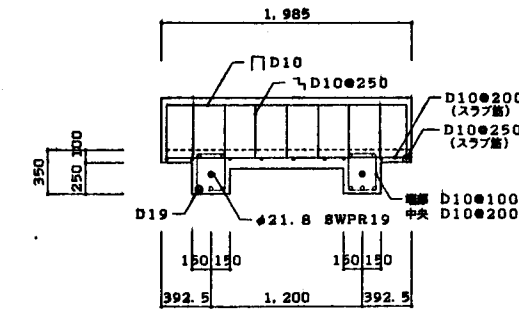


使用材料				
コンクリート	PC床版 (A, B, C)		P	使用鋼材
	設計基準強度	$F_c = 450 \text{ kg/cm}^2$ 以上	C	引張荷重
	プレ導入時強度	$F_{c1} = 300 \text{ kg/cm}^2$	鋼材	降伏荷重
	階段 (K1)			導入力
	設計基準強度	$F_c = 210 \text{ kg/cm}^2$	その他	鉄 筋
	トップコンクリート			鉄 線
	設計基準強度	$F_c = 240 \text{ kg/cm}^2$		鋼 材

D

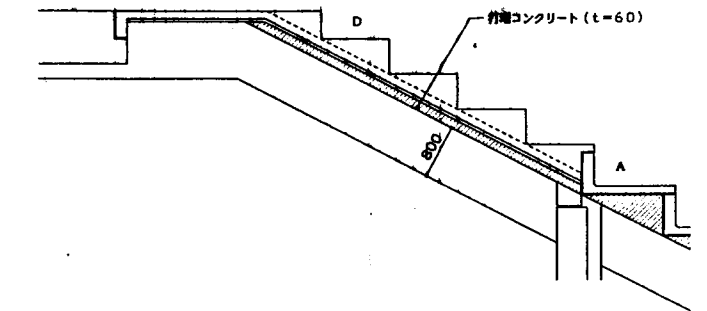


断面

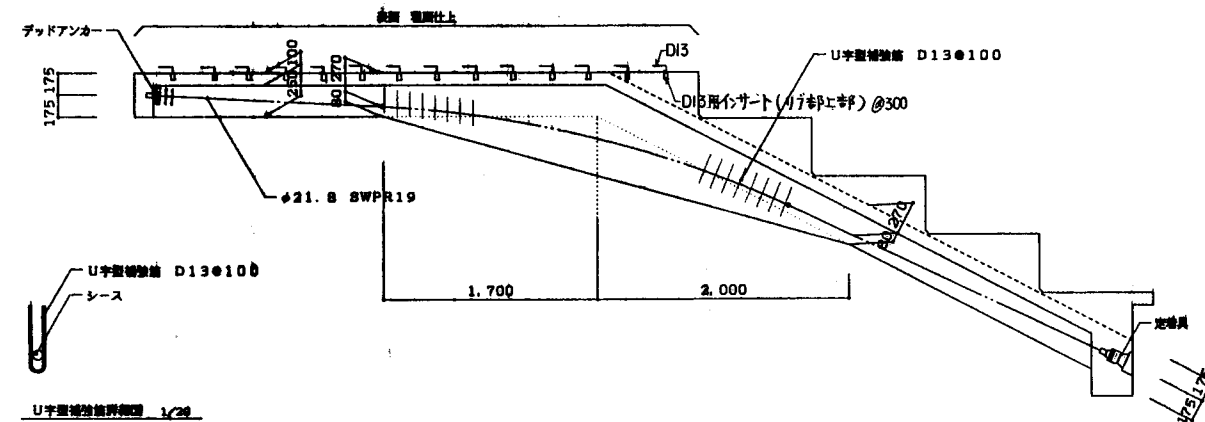


D版下 梁の打端 1/50

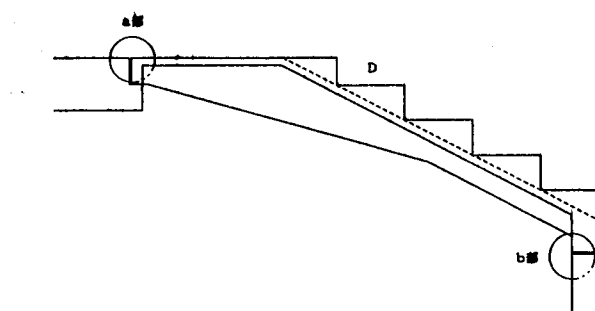
(C~J) 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 通り



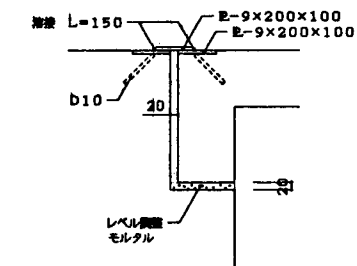
D1
D5



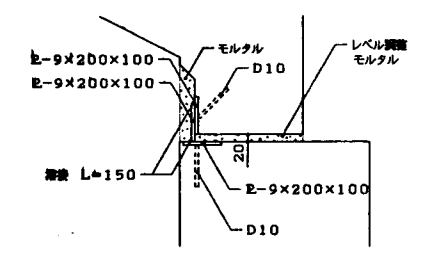
断面



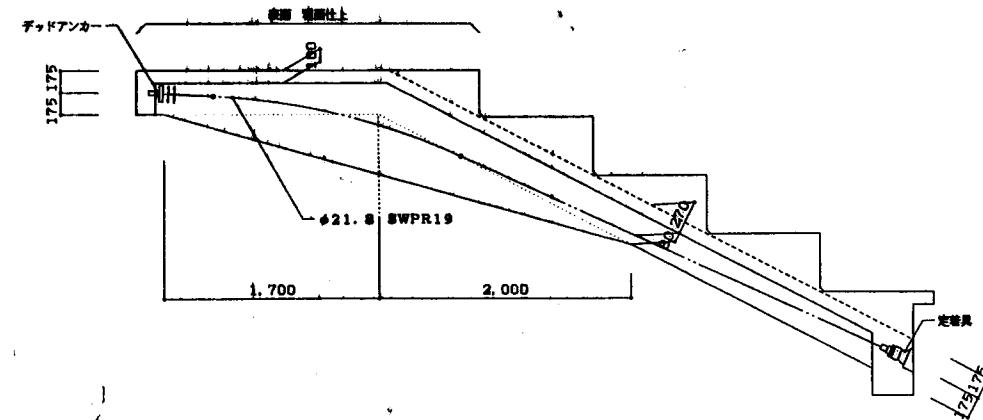
a部接合 (2ヶ所) 1/10



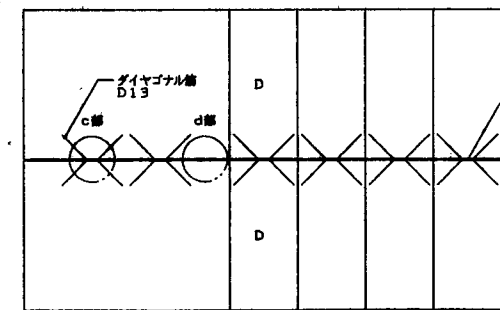
b部接合 (2ヶ所) 1/10



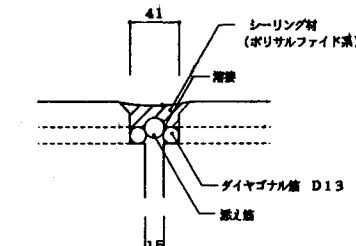
D6
D9



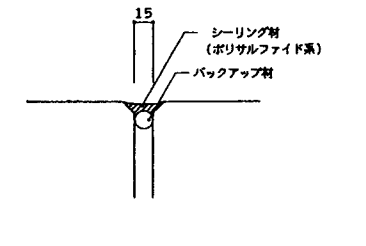
平面



c部接合 1/3

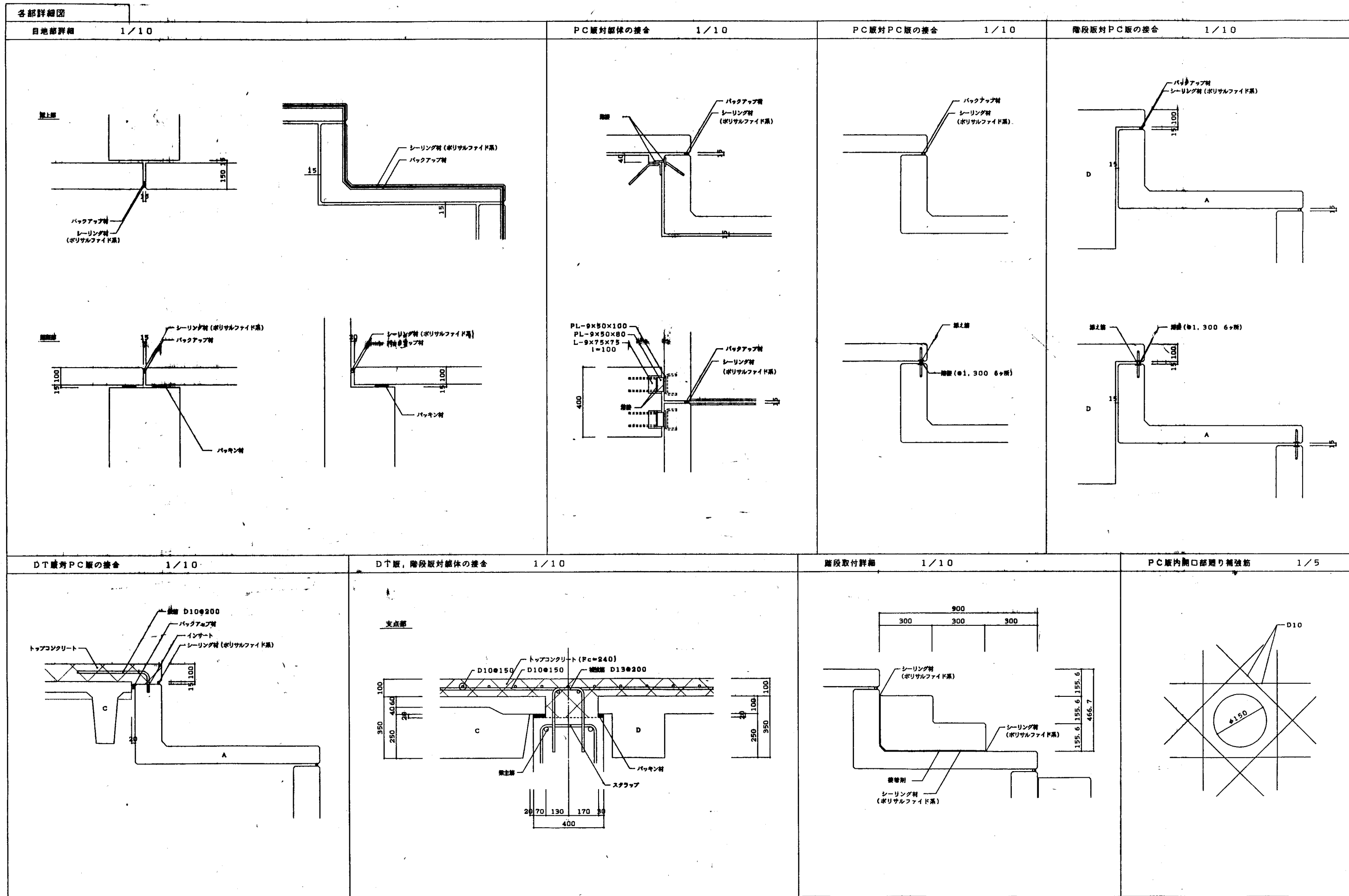


d部接合 1/3

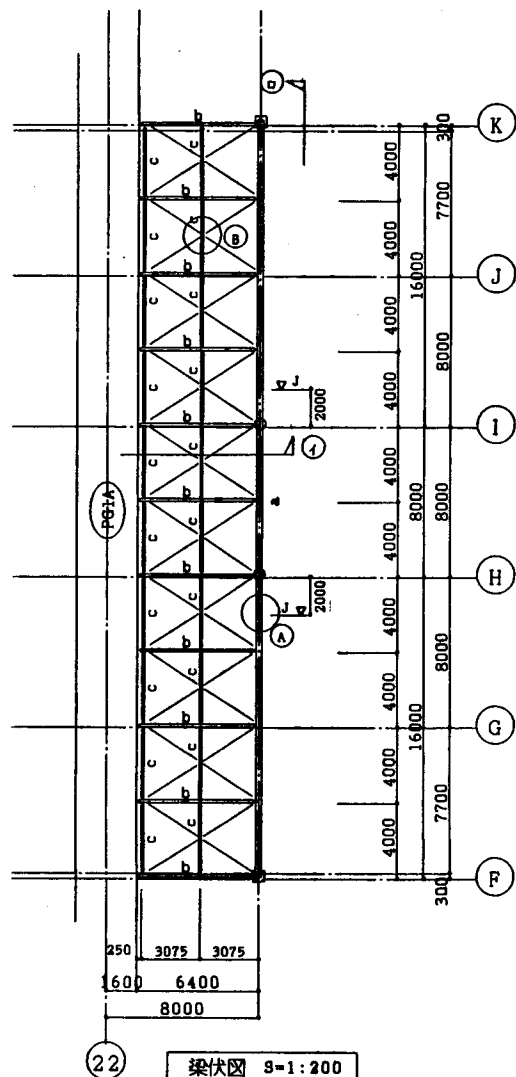


使用材料

コン ク リ ー ト	設計基準強度 Fc = 450kg/cm ² 以上 プレ導入時強度 Fci = 300kg/cm ²	P C 鋼 材	使用鋼材	φ21.8 SWPR19	そ の 他	鉄 筋	SD295A
			引張荷重	58,400 kg		鉄 線	JIS G 3532
			降伏荷重	50,500 kg		鋼 材	SS400
			導 入 力	42,000 kg			



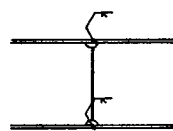
南玄関入口底



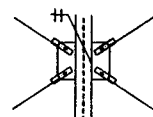
部材リスト

符号	部材	備考
a	H-700x300x13x24	現場溶接 J
b	H-350x150x6.5x9	G. 丸-9 HTB. 3-M20
c	H-250x125x6x9	G. 丸-9 HTB. 2-M20
水平ブレース	1-M16	FB-6x65, HTB 1-M20

* 2のみに地震用金物等、その他、鋼止×JIS K5425 (2回巻)とする

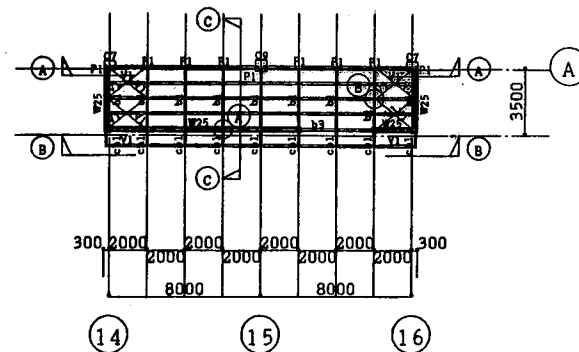


(A) 詳細図 S=1:30



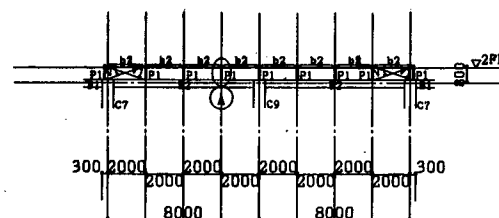
(B) 詳細図 S=1:30

西玄関入口底

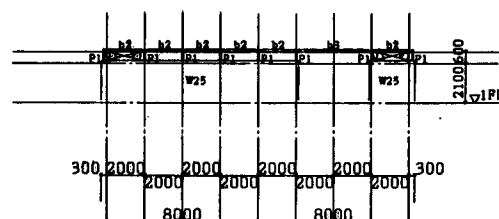


梁伏図 S=1:200

特記なき限り次の通りとする
1. 小梁はb1とする



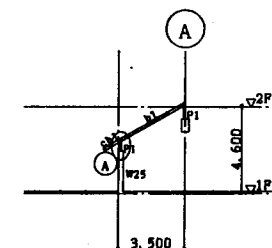
A-A 軸組図 S=1:200



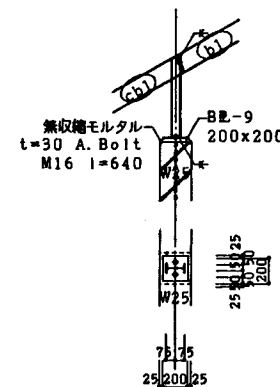
B-B 軸組図 S=1:200

部材リスト 材質は SS400, および F10T とする

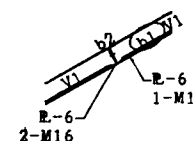
符号	部材	備考
P1	H-150x75x5x7	G. 丸-9 A. Bolt 2-M16 l=640
b1	H-150x75x5x7	
b2	T-125x125x6x9	G. 丸-6 2-M16
b3	H-250x125x6x9	G. 丸-6 2-M16
V1	M12	ターンバックル付
cb1	H-150x75x5x7	



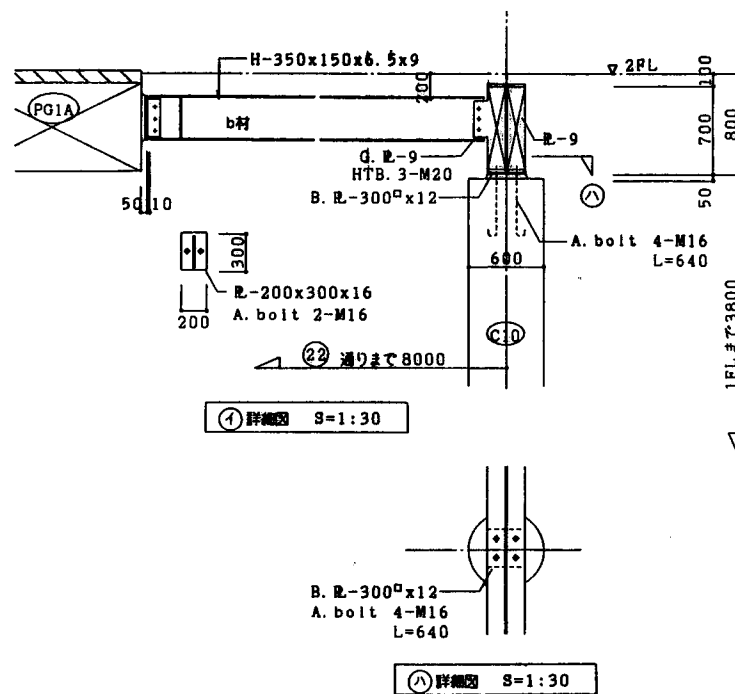
C-C 軸組図 S=1:200



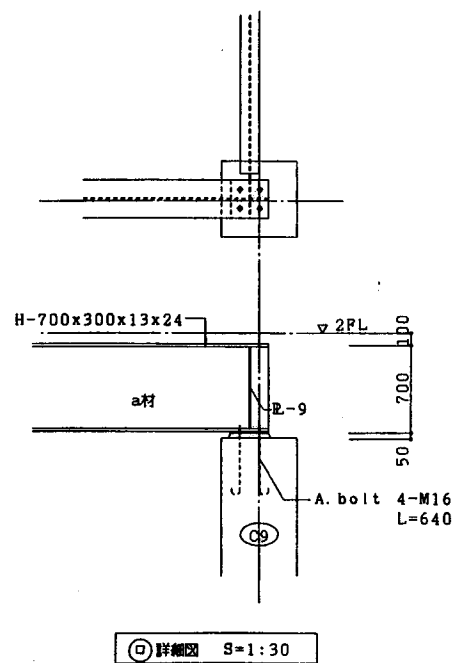
(A) 詳細図 S=1:30



(B) 詳細図 S=1:30

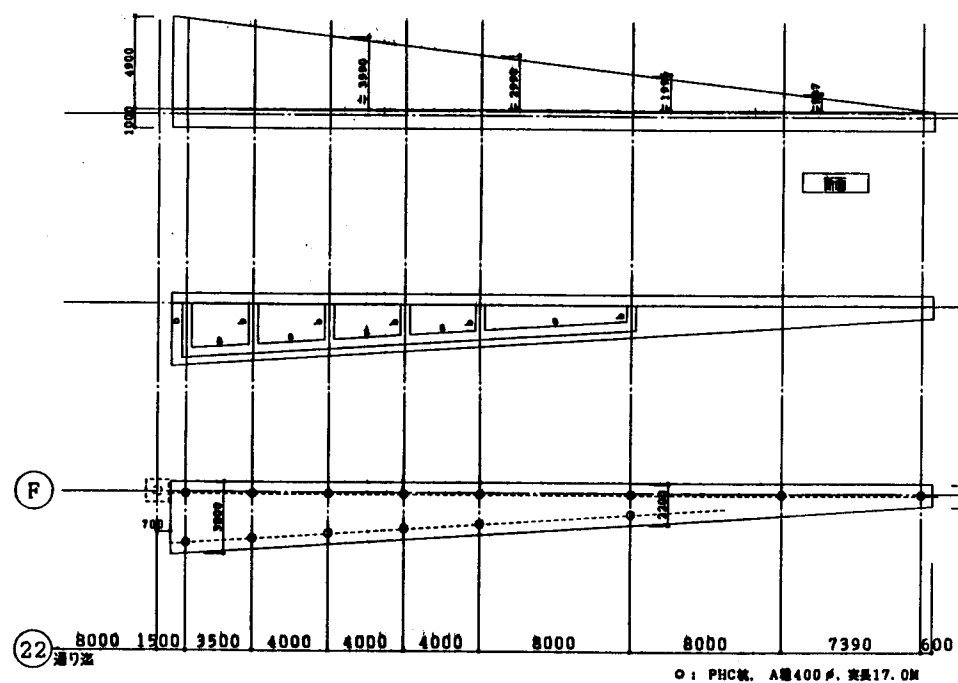


(A) 詳細図 S=1:30

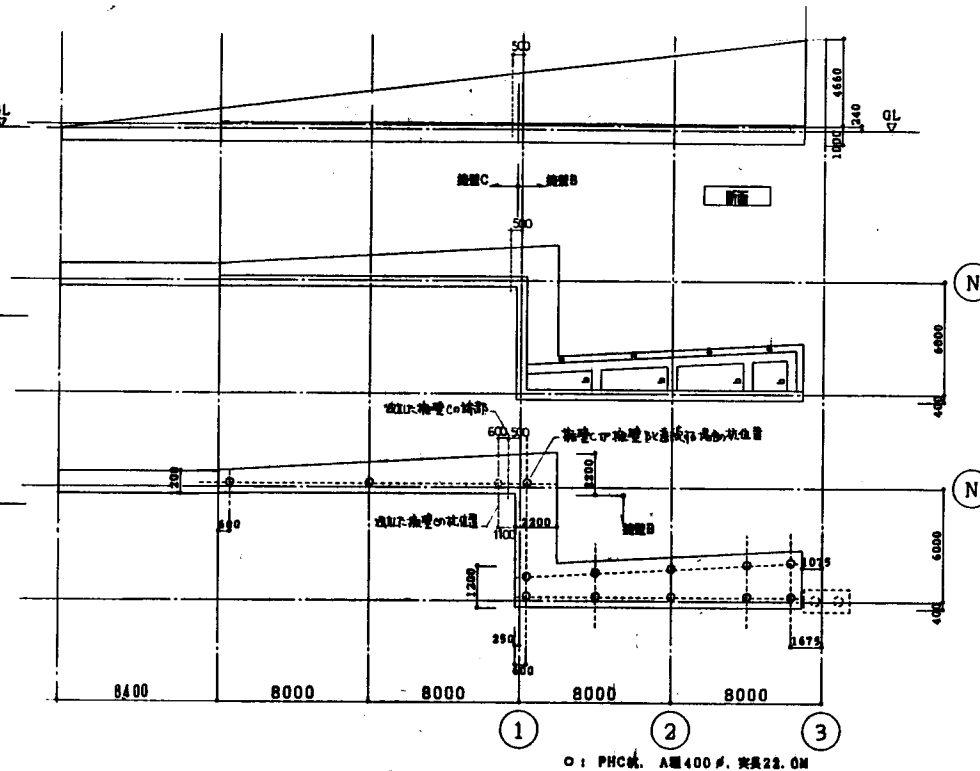


(B) 詳細図 S=1:30

擁壁 A S=1:200



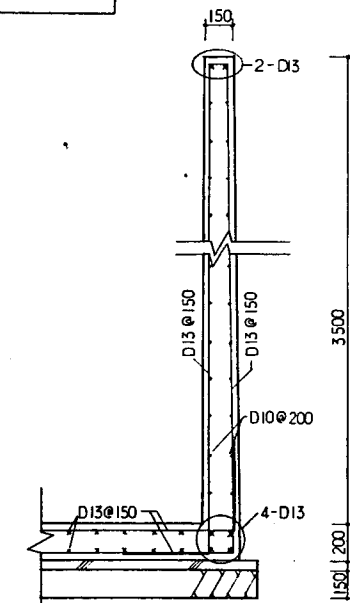
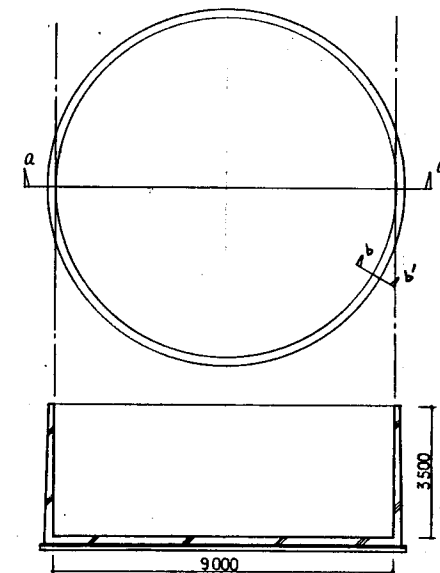
擁壁 B, C S=1:200



擁壁 小梁リスト 1:40

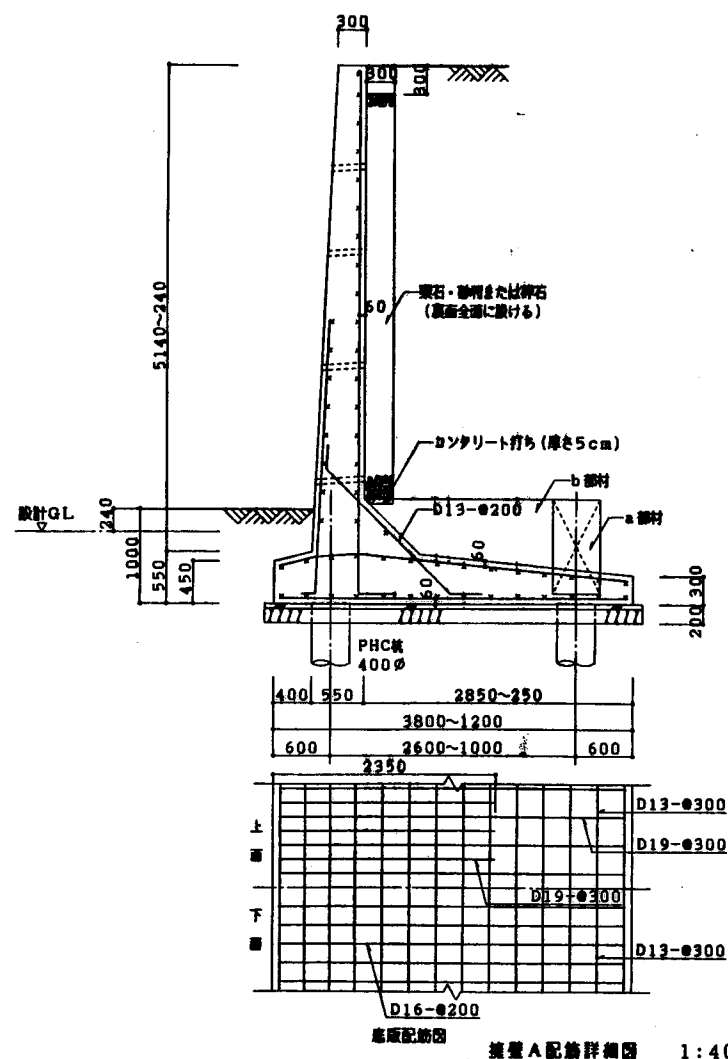
特記なき梁の通りとする
巾止筋は D10-φ1000

符号 位置	a 材		b 材
	両端	中央	全断面
断面			
上端筋	5 - D25	3 - D25	3 - D25
下端筋	3 - D25	5 - D25	3 - D25
スタールップ	2-D13 φ200		2-D13 φ200
腰筋	4-D10		4-D10
備考			

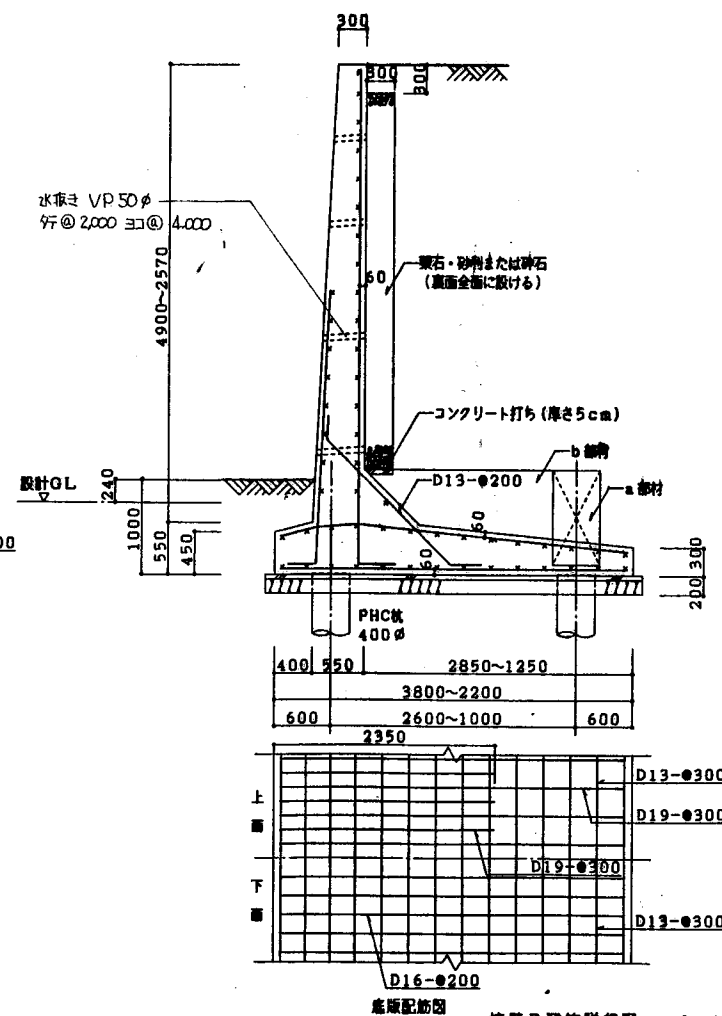


a-a' 断面 1:100

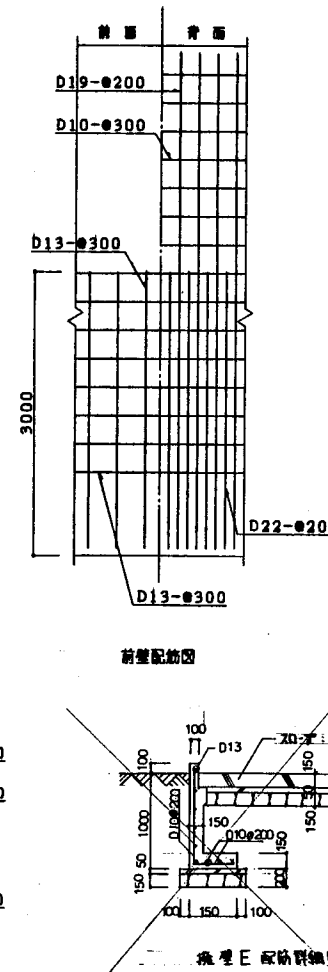
b-b' 断面 1:20 [200]
LPG 供給施設置場 (外構参考図)



擁壁 A 配筋詳細図 1:40

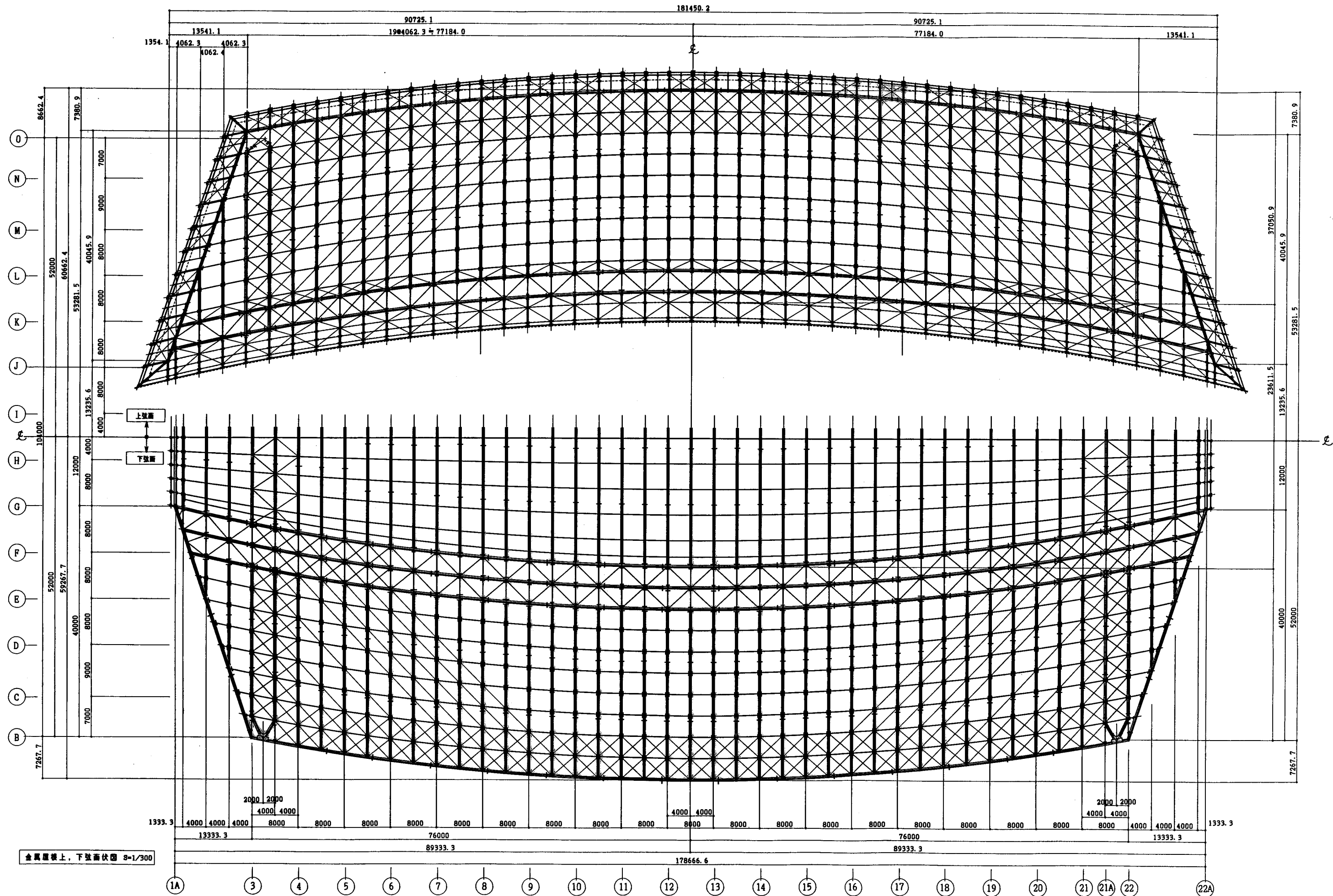


擁壁 B 配筋詳細図 1:40

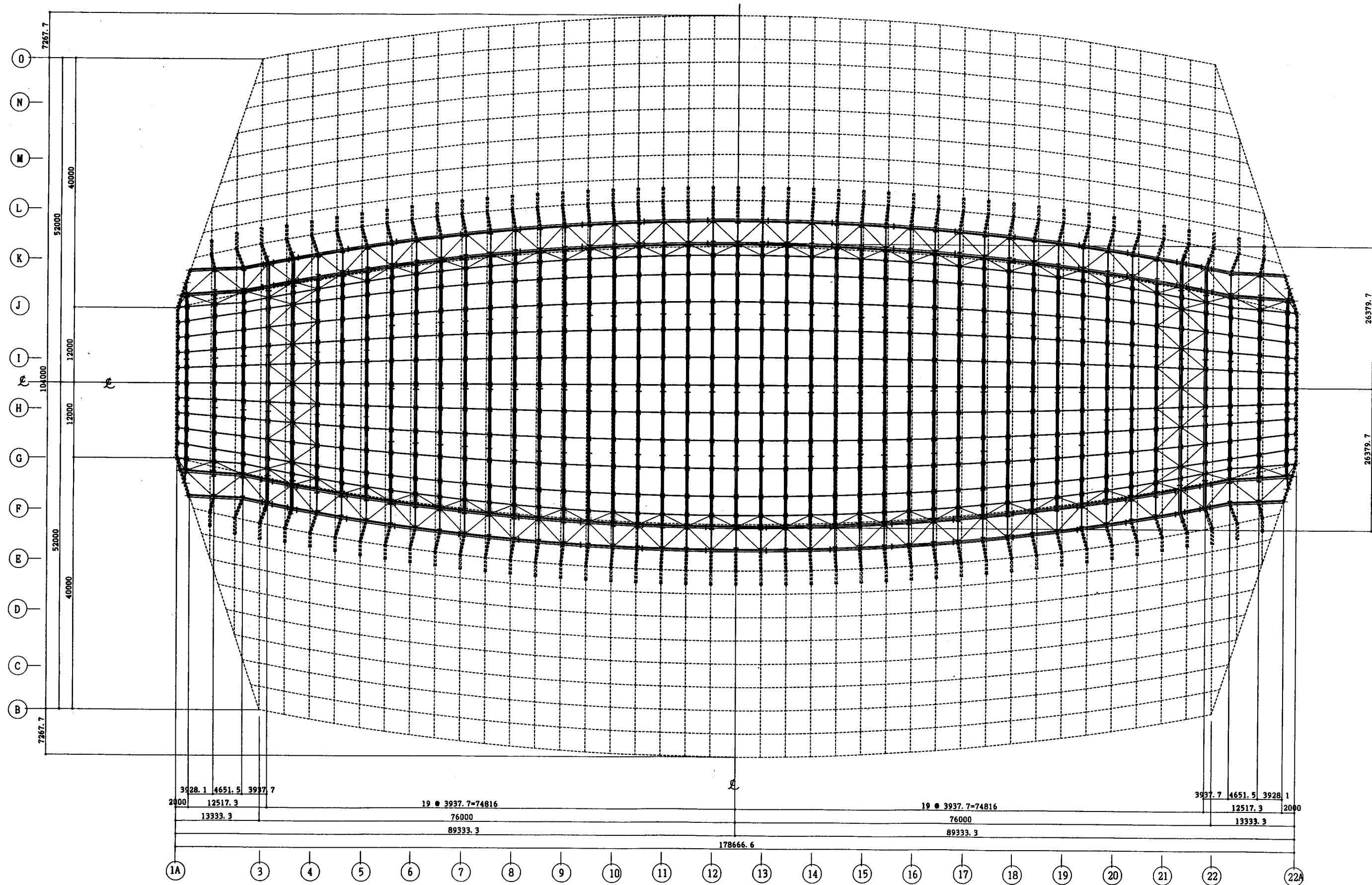


擁壁 C 配筋詳細図 1:40

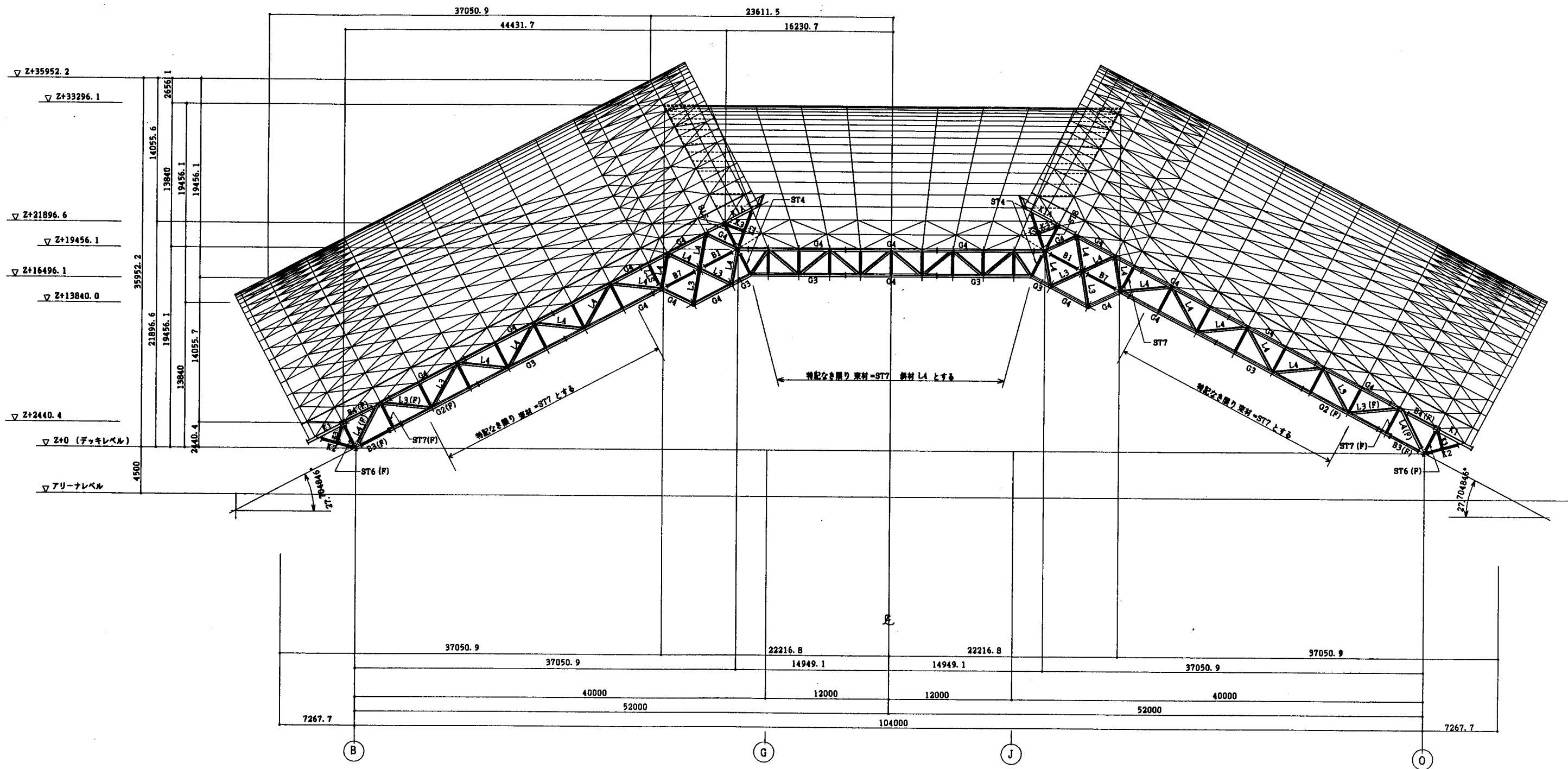
(換壁 D)
* 換壁 D は 2φ25 筋 (PHC) GL



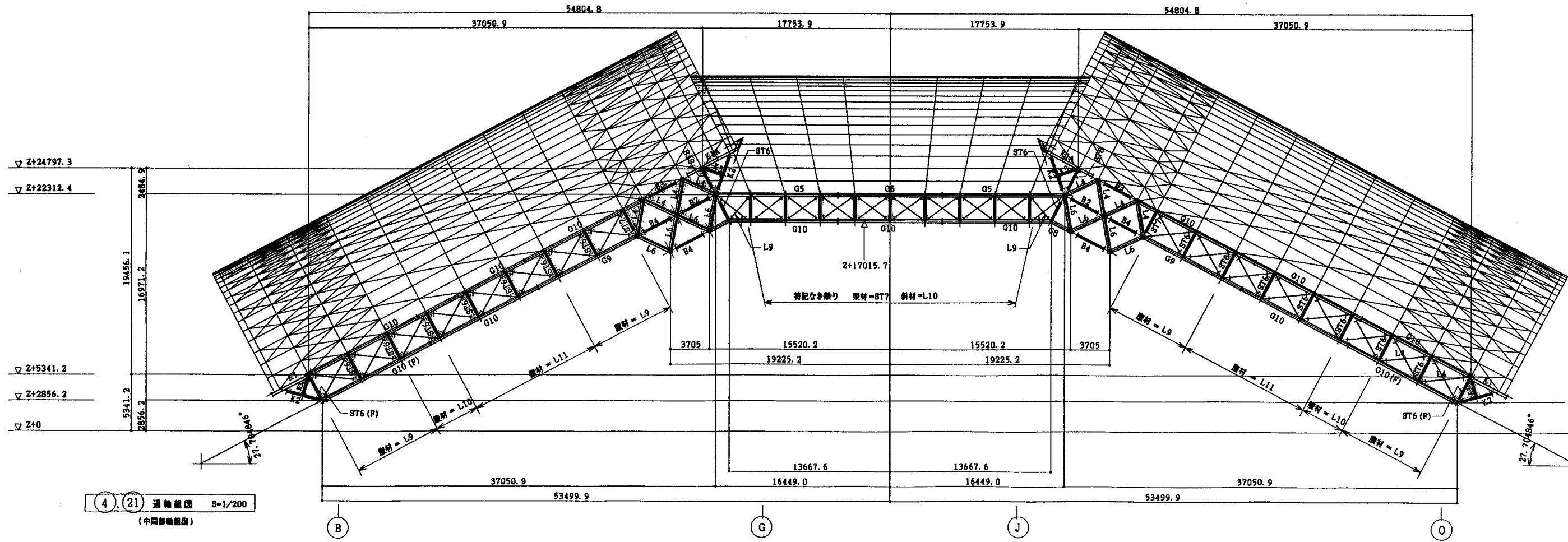
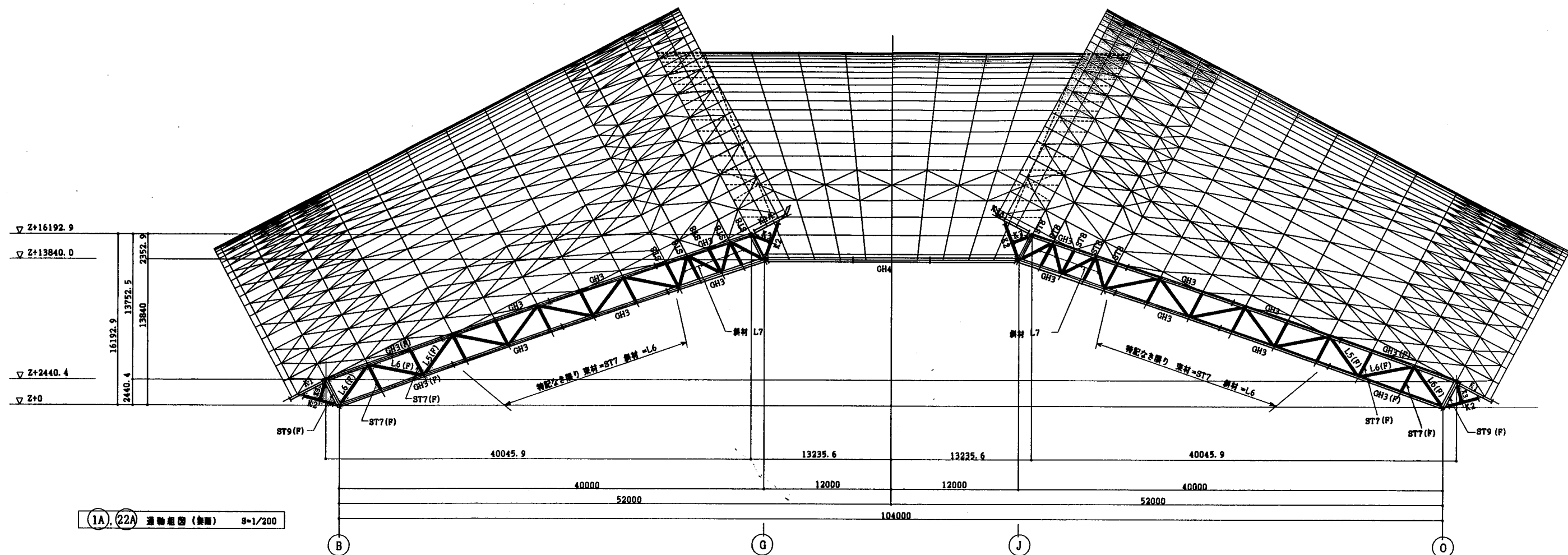
金属屋板上、下弦面伏図 S=1/300

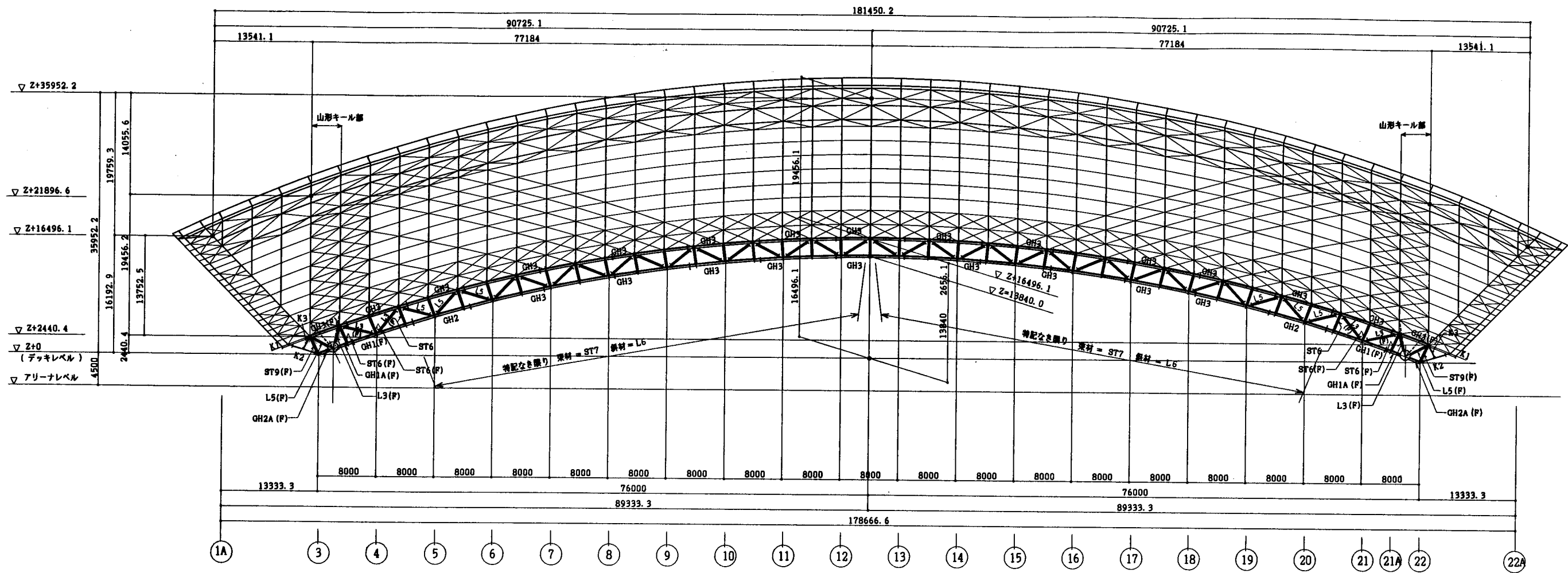


断面図下弦面図 S=1/300

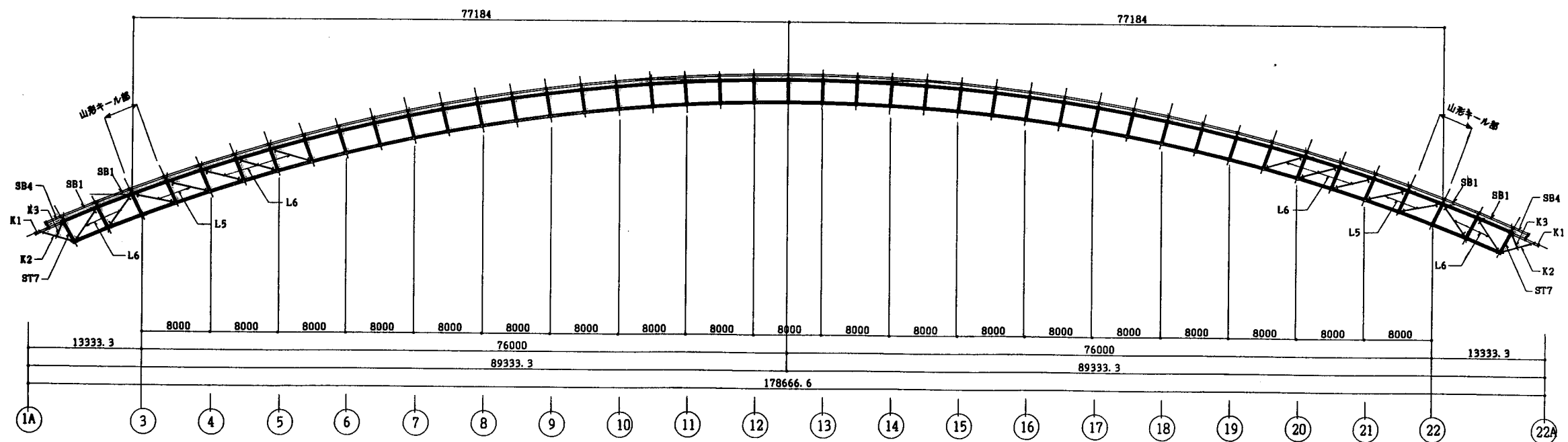


(3).22 通軸組図 S=1/200

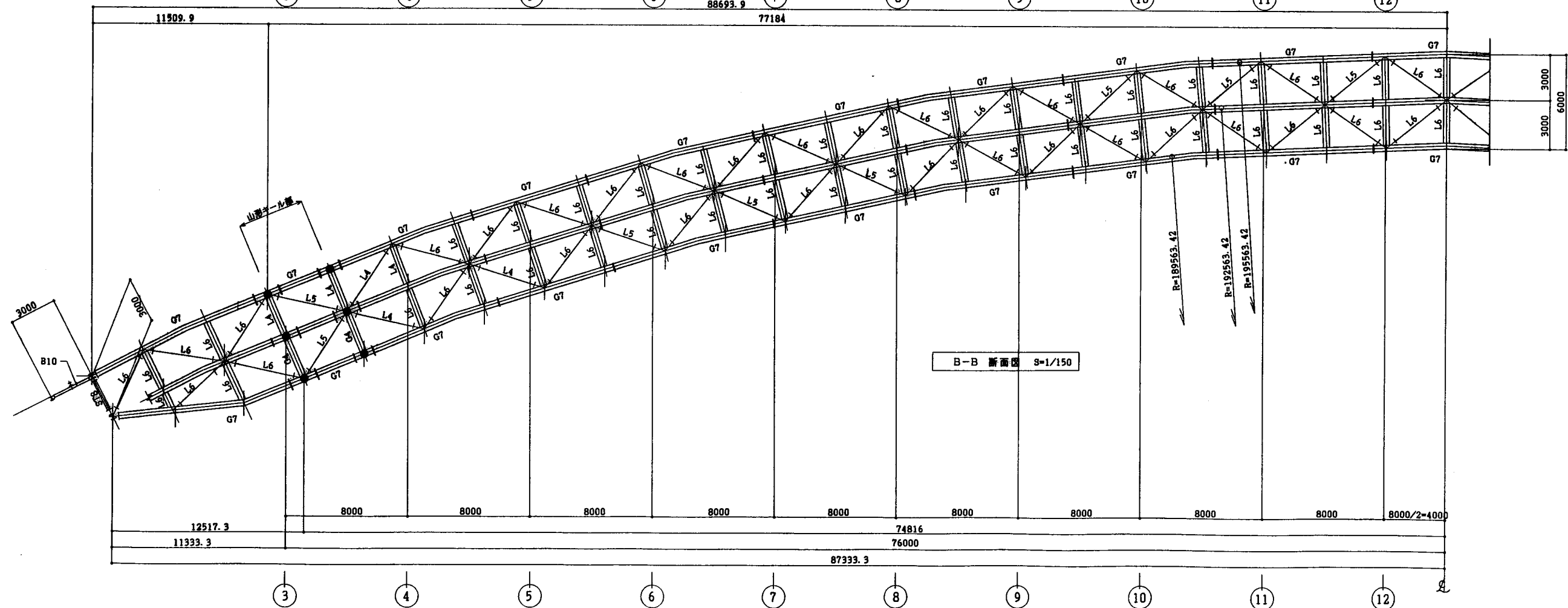
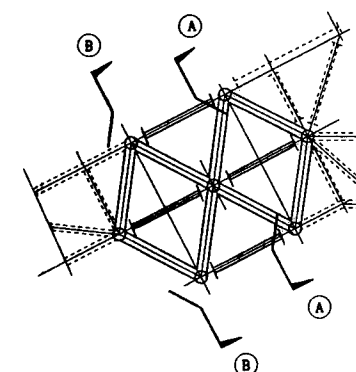
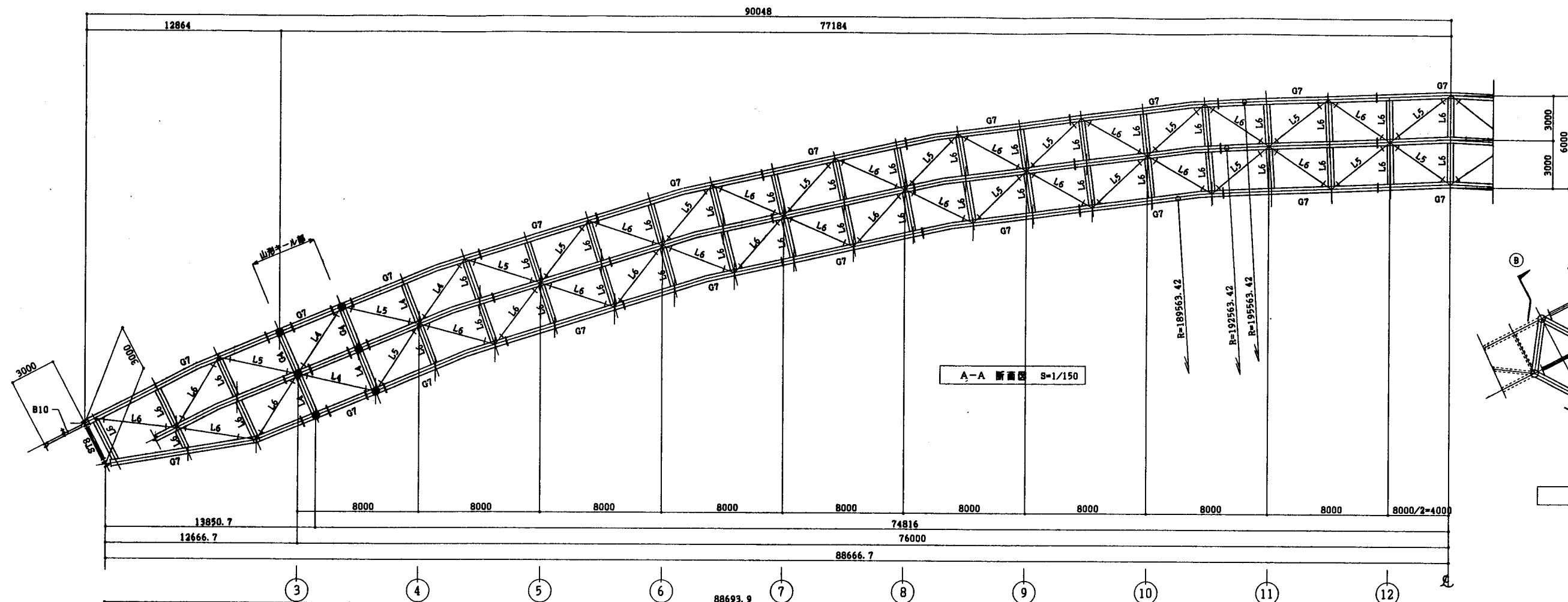


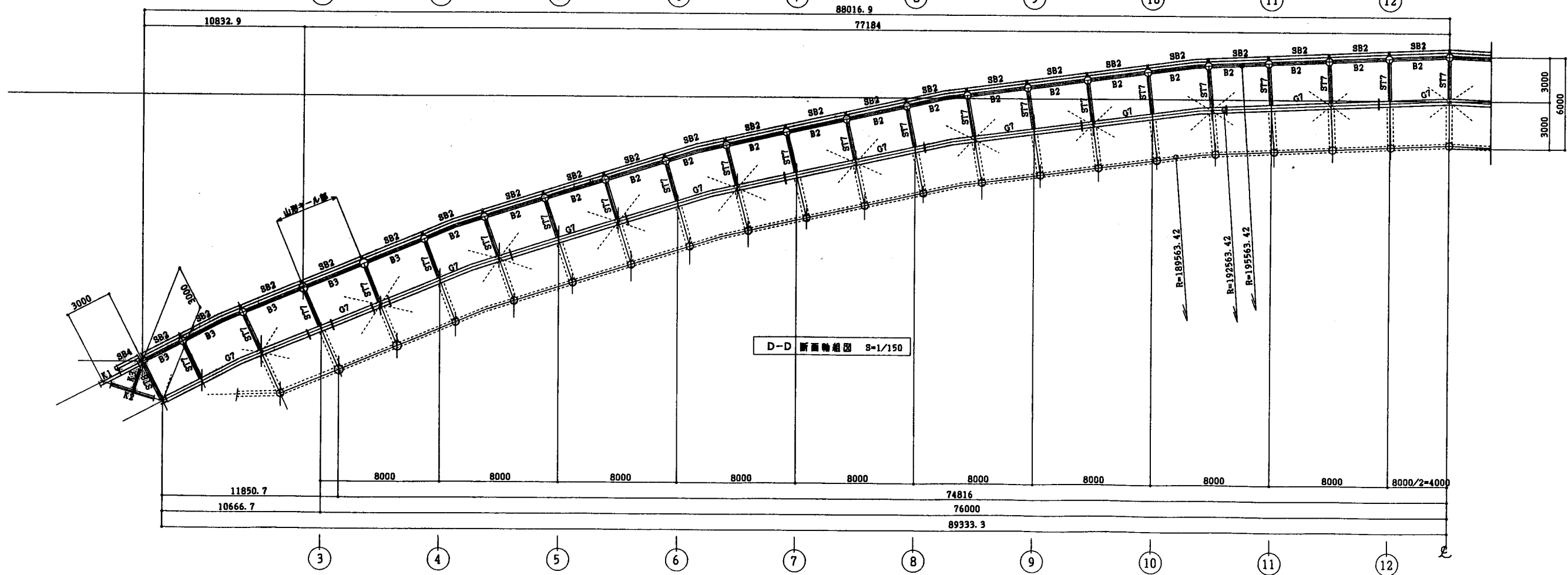
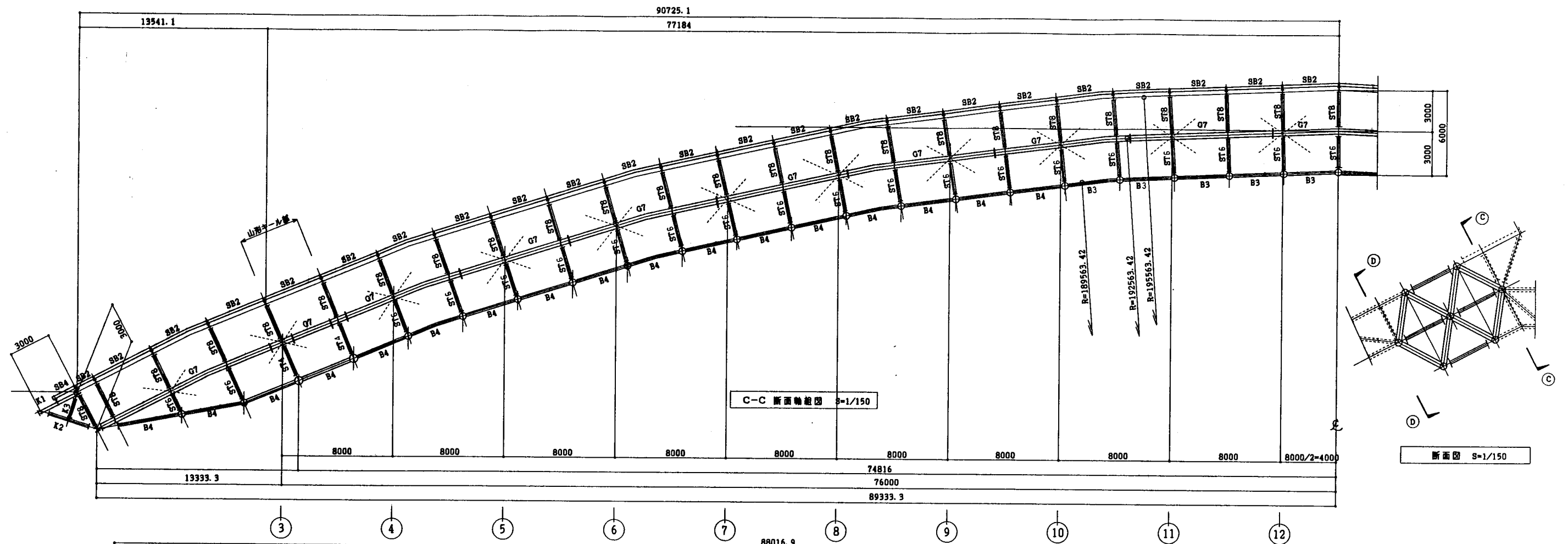


(B) (O) 運輸組図 S=1/300



中間断面輸組図 S=1/300





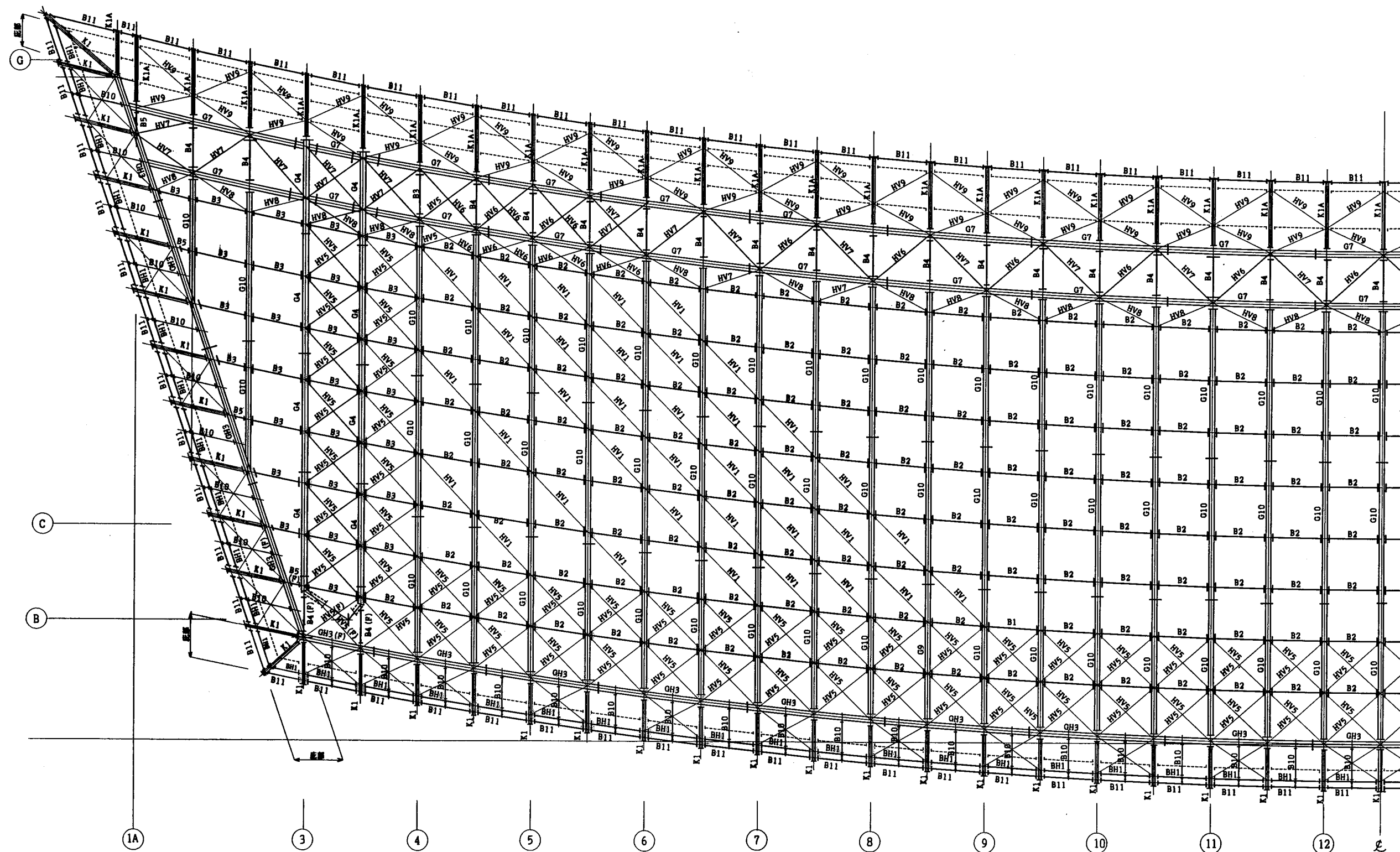
註記事項)

○印は STK490 とする

2) 符号に (F) 付は FR 鋼を示す

ST1	$\bar{\mu} - 318.5 \times 6.9$	
ST2	$\bar{\mu} - 318.5 \times 6.9$	
ST3	$\bar{\mu} - 267.4 \times 6.6$	
ST4	$\bar{\mu} - 216.3 \times 5.8$	
ST5	$\bar{\mu} - 190.7 \times 5.3$	
ST6	$\bar{\mu} - 165.2 \times 4.5$	
ST7	$\bar{\mu} - 139.8 \times 4.0$	
ST8	$\bar{\mu} - 101.6 \times 3.2$	
ST9	$\bar{\mu} - 267.4 \times 12.7$	

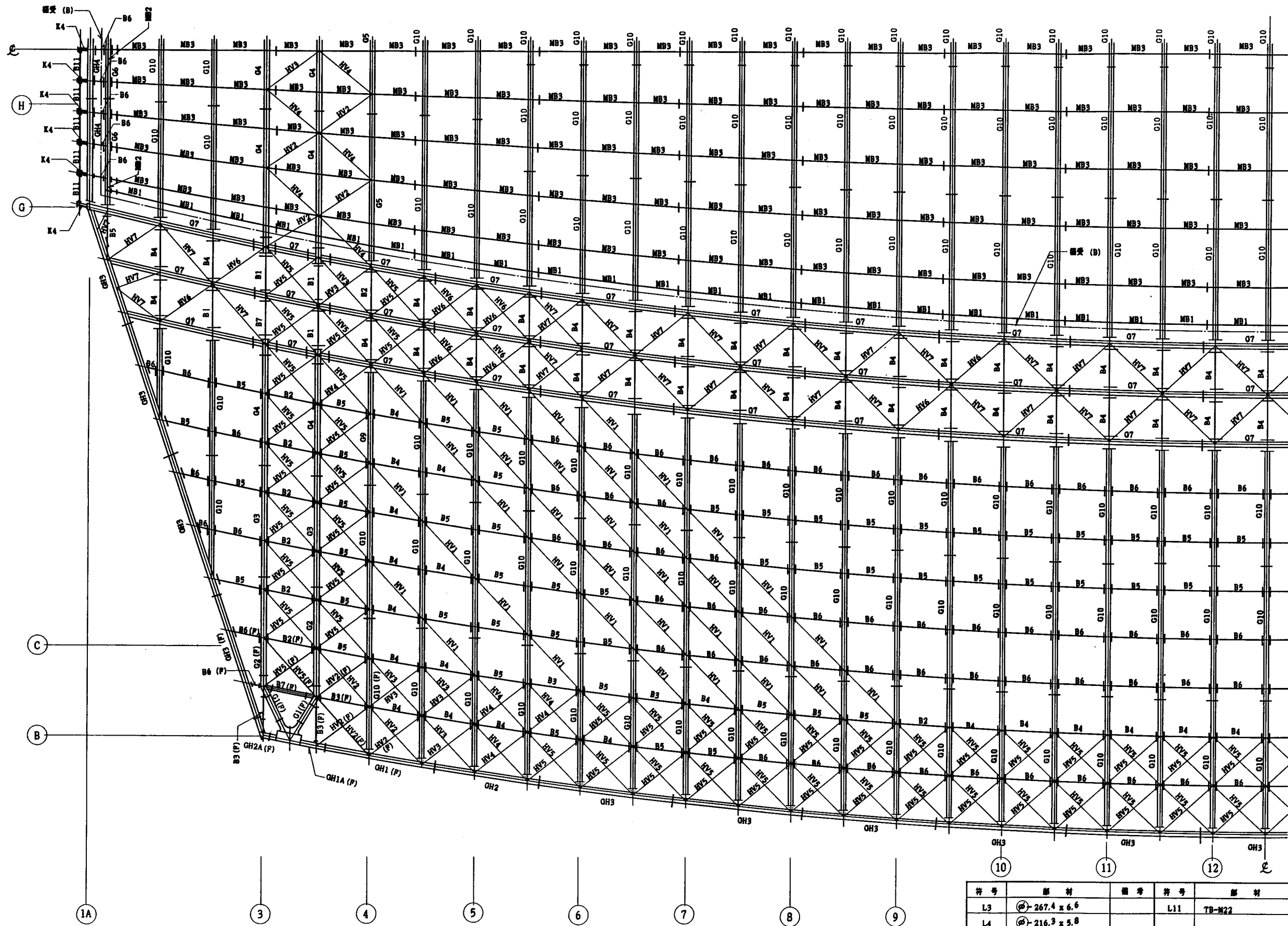
符 号	部 材	備 考	符 号	部 材	備 考
L3	⌀-267.4 x 6.6		L11	TB-M22	
L4	⌀-216.3 x 5.8				
L5	⌀-190.7 x 5.3				
L6	⌀-165.2 x 4.5				
L7	⌀-139.8 x 4.0				
L8	TB-M45, 2 x TB-M33				
L9	TB-M39, 2 x TB-M27				
L10	TB-M30, 2 x TB-M22				



金属屋根上弦面符号图 8-1/150

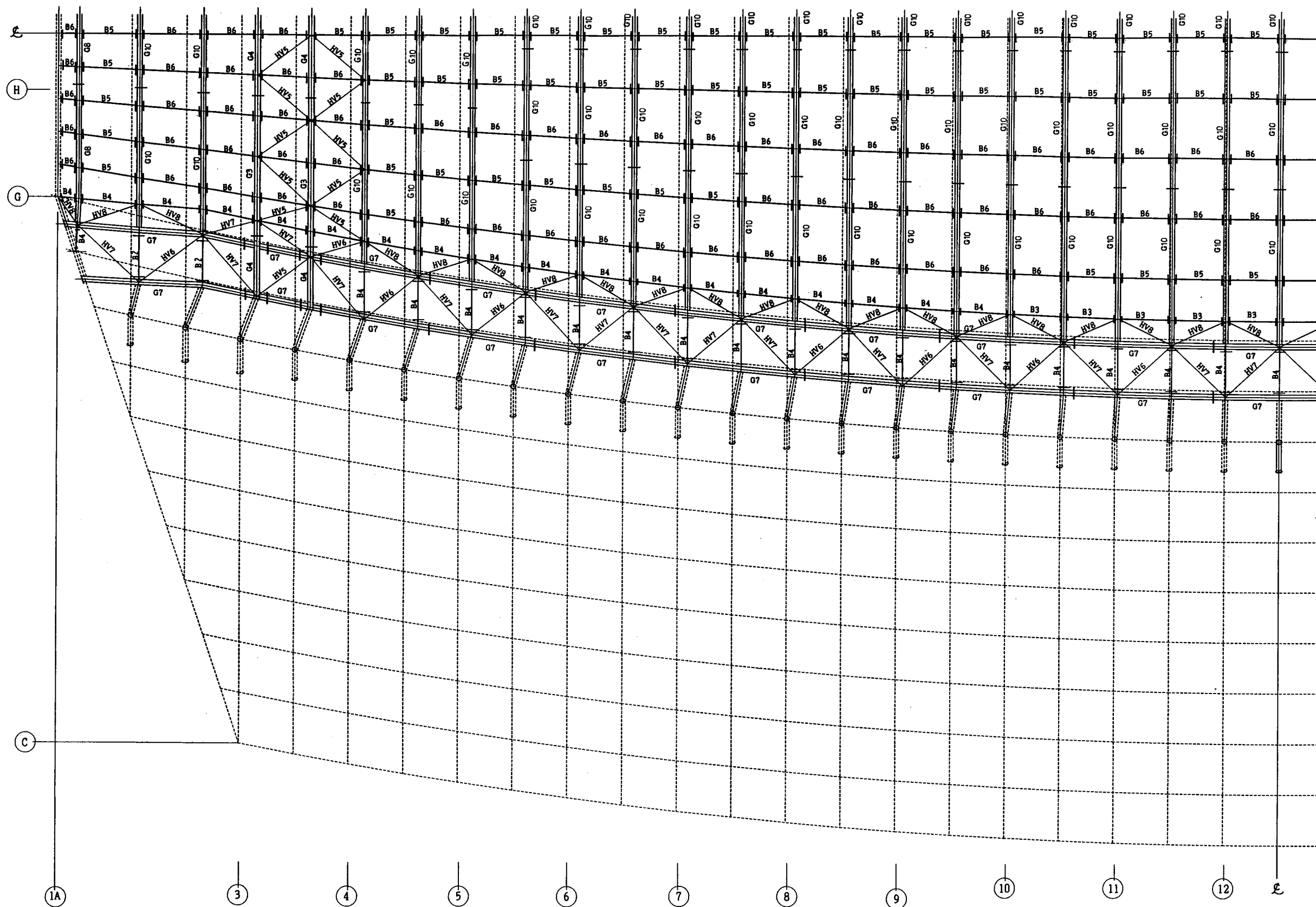
註記) 特記なき限り下記に依る

- 1) 底面 水平ブレースは HV10 とする
- 2) 小梁符号は B12 とする



鉄骨部材リスト		
注記事項)		
1) 特記なき限り鋼材材質は STK400 とし		
2) 符号に (P) 付は PR 鋼を示す		
符号	部材	備考
G1	φ-406.4 x 40	
G2	φ-406.4 x 35	
G3	φ-406.4 x 22	
G4	φ-406.4 x 12.7	
G5	φ-406.4 x 7.9	
G6	φ-406.4 x 7.9	
G7	φ-318.5 x 7.9	
G8	φ-318.5 x 6.9	
G9	φ-216.3 x 8.2	
G10	φ-216.3 x 5.8	
B1	φ-267.4 x 9.3	
B2	φ-216.3 x 5.8	
B3	φ-190.7 x 5.3	
B4	φ-165.2 x 4.5	
B5	φ-114.3 x 6.0	
B6	φ-101.6 x 4.2	
B7	φ-267.4 x 12.7	
MB1	φ-267.4 x 6.0	アール曲げ
MB2	φ-139.8 x 4.0	
MB3	φ-190.7 x 5.3	アール曲げ
HV1	φ-267.4 x 12.7	
HV2	φ-267.4 x 9.3	
HV3	φ-267.4 x 6.6	
HV4	φ-267.4 x 6.6	
HV5	φ-216.3 x 5.8	
HV6	φ-190.7 x 5.3	
HV7	φ-165.2 x 4.5	
HV8	φ-139.8 x 4.0	
HV9	L-75x75x6	
HV10	TB-M16	
ST1	φ-318.5 x 6.9	
ST2	φ-318.5 x 6.9	
ST3	φ-267.4 x 6.6	
ST4	φ-216.3 x 5.8	
ST5	φ-190.7 x 5.3	
ST6	φ-165.2 x 4.5	
ST7	φ-139.8 x 4.0	
ST8	φ-101.6 x 3.2	
ST9	φ-267.4 x 12.7	
L3	φ-267.4 x 6.6	
L4	φ-216.3 x 5.8	
L5	φ-190.7 x 5.3	
L6	φ-165.2 x 4.5	
L7	φ-139.8 x 4.0	
L8	TB-M45, 2xTB-M33	
L9	TB-M39, 2xTB-M27	
L10	TB-M30, 2xTB-M22	
L11	TB-M22	

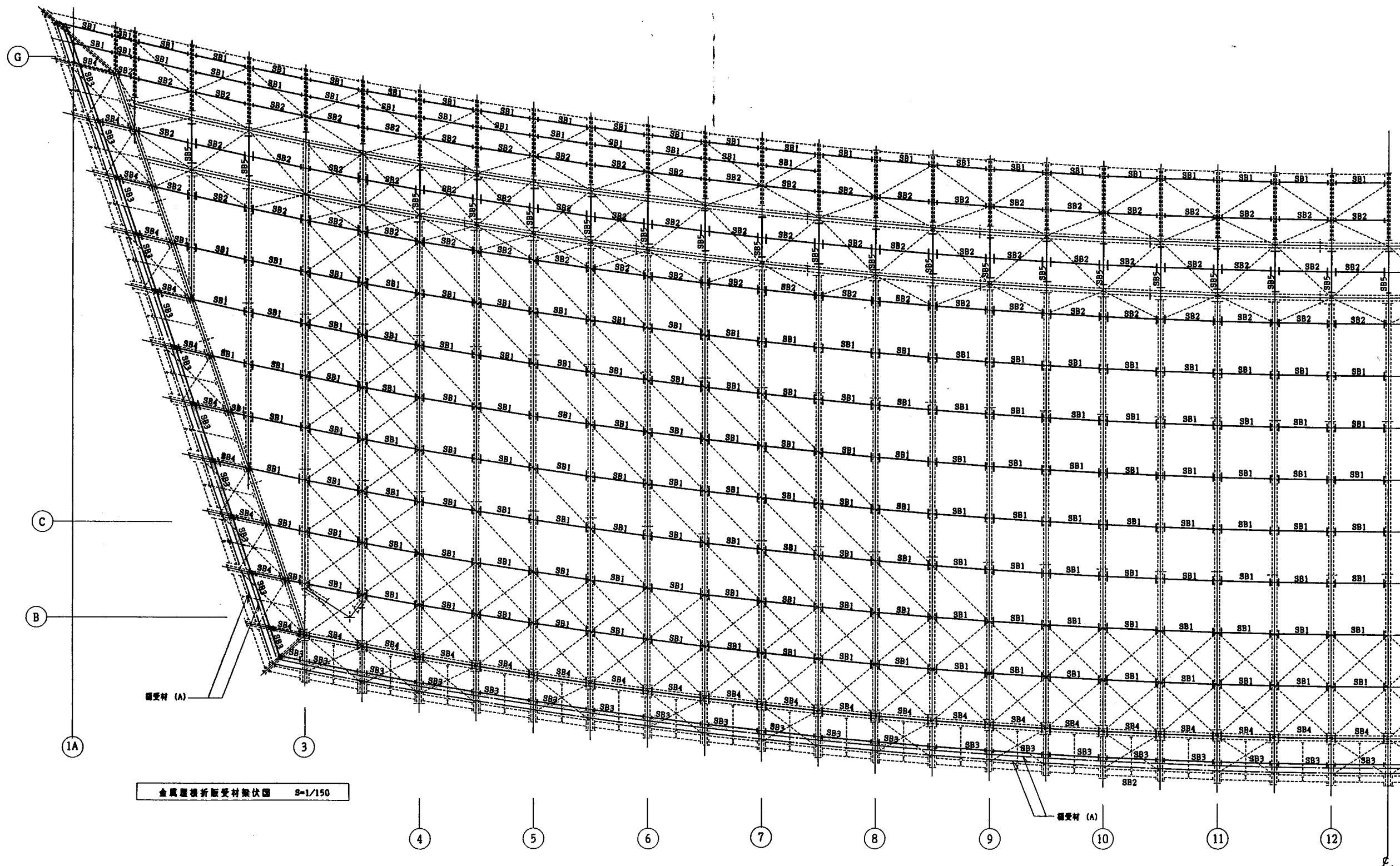
金属屋根下弦サイズ伏図 8-1/150
(鋼骨上弦サイズ伏図)



鉄骨部材リスト		
註記事項)		
1) 特記なき限り部材材質は STK400 とし		
2) 符号に (P) 付は FR 鋼を示す		
符号	部材	備考
G1	φ-406.4 x 40	
G2	φ-406.4 x 35	
G3	φ-406.4 x 22	
G4	φ-406.4 x 12.7	
G5	φ-406.4 x 7.9	
G6	φ-406.4 x 7.9	
G7	φ-318.5 x 7.9	
G8	φ-318.5 x 6.9	
G9	φ-216.3 x 8.2	
G10	φ-216.3 x 5.8	
B1	φ-267.4 x 9.3	
B2	φ-216.3 x 5.8	
B3	φ-190.7 x 5.3	
B4	φ-165.2 x 4.5	
B5	φ-114.3 x 6.0	
B6	φ-101.6 x 4.2	
B7	φ-267.4 x 12.7	
MB1	φ-267.4 x 6.0	ア-ル出サ
MB2	φ-139.8 x 4.0	
MB3	φ-190.7 x 5.3	ア-ル出サ
HV1	φ-267.4 x 12.7	
HV2	φ-267.4 x 9.3	
HV3	φ-267.4 x 6.6	
HV4	φ-267.4 x 6.6	
HV5	φ-216.3 x 5.8	
HV6	φ-190.7 x 5.3	
HV7	φ-165.2 x 4.5	
HV8	φ-139.8 x 4.0	
HV9	L-75x75x6	
HV10	TB-M16	
ST1	φ-318.5 x 6.9	
ST2	φ-318.5 x 6.9	
ST3	φ-267.4 x 6.6	
ST4	φ-216.3 x 5.8	
ST5	φ-190.7 x 5.3	
ST6	φ-165.2 x 4.5	
ST7	φ-139.8 x 4.0	
ST8	φ-101.6 x 3.2	
ST9	φ-267.4 x 12.7	
L3	φ-267.4 x 6.6	
L4	φ-216.3 x 5.8	
L5	φ-190.7 x 5.3	
L6	φ-165.2 x 4.5	
L7	φ-139.8 x 4.0	
L8	TB-M45.2 x TB-M33	
L9	TB-M39.2 x TB-M27	
L10	TB-M30.2 x TB-M22	
L11	TB-M22	

屋根下弦面符号図 S=1/150

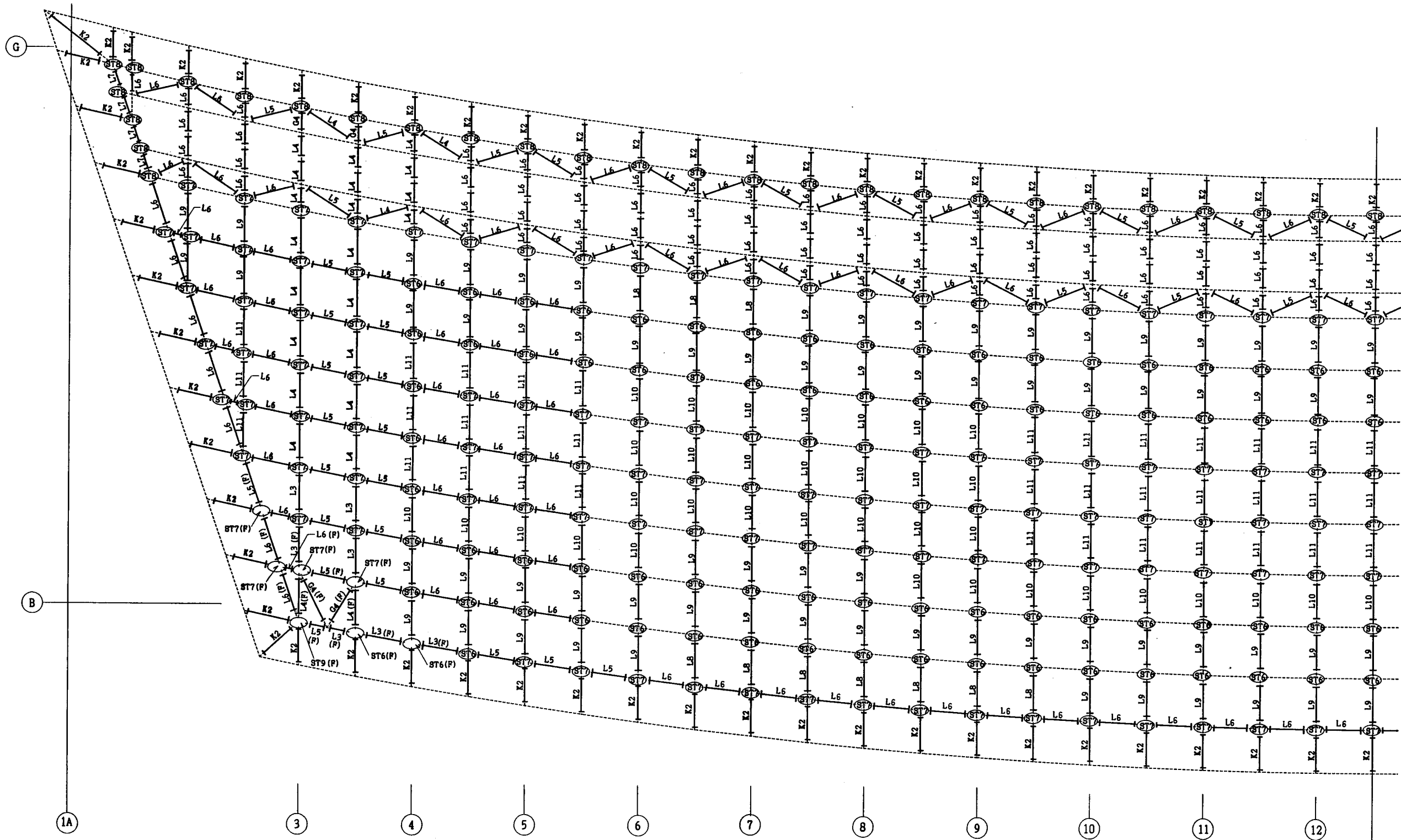
符号	部材	備考	符号	部材	備考
L3	φ-267.4 x 6.6		L11	TB-M22	
L4	φ-216.3 x 5.8				
L5	φ-190.7 x 5.3				
L6	φ-165.2 x 4.5				
L7	φ-139.8 x 4.0				
L8	TB-M45.2 x TB-M33				
L9	TB-M39.2 x TB-M27				
L10	TB-M30.2 x TB-M22				



鉄骨部材リスト

注記事項) 1) 特記なき鋼材材質は S9400 とし ○ 印は SM490A とする

符号	部 材	フランジ面継手 接 合 (HTB)	ウェブ面継手 接 合 (HTB)	備 考	符号	部 材	フランジ面継手 接 合 (HTB)	ウェブ面継手 接 合 (HTB)	備 考	符号	部 材	フランジ面継手 接 合 (HTB)	ウェブ面継手 接 合 (HTB)	備 考	符号	部 材	フランジ面継手 接 合 (HTB)	ウェブ面継手 接 合 (HTB)	備 考
GH1	(H)-428x407x20x35	2S(L)-22 24-M22	2S(L)-16 3x4-M22		K1	H-194x150x6x9	—	G L-9 2S L-6 2x2-M20		SB1	C-200x75x20x4.5	—	L-6 2-M16 (B)	リブ L-4.5					
GH1A	(H)-428x407x20x35 2C(L)-36										SB2	H-198x99x4.5x7	—	L-6 2-M20 (B)					
GH2	(H)-394x398x11x18	2S(L)-12 12-M22	2S(L)-9 2x3-M22		K1A	H-200x100x5.5x8	—	G L-9 2S L-6 2x2-M20		SB3	C-200x75x20x3.2	—	バンド L-6 2-M16 (B)	リブ L-6					
GH2A	(BH)-390x400x12x19	2S(L)-12 12-M22	2S(L)-9 2x3-M22		K2	H-150x75x5x7	—	G L-9 2-M20		SB4	C-100x50x5x7.5	—	バンド L-6 2-M16 (B)						
GH3	(H)-390x300x10x16	2S(L)-12 10-M22	2S(L)-9 2x3-M22		K3	2L-50x50x6	—	G L-9 2-M16	継り L-9 1-M16 (B)	SB5	H-198x99x4.5x7	—	リング L-12 2-M20						
GH4	(H)-482x300x11x15	2S(L)-12 10-M22	2S(L)-12 5-M22		K4	H-200x100x5.5x8	溶接	溶接											
			G L-12 2S L-9 5-M22	端部ピン接合															



金属屋根面材及束材符号図 8-1/150

鉄骨部材リスト

注記事項)

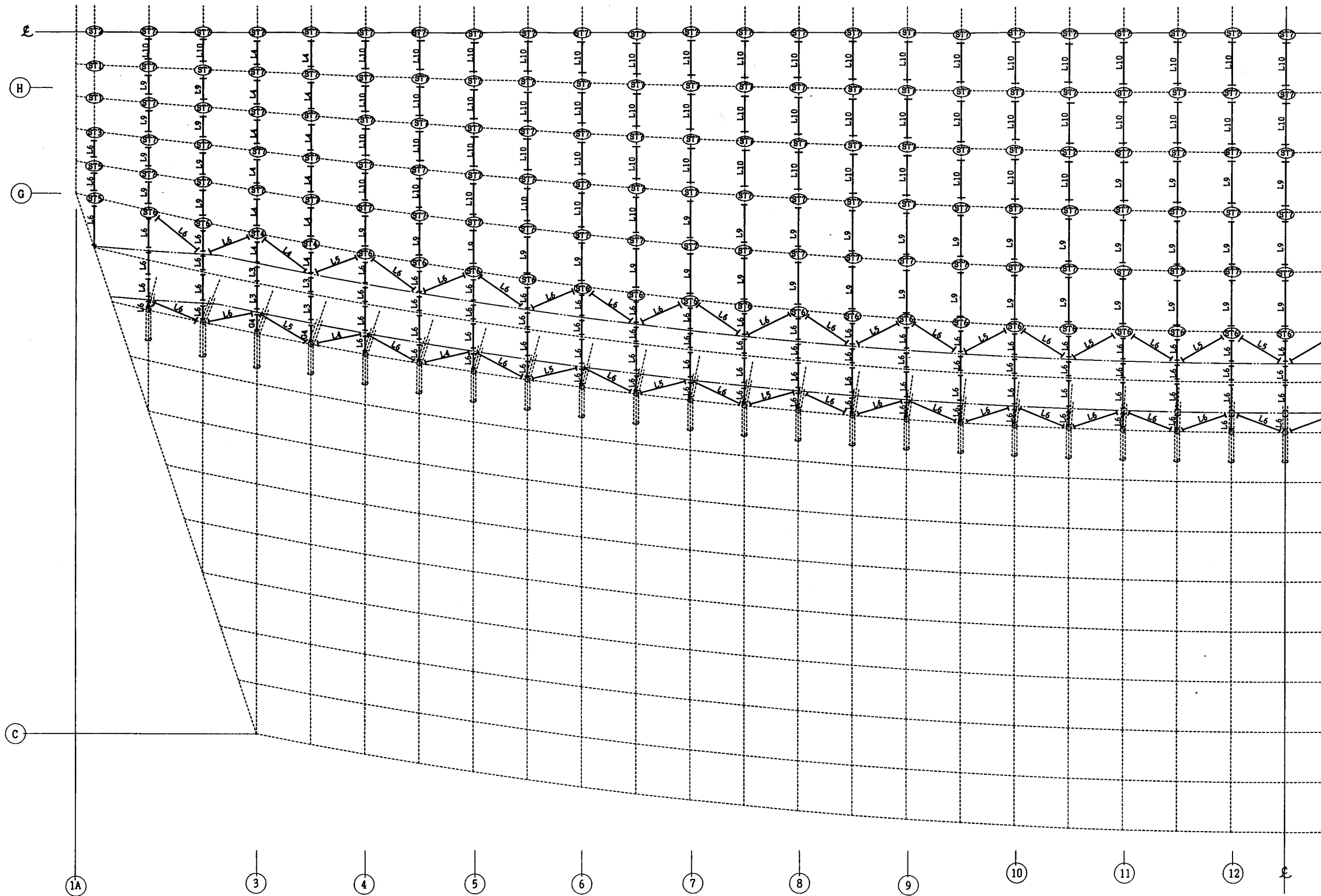
1) 特記なき限り部材材質は STK400 とし

○印は STK490 とする

2) 符号に (P) 付は PR 鋼を示す

符号	部材	備考
G1	φ-406.4 x 40	
G2	φ-406.4 x 35	
G3	φ-406.4 x 22	
G4	φ-406.4 x 12.7	
G5	φ-406.4 x 7.9	
G6	φ-406.4 x 7.9	
G7	φ-318.5 x 7.9	
G8	φ-318.5 x 6.9	
G9	φ-216.3 x 8.2	
G10	φ-216.3 x 5.8	
B1	φ-267.4 x 9.3	
B2	φ-216.3 x 5.8	
B3	φ-190.7 x 5.3	
B4	φ-165.2 x 4.5	
B5	φ-114.3 x 6.0	
B6	φ-101.6 x 4.2	
B7	φ-267.4 x 12.7	
MB1	φ-267.4 x 6.0	アール曲ゲ
MB2	φ-139.8 x 4.0	
MB3	φ-190.7 x 5.3	アール曲ゲ
HV1	φ-267.4 x 12.7	
HV2	φ-267.4 x 9.3	
HV3	φ-267.4 x 6.6	
HV4	φ-267.4 x 6.6	
HV5	φ-216.3 x 5.8	
HV6	φ-190.7 x 5.3	
HV7	φ-165.2 x 4.5	
HV8	φ-139.8 x 4.0	
HV9	L-75x75x6	
HV10	TB-M16	
ST1	φ-318.5 x 6.9	
ST2	φ-318.5 x 6.9	
ST3	φ-267.4 x 6.6	
ST4	φ-216.3 x 5.8	
ST5	φ-190.7 x 5.3	
ST6	φ-165.2 x 4.5	
ST7	φ-139.8 x 4.0	
ST8	φ-101.6 x 3.2	
ST9	φ-267.4 x 12.7	
L3	φ-267.4 x 6.6	
L4	φ-216.3 x 5.8	
L5	φ-190.7 x 5.3	
L6	φ-165.2 x 4.5	
L7	φ-139.8 x 4.0	
L8	TB-M45, 2xTB-M33	
L9	TB-M39, 2xTB-M27	
L10	TB-M30, 2xTB-M22	
L11	TB-M22	

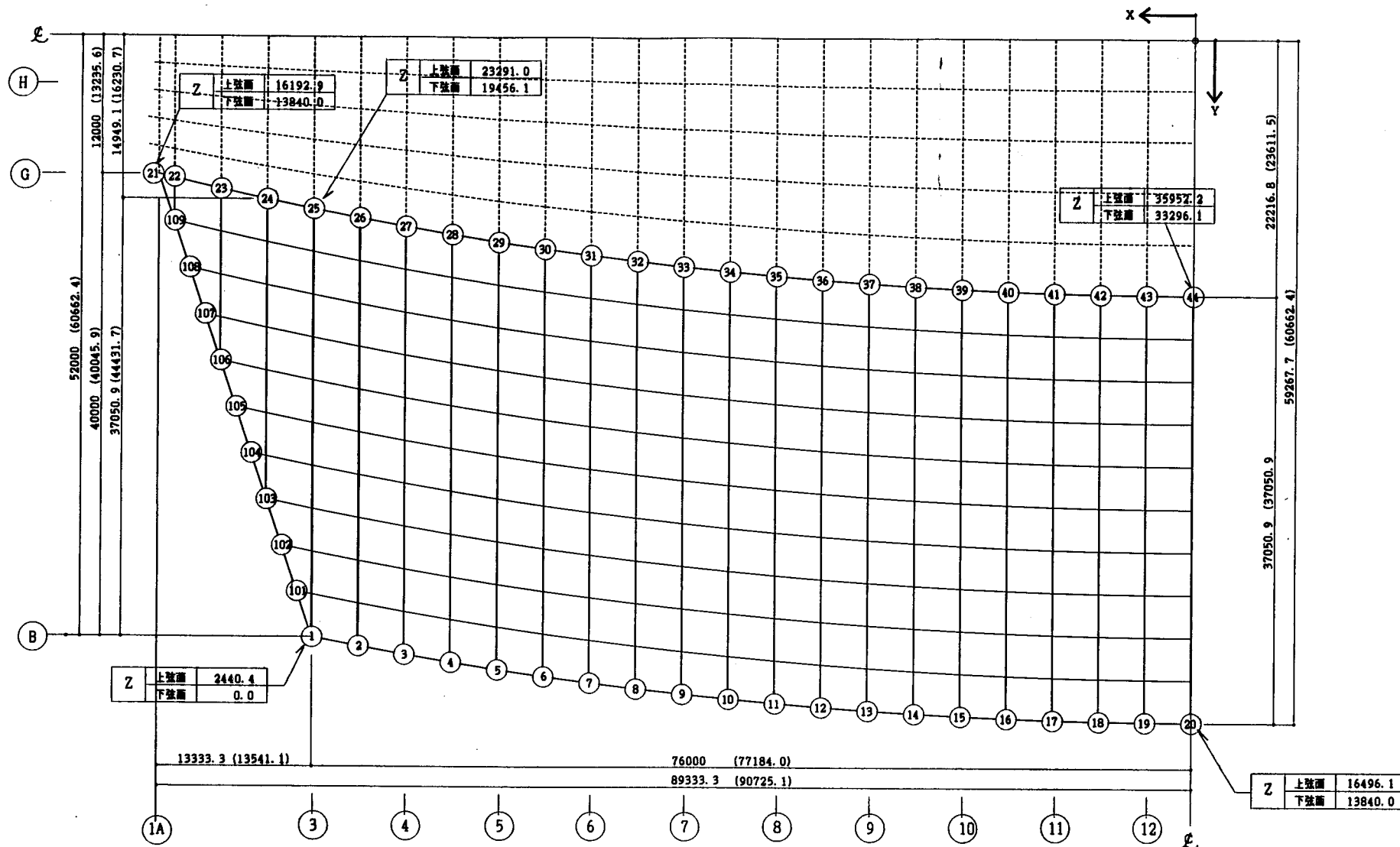
符号	部材	備考	符号	部材	備考
L3	φ-267.4 x 6.6		L11	TB-M22	
L4	φ-216.3 x 5.8				
L5	φ-190.7 x 5.3				
L6	φ-165.2 x 4.5				
L7	φ-139.8 x 4.0				
L8	TB-M45, 2xTB-M33				
L9	TB-M39, 2xTB-M27				
L10	TB-M30, 2xTB-M22				



屋頂構造面図材及部材符号図 S=1/150

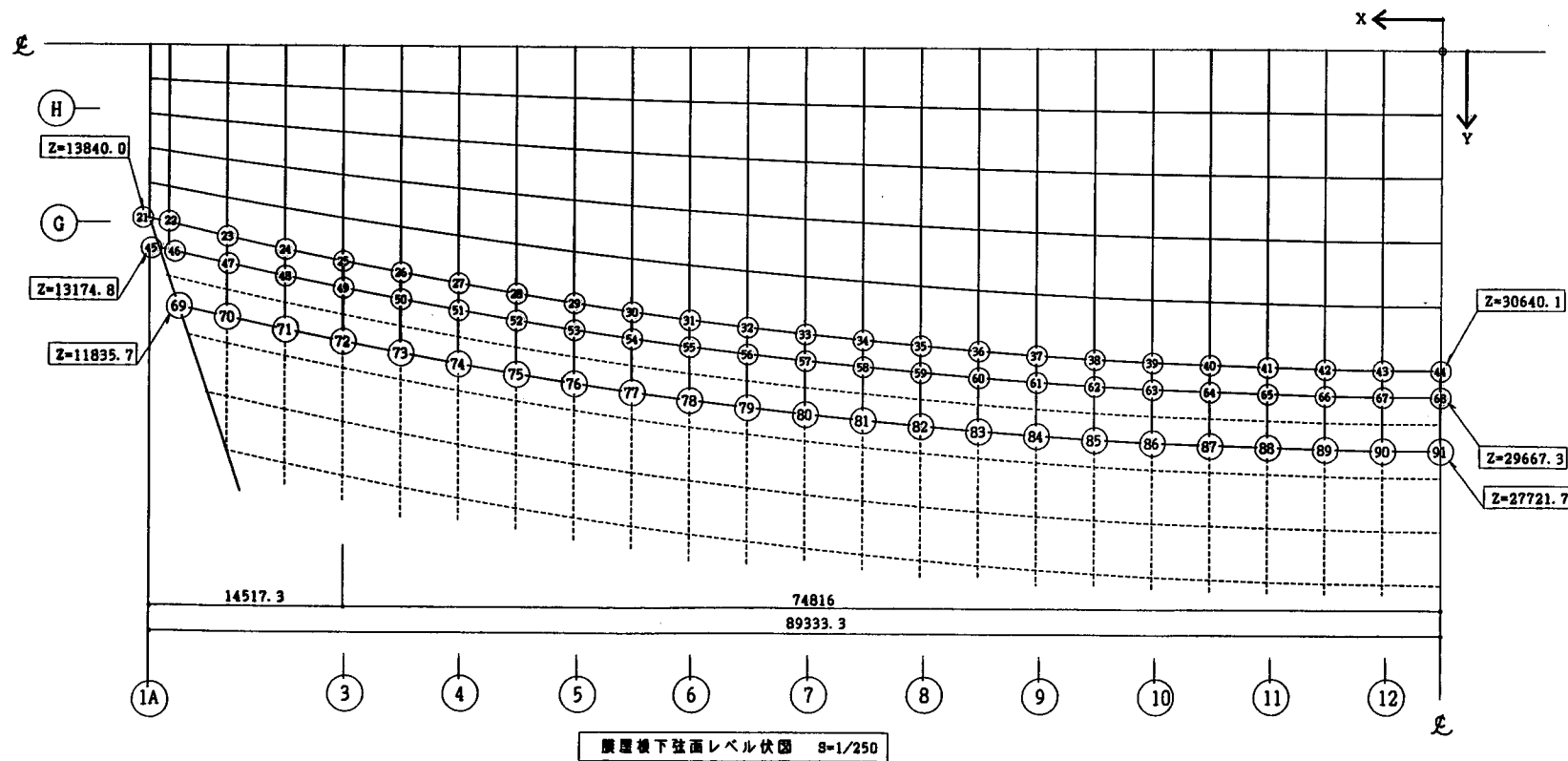
鉄骨部材リスト		
注記事項)		
1) 特記なき限り部材材質は STK400 とし		
2) 符号に (P) 付は FR 鋼を示す		
○ 印は STK490 とする		
符号	部 材	備 考
G1	⌀-406.4 x 40	
G2	⌀-406.4 x 35	
G3	⌀-406.4 x 22	
G4	⌀-406.4 x 12.7	
G5	⌀-406.4 x 7.9	
G6	⌀-406.4 x 7.9	
G7	⌀-318.5 x 7.9	
G8	⌀-318.5 x 6.9	
G9	⌀-216.3 x 8.2	
G10	⌀-216.3 x 5.8	
B1	⌀-267.4 x 9.3	
B2	⌀-216.3 x 5.8	
B3	⌀-190.7 x 5.3	
B4	⌀-165.2 x 4.5	
B5	⌀-114.3 x 6.0	
B6	⌀-101.6 x 4.2	
B7	⌀-267.4 x 12.7	
MB1	⌀-267.4 x 6.0	アール曲げ
MB2	⌀-139.8 x 4.0	
MB3	⌀-190.7 x 5.3	アール曲げ
HV1	⌀-267.4 x 12.7	
HV2	⌀-267.4 x 9.3	
HV3	⌀-267.4 x 6.6	
HV4	⌀-267.4 x 6.6	
HV5	⌀-216.3 x 5.8	
HV6	⌀-190.7 x 5.3	
HV7	⌀-165.2 x 4.5	
HV8	⌀-139.8 x 4.0	
HV9	L-75x75x6	
HV10	TB-M16	
ST1	⌀-318.5 x 6.9	
ST2	⌀-318.5 x 6.9	
ST3	⌀-267.4 x 6.6	
ST4	⌀-216.3 x 5.8	
ST5	⌀-190.7 x 5.3	
ST6	⌀-165.2 x 4.5	
ST7	⌀-139.8 x 4.0	
ST8	⌀-101.6 x 3.2	
ST9	⌀-267.4 x 12.7	
L3	⌀-267.4 x 6.6	
L4	⌀-216.3 x 5.8	
L5	⌀-190.7 x 5.3	
L6	⌀-165.2 x 4.5	
L7	⌀-139.8 x 4.0	
L8	TB-M45, 2xTB-M33	
L9	TB-M39, 2xTB-M27	
L10	TB-M30, 2xTB-M22	
L11	TB-M22	

符号	部 材	備 考	符号	部 材	備 考
L3	⌀-267.4 x 6.6		L11	TB-M22	
L4	⌀-216.3 x 5.8				
L5	⌀-190.7 x 5.3				
L6	⌀-165.2 x 4.5				
L7	⌀-139.8 x 4.0				
L8	TB-M45, 2xTB-M33				
L9	TB-M39, 2xTB-M27				
L10	TB-M30, 2xTB-M22				



金真屋横上、下弦面レベル伏図 S=1/250

註記) 特記なき限り下配に依る
1) () 内寸法は上弦面を示す



真屋横下弦面レベル伏図 S=1/250

上、下弦トラスレベル表											
上弦面			下弦面			最下弦面					
NO	X 方向	Y 方向	Z 方向	節点 NO	X 方向	Y 方向	Z 方向	節点 NO	X 方向	Y 方向	Z 方向
1	77184.0	53281.5	2440.4	1	76000.0	52000.0	0.0	21	89333.3	12000.2	13840.0
2	73121.7	54067.7	3937.6	2	72000.0	52774.1	1474.2	22	87804.1	12144.3	14114.8
3	69059.4	54804.8	5341.2	3	68000.0	53499.9	2856.2	23	83252.2	12532.7	14854.5
4	64997.1	55493.9	6653.5	4	64000.0	54178.4	4148.4	24	78753.7	12856.5	15471.0
5	60934.8	56136.2	7876.7	5	60000.0	54810.9	5352.8	25	74816.0	13667.6	17015.7
6	56872.4	56732.8	9012.8	6	56000.0	55398.3	6471.5	26	70878.3	14429.7	18467.0
7	52810.1	57284.6	10063.6	7	52000.0	55941.7	7506.2	27	66940.6	15144.1	19827.4
8	48747.8	57792.4	11030.7	8	48000.0	56441.7	8458.5	28	63002.9	15812.1	21099.4
9	44685.5	58257.1	11915.5	9	44000.0	56899.2	9329.7	29	59065.2	16434.7	22285.1
10	40623.2	58679.2	12719.0	10	40000.0	57314.9	10121.3	30	55127.6	17013.0	23386.4
11	36560.9	59059.4	13443.2	11	36000.0	57689.2	10834.2	31	51189.9	17547.9	24405.0
12	32498.5	59398.2	14088.6	12	32000.0	58022.9	11469.5	32	47252.2	18040.1	25342.4
13	28436.2	59696.1	14655.9	13	28000.0	58316.2	12028.1	33	43314.5	18490.5	26200.1
14	24373.9	59953.5	15146.0	14	24000.0	58569.6	12510.7	34	39376.8	18899.7	26979.3
15	20311.6	60170.7	15559.7	15	20000.0	58783.5	12918.0	35	35439.1	19268.2	27681.1
16	16249.3	60348.0	15897.4	16	16000.0	58958.1	13250.5	36	31501.5	19596.6	28306.5
17	12187.0	60485.7	16159.5	17	12000.0	59093.7	13508.6	37	27563.8	19885.4	28856.4
18	8124.6	60583.9	16346.6	18	8000.0	59190.4	13692.8	38	23626.1	20134.9	29331.5
19	4062.3	60642.8	16458.7	19	4000.0	59248.3	13803.2	39	19688.4	20345.4	29732.4
20	0.0	60662.4	16496.1	20	0.0	59267.7	13840.0	40	15750.7	20517.3	30059.7
21	90725.1	13235.6	16192.9	21	89333.3	12000.0	13840.0	41	11813.1	20650.8	30313.9
22	89371.0	13562.1	16814.8	22	88000.0	12321.5	14452.3	42	7875.4	20746.0	30495.2
23	85308.7	14504.9	18610.2	23	84000.0	13249.9	16220.2	43	3937.7	20803.0	30603.9
24	81246.3	15393.9	20303.0	24	80000.0	14125.2	17887.0	44	0.0	20822.1	30640.1
25	77184.0	16230.7	21896.6	25	76000.0	14949.1	19456.1	45	88666.7	14014.1	13174.8
26	73121.7	17016.9	23393.8	26	72000.0	15723.3	20930.4	46	87894.5	14078.7	13297.8
27	69059.4	17753.9	24797.3	27	68000.0	16449.0	22312.4	47	83295.3	14426.6	13960.4
28	64997.1	18443.0	26109.6	28	64000.0	17127.5	23604.5	48	78753.7	14709.0	14498.2
29	60934.8	19085.3	27332.8	29	60000.0	17760.0	24809.0	49	74816.0	15520.2	16042.9
30	56872.4	19681.9	28468.9	30	56000.0	18347.5	25927.7	50	70878.3	16282.2	17494.1
31	52810.1	20233.7	29519.7	31	52000.0	18890.8	26962.4	51	66940.6	16996.7	18854.6
32	48747.8	20741.6	30486.8	32	48000.0	19390.9	27914.6	52	63002.9	17664.6	20126.6
33	44685.5	21206.2	31371.7	33	44000.0	19848.4	28785.9	53	59065.2	18287.3	21312.3
34	40623.2	21628.3	32175.5	34	40000.0	20264.0	29577.4	54	55127.6	18865.5	22413.6
35	36560.9	22008.5	32899.5	35	36000.0	20638.4	30290.3	55	51189.9	19400.4	23432.2
36	32498.5	22347.3	33544.7	36	32000.0	20972.0	30925.6	56	47252.2	19892.7	24369.6
37	28436.2	22645.2	34112.0	37	28000.0	21265.3	31484.2	57	43314.5	20343.1	25227.3
38	24373.9	22902.6	34602.2	38	24000.0	21518.7	31966.8	58	39376.8	20752.2	26006.5
39	20311.6	23119.8	35015.8	39	20000.0	21732.6	32374.1	59	35439.2	21120.8	26708.3
40	16249.3	23297.2	35353.5	40	16000.0	21907.2	32706.6	60	31501.5	21449.2	27333.7
41	12187.0	23434.8	35615.7	41	12000.0	22042.8	32964.8	61	27563.8	21737.9	27883.6
42	8124.6	23533.1	35802.7	42	8000.0	22139.5	33148.9	62	23626.1	21987.4	28358.6
43	4062.3	23591.9	35914.8	43	4000.0	22197.5	33259.3	63	19688.4	22198.0	28759.6
44	0.0	23611.5	35952.2	44	0.0	22216.8	33296.1	64	15750.7	22369.8	29086.9
101	78538.1	49303.2	3865.7	101	77333.3	48025.9	1433.3	65	11813.1	22503.3	29341.1
102	79892.3	45319.2	5280.2	102	78666.7	44046.2	2855.9	66	7875.4	22568.5	29522.4
103	81246.3	41329.5	6683.8	103	80000.0	40060.8	4267.8	67	3937.7	22655.6	29631.1
104	82600.4	37334.0	8076.3	104	81333.3	36069.7	5668.8	68	0.0	22674.6	29667.3
105	83954.6	33332.6	9457.7	105	82666.7	32078.9	7058.8	69	87333.3	18037.7	11835.7
106	85308.7	29325.3	10827.8	106	84000.0	28070.2	8437.7	70	83405.2	18237.0	12215.4
107	86662.8	25312.0	12186.5	107	85333.3	24061.7	9805.5	71	78753.7	18414.1	12552.6
108	88016.9	21292.7	13533.7	108	86666.7	20047.2	11161.8	72	74815.0	19225.2	14097.3
109	89371.0	17267.2	14869.2	109	88000.0	16026.6	12560.7	73	70878.3	19987.3	15548.5
								74	66940.6	20701.7	16909.0
								75	63002.9	21369.7	18181.0
								76	59065.2	21992.3	19366.7
								77	55127.6	22570.6	20468.0
								78	51189.9	23105.5	21486.5
								79	47252.2	23597.8	22424.0
								80	43314.5	24048.2	23281.7
								81	39376.8	24457.3	24060.9
								82	35439.2	24825.9	24762.7
								83	31501.5	25154.3	25388.1
								84	27563.8	25443.0	25937.9
								85	23626.1	25692.5	26413.0
								86	19688.4	25903.0	26814.0
								87	15750.7	26074.9	27141.3
								88	11813.1	26208.4	27395.5
								89	7875.4	26303.6	27576.8
								90	3937.7	26360.7	27685.4
								91	0.0	26379.7	27721.7

開先基準図

(手: アーク手溶接 CO₂: ガスシールドアーク半自動溶接 SAW: サブマージアーク自動溶接)

(単位mm)

1	隅肉溶接	手 CO ₂ SAW	1A	異形隅肉溶接	手 CO ₂ SAW	1B	隅肉溶接	手 CO ₂
T ≤ 16		T S 6 5(6) 9 7 12 9 14 10 16 12	16 < T ≤ 32		T D 19 7 22 7 25 8 28 9 32 10	T ≤ 16		T S 6 5 9 7 12 9 14 10 16 12
	TはT1, T2いずれか薄い板厚とする。 ()内はSAWの時を示す。			TはT1, T2いずれか薄い板厚とする。			5T以上 かつ30mm以上	TはT1, T2いずれか薄い板厚とする。
2	V形開先完全溶込み溶接	手 CO ₂	3	V形開先完全溶込み溶接	手 CO ₂	4	K形開先完全溶込み溶接	手 CO ₂
—		裏あて金使用	T ≤ 19		裏あて金使用	T > 19		裏あて金使用
							D1 = 2(T-2)/3 D2 = (T-2)/3	
5	I形開先完全溶込み溶接	手 CO ₂	6	V形開先部分溶込み溶接	手 CO ₂	7	K形開先部分溶込み溶接	手 CO ₂
T ≤ 9		裏あて金使用	T ≤ 16		—	T > 16		—
							D1 = (T-2)/2	
8	フレア溶接	手 CO ₂	9			10		
	T S 16 ~ 25 3 32 4 40 ~ 45 5							

共通事項

1. 溶接端部の処理

a) 開先のある溶接の両端では、健全な溶接の全断面が確保できるようにエンドタブを設ける。ただし、その他の適切な方法により溶接端部の欠陥を防止しないと係員が認めた場合は、この限りではない。

b) 隅肉溶接の端部は、まわし溶接を行なう。

c) アーク手溶接、ガスシールドアーク半自動溶接のエンドタブは、鋼製で継手と同じ形状とし長さ35mm以上かつ板厚の2倍以上とする。また鋼製エンドタブにかわり成形フラックスタブを使用してもよい。

d) サブマージアーク自動溶接のエンドタブは継手と同じ形状で幅75mm以上かつ板厚の3倍以上長さ150程度とする。

e) エンドタブは溶接終了後配管などの後工程に支障が生じない限り、そのまま残してもよい。ただし鉄骨造で、見えかぎりとなる箇所は5~10mm露出して切断する。

2. スクラップ

スクラップの半径は35mmを標準とする。

3. 板厚の異なる継手

突合せ溶接される部材の板厚差による段差が10mmを超える場合には、厚い方の材を1/2.5以下の傾斜に加工し、開先部分で薄い方と同一の高さにする。

T1 - T2 > 10mm

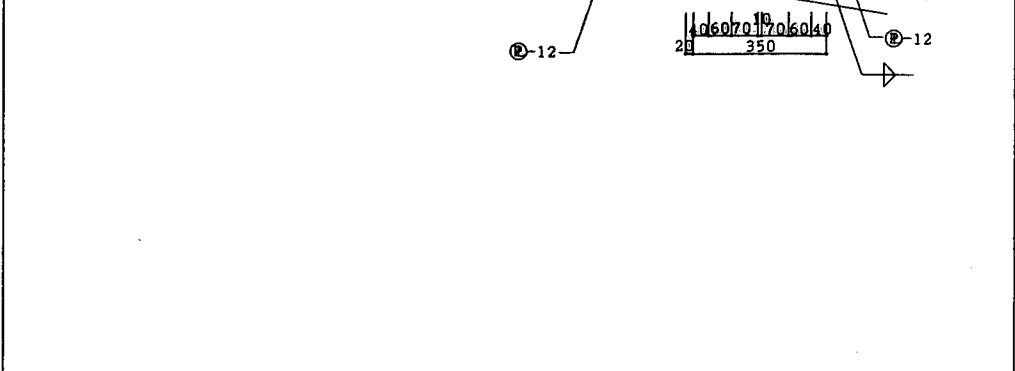
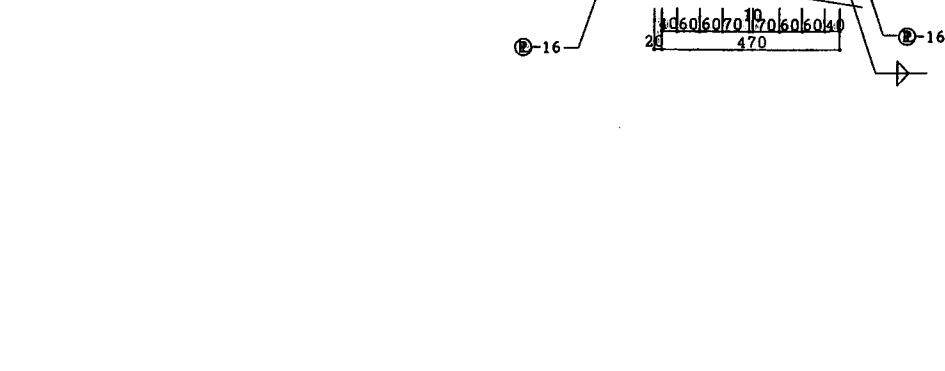
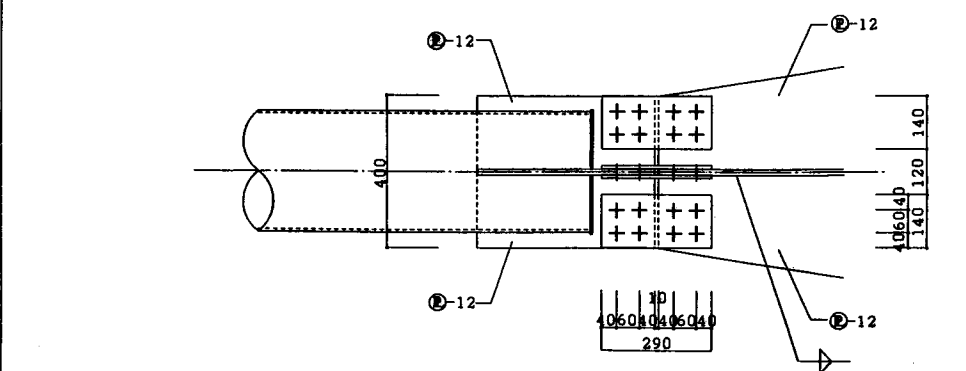
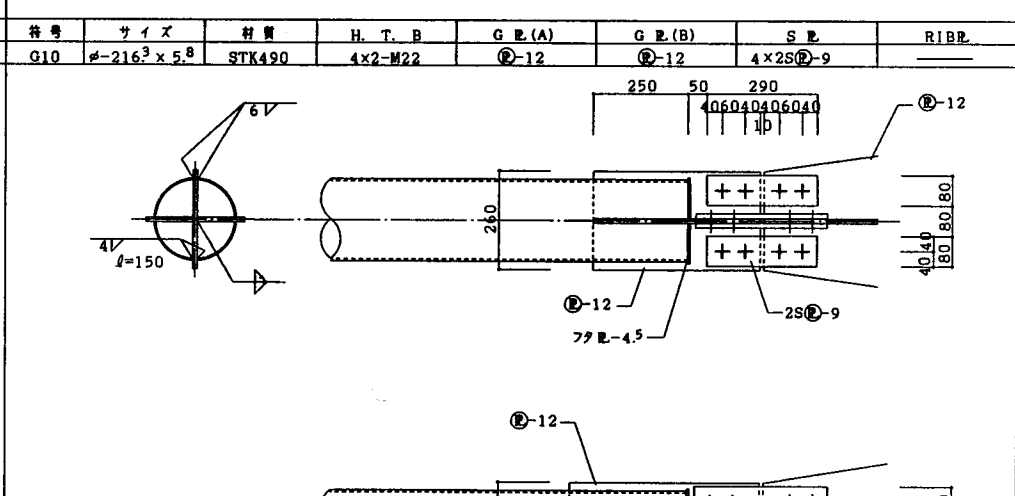
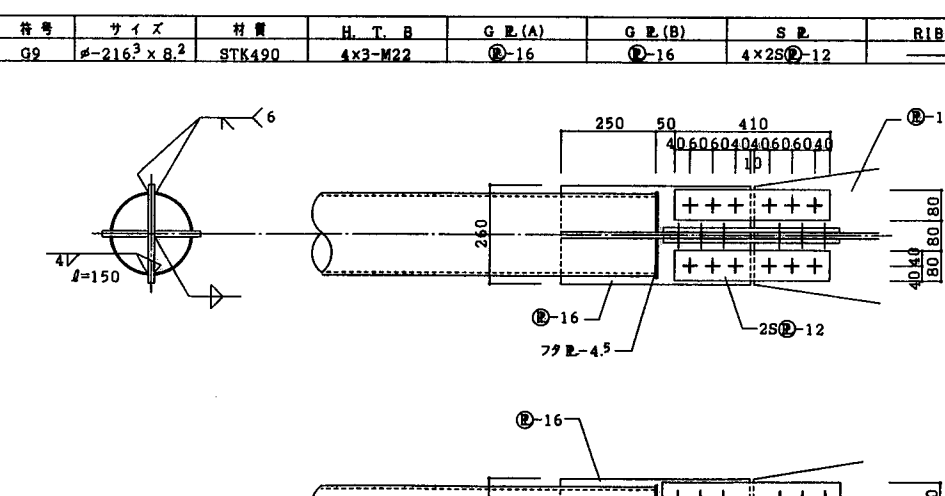
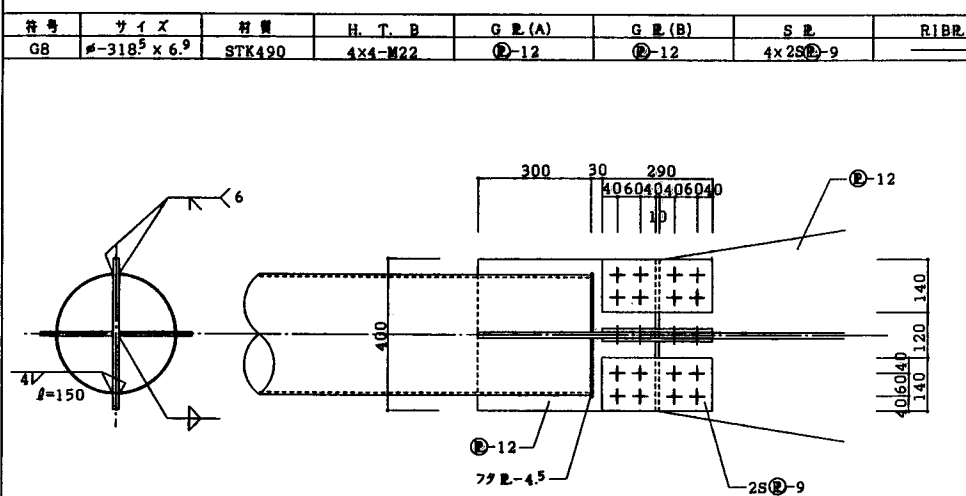
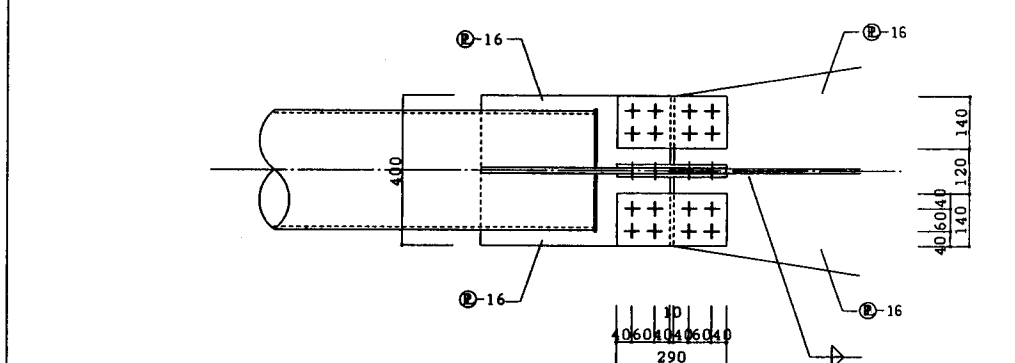
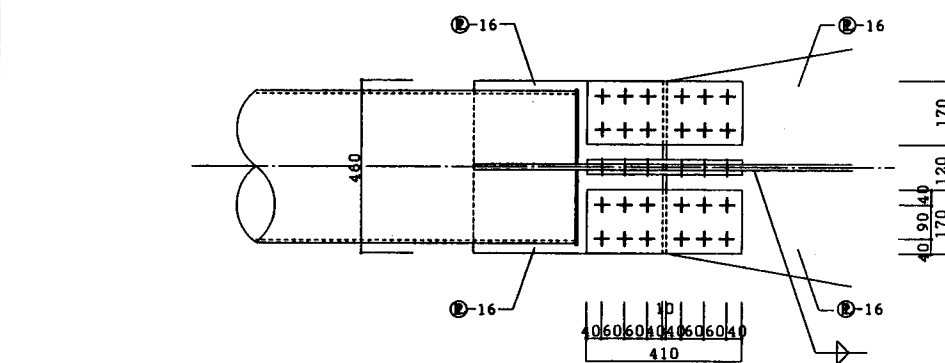
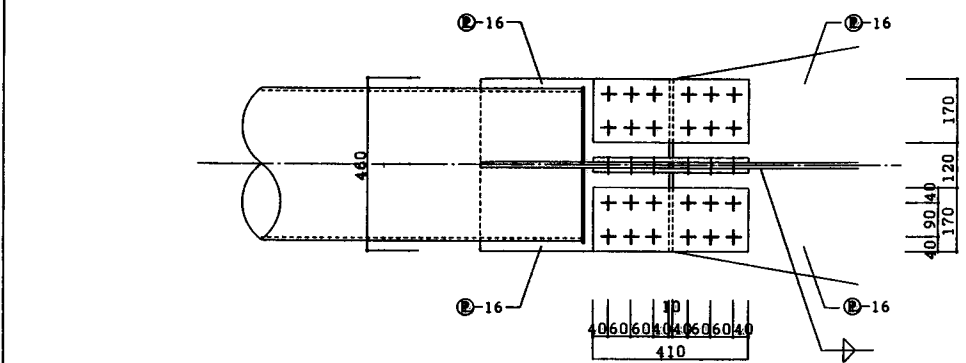
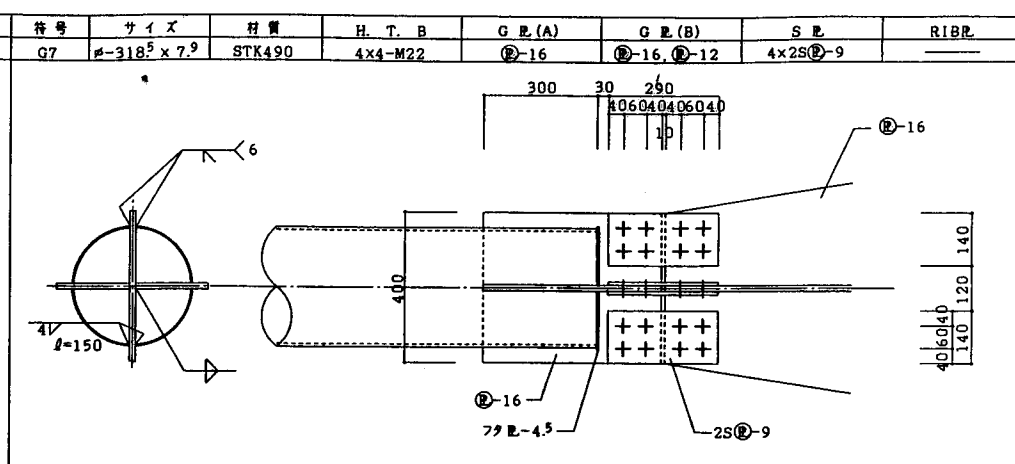
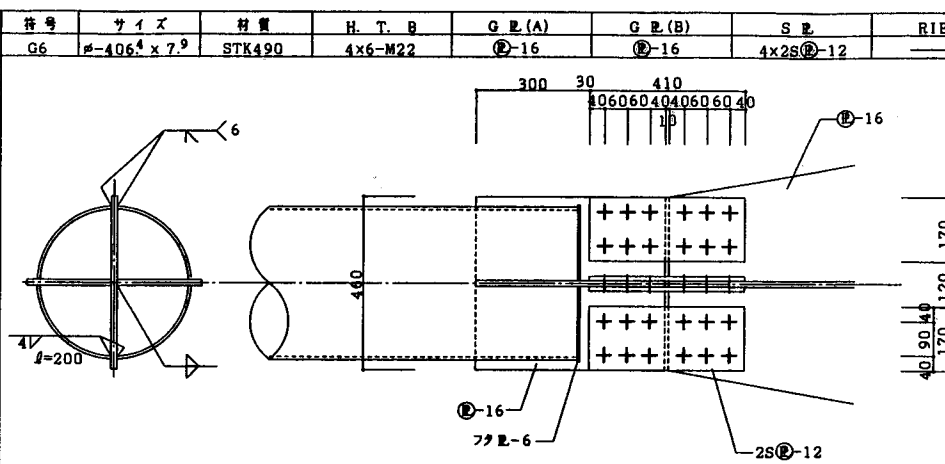
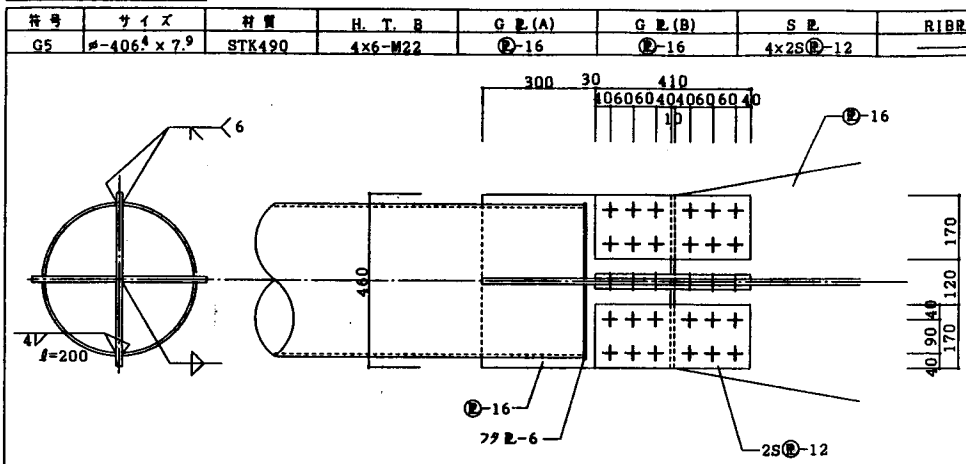
4. 補強すみ肉溶接 (S1)

T継手の場合、突き合わせるほうの材の厚さの1/4以上のサイズの隅肉溶接を付加する。ただし、付き合わせる材の厚さが40mm以上の場合は隅肉のサイズは10mmとする。

S1 ≥ T/4
ただし T ≥ 40の場合は S1 ≥ 10とする。

5. 余盛 (C)

図	管理許容差	限界許容差
隅肉溶接	0 ≤ C ≤ 0.48 かつ4mm以下	0 ≤ C ≤ 0.68 かつ6mm以下
突合せ溶接	・ B < 15mm 0.5mm ≤ h ≤ 3mm ・ 15mm ≤ B < 25mm 0.5mm ≤ h ≤ 4mm ・ 25mm ≤ B 0.5mm ≤ h ≤ (4/25)Bmm	・ B < 15mm 0.5mm ≤ h ≤ 5mm ・ 15mm ≤ B < 25mm 0.5mm ≤ h ≤ 6mm ・ 25mm ≤ B 0.5mm ≤ h ≤ (6/25)Bmm



符号	サイズ	材質	H. T. B	G R. (A)	G R. (B)	S R.	RIBB.
B5	#-114 ³ × 6. ⁰	STK400	6-M22	Ⓢ-12	R-12	—	—

Technical drawing of a mechanical part. The drawing includes a cross-section view on the left and a side view on the right. The cross-section shows a cylindrical part with a central hole, a flange with a diameter of 200, and a length of 30. The side view shows a cylindrical part with a diameter of 180 and a length of 200. The part is labeled with 'R-12' and '77 R-4.5'.

符号	サイズ	材質	H. T. B	G 型 (A)	G 型 (B)	S 型	RIB 型
B2	ϕ -216 ³ × 5.8	STK490	4×2-M20	⑨-9	⑨-12	4×28⑨-9	⑨-9

Technical drawing of a shaft assembly. The shaft has a diameter of 150 mm and a length of 260 mm. It features a central section with a diameter of 200 mm and a length of 50 mm. The shaft is supported by two bearings, each with a width of 28 mm. The shaft is secured with a nut and washer. The drawing includes a cross-section view of the shaft showing a 6V thread and a 4V thread. The shaft is labeled with '406040406040' and '1P'.

Technical drawing of a shaft assembly. The shaft has a diameter of 150 mm and a length of 260 mm. It features a central section with a diameter of 200 mm and a length of 50 mm. The shaft is supported by two bearings, each with a width of 28 mm. The shaft is secured with a nut and washer. The drawing includes a cross-section view of the shaft showing a 6V thread and a 4V thread. The shaft is labeled with '406070706040' and '2P'.

[illegible]

符号	サイズ	材質	H. T. B	G R (A)	G R (B)	S R	RIB
B6	ϕ -101.6 $\times$ 4.2	STK400	4-M22	E-12	E-9	—	—

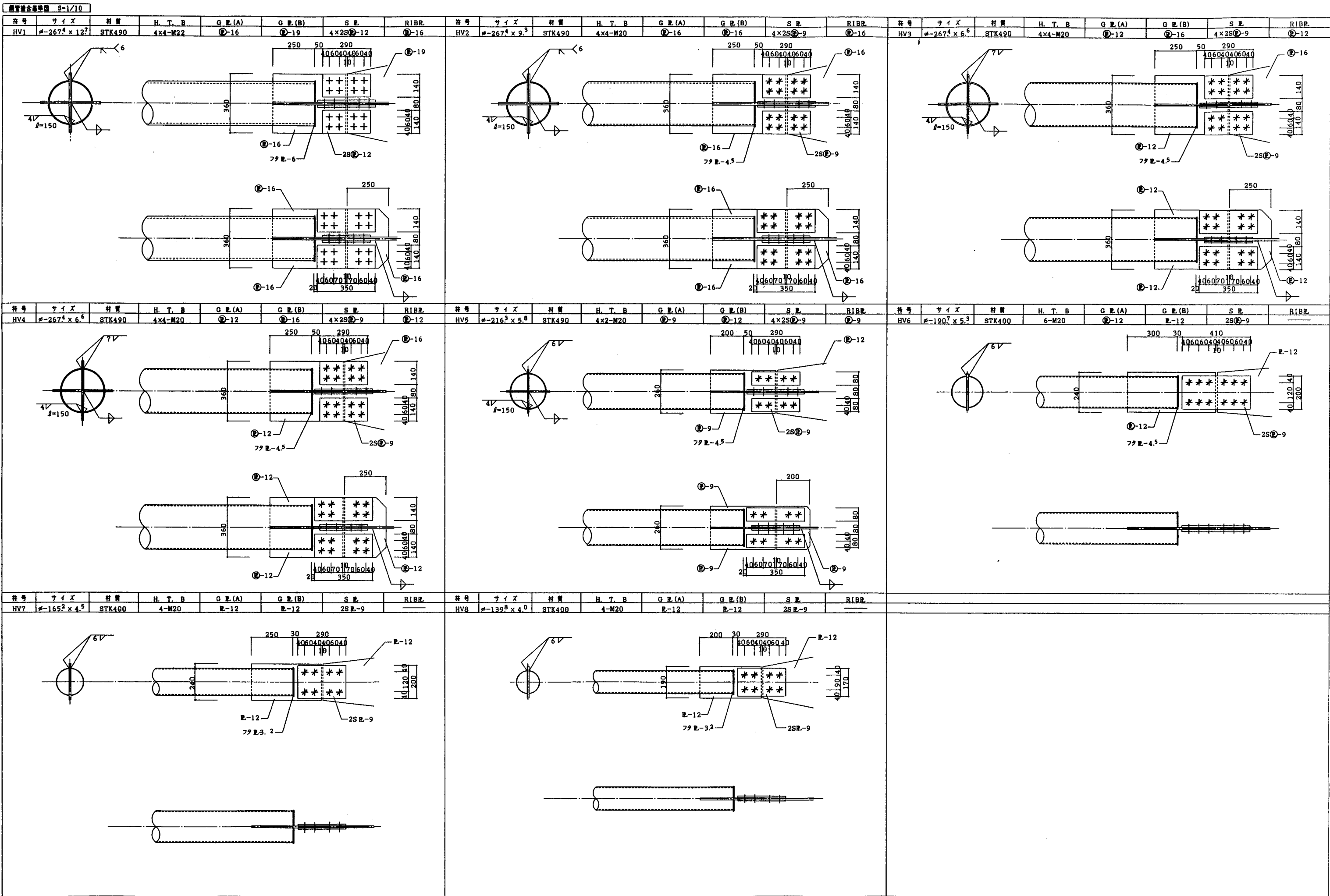
Technical drawing of a mechanical part, likely a shaft or pin. The drawing includes a cross-sectional view on the left showing a 6V chamfer. The main view is a longitudinal section showing a shaft with a diameter of 101.6 mm. A section line A-A is indicated. Dimensions include a total length of 150 mm, a section length of 30 mm, and a diameter of 160 mm for a specific section. Material specifications E-12 and E-9 are noted. A detail view shows a cross-section with a 40 mm diameter and a 140 mm length. A vertical dimension of 40 mm is also shown.

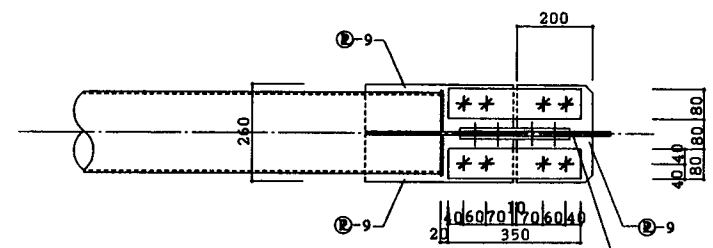
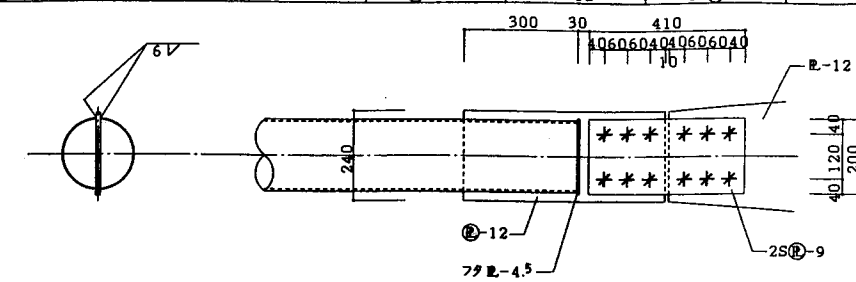
符号	サイズ	材質	H. T. B	G 記(A)	G 記(B)	S 記	R1B記
B2	$\phi 190^7 \times 5.3$	STK400	6-M20	Ⓔ-12	Ⓔ-12	2SⒺ-9	—

Technical drawing of a shaft assembly. The top view shows a shaft with a 6V keyway. The side view shows a shaft with a diameter of 190mm and a length of 5.3m. The shaft is supported by bearings (240, 200, 120, 40) and has a central section with a diameter of 300mm. The shaft is labeled with 'G 記(A)', 'G 記(B)', 'S 記', and 'R1B記'. The shaft is also labeled with 'Ⓔ-12' and '2SⒺ-9'.

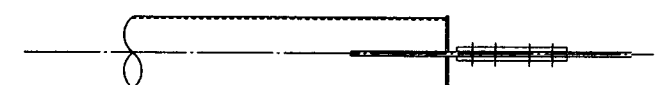
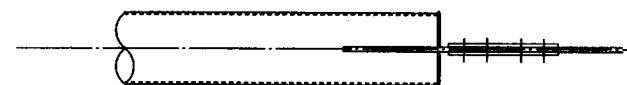
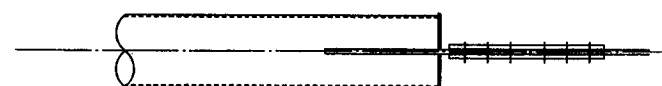
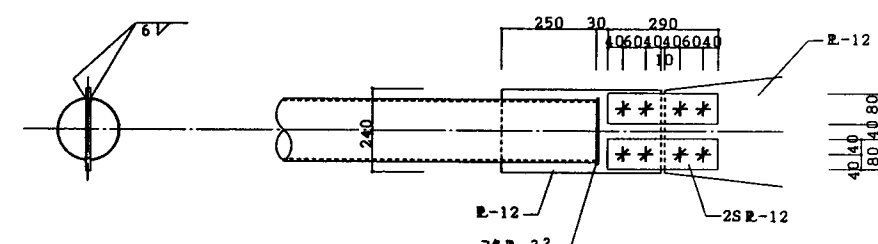
[illegible]

符号	サイズ	材質	H. T. B	G R. (A)	G R. (B)	S R.	RIR.
B7	#-267 ⁴ × 12 ⁷	STK490	4×4-M22	Ⓔ-16	Ⓔ-19	4×2SⒺ-12	Ⓔ-16

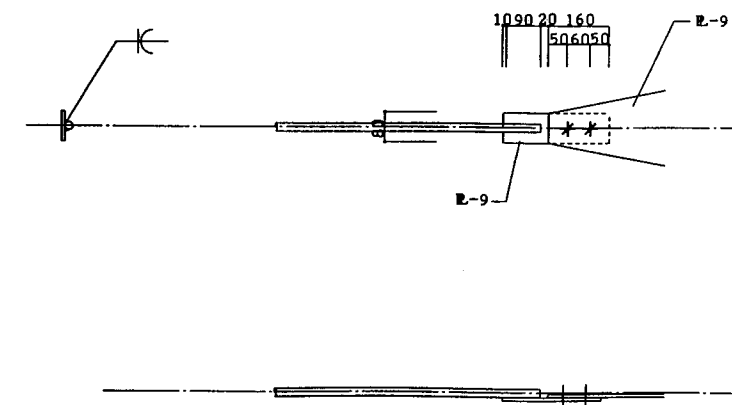
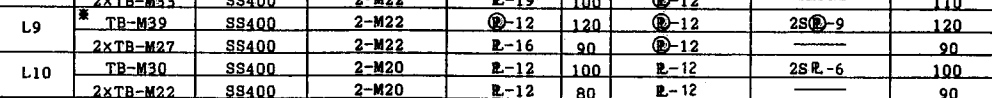


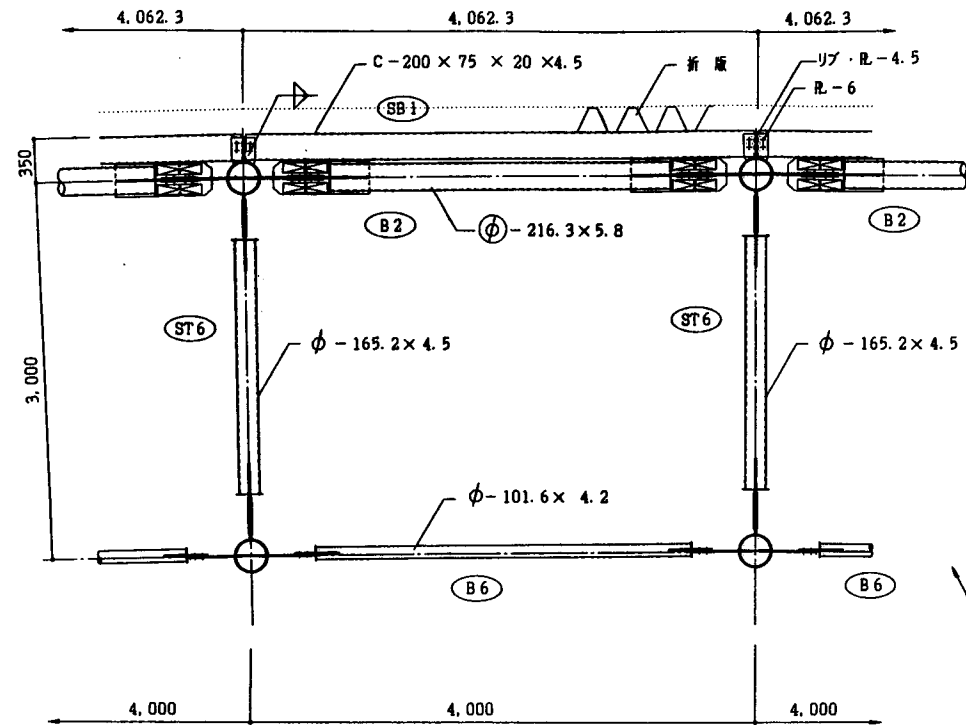


特号	サイズ	材質	H. T. B	G R (A)	G R (B)	S R	RIBR
L6A	#-165 ² × 4 ⁵	STK400	2×2-M20	R-12	W-12	2×2S R-12	_____

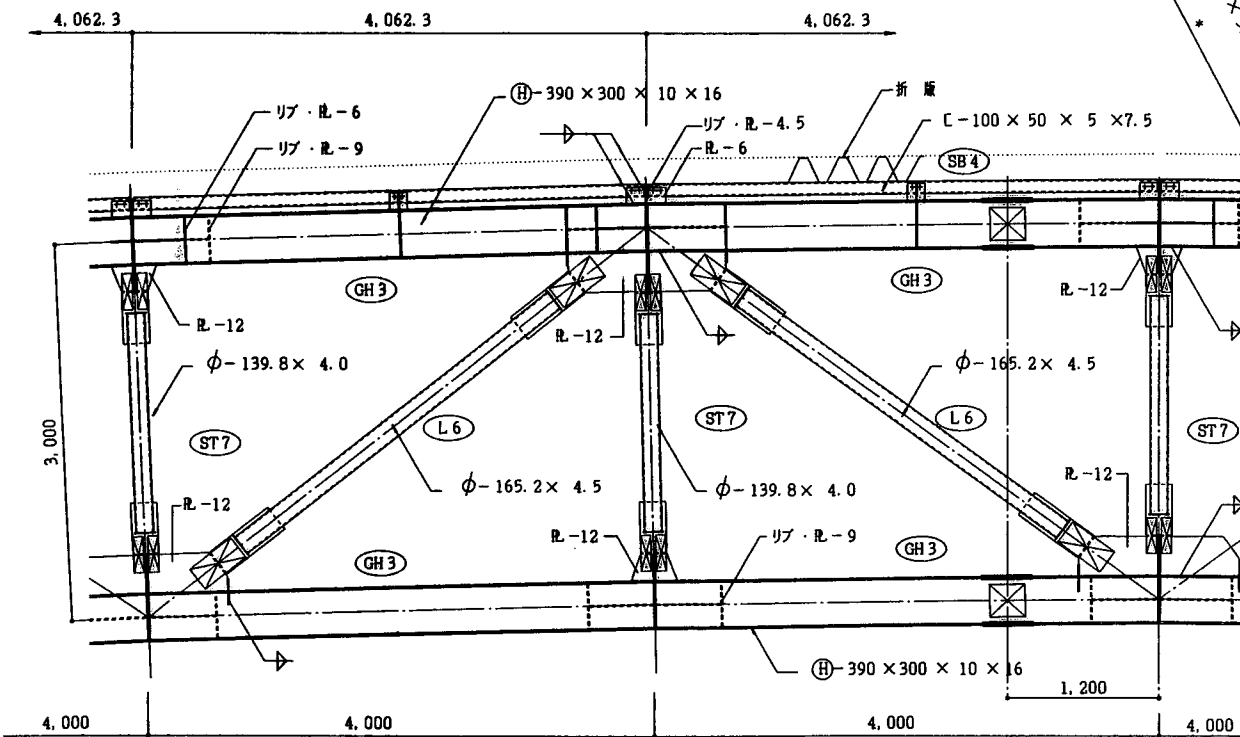


符号	サイズ	材質	H. T. B	G R (A)	G R (B)	S R	f
111	TR-M22	SS400	2-M20	B-0	B-0		00

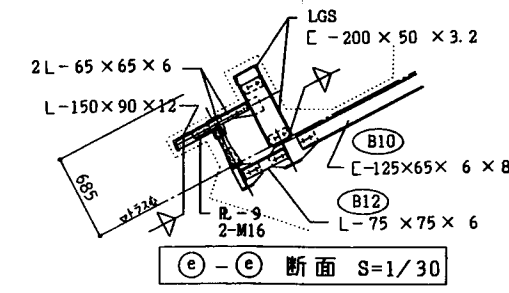




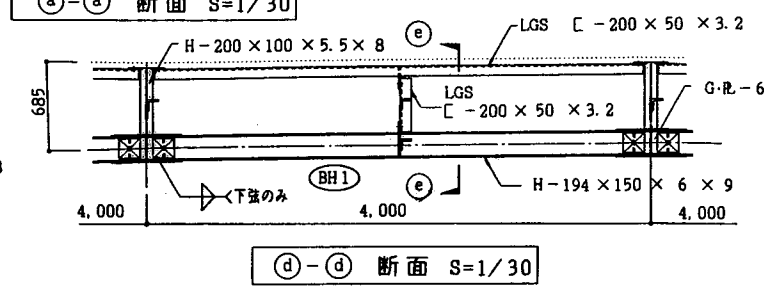
(b-b) 断面 S=1/30



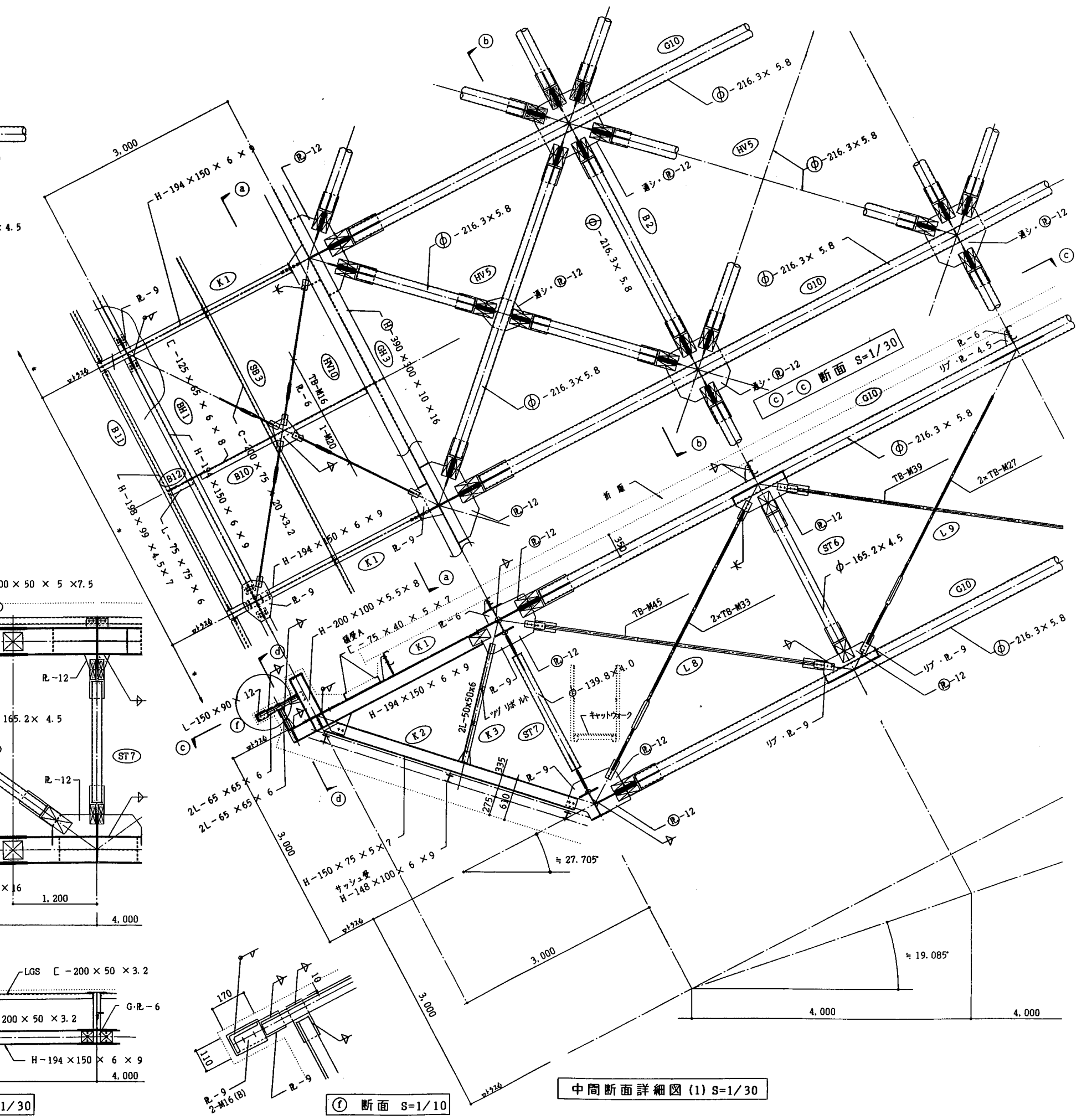
(a-a) 断面 S=1/30



(e-e) 断面 S=1/30



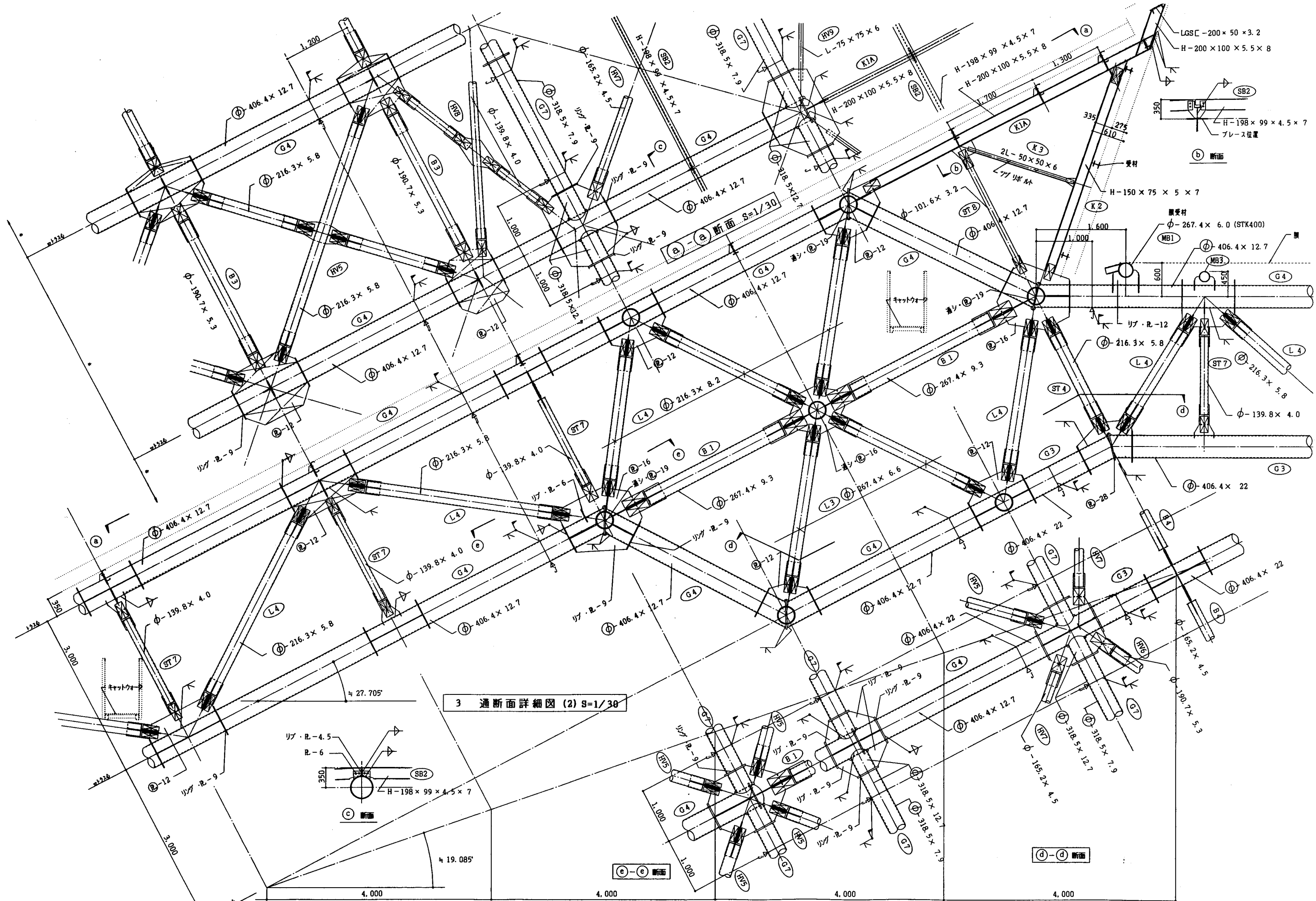
(d-d) 断面 S=1/30



(f-f) 断面 S=1/10

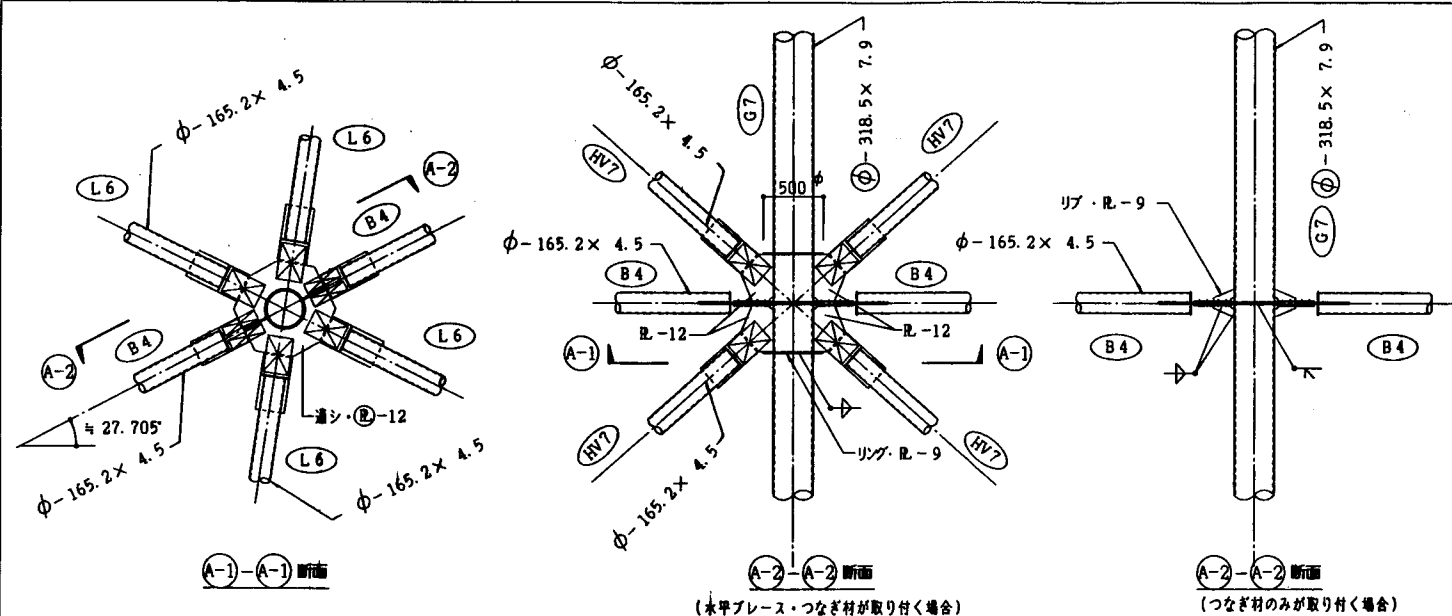
中間断面詳細図 (1) S=1/30

久米設計・梓設計 設計共同企業体

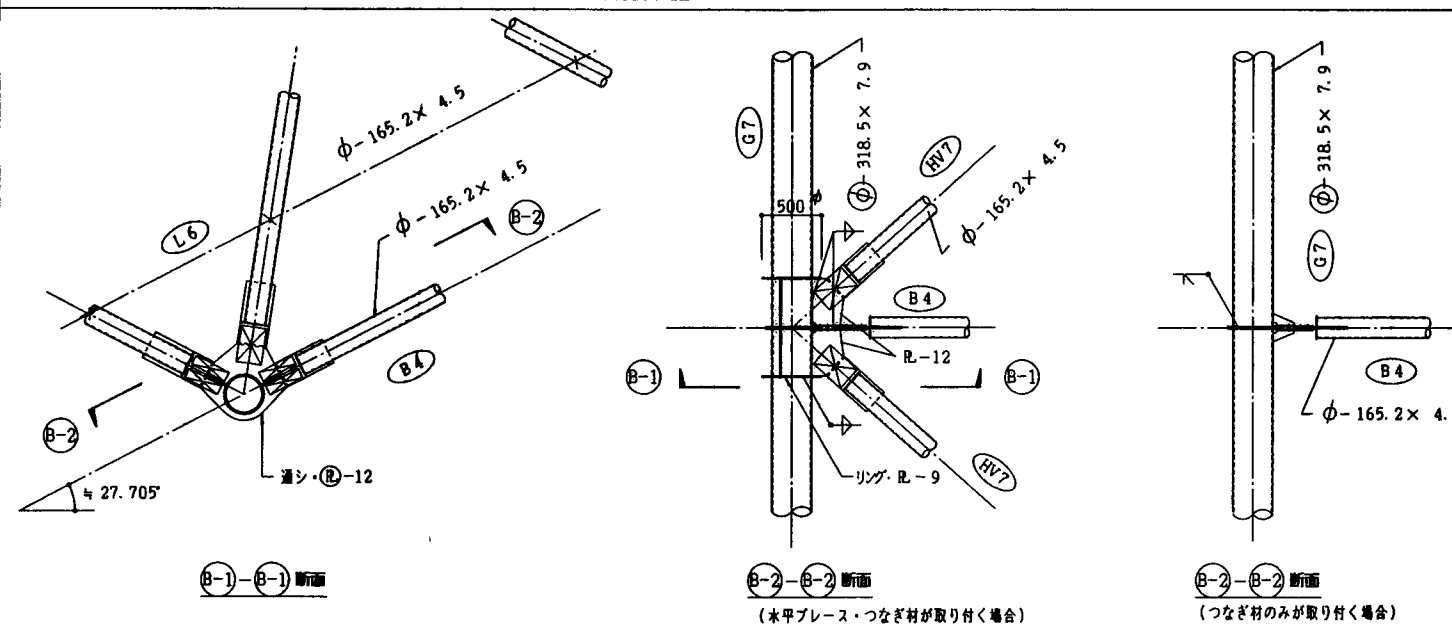


3 通断面詳細図 (2) S=1/30

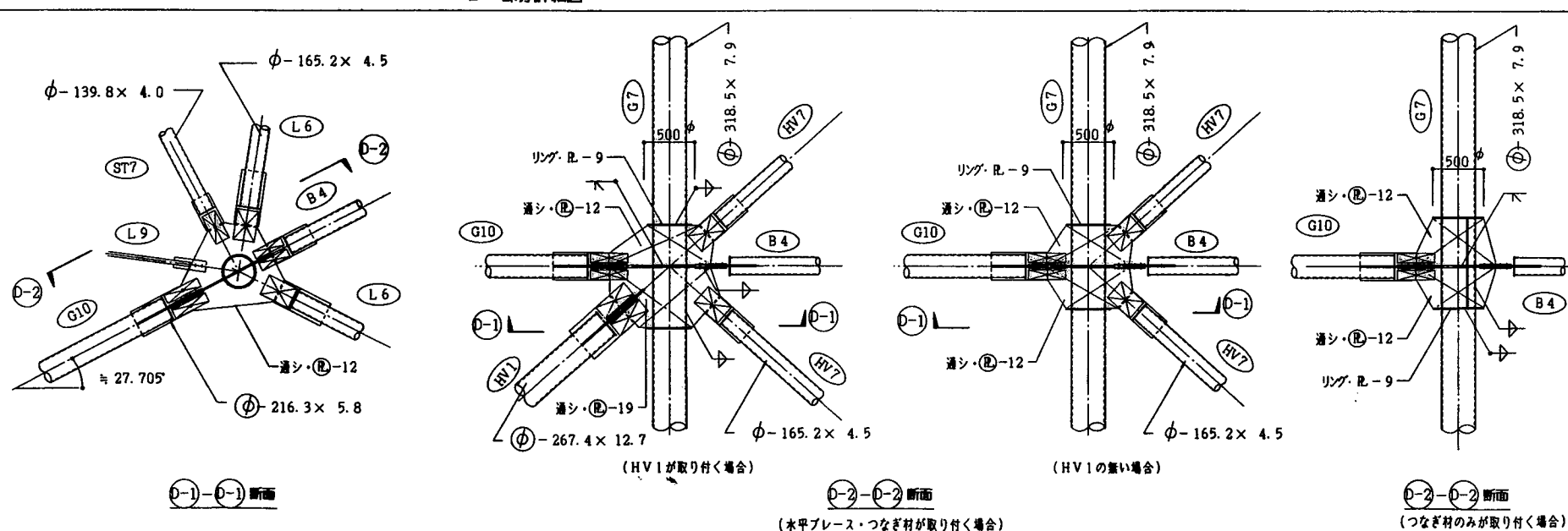
A 部分詳細図



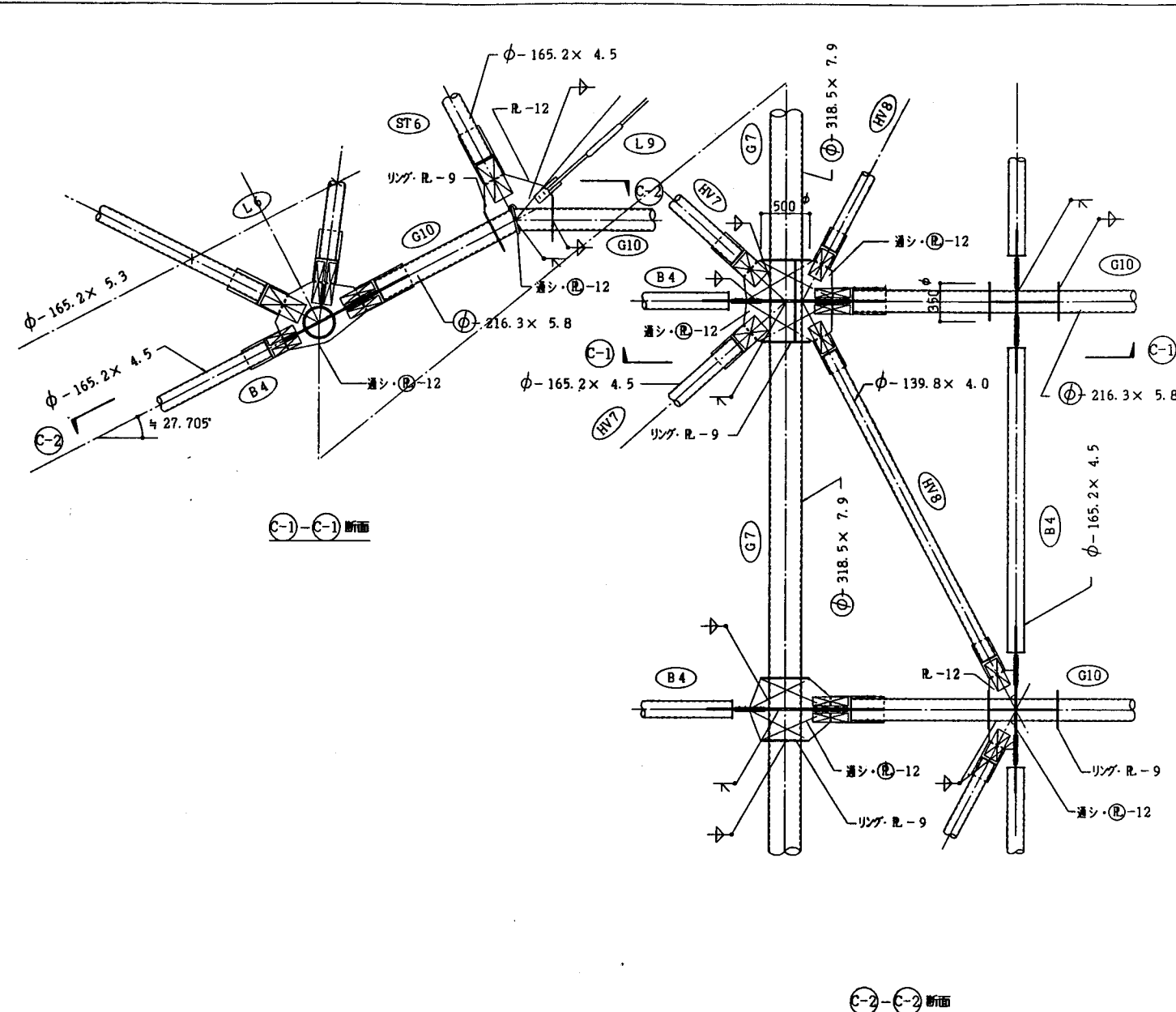
B 部分詳細図



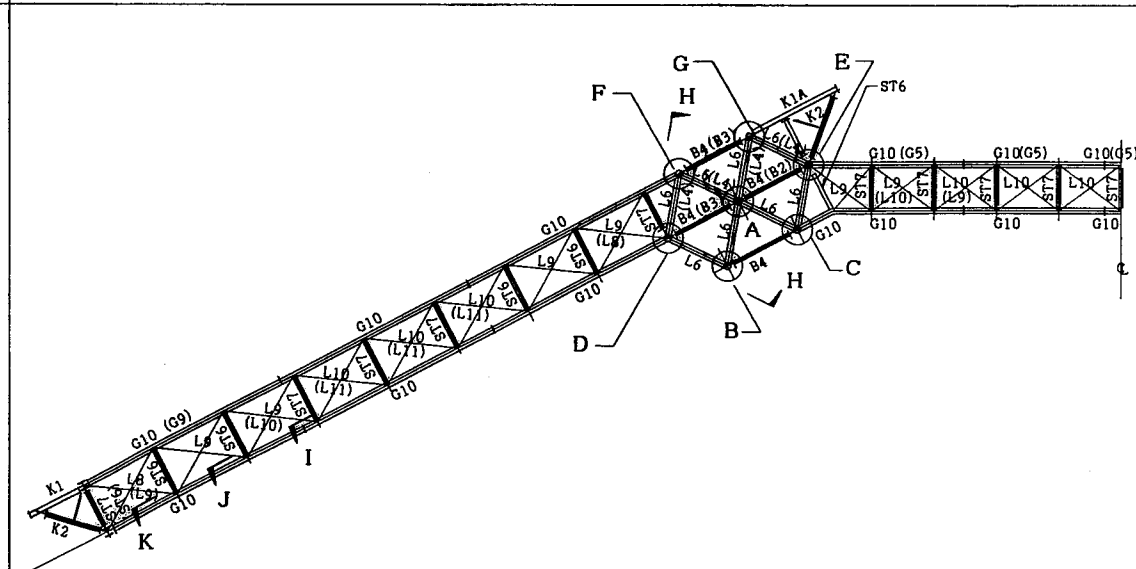
D 部分詳細図



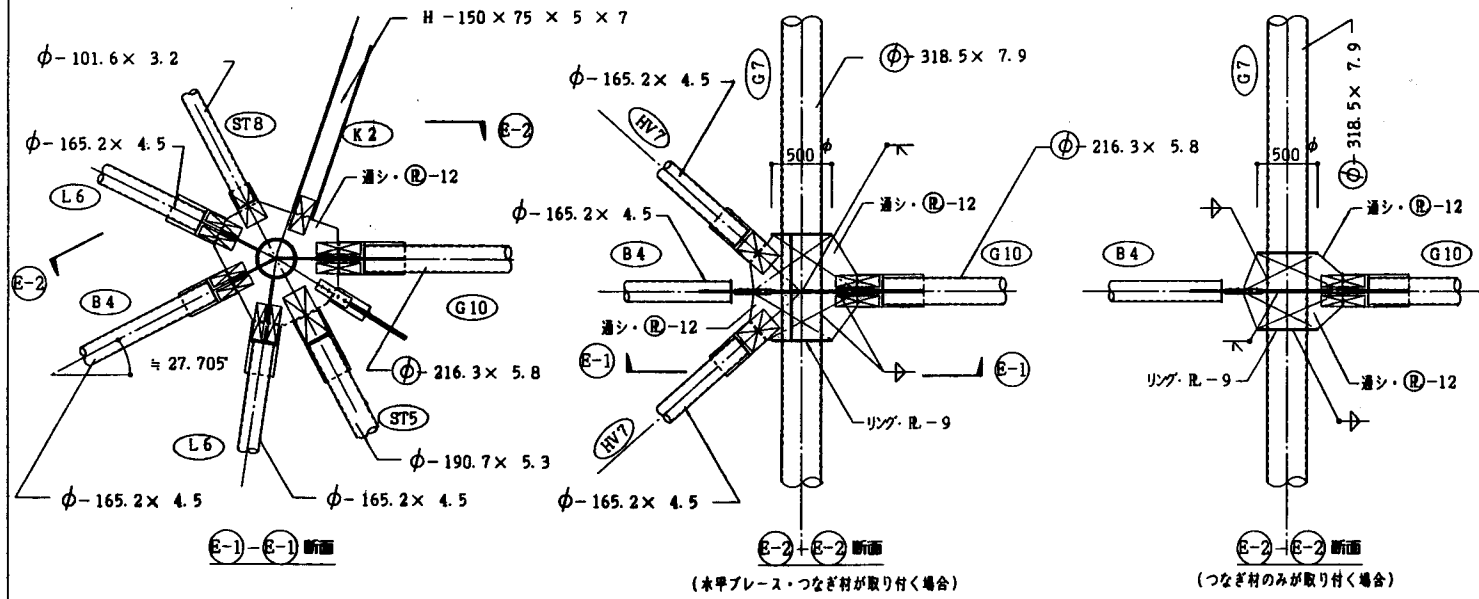
C 部分詳細図



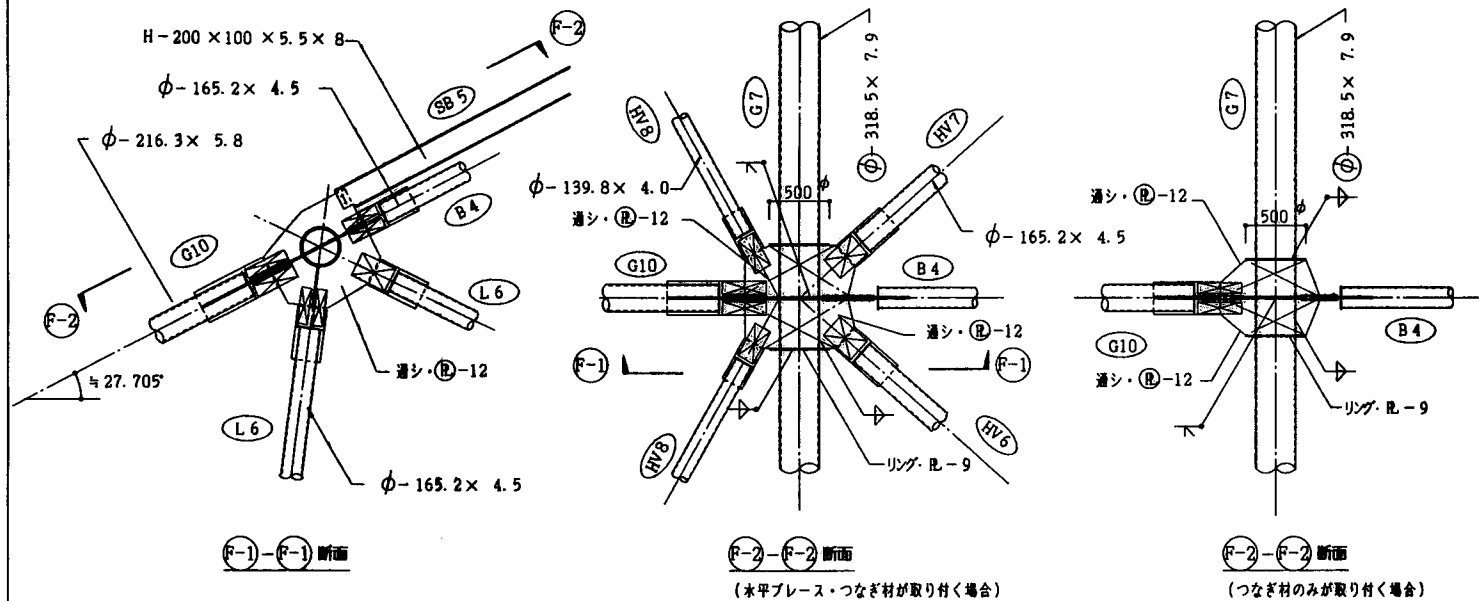
キープラン (中間部輪図) S=1/200



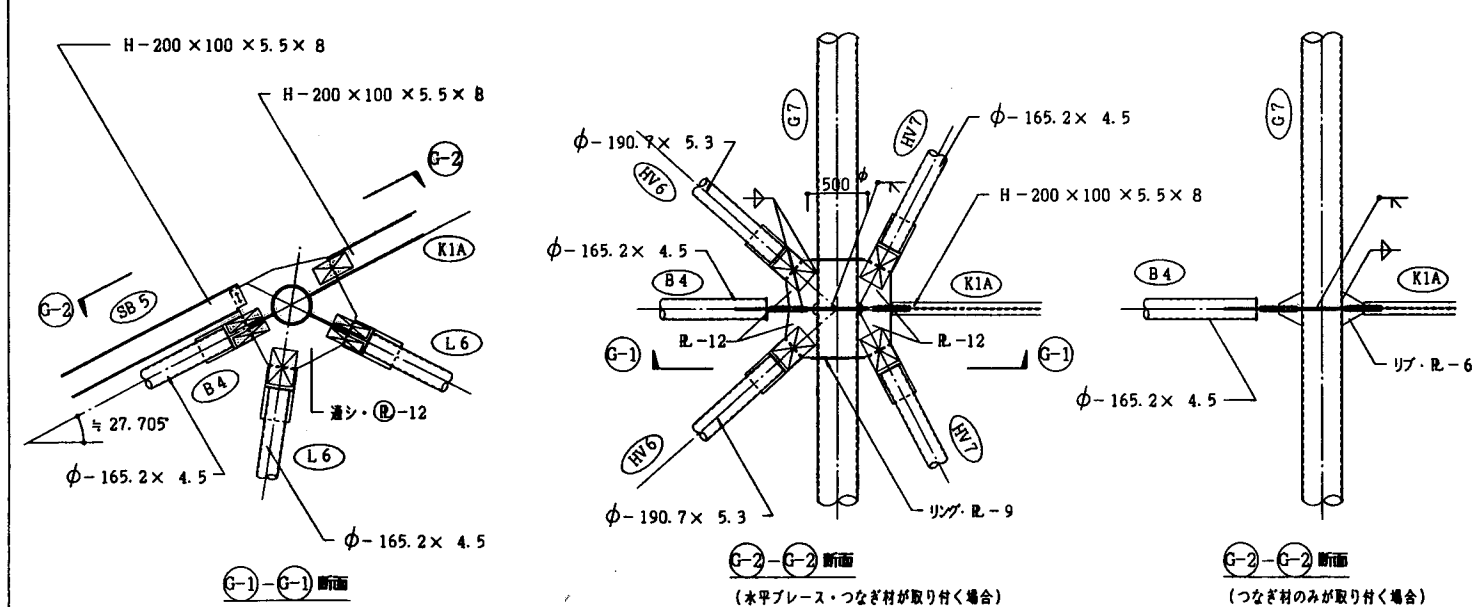
E 部分詳細図



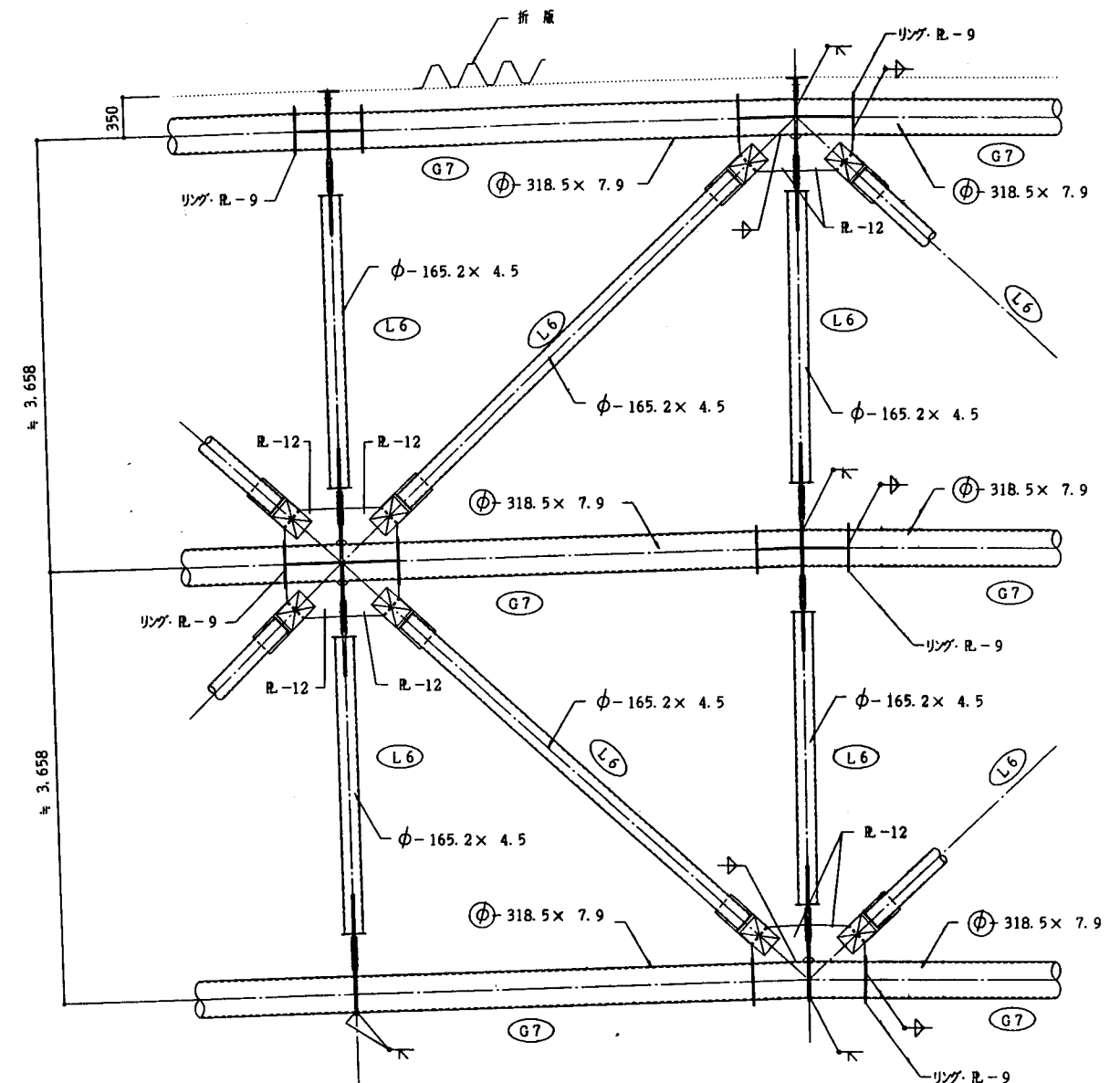
F 部分詳細図



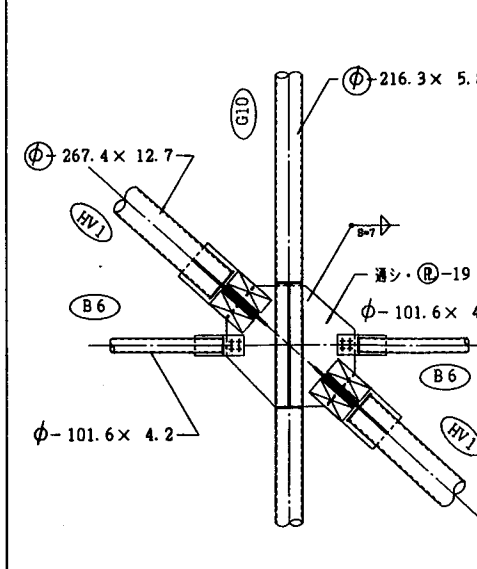
G 部分詳細図



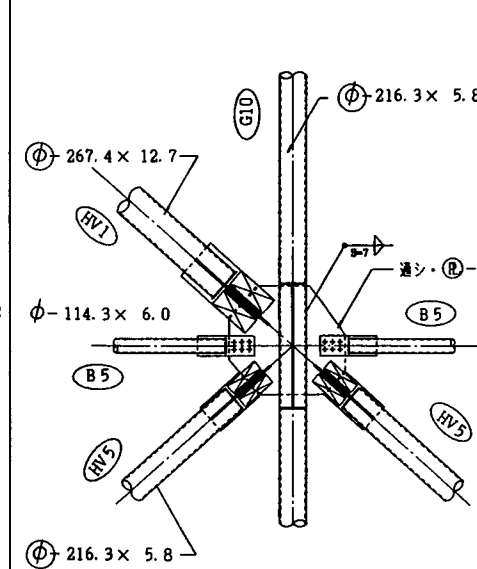
H 部分詳細図



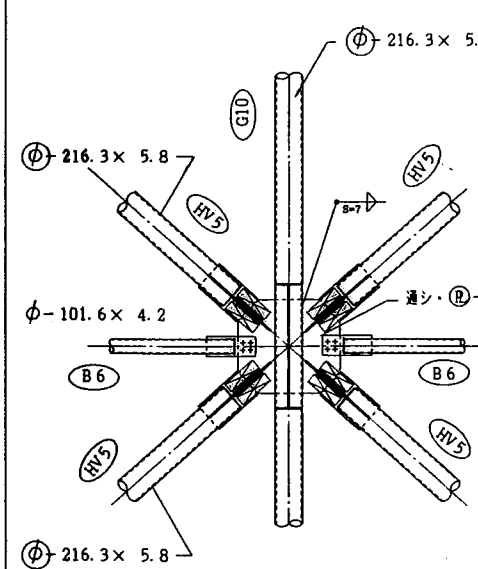
I 部分詳細図

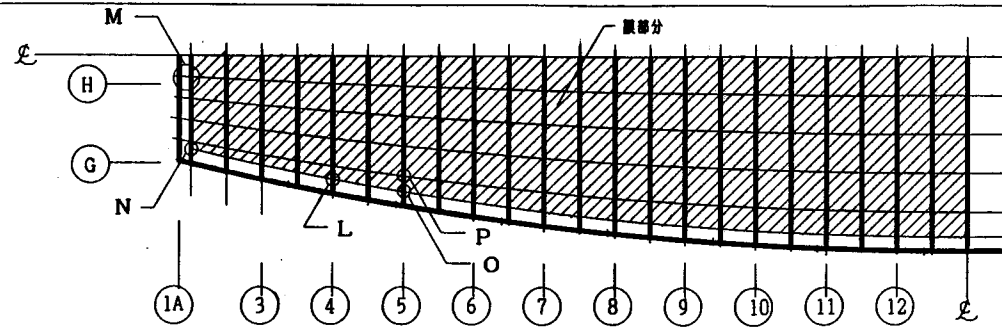


J 部分詳細図

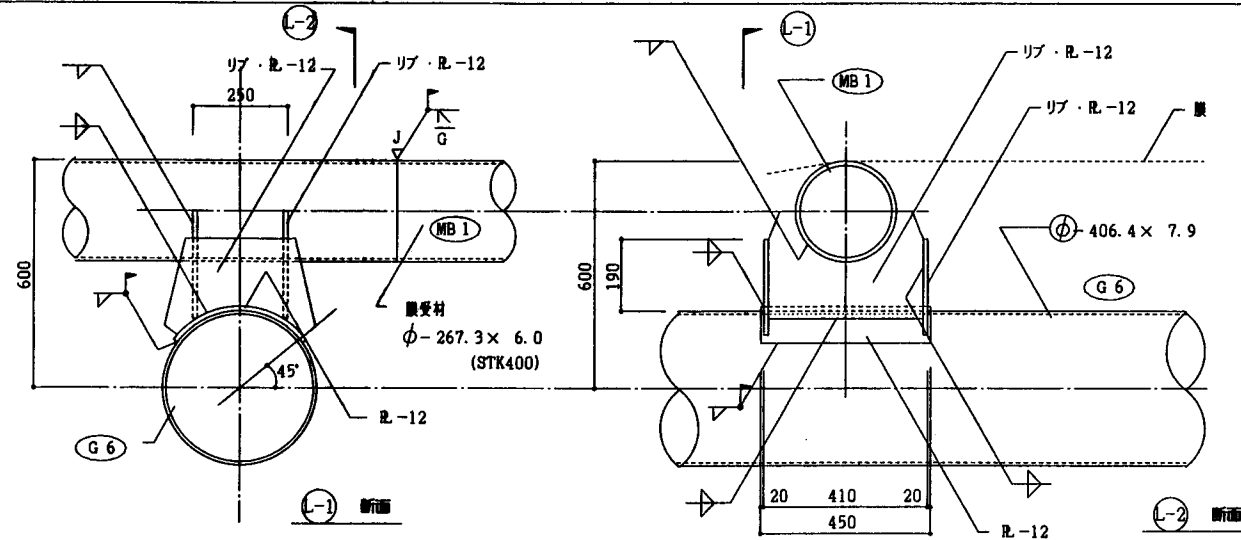


K 部分詳細図

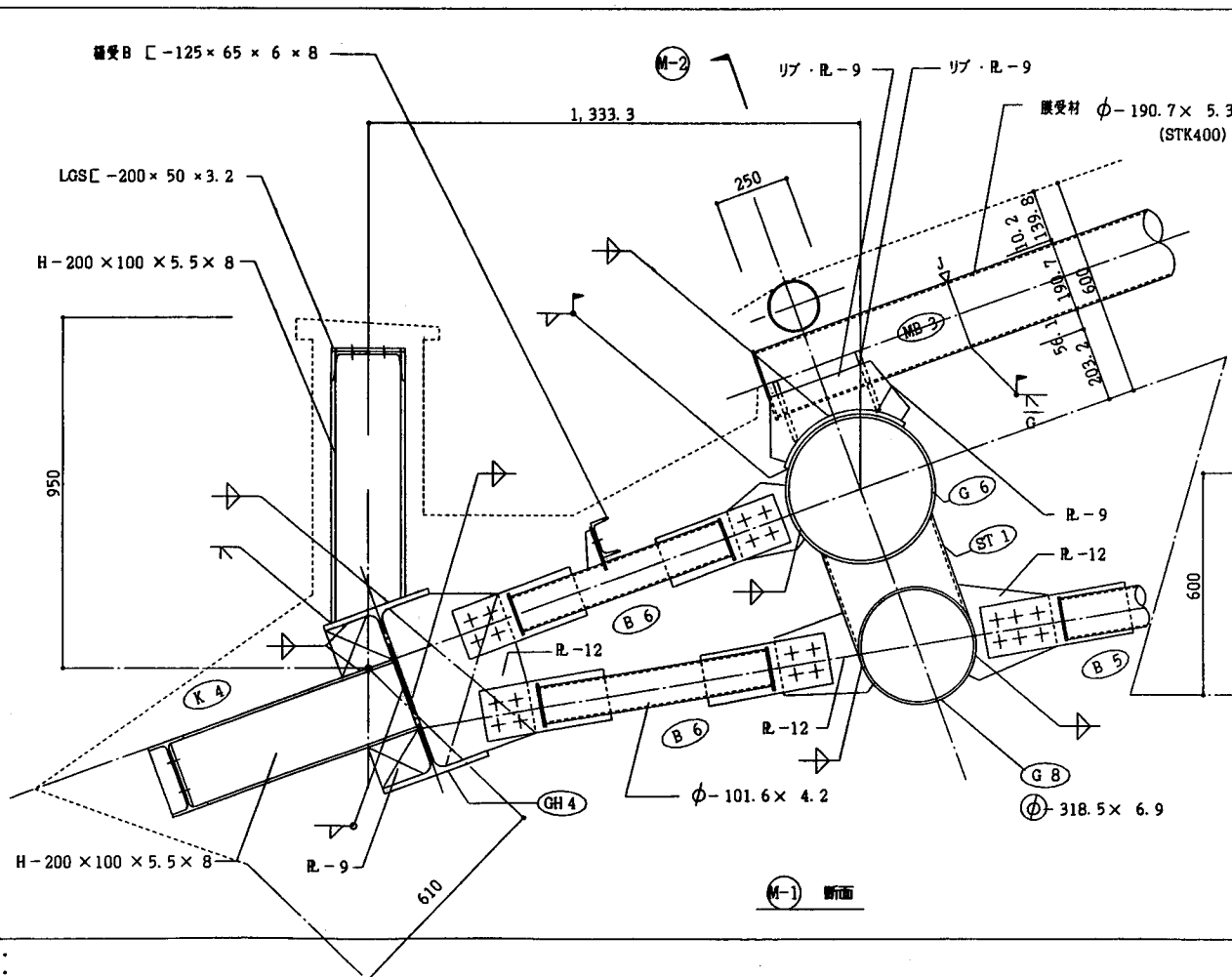




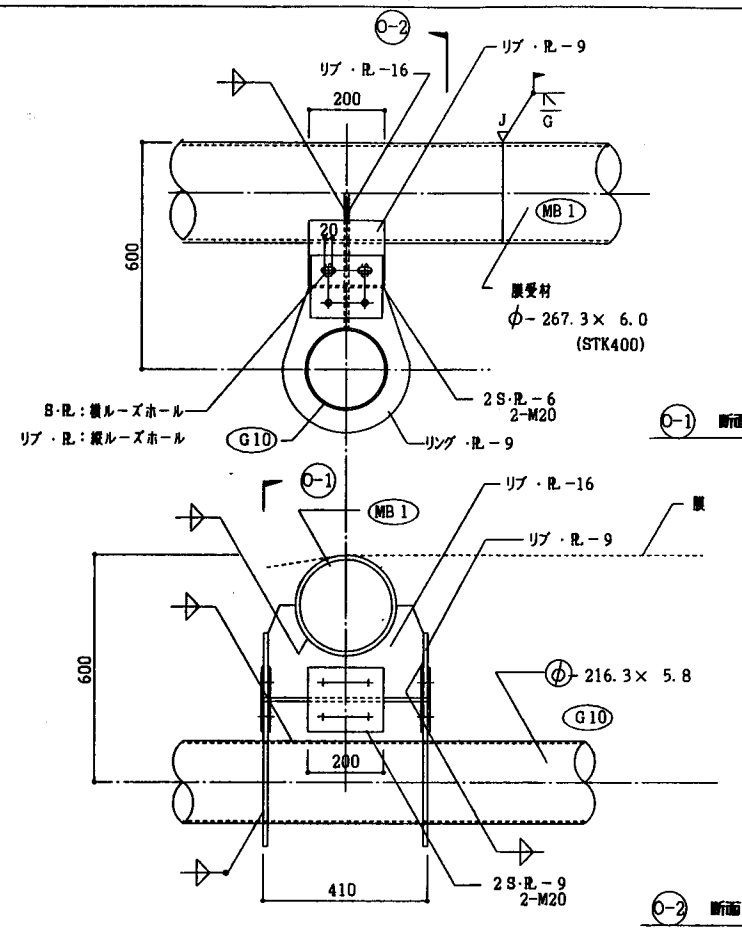
L 部分詳細図



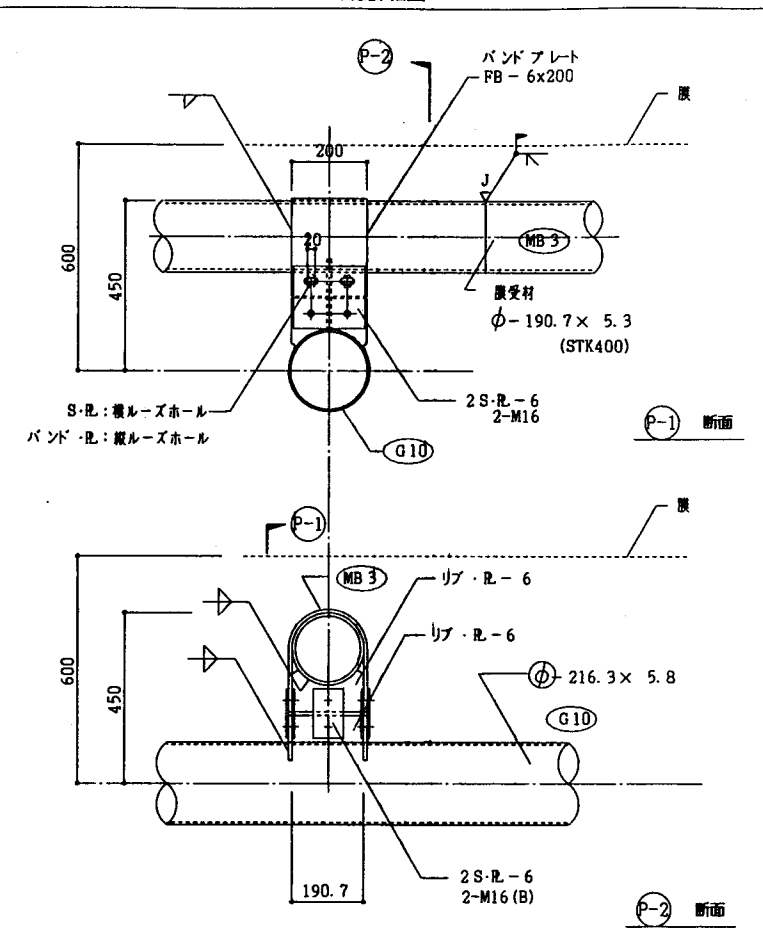
M 部分詳細図



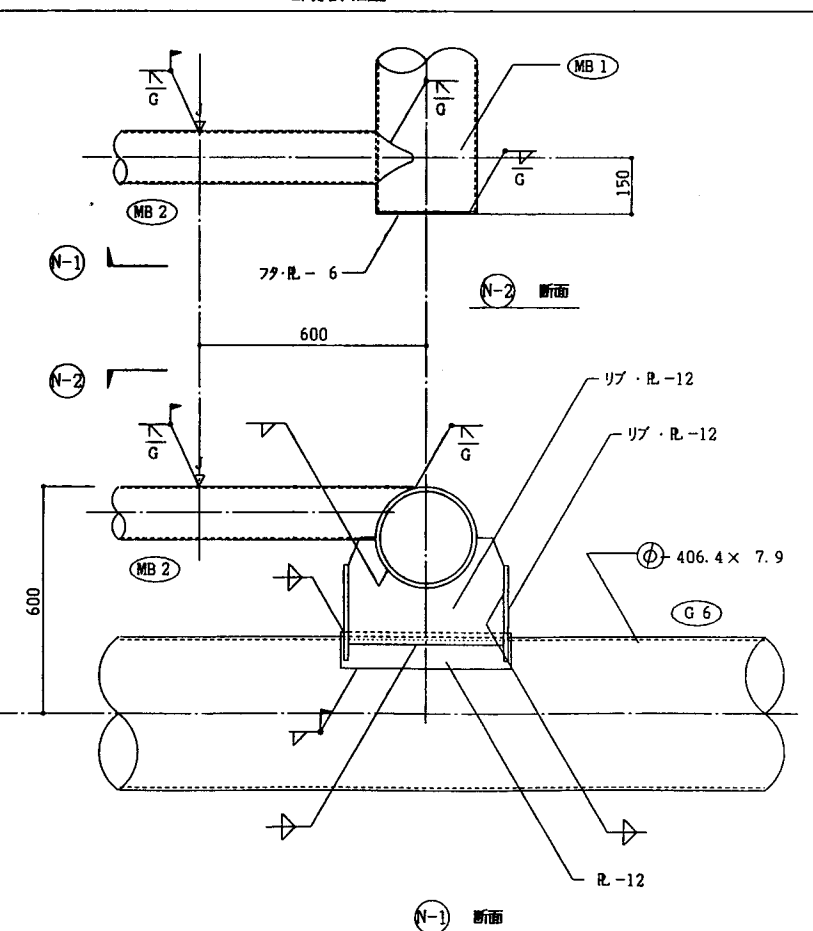
O 部分詳細図

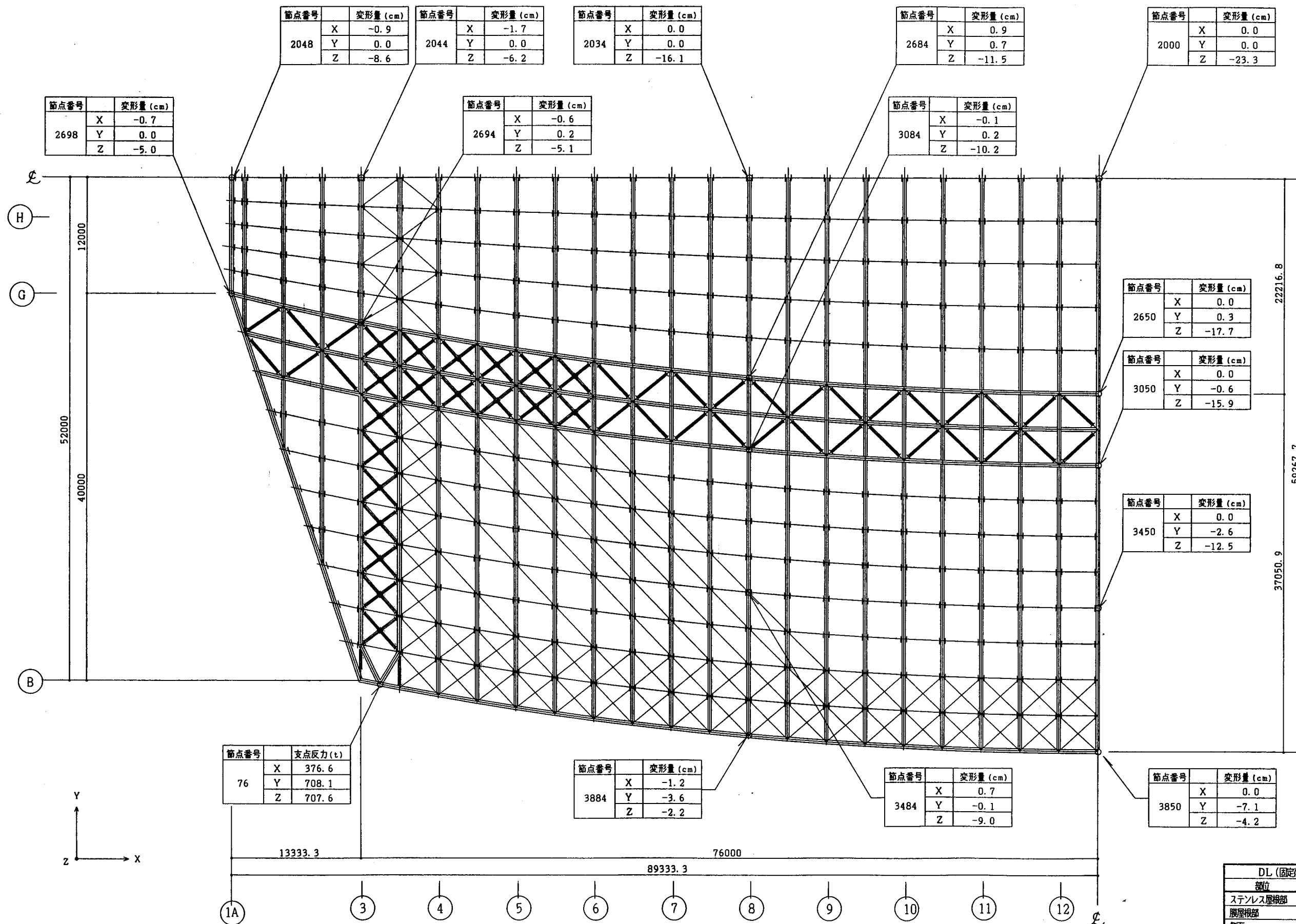


P 部分詳細図



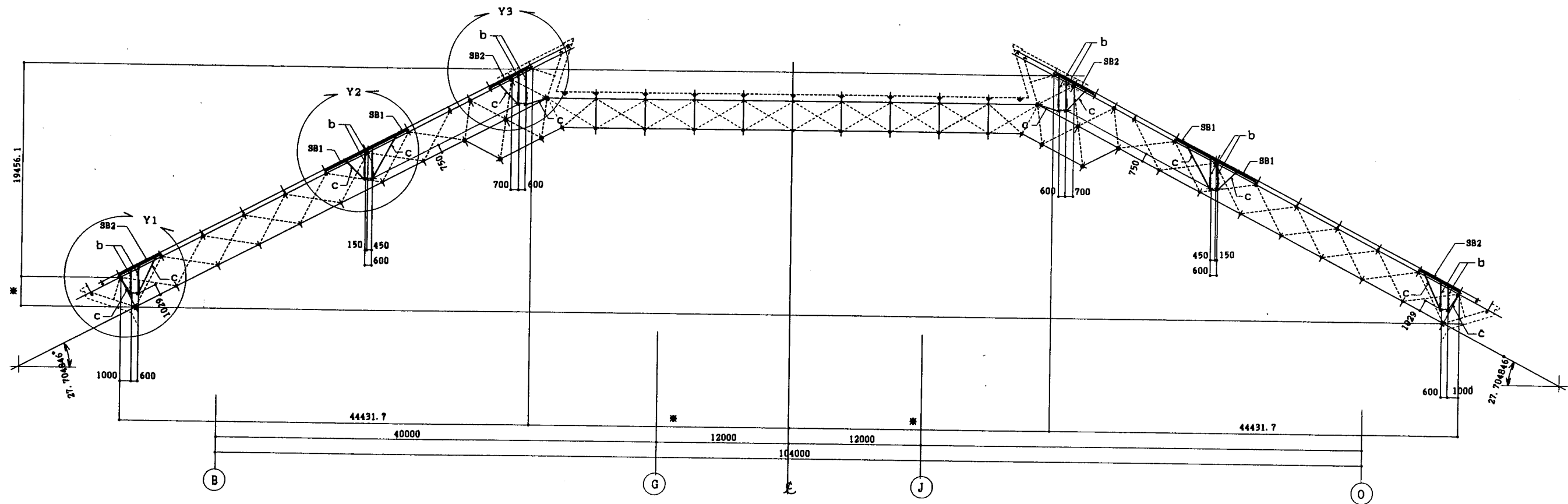
N 部分詳細図



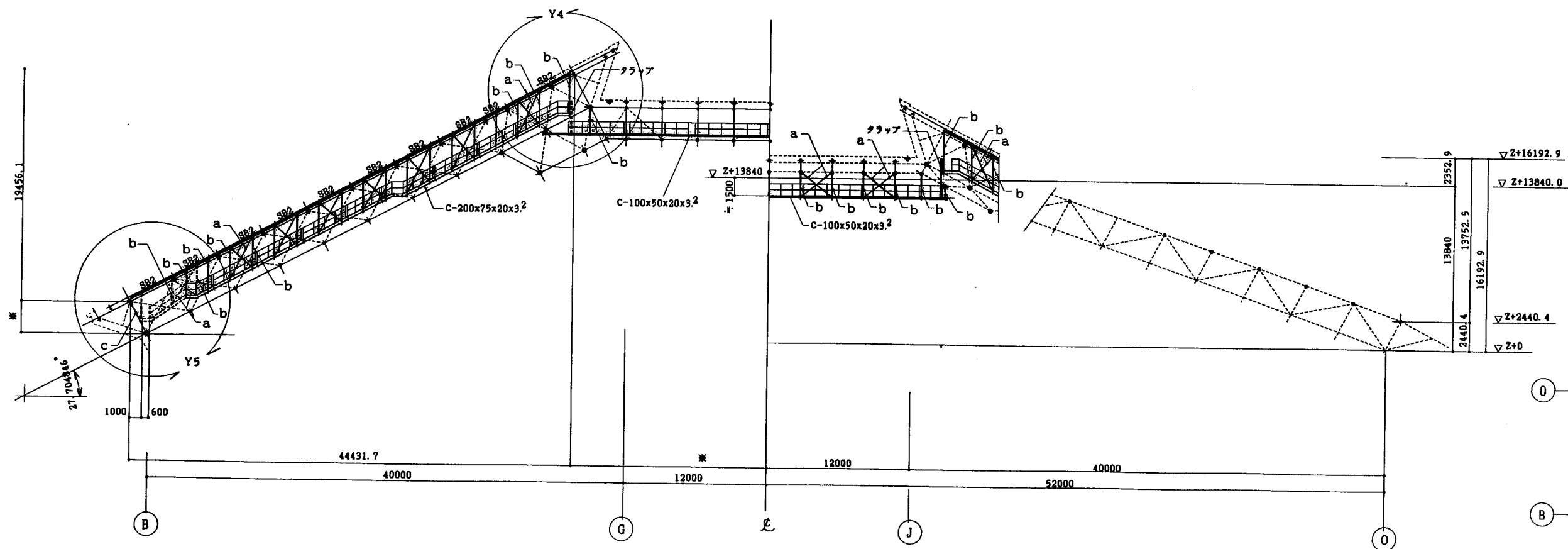


下弦面 節点変位・支点反力 (DL時) S=1/200

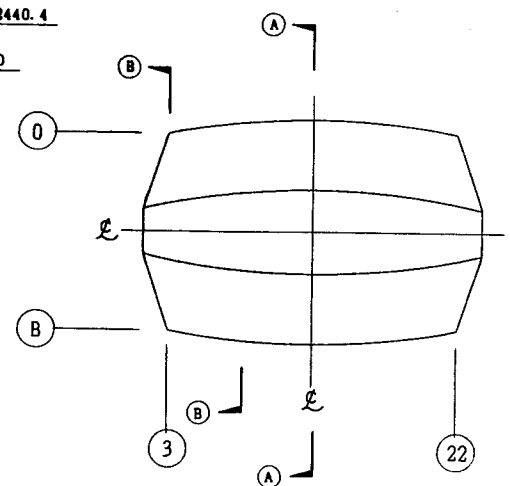
DL (固定荷重)	
部位	荷重
ステンレス屋根部	130 kg/m ²
膜屋根部	90 kg/m ²
側面	100 kg/m ²
センターキール	0.20 t/m
山形キール	0.44 t/m
周辺梁	0.28 t/m



A-A 断面図

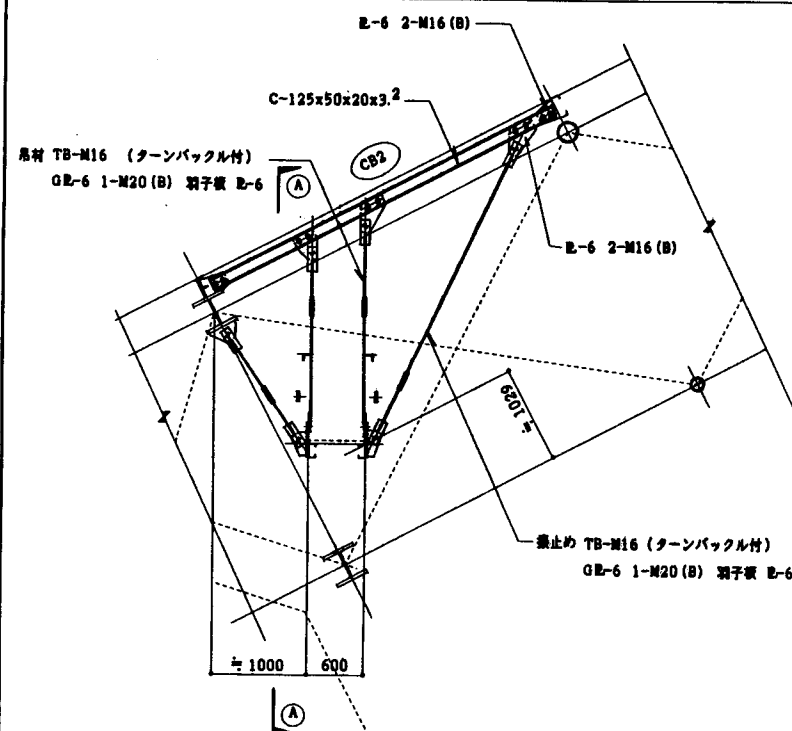


B-B 断面図

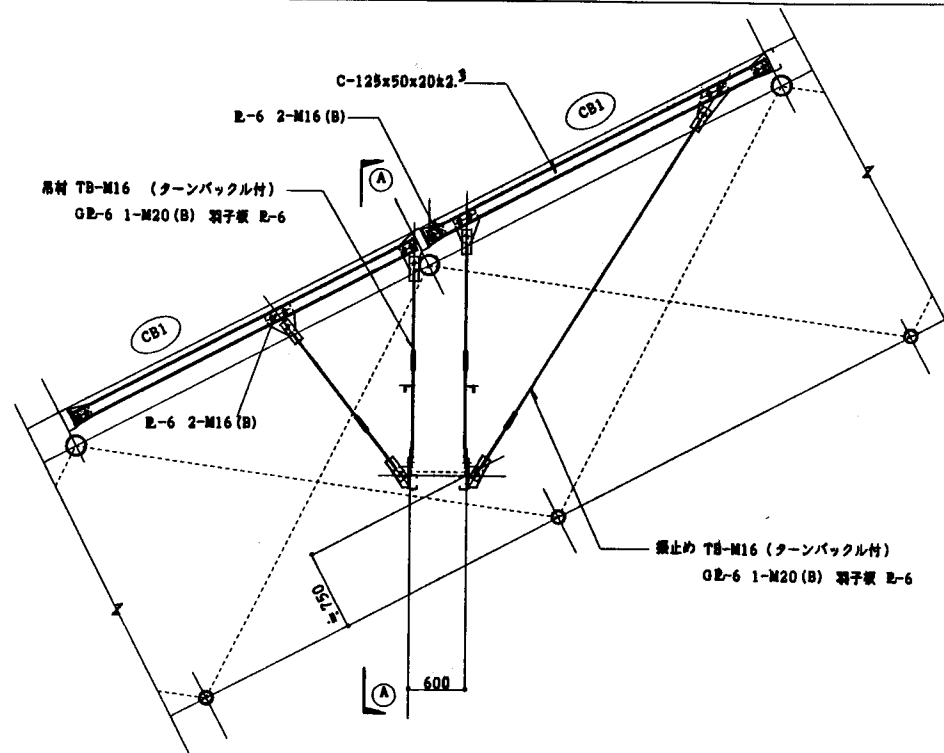


キープラン

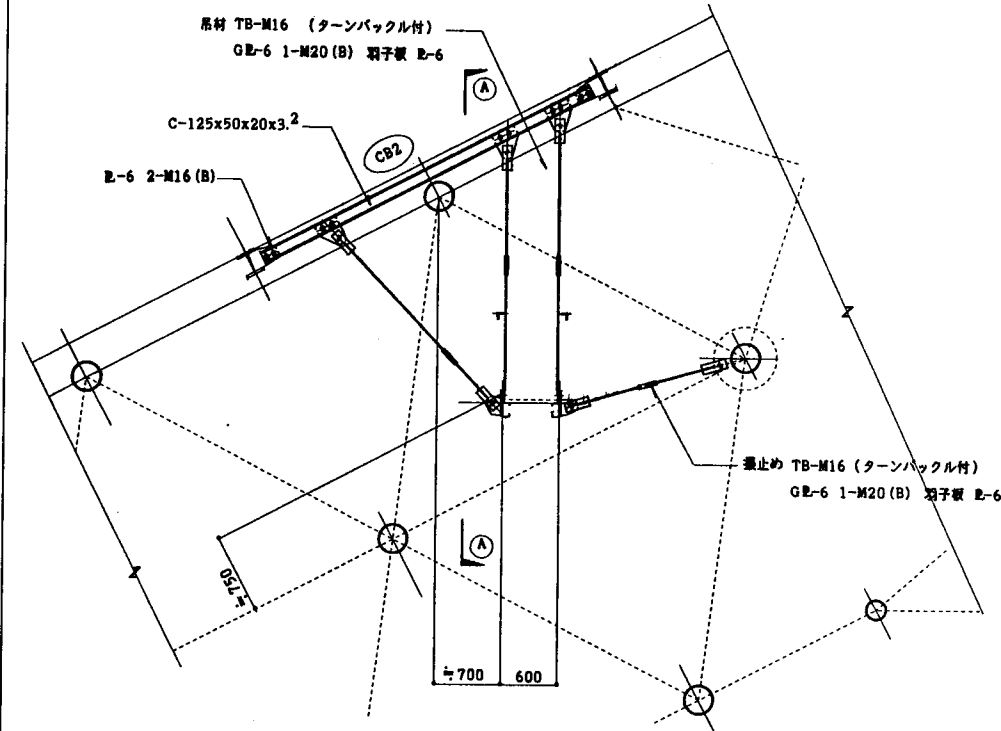
Y1-Y1 断面詳細図 S=1/40



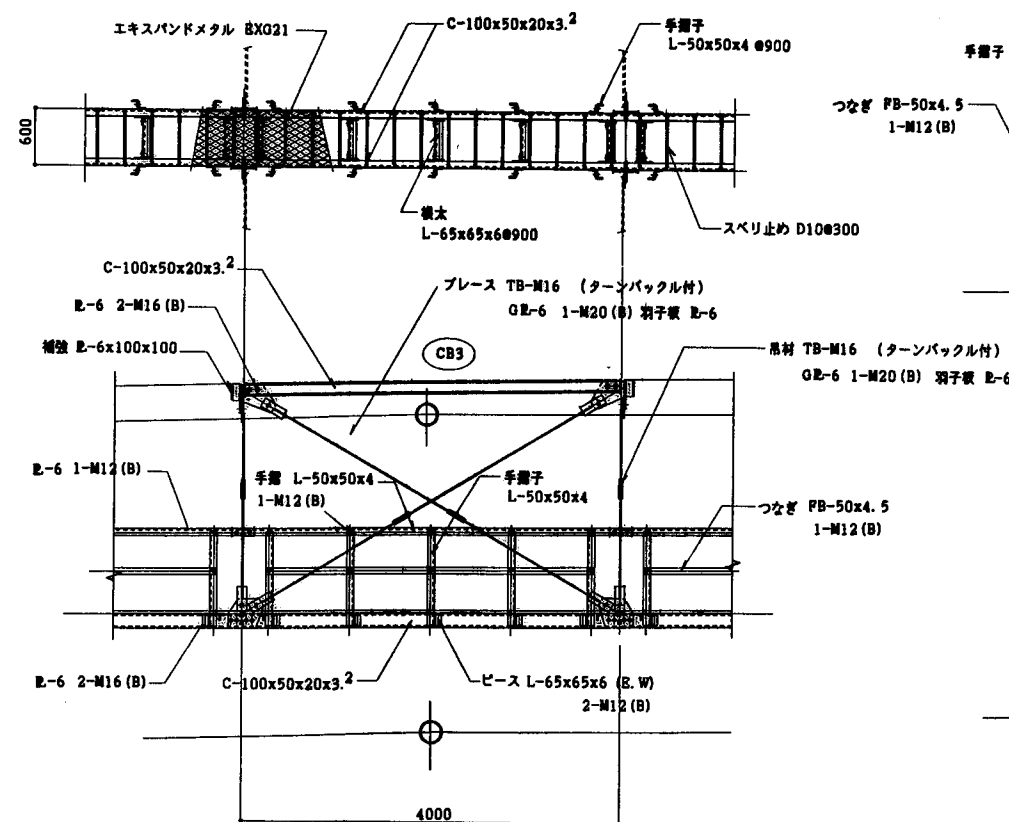
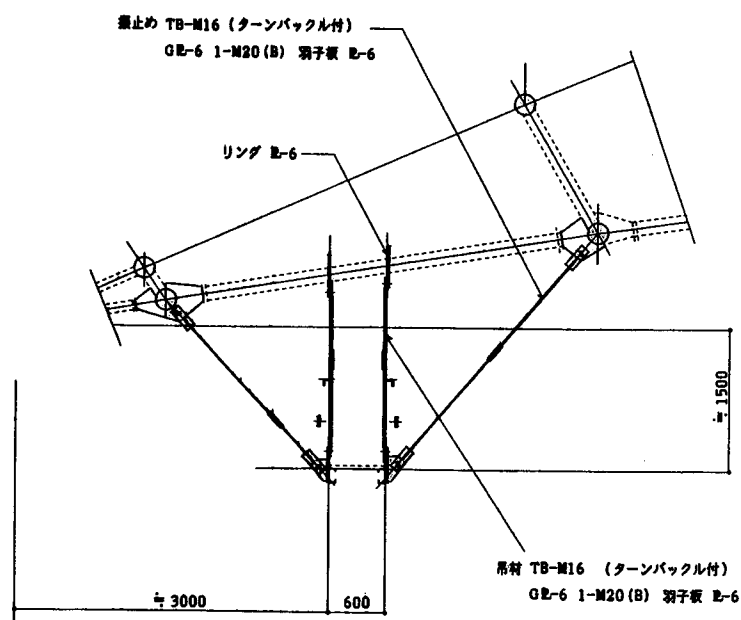
Y2-Y2 断面詳細図 S=1/40



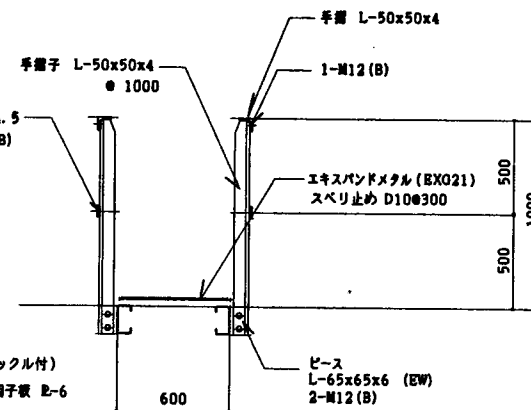
Y3-Y3 断面詳細図 S=1/40



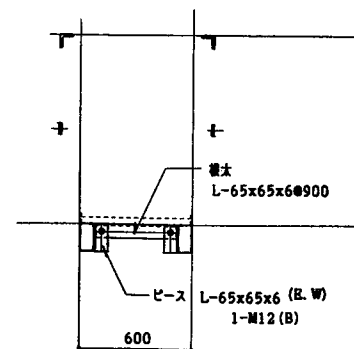
X1-X1 断面詳細図 (裏面詳細図) S=1/40



A-A 断面図 S=1/40

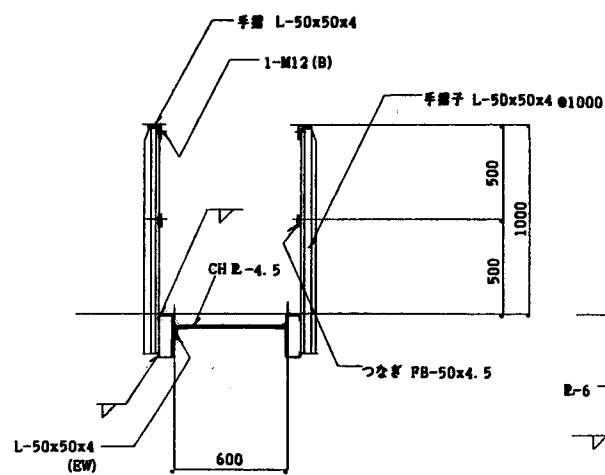
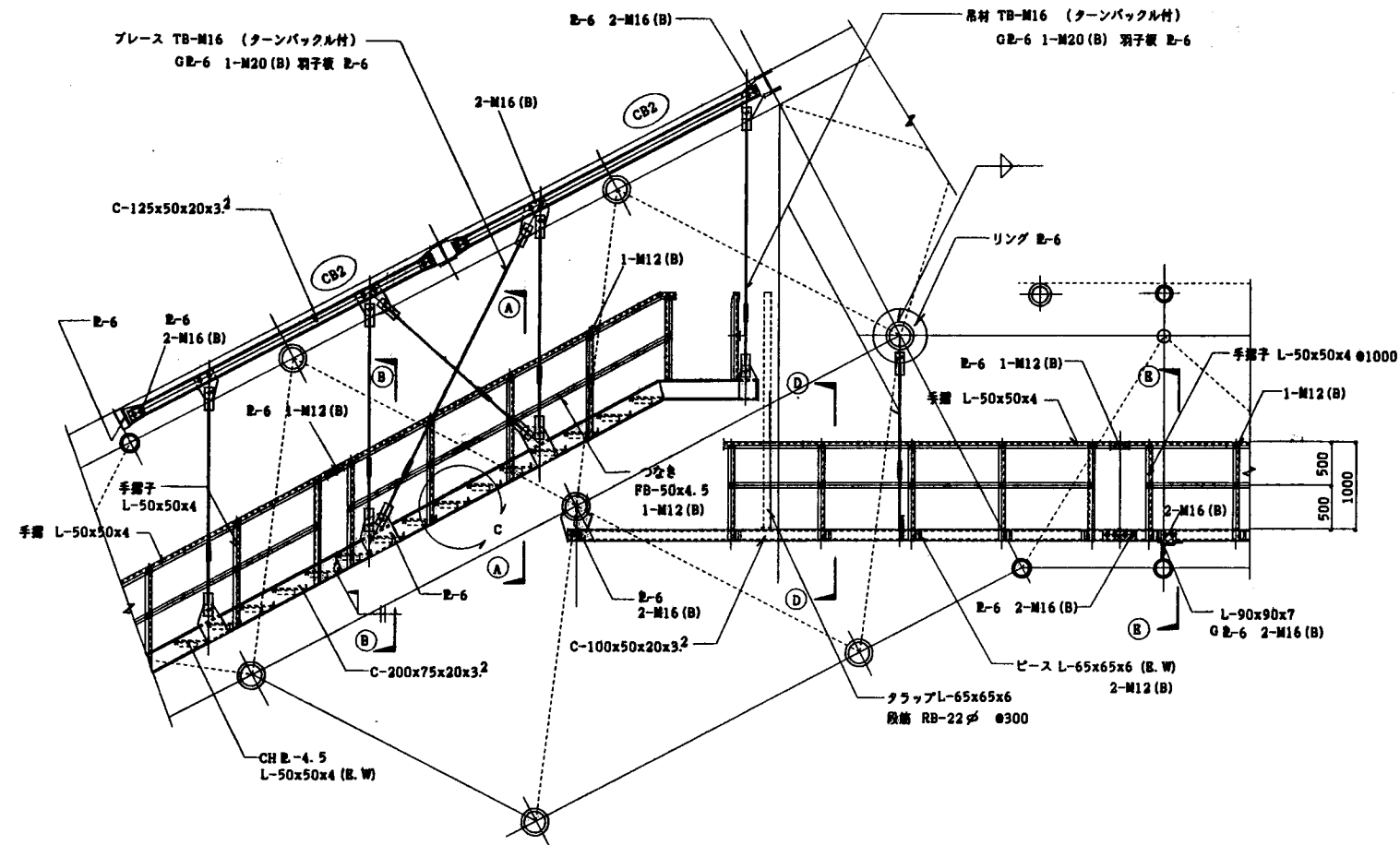


手摺詳細図 S=1/20

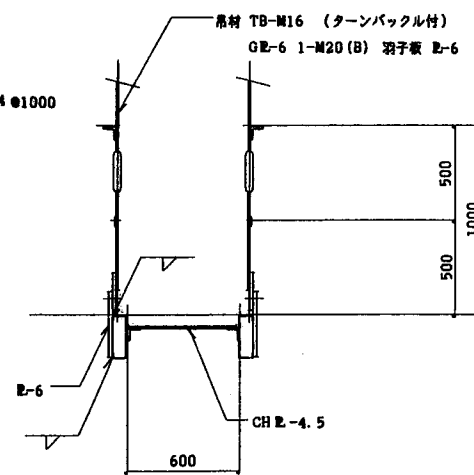


根太詳細図 S=1/20

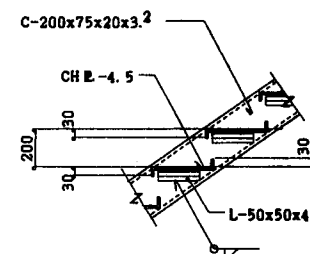
S=1/40



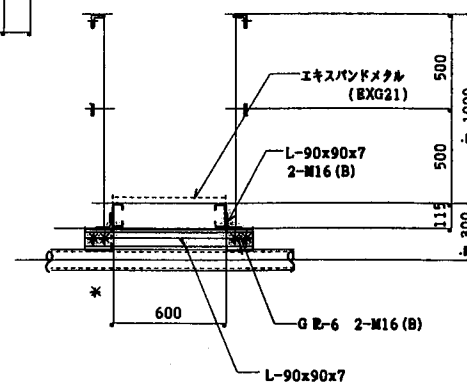
A-A 断面图 8=1/20



B-B 断面图 S=1/20

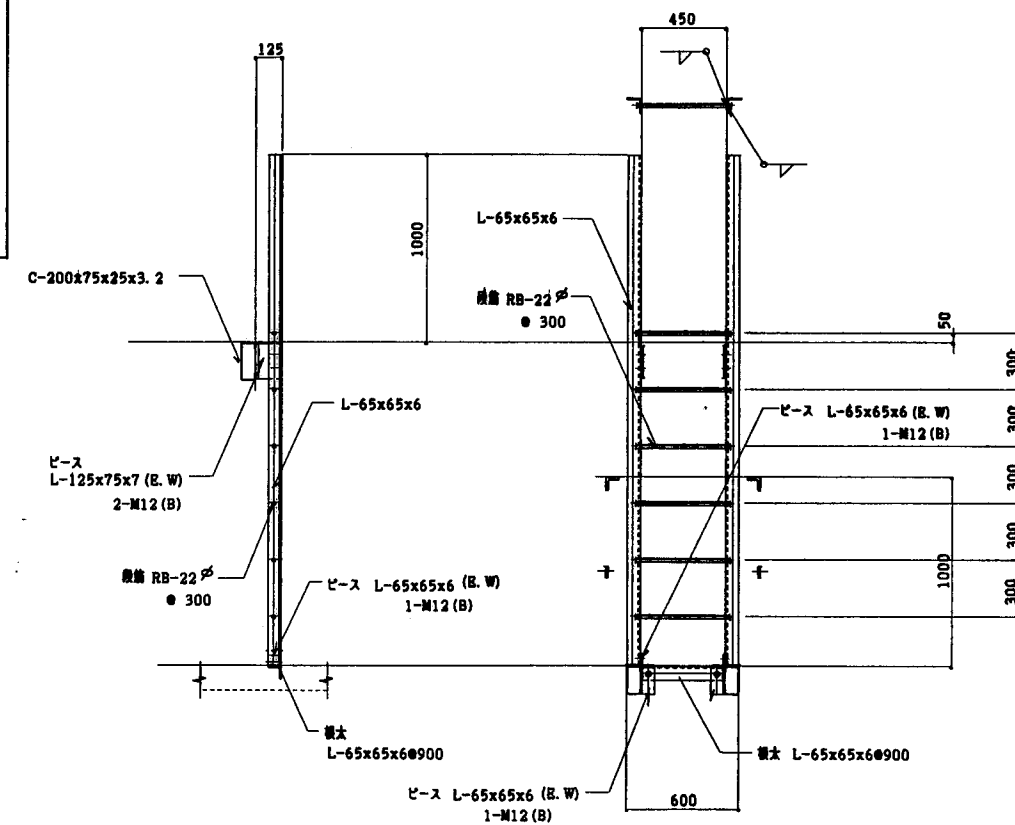
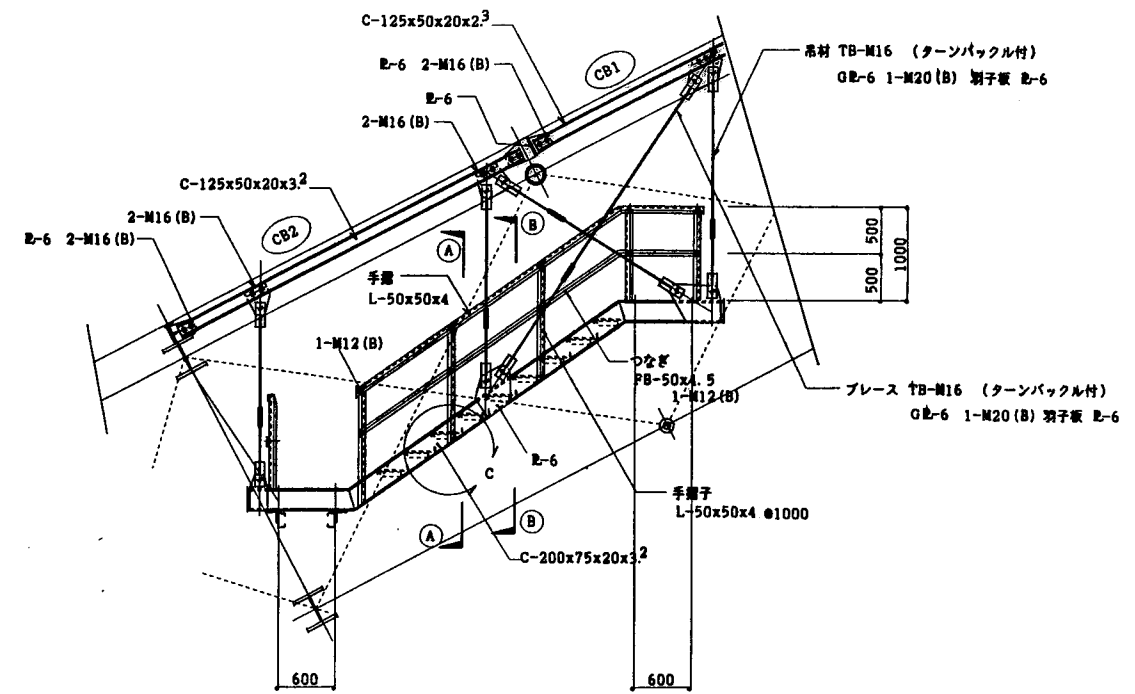


C 部詳細図 S-1/20

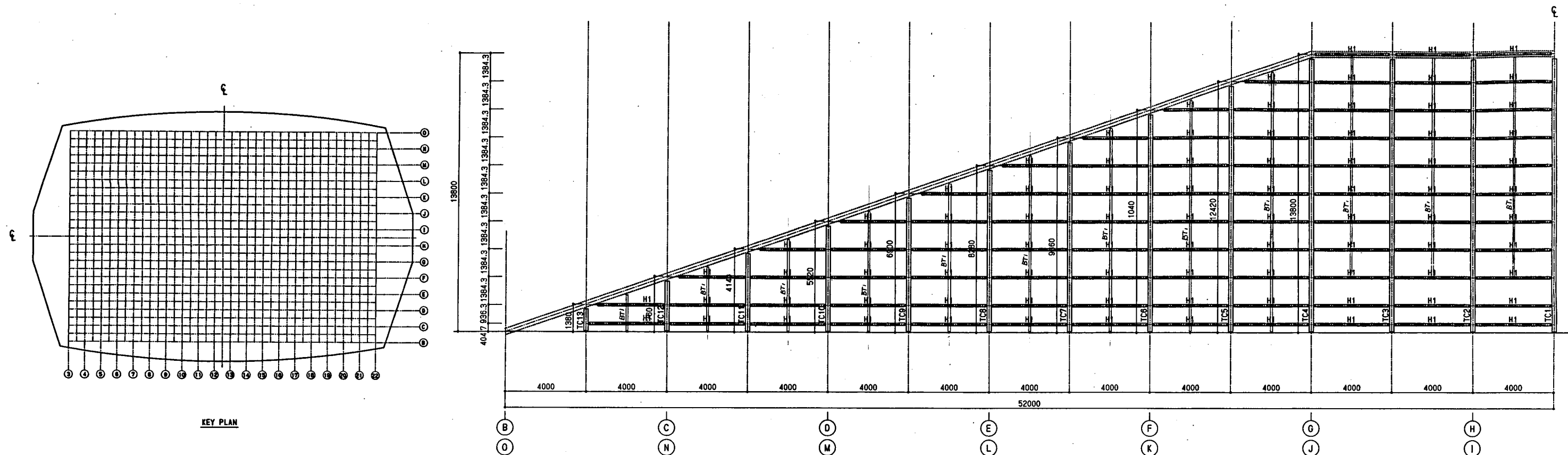


E-E 断面图 S=1/20

S-1/40

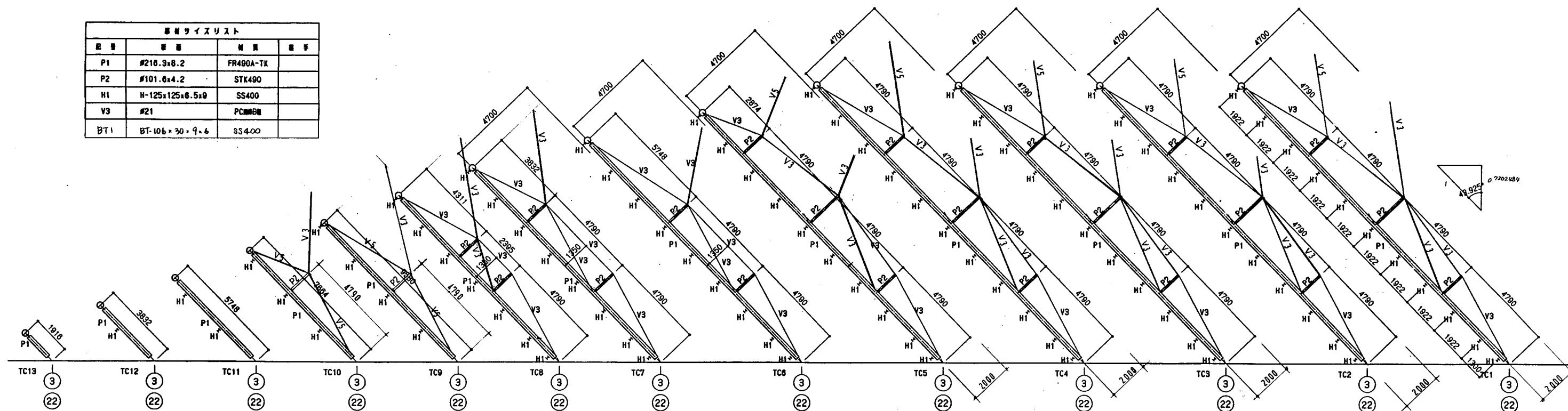


トラップ 詳細図 S=1/20

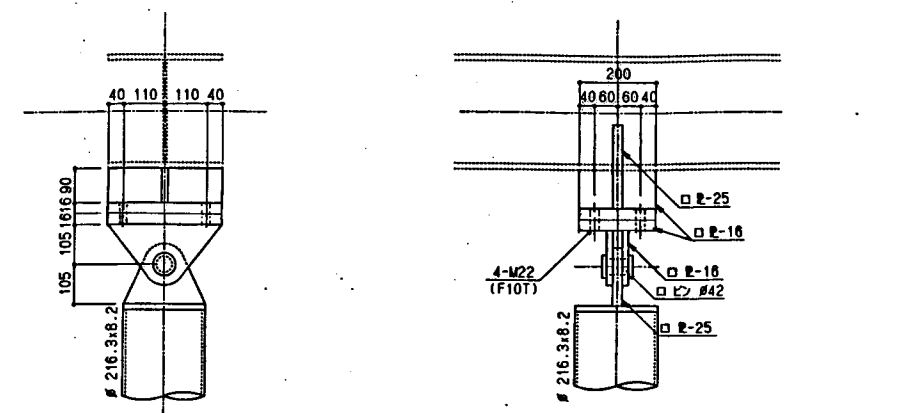
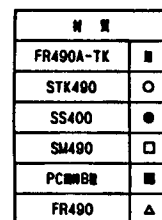


KEY PLAN

部材サイズリスト			
記号	部材	仕様	単位
P1	#216.3x8.2	FR490A-TX	
P2	#101.6x4.2	STK490	
H1	H-125x125x6.5x9	SS400	
V3	#21	PCNMBM	
BT1	BT-106x90x9.6	SS400	

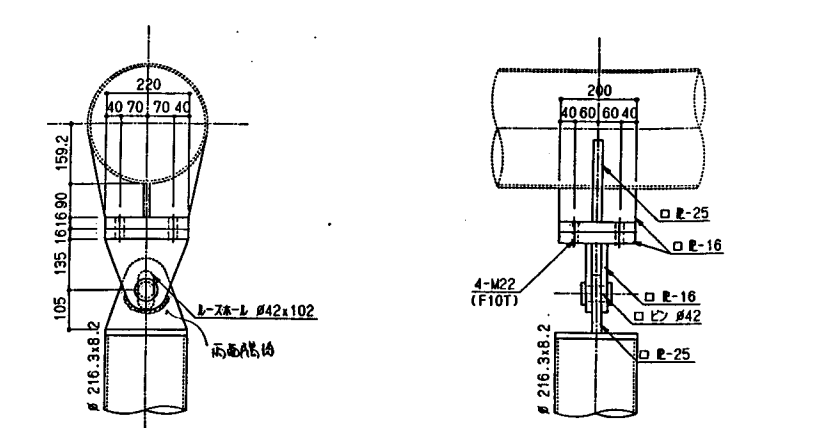
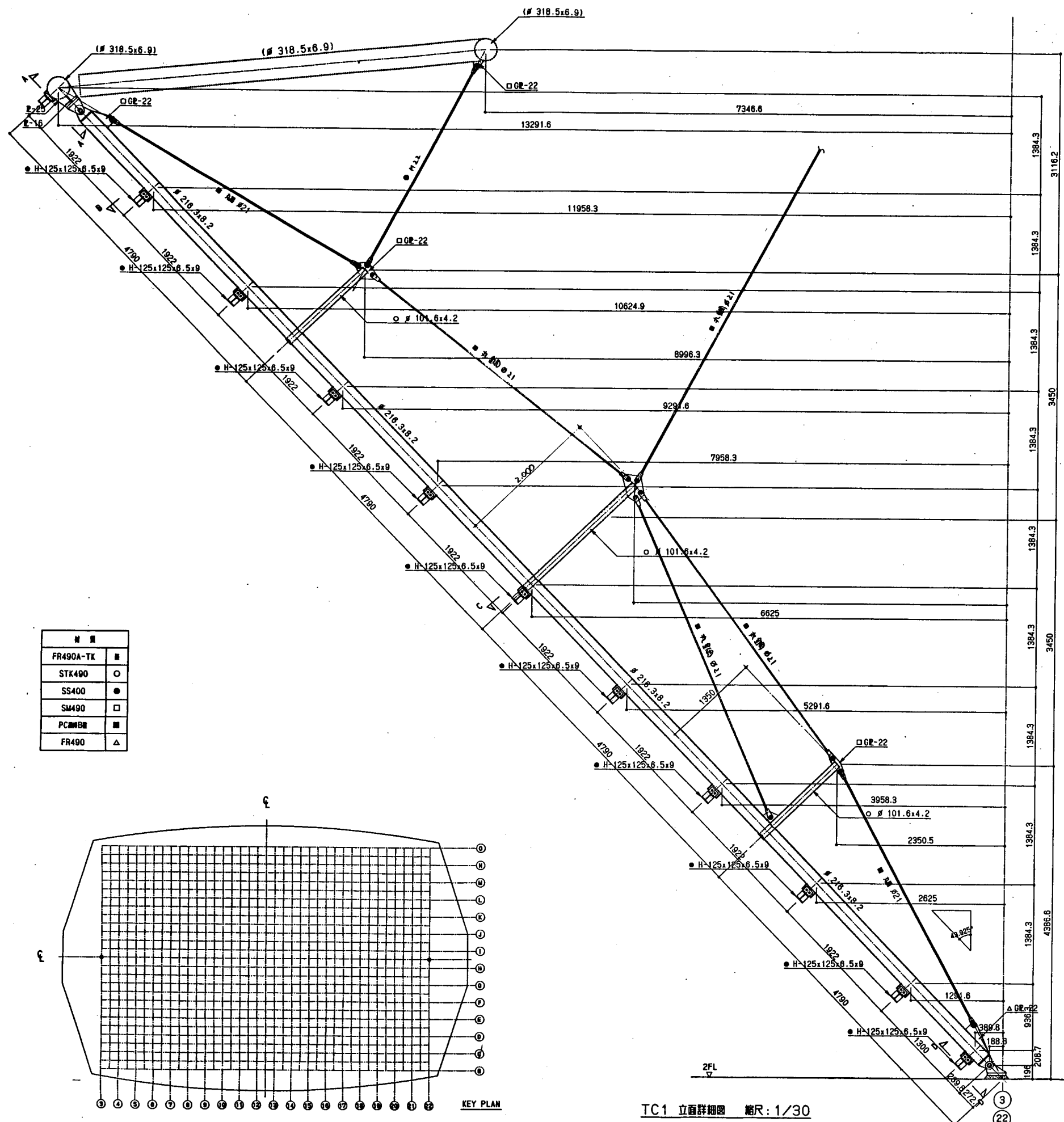


軸組図 縮尺: 1/100

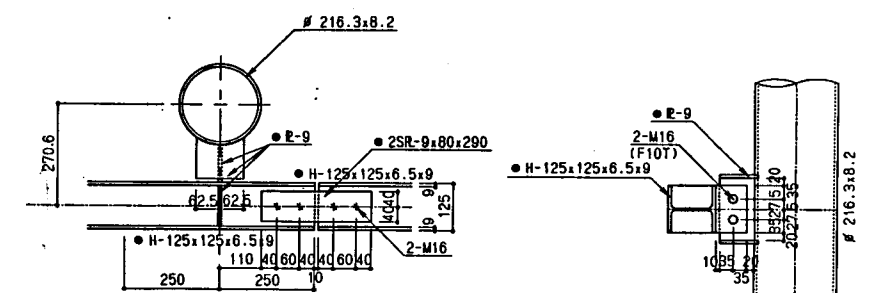


Technical drawing showing a cross-section of a mechanical assembly. The main view on the left shows a shaft with a pulley. Dimensions include a total height of 270.6, a pulley diameter of $\varnothing 216.3 \pm 0.2$, and a shaft diameter of $\varnothing 125$. The shaft is supported by bearings with dimensions 110, 40, 80, 40, 40, 60, 40, and 250. A detail view on the right shows a bolted connection with dimensions 108, 35, 152, 15, 40, and 202, 15, 35. The bolt is labeled $\varnothing 2-M16$ (F10T) and the nut is labeled $\varnothing 2-M16$.

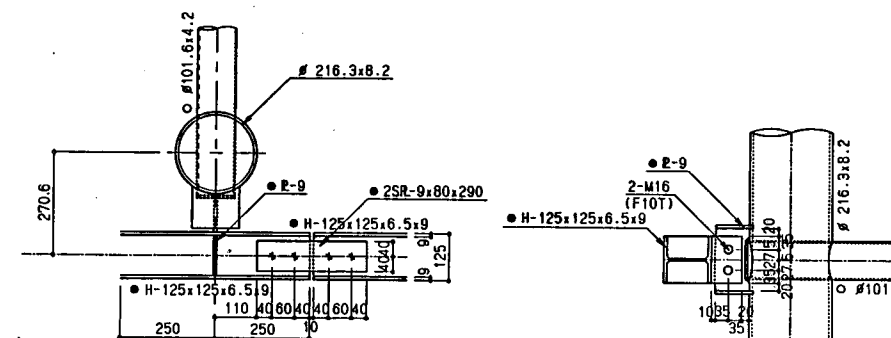
D-D 图 缩尺: 1/10



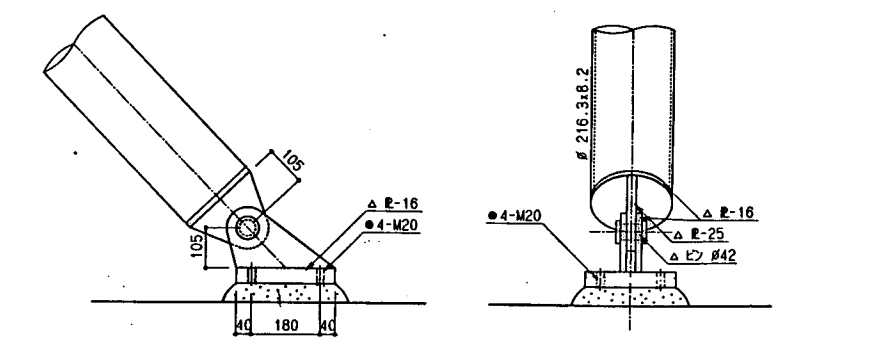
A-A 図 縮尺: 1/10



B-B 図 縮尺: 1/10

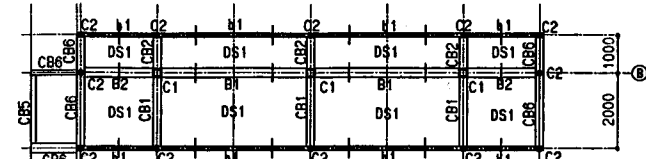


C-C 図 縮尺: 1/10

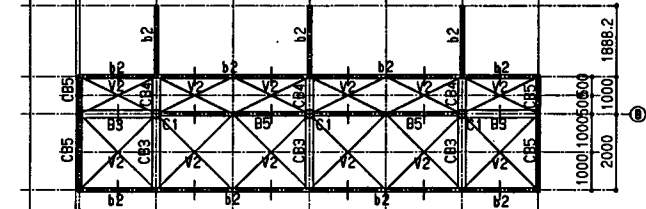


D-D 図 縮尺: 1/10

部材サイズリスト			
部 号	部 材	規 格	備 考
C1	□-200x200x9	FR400A	
C2	H-100x100x5.5x8	FR400A	
P2	#101.6x4.2	FR400A-TK	
V1	#139.8x5.0	FR400A-TK	
P1	#216.3x8.2	FR490A-TK	
P3	#185.2x5.0	FR400A	
V2	M16	SS400	
B1	BH-400x250x9x16	FR400A	スタッドボルト #26 2000mm
B2	BH-400x250x9x16 (短縮250)	FR400A	スタッドボルト #26 2000mm
B3	BH-400x200x8x12 (短縮200)	FR400A	
CB1	BH-400x200x9x16 (短縮250)	FR400A	スタッドボルト #26 2000mm
CB2	BH-400x200x9x16 (短縮250)	FR400A	スタッドボルト #26 2000mm
CB3	BH-400x200x9x12 (短縮200)	FR400A	
CB4	BH-400x200x9x12 (短縮200)	FR400A	
CB5	H-200x100x5.5x8	FR400A	
b1	H-250x125x6x9	FR400A	スタッドボルト #26 2000mm
b2	H-200x100x5.5x8	FR400A	
CB6	BH-250x250x9x16	FR400A	
P4	#216.3x8.2	FR490A-TK	
B5	BH-400x200x8x12	FR400A	
H1	H-125x125x6.5x9	FR400A	
DS1	ファイバーステッド	ファイバーステッド(通)F2001 ワイヤメッシュ #6x150x150	



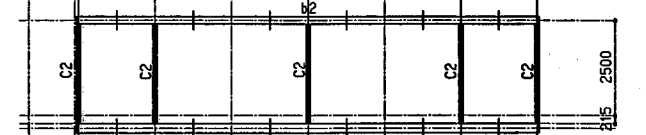
A面軸状図



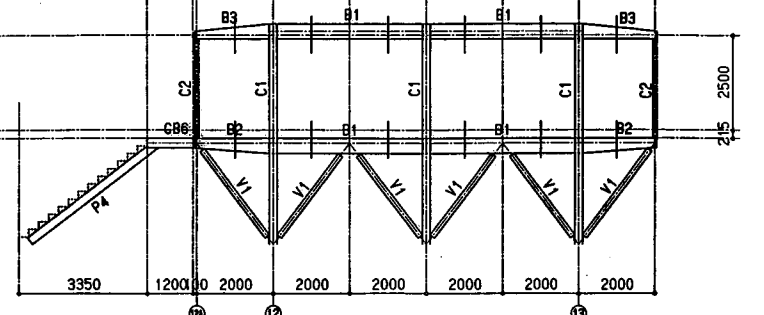
B面軸状図



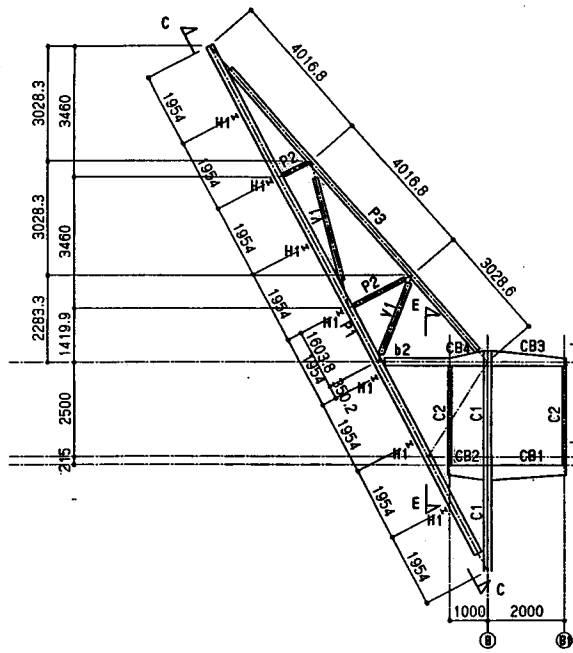
B1通り軸組図



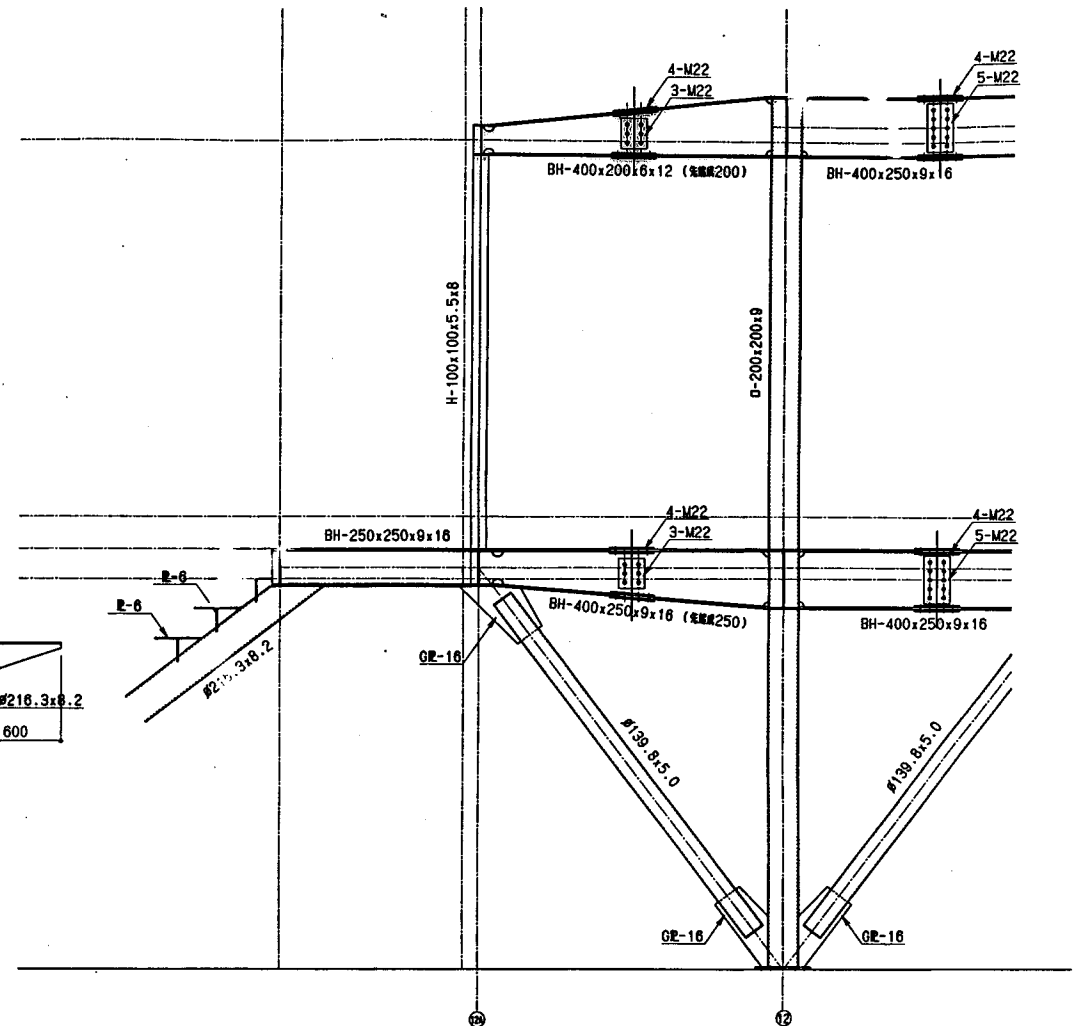
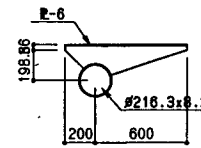
E-E軸組図



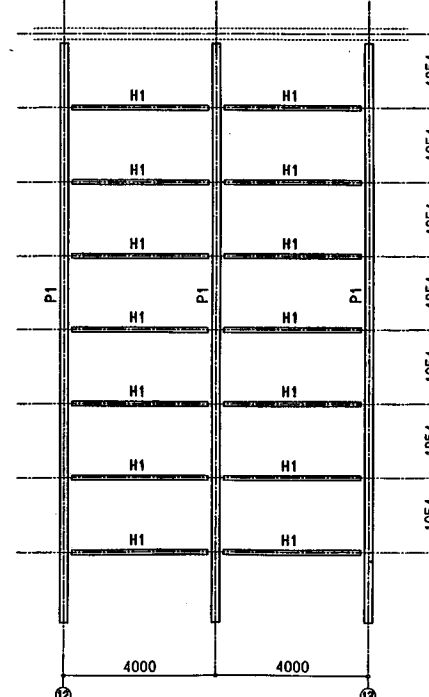
B通り軸組図 縮尺: 1/100



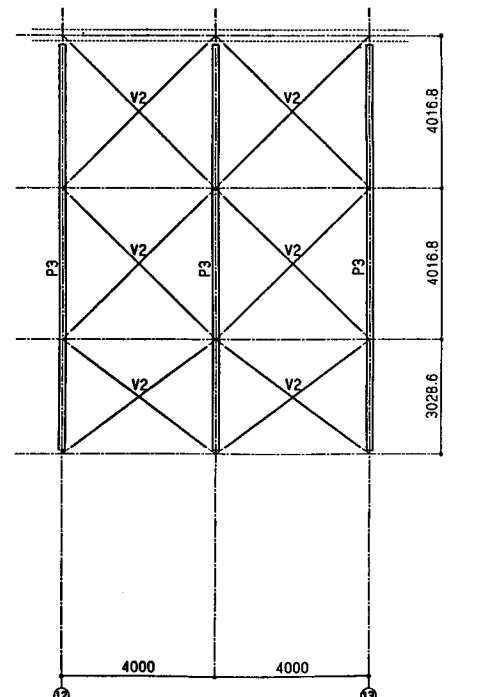
12通り軸組図 縮尺: 1/100



立面詳細図 縮尺: 1/25



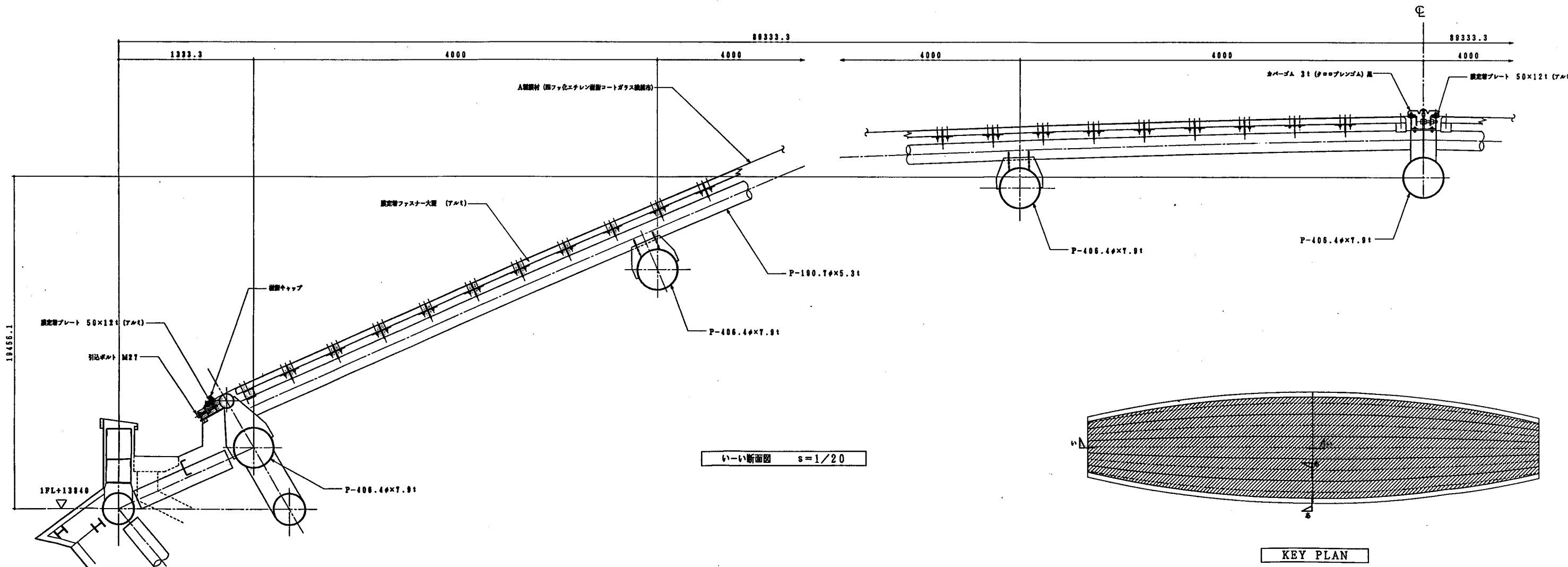
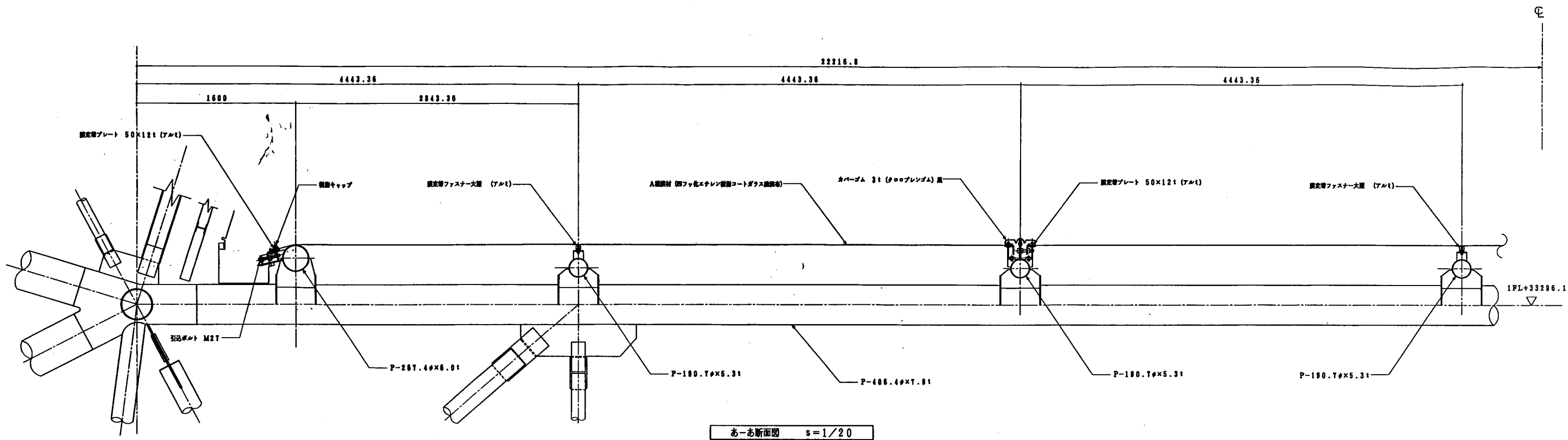
C-C軸状図 縮尺: 1/100



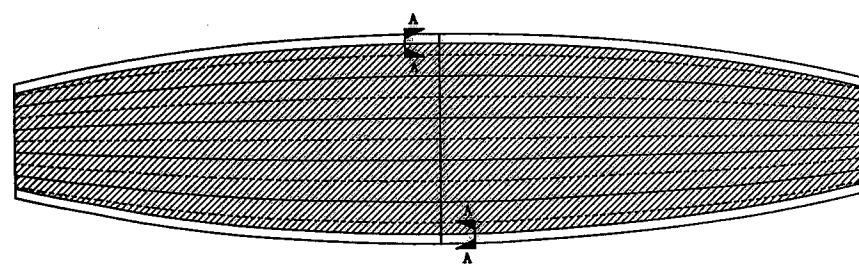
D-D軸状図 縮尺: 1/100

恒久膜構造 設計概要書

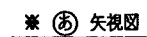
建物概要	物件名 四日市ドーム型多目的スポーツ施設	建築工事	恒久耐用鋼鉄骨は下表から選択するものとする。	施工	材料等には、日本建築協会に加盟している材料を使用する。
建築場所	三重県四日市市		○ 1) 全断面鋼管ハット型 (JIS K 5516 2種)		FRPフィルムを介した貼着とする。 海草巾 ◎ 75mm ○ 50mm
用途	体育館上屋	(別途工事)	工種 部材名 厚さ 単位 数量 施工区分 1 基礎掘削 2 土留 (動力工具・手作業) or (SIS S1-2) 35 収付・仕付 工場 3 下地 (1層目) アクリル樹脂系止り止め塗料 (エポキシ樹脂系止り止め塗料) 40 仕付・収付 現場 4 中塗り エポキシ樹脂系止り止め塗料 (エポキシ樹脂系止り止め塗料) 40 仕付・収付 現場 5 上塗り エポキシ樹脂系止り止め塗料 (エポキシ樹脂系止り止め塗料) 40 仕付・収付 現場		1 底材は、底定着プレートでクランプする。 底定着プレート◎アルミプレート (A-6061S-T6) ◎ アルミ9mm、クランプ7mm仕上
防火性能	防火性能 耐火性能 22条地盤 無指定		○ 2) ポリウレタン樹脂系仕上		○ スチールプレート (溶融亜鉛メッキ仕上げ)
構造	地上 階、地下 階、床板部分の階 階 高さ 最高高さ 38 m、最低高さ 14 m、床板部分最高高さ 38 m		○ 3) フッ素樹脂系仕上		2 底定着部 (中央) ケーブル取合部 ○ 接続タイプ1 H-A-① H-A-② H-A-③ H-B-④ H-C-⑤ H-D-⑥ H-E-⑦ H-F-⑧ H-G-⑨ H-H-⑩ H-I-⑪ H-J-⑫ H-K-⑬ H-L-⑭ H-M-⑮ H-N-⑯ H-O-⑰ H-P-⑱ H-Q-⑲ H-R-⑳ H-S-㉑ H-T-㉒ H-U-㉓ H-V-㉔ H-W-㉕ H-X-㉖ H-Y-㉗ H-Z-㉘ H-AA-㉙ H-AB-㉚ H-AC-㉛ H-AD-㉜ H-AE-㉝ H-AF-㉞ H-AG-㉟ H-AH-㊱ H-AI-㊲ H-AJ-㊳ H-AL-㊴ H-AM-㊵ H-AN-㊶ H-AO-㊷ H-AP-㊸ H-AQ-㊹ H-AR-㊺ H-AS-㊻ H-AT-㊼ H-AU-㊽ H-AV-㊾ H-AW-㊿ H-AX-㏀ H-AY-㏁ H-AZ-㏂ H-BA-㏃ H-BB-㏄ H-BC-㏅ H-BD-㏆ H-BE-㏇ H-BF-㏈ H-BG-㏉ H-BH-㏊ H-BI-㏋ H-BJ-㏌ H-BL-㏍ H-BM-㏎ H-BN-㏏ H-BO-㏐ H-BP-㏑ H-BQ-㏒ H-BR-㏓ H-BS-㏔ H-BT-㏕ H-BU-㏖ H-BV-㏗ H-BW-㏘ H-BX-㏙ H-BY-㏚ H-BZ-㏛ H-CA-㏜ H-CB-㏝ H-CC-㏞ H-CD-㏟ H-CE-㏟ H-CF-㞀 H-CG-㞁 H-CH-㞂 H-CI-㞃 H-CJ-㞄 H-CL-㞅 H-CM-㞆 H-CN-㞇 H-CO-㞈 H-CP-㞉 H-CQ-㞊 H-CR-㞋 H-CS-㞌 H-CT-㞍 H-CU-㞎 H-CV-㞏 H-CW-㞐 H-CX-㞑 H-CY-㞒 H-CZ-㞓 H-DA-㞔 H-DB-㞕 H-DC-㞖 H-DD-㞗 H-DE-㞘 H-DF-㞙 H-DG-㞚 H-DH-㞛 H-DI-㞜 H-DJ-㞝 H-DM-㞞 H-DN-㞟 H-DO-㞠 H-DP-㞡 H-DQ-㞢 H-DR-㞣 H-DS-㞤 H-DT-㞥 H-DU-㞦 H-DV-㞧 H-DW-㞨 H-DX-㞩 H-DY-㞪 H-DZ-㞫 H-EA-㞬 H-EB-㞭 H-EC-㞮 H-ED-㞯 H-EE-㞰 H-EF-㞱 H-EG-㞲 H-EH-㞳 H-EI-㞴 H-EJ-㞵 H-EL-㞶 H-EM-㞷 H-EN-㞸 H-EO-㞹 H-EP-㞺 H-EQ-㞻 H-ER-㞼 H-ES-㞽 H-ET-㞾 H-EU-㞿 H-EV-㏀ H-EW-㏁ H-EX-㏂ H-EY-㏃ H-EZ-㏄ H-FA-㏅ H-FB-㏆ H-FC-㏇ H-FD-㏈ H-FE-㏉ H-FF-㏊ H-FG-㏋ H-FH-㏌ H-FI-㏍ H-FJ-㏎ H-FL-㏏ H-FM-㏐ H-FN-㏑ H-FO-㏒ H-FP-㏓ H-FQ-㏔ H-FR-㏕ H-FS-㏖ H-FT-㏗ H-FU-㏘ H-FV-㏙ H-FW-㏚ H-FX-㏛ H-FY-㏜ H-FZ-㏝ H-GA-㏞ H-GB-㏟ H-GC-㏠ H-GD-㏡ H-GE-㏢ H-GF-㏣ H-GG-㏤ H-GH-㏥ H-GI-㏦ H-GJ-㏧ H-GL-㏨ H-GM-㏩ H-GN-㏪ H-GO-㏫ H-GP-㏬ H-GQ-㏭ H-GR-㏮ H-GS-㏯ H-GT-㏰ H-GU-㏱ H-GV-㏲ H-GW-㏳ H-GX-㏴ H-GY-㏵ H-GZ-㏶ H-HA-㏷ H-HB-㏸ H-HC-㏹ H-HD-㏺ H-HE-㏻ H-HF-㏼ H-HG-㏽ H-HH-㏾ H-HI-㏿ H-HJ-㐀 H-HL-㐁 H-HM-㐂 H-HN-㐃 H-HO-㐄 H-HP-㐅 H-HQ-㐆 H-HR-㐇 H-HS-㐈 H-HT-㐉 H-HU-㐊 H-HV-㐋 H-HW-㐌 H-HX-㐍 H-HY-㐎 H-HZ-㐏 H-IA-㐐 H-IB-㐑 H-IC-㐒 H-ID-㐓 H-IE-㐔 H-IF-㐕 H-IG-㐖 H-IH-㐗 H-II-㐘 H-IJ-㐙 H-IL-㐚 H-IM-㐛 H-IN-㐜 H-IO-㐝 H-IP-㐞 H-IQ-㐟 H-IR-㐠 H-IS-㐡 H-IT-㐢 H-IU-㐣 H-IV-㐤 H-IW-㐥 H-IX-㐦 H-IY-㐧 H-IZ-㐨 H-JA-㐩 H-JB-㐪 H-JC-㐫 H-JD-㐬 H-JE-㐭 H-JF-㐮 H-JG-㐯 H-JH-㐰 H-JI-㐱 H-JJ-㐲 H-JL-㐳 H-JM-㐴 H-JN-㐵 H-JO-㐶 H-JP-㐷 H-JQ-㐸 H-JR-㐹 H-JS-㐺 H-JT-㐻 H-JU-㐼 H-JV-㐽 H-JW-㐾 H-JX-㐿 H-JY-㑀 H-JZ-㑁 H-KA-㑂 H-KB-㑃 H-KC-㑄 H-KD-㑅 H-KE-㑆 H-KF-㑇 H-KG-㑈 H-KH-㑉 H-KI-㑊 H-KJ-㑋 H-KL-㑌 H-KM-㑍 H-KN-㑎 H-KO-㑏 H-KP-㑐 H-KQ-㑑 H-KR-㑒 H-KS-㑓 H-KT-㑔 H-KU-㑕 H-KV-㑖 H-KW-㑗 H-KX-㑘 H-KY-㑙 H-KZ-㑚 H-LA-㑛 H-LB-㑜 H-LC-㑝 H-LD-㑞 H-LE-㑟 H-LF-㑐 H-LG-㑑 H-LH-㑒 H-LI-㑓 H-LJ-㑔 H-LL-㑕 H-LM-㑖 H-LN-㑗 H-LO-㑘 H-LP-㑙 H-LQ-㑚 H-LR-㑛 H-LS-㑜 H-LT-㑝 H-LU-㑞 H-LV-㑟 H-LW-㑠 H-LX-㑡 H-LY-㑢 H-LZ-㑣 H-MA-㑤 H-MB-㑥 H-MC-㑦 H-MD-㑧 H-ME-㑨 H-MF-㑩 H-MG-㑪 H-MH-㑫 H-MI-㑬 H-MJ-㑭 H-ML-㑮 H-MM-㑯 H-MN-㑰 H-MO-㑱 H-MP-㑲 H-MQ-㑳 H-MR-㑴 H-MS-㑵 H-MT-㑶 H-MU-㑷 H-MV-㑸 H-MW-㑹 H-MX-㑺 H-MY-㑻 H-MZ-㑼 H-NA-㑽 H-NB-㑾 H-NC-㑿 H-ND-㒀 H-NE-㒁 H-NF-㒂 H-NG-㒃 H-NH-㒄 H-NI-㒅 H-NJ-㒆 H-NK-㒇 H-NL-㒈 H-NM-㒉 H-NN-㒊 H-NO-㒋 H-NP-㒌 H-NQ-㒍 H-NR-㒎 H-NS-㒏 H-NT-㒐 H-NU-㒑 H-NV-㒒 H-NW-㒓 H-NX-㒔 H-NY-㒕 H-NZ-㒖 H-OB-㒗 H-OC-㒘 H-OD-㒙 H-OE-㒚 H-OF-㒛 H-OG-㒜 H-OH-㒝 H-OI-㒞 H-OJ-㒟 H-OK-㒠 H-OL-㒡 H-OM-㒢 H-ON-㒣 H-OO-㒤 H-OP-㒥 H-OQ-㒦 H-OR-㒧 H-OS-㒨 H-OT-㒩 H-OU-㒪 H-OV-㒫 H-OW-㒬 H-OX-㒭 H-OY-㒮 H-OZ-㒯 H-PA-㒰 H-PB-㒱 H-PC-㒲 H-PD-㒳 H-PE-㒴 H-PF-㒵 H-PG-㒶 H-PH-㒷 H-PI-㒸 H-PJ-㒹 H-PL-㒺 H-PM-㒻 H-PN-㒼 H-PO-㒽 H-PP-㒾 H-PQ-㒿 H-PR-㓀 H-PS-㓁 H-PT-㓂 H-PU-

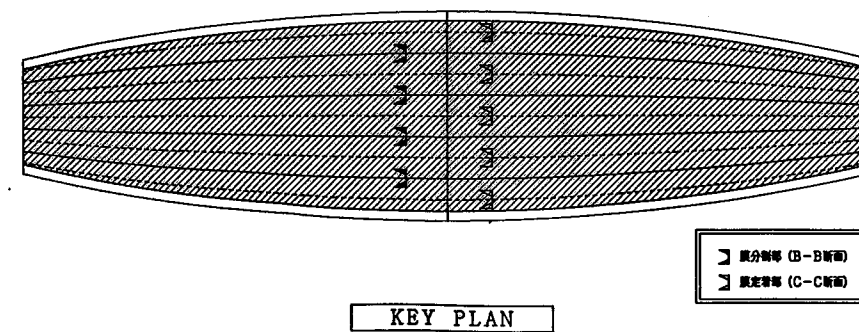
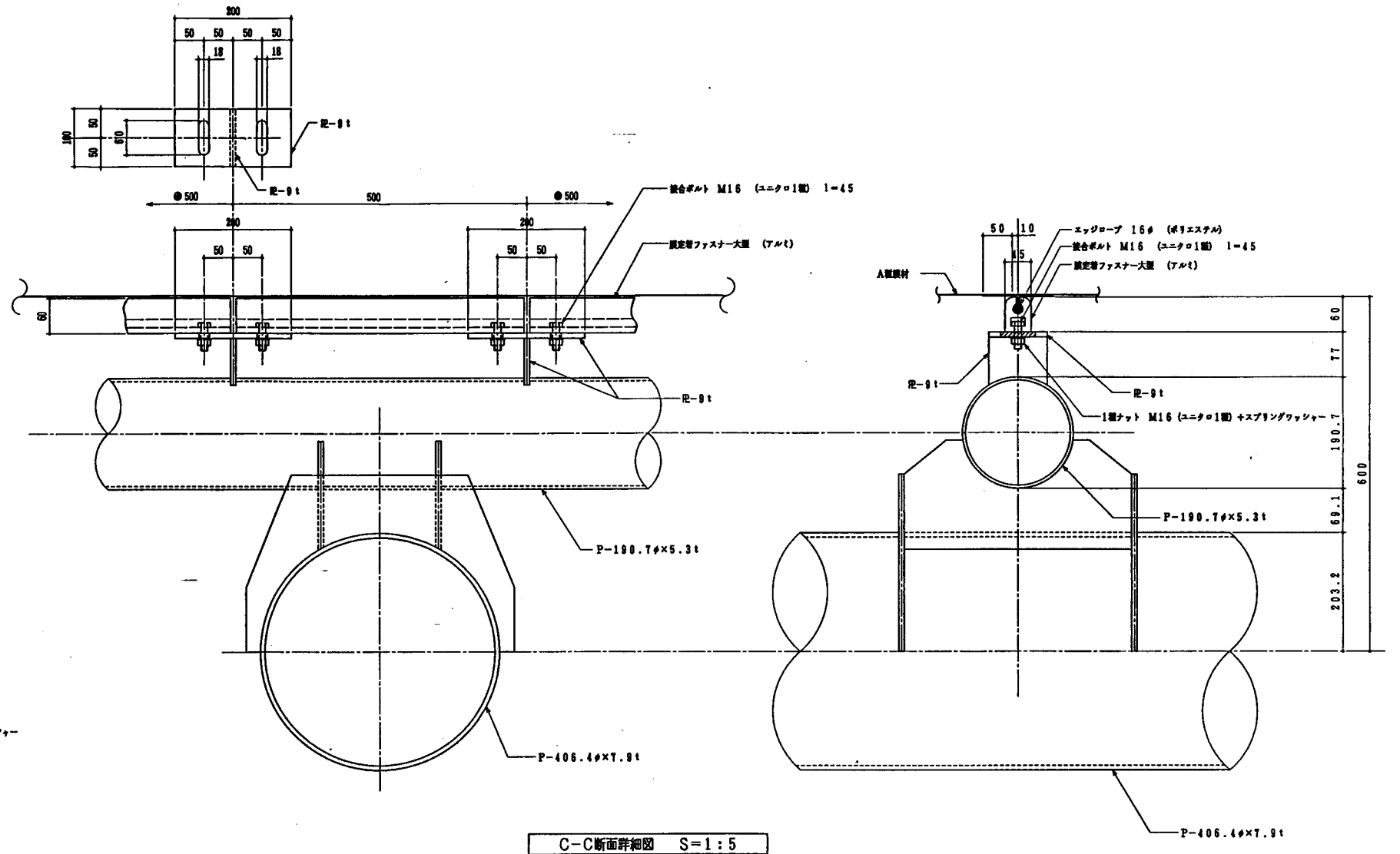
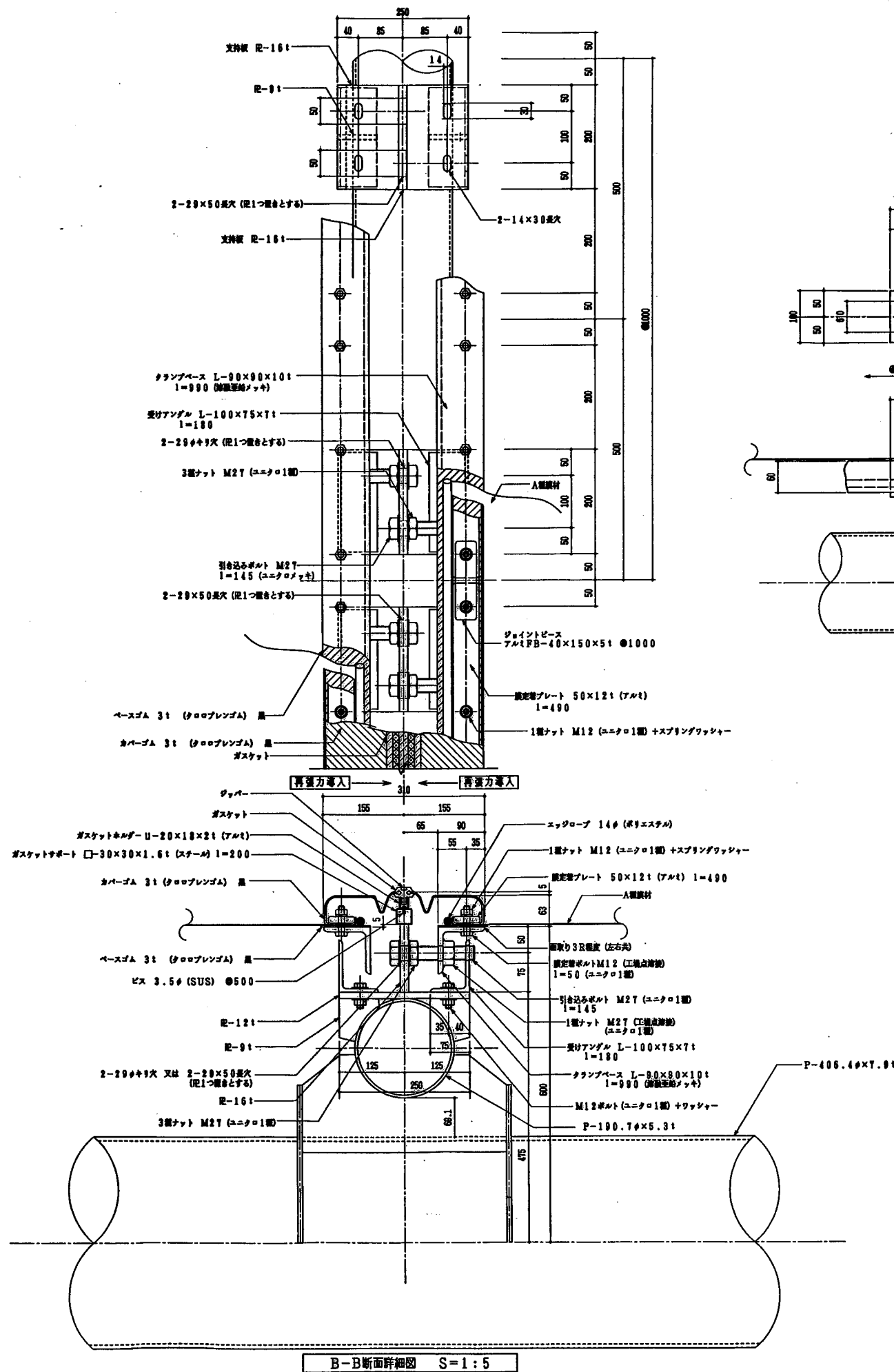


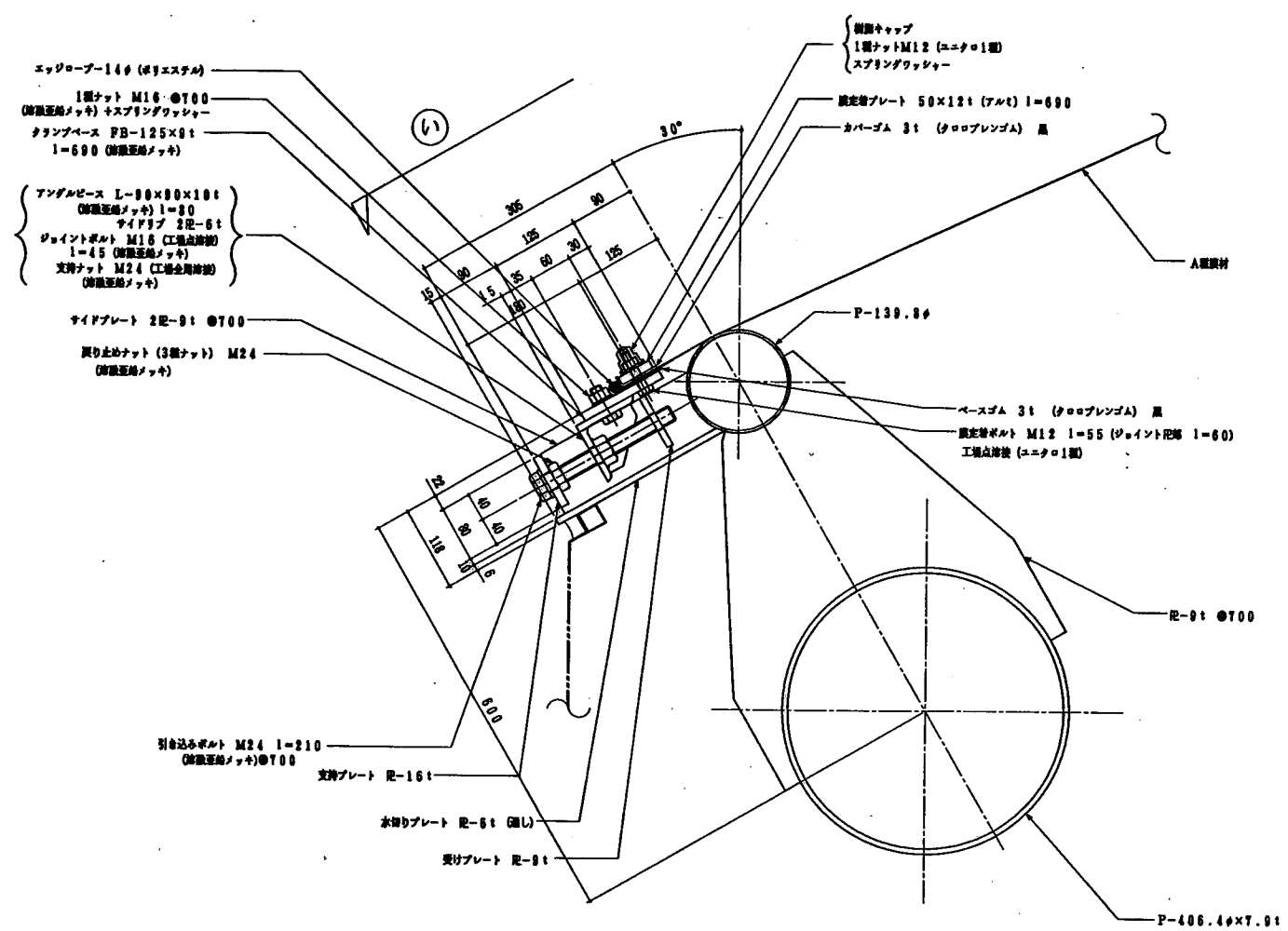
訂正 訂正 訂正 訂正 訂正	訂正 訂正 訂正 訂正 訂正	久米設計・梓設計 設計共同企業体	日付 '94.12 図章	ドーム型多目的スポーツ施設建設工事(建築工事) 膜屋根詳細図1	図章番号 S-73 図章番号 194072
---	---	-------------------------	----------------------------	---	-------------------------------------



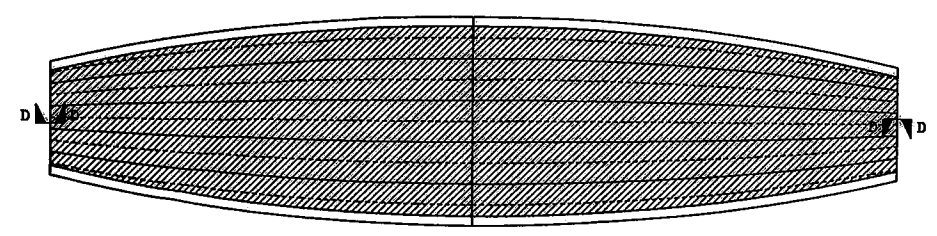
A-A断面詳細図 S=1:5



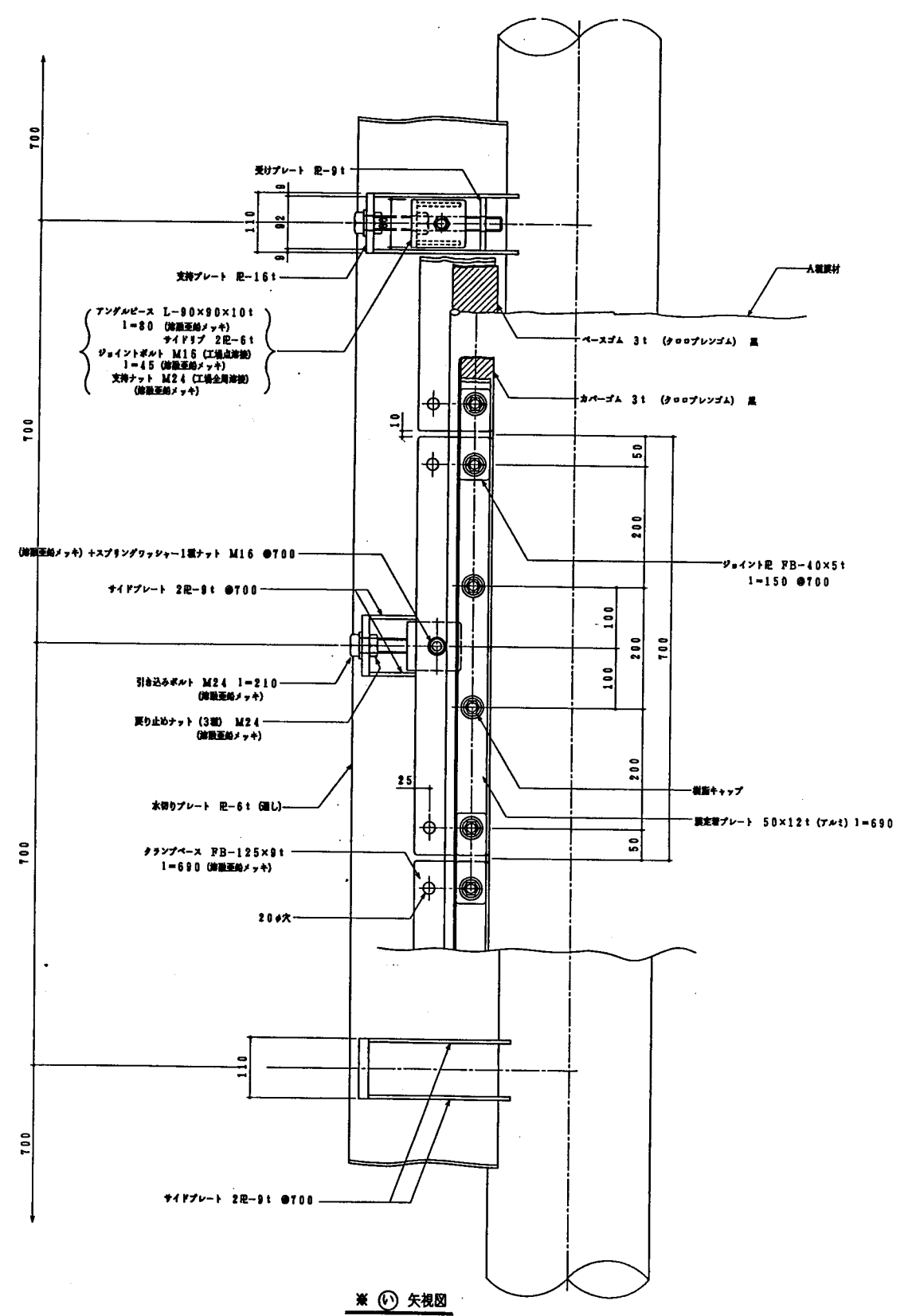




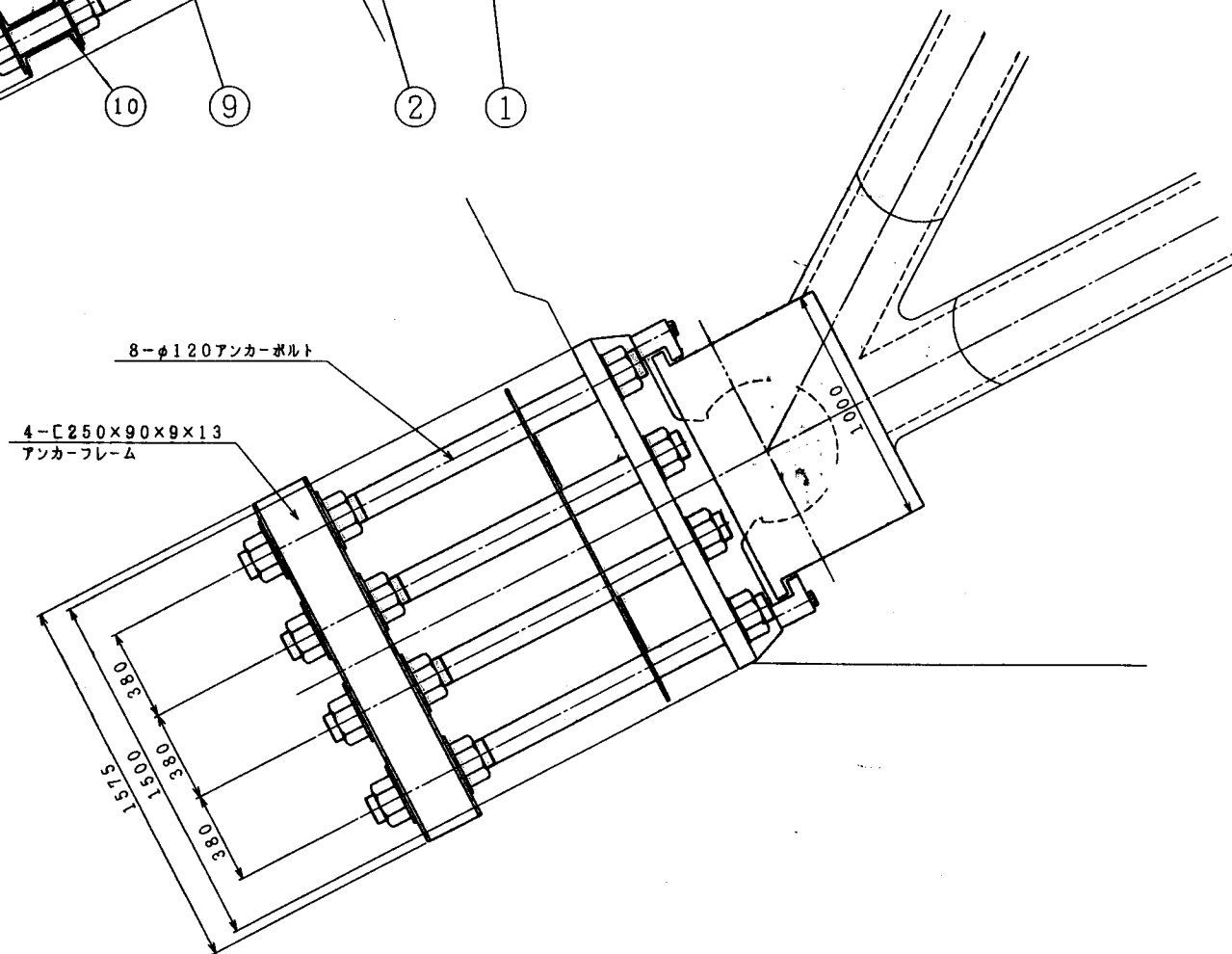
D-D断面詳細図 S=1:5



KEY PLAN



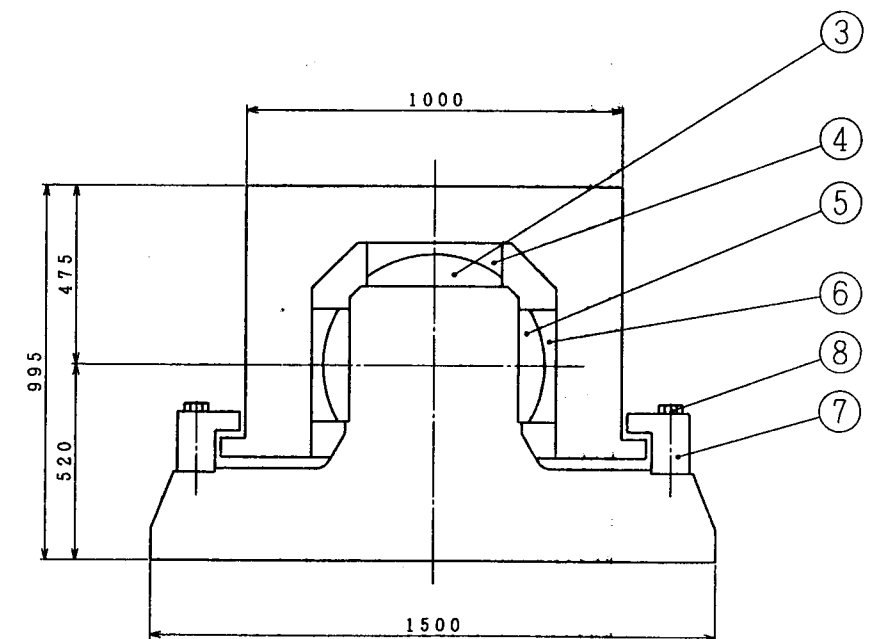
※ ④ 矢視図



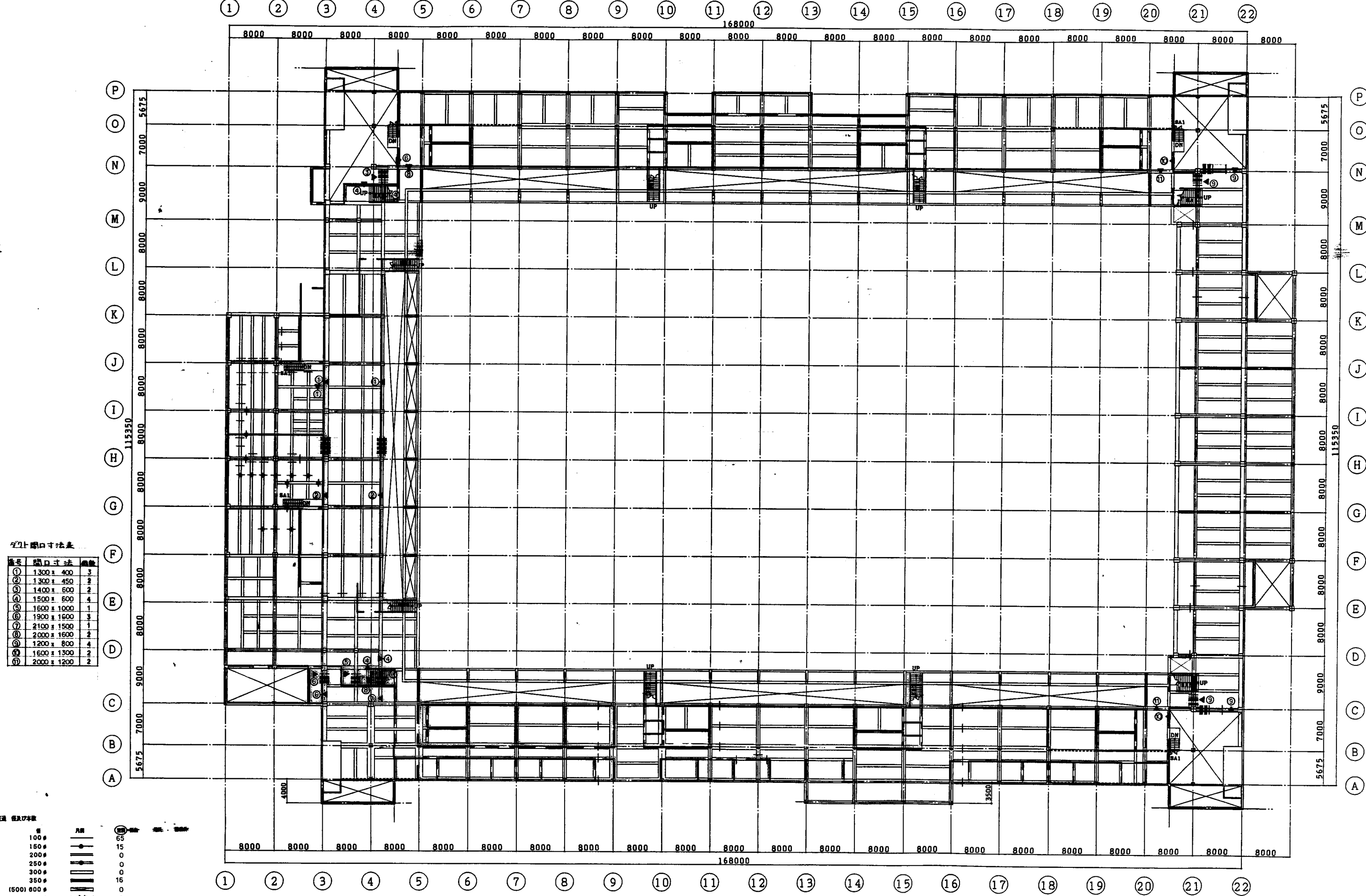
支 承 設 計 条 件				
	長 期	X方向地震時	Y方向地震時	風 時
鉛 直 力	946tonf	1128tonf	1403tonf	-202tonf
Y方向水平力	339tonf	589tonf	746tonf	41tonf
X方向水平力	350tonf	780tonf	460tonf	90tonf

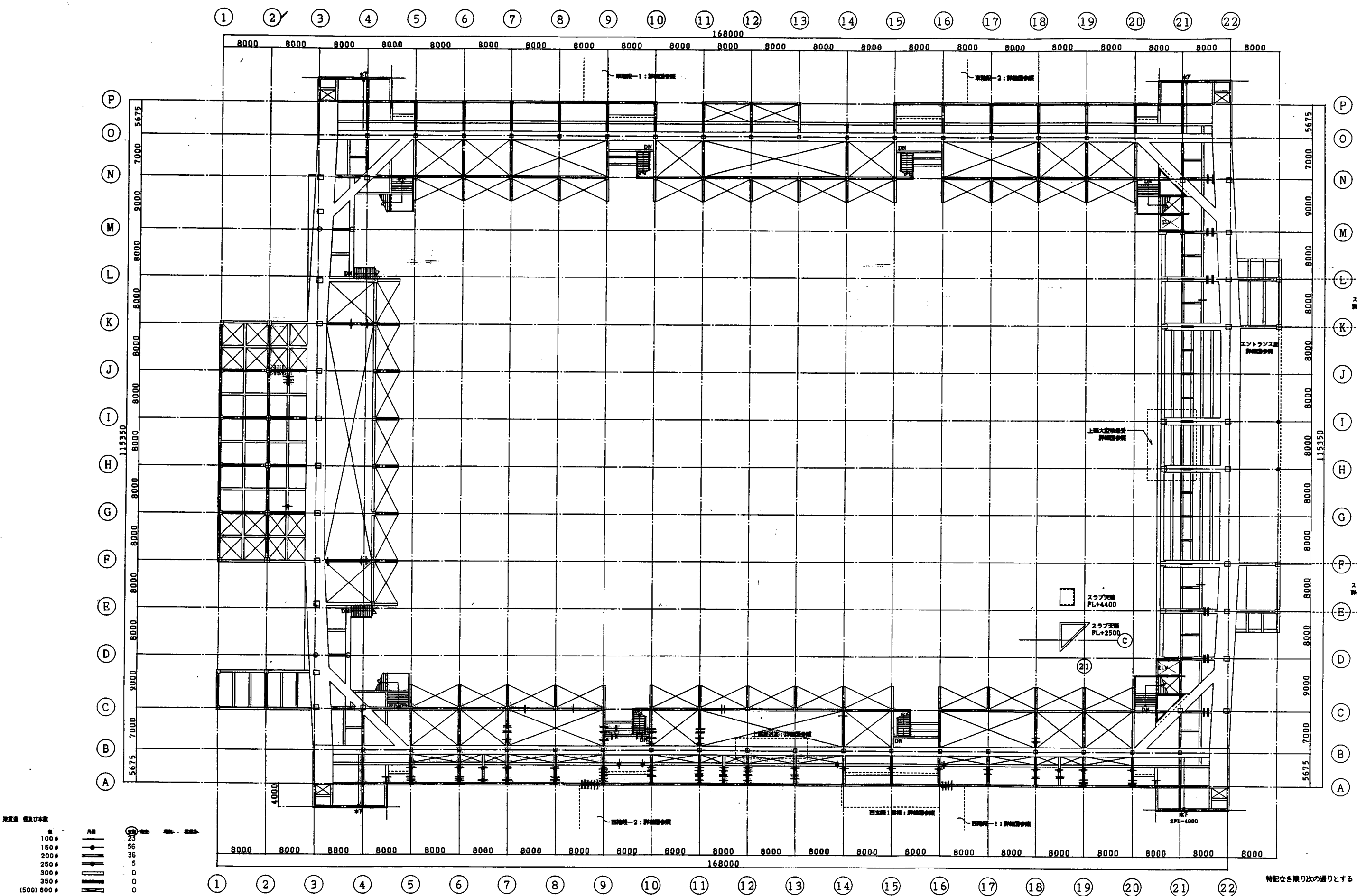
材料表

部番	品名	材質	個数	重量 (kg)	備考
1	上 番	SCW480	1	4498	
2	下 番	SCW480	1	5646	
3	ベアリングプレート	SCW480	1	44	
4	中間プレート	SCW480	1	48	
5	球 面 軸 受	SCW480	1	214	
6	ハウジング	SCW480	1	193	
7	サイドブロック	SCW480	2	302	
8	六角ボルト	-	12	29	強度区分 10.9
9	アンカerbolt ナット	SS400	8	1578	
10	アンカープレート	SS400	1式	620	
全 重 量				13172	(kg)



支承中央断面詳細図 S=1:10



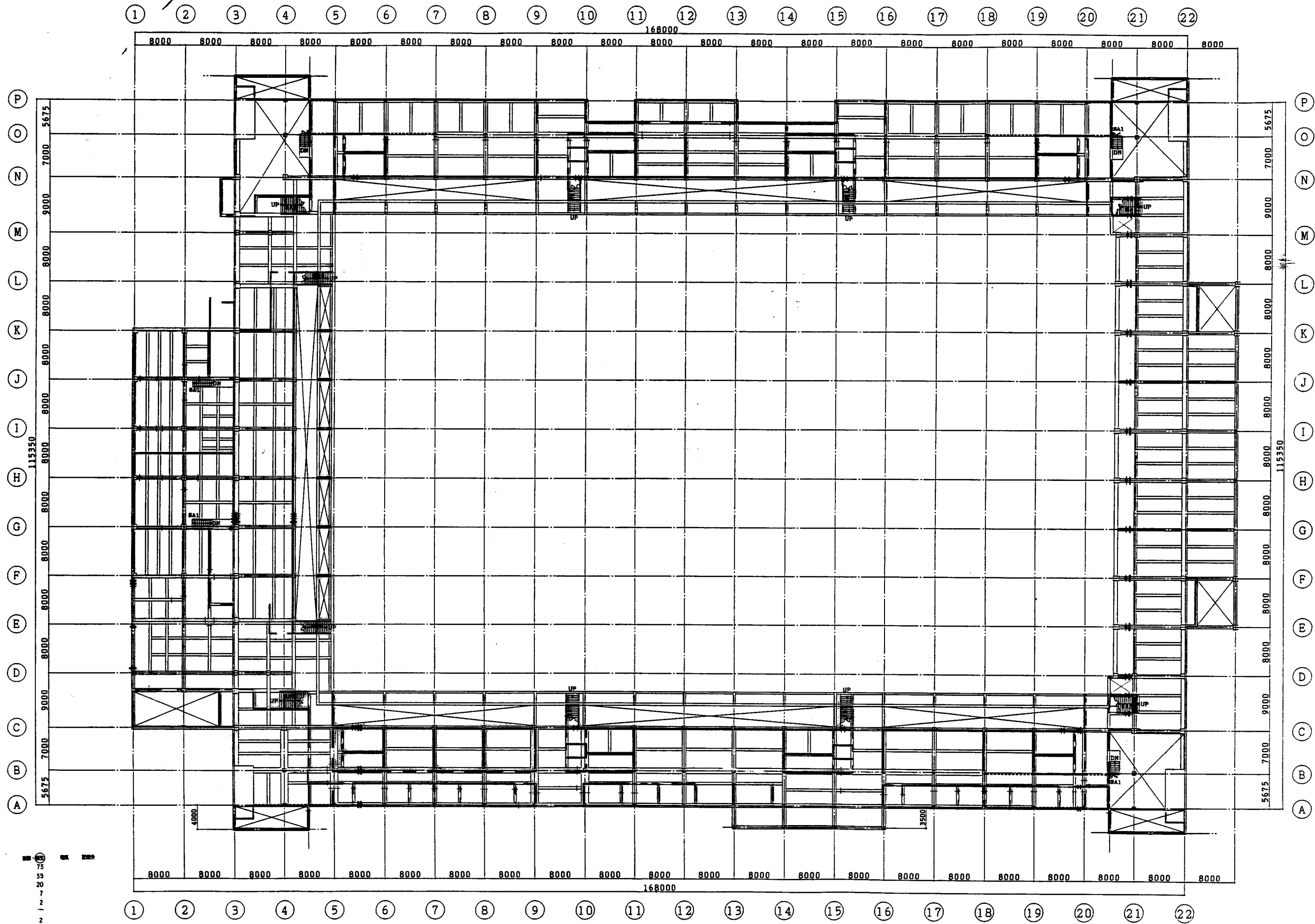


梁貫通 径及び本数

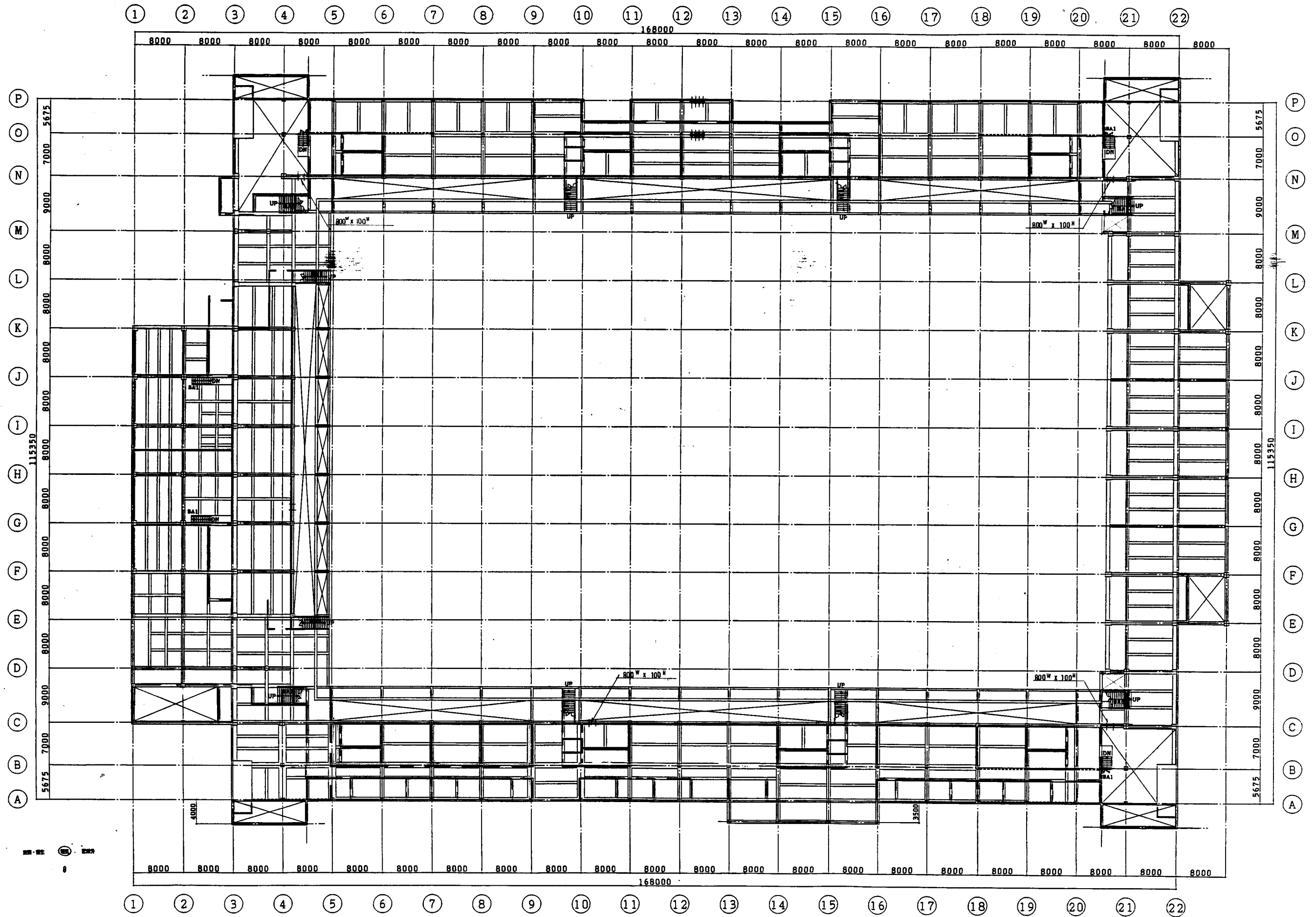
100φ	1本
150φ	1本
200φ	1本
250φ	1本
300φ	1本
350φ	1本
(500) 600φ	1本

2階梁貫通図 S=1:300

設計者	久米設計・梓設計 設計共同企業体	図番	94.12	図名	ホーム型多目的スポーツ施設建設工事(建築工事)	図号	S-80
設計者		図番		図名	梁貫通図 2	図号	S=1:300 194072



1階梁貫通図 S=1:300



1階梁貫通図 S=1:300

断面 梁及び柱
 100
 150
 200
 250
 300
 350
 (500) 800
 図例: 4.3

久米設計・梓設計 設計共同企業体

94.12
 PA

ホーム型多目的スポーツ施設建設工事(建築工事)
 梁貫通図 4
 S=1:300

S-82
 194072